ISSN 0912-8182

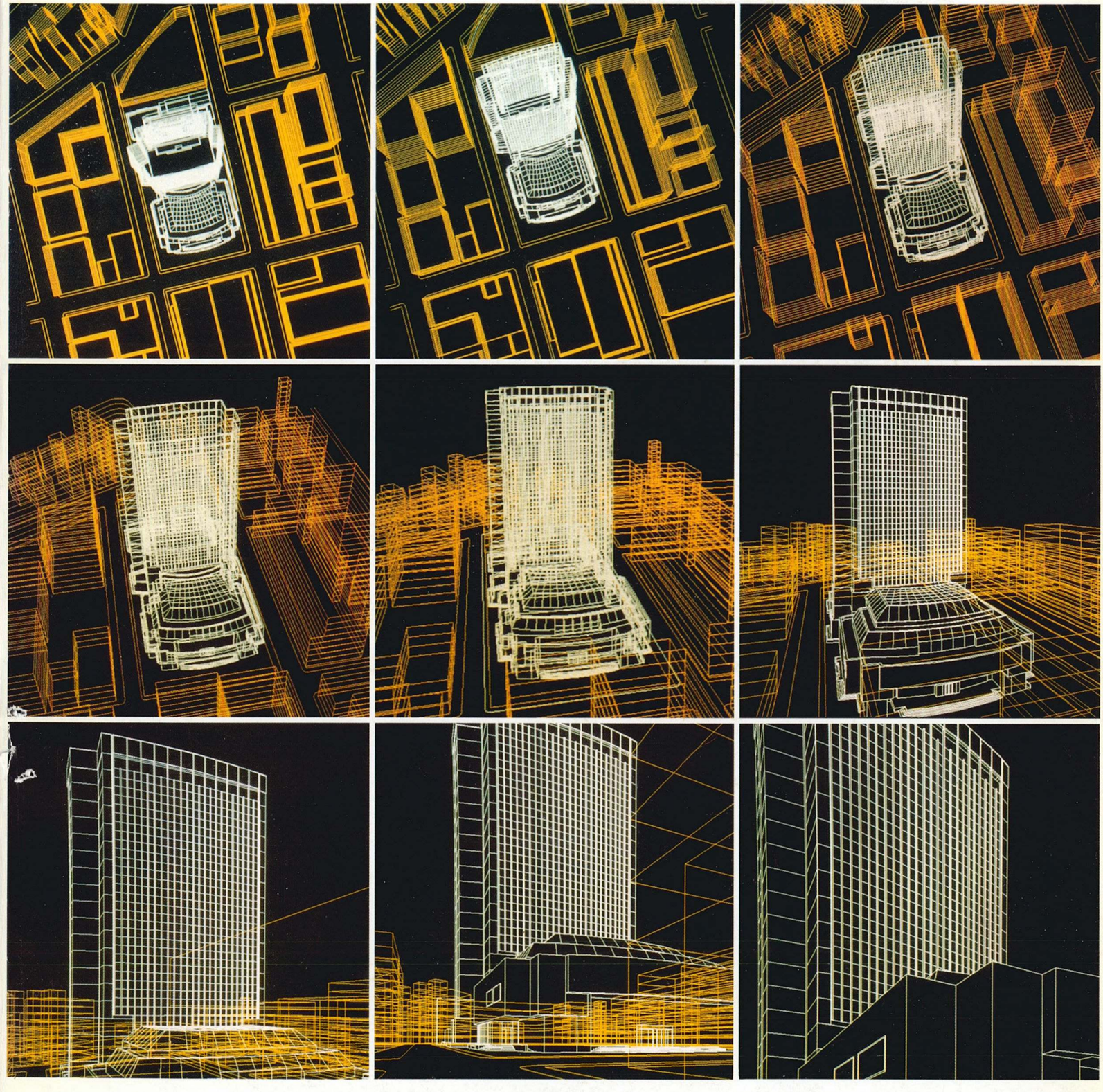
Vol. 69 通巻795号　昭和63年6月25日発行・毎月1回25日発行・昭和24年3月19日第3種郵便物認可

建築と社会

ARCHITECTURE AND SOCIETY

1988 6

特集■中国地方の展望と
ひろしまの街なみ



日本建築協会

Day by Day——きっといい明日
大阪ガス

プリオールに決めた3人。



暖冷房と給湯のシステムに自動風呂のついたプリオール・オート

プリオール・オートは、お湯でひろがる快適な暮らしのシステム。魅力的な端末機を自由に組み合わせて、便利で気持ちいいマイホームをどうぞ。

❶おまかせ！自動風呂
ボタンひとつでお湯はり、あとは適温・適量キープ機能で足し湯も追いだきもすべておまかせ、の便利でかしこい全自動風呂。

❷やさしい温水エアコン
温水だから、安全性も清潔さも2重丸。マイコンによる自動運転できめこまかい快適な暖冷房がえられます。さらにデラックスタイプでは除湿機能もより充実。さわやか冷房も思いのまま。

❸ゴロン！と床暖房
お部屋全体をやさしい日だまりの暖かさでつつみこむ床暖房。家族みんなが集まるリビングにピッタリです。

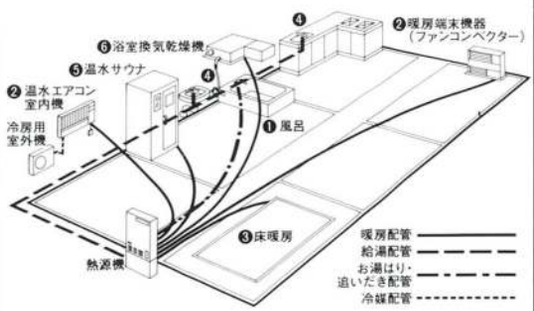
❹いいお湯タップリ!!
給湯能力はビッグな16号。キッチンはもちろん、シャワー・洗面所とゆとりのお湯をお使いください。

❺気分サッパリ、温水サウナ
家族それぞれで楽しめる刺激の少ない遠赤外線式。省スペース・省エネのヘルシーなサウナです。

❻ふ〜んわり、浴室換気乾燥機
浴室がそのまま便利な乾燥室に。雨の日や夜でもふっくらお洗たくものが乾きます。

◎お風呂が「お帰りなさい。」!?
暖冷房やお風呂わかしも外出先から電話でON・OFF自由自在。「ただいま。」が気持ちいい、ホームオートメーション対応。（テレコントロールユニットが別途必要です。）

◎プラン例
●1室暖冷房●3ヵ所給湯●自動風呂
●2室暖房（うち1室は暖房配管のみ）
機器関係価格 551,800円
（当社希望小売価格です。）
施工費例　326,600円
（当社の施工費実例で、現場の状況によって変わる場合があります。）
合計　878,400円
（右のシステム図と端末機の構成は異なります。内容、詳細については、お問い合わせ下さい。）



新築・増改築をお考えの方、プリオールをお忘れなく。
プリオールにしてよかった、と思う日がきっとやってきます。

資料請求券

エックスプリオール・オート
PRIOR AUTO
暖冷房・給湯＆自動風呂システム

●エックスプリオール・オートの資料請求・お問い合わせは——〒541 大阪市東区平野町5-1 大阪ガス営業部エックスプリオール・オート係まで TEL.06-202-2221

■訂正とお詫び

●本誌5月号の目次のトップ「特集」の表示「建物の外装リフレッシュ」は**「都心居住」**の誤りですので訂正しお詫びします。なお、貼り付け修正される方は、下端の「都心居住」を切り抜いて、ご利用下さい。

●同号「都心居住」特集の冒頭論文「都心居住とは何か」(東孝光)中、P32の28行目のところで下記の1行が抜けておりましたので、挿入して訂正するとともに、下端の4行分を訂正用に切り抜いてご利用下さい。読者並びに執筆者にご迷惑をかけましたこと、お詫び申し上げます。

▷**挿入行**

現実の都市が長い時間をかけて蓄積してきた都心の歴史的な意味、私たちの住み続けてきた場所の記憶など

キリトリ

特集●都心居住

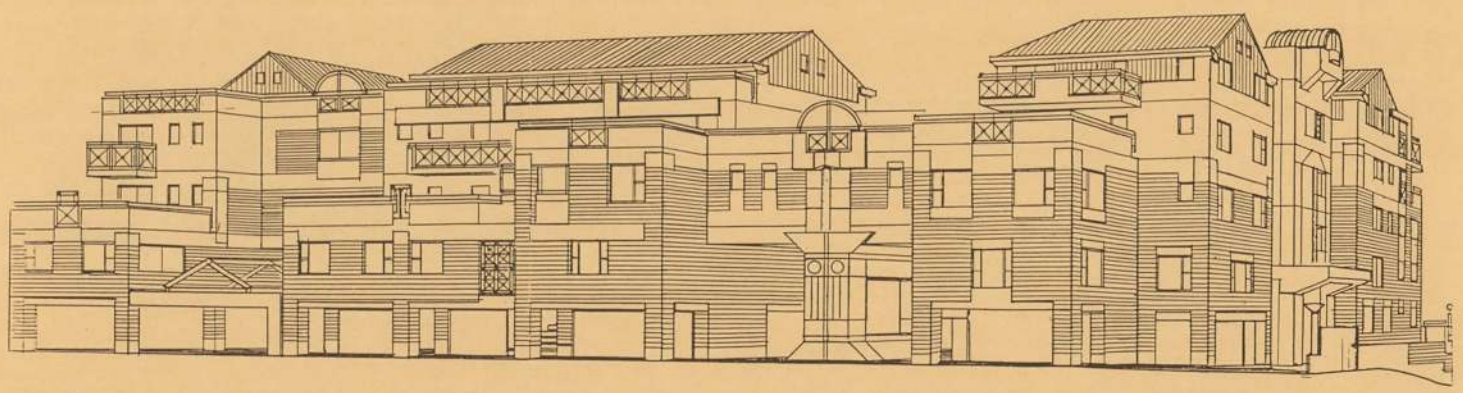
今日的な視点から見返すならば、田園都市の理想像は、その物理的空間的な条件の充足のみに眼をやって、現実の都市が長い時間をかけて蓄積してきた都心の歴史的な意味、私たちの住み続けてきた場所の記憶などへの評価が欠けていた、というべきかも知れない。都心居住の意味を問い直す手がかりのひとつがここにある。

話題建築を聞く　第２回

りりぱっとはうす　－遠藤剛生氏に聞く－

人口の都市集中により市街地は高密度利用を余儀なくされている。街中は店舗や住宅を積層した複合型の建築物が林立する状況にあるが、その居住性能が問われている。そのような中にあって複合型都市住宅の新しいあり方を次々に提案されている遠藤剛生氏を囲んで、最近の事例のスライドを見ながら設計手法をお聞きし、また質疑を交えて参加者全員で語り合いたいと思います。

日　　時　昭和63年 7 月16日(土)　14：00～16：00
場　　所　㈳日本建築協会会議室（大阪駅前第３ビル21階）



このプロジェクトは、大阪ガスの系列会社が神戸市東灘区にあった社有地を活用して進められたものである。周辺地域の環境は、東と西と南は静かな住宅地であり、北は路線型商業施設が連なっている。これら二つの地域が重ね合わされたゾーンの中に、この敷地はある。計画の条件は地階と１階に駐車場、１階と２階の½に子供中心の衣料や遊具とおもちゃのデザイン事務所など、それ以外は１ＬＤＫから５ＬＤＫまでの賃貸住宅である。

この計画のポイントは、子供の遊びと、生活中心の、商業空間と都市型賃貸住宅が有機的に共存できる空間を見つけ出すことだったと考えている。子供のための広場と住宅のための中庭を重ね、どちらにとっても意味のあるオープンスペースとして機能してくれればと考えている。

この計画で用いたデザイン的方法は、種々雑多な建物が混在する地域の様子や、周辺住宅の規模とこの建築の関係や、この建物自身の用途や、住戸の広さや型のバラエティー、法的規制等々を考慮し、屋根の型や棟の方向、外壁の素材の表情、くり返しの数・素材の質感や色など建築を構成する各要素を分節し、ハイスタイルなものよりもむしろバナキュラーなものへと計画の方向を定め、強さや硬さより、軟らかさや優しさを優先した。　（遠藤剛生）

●りりぱっとはうす建築概要

所 在 地　神戸市東灘区住吉東町４－31・32
建 築 主　株式会社プラネットワーク
設計監理　遠藤剛生建築設計事務所
施　　工　大林組
敷地面積　1,778.54㎡
建築面積　1,242.66㎡
延床面積　4,383.50㎡
構造規模　ＲＣ、Ｂ１、５Ｆ
工　　期　昭和61年８月～昭和62年８月

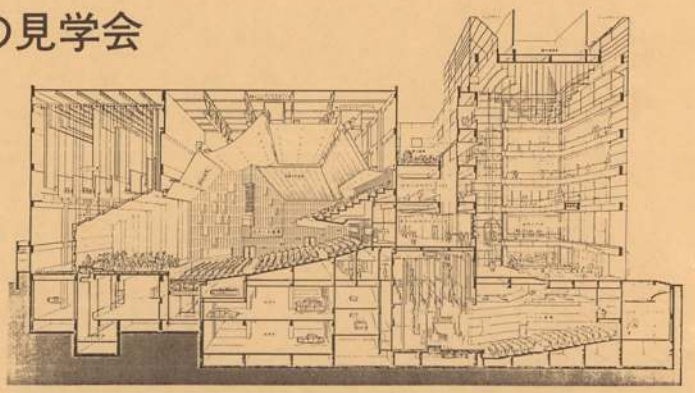


参 加 費　会員 1,500円、一般 2,500円（学生：会員 1,000円、一般 1,500円）
申込方法　ハガキかＦＡＸまたは電話で７月８日(金)までに日本建築協会事業課（〒530 大阪市北区梅田１－１　大阪駅前第３ビル21階　ＦＡＸ06－348－0634 ☎06－348－0633）へお申込ください。催し名(話題建築を聞く－「りりぱっとはうす」遠藤剛生氏に聞く)、氏名、会員・一般の別、勤務先、参加証送付先、電話番号をお知らせ願います。

※追って参加証をお送りします。なお、申込者多数の場合は抽選にて決定します。

第３回は、９月、「オーク江坂ビル」(大阪府吹田市）を三谷幸司氏（大林組設計課長）ほかに聞く予定です。

◀プリズムホール（八尾市文化会館）の見学会





河内地域の文化の拠点を目指して、プリズムホール（八尾市文化会館）が今秋、近鉄八尾駅前、西武百貨店東隣に誕生します。文化・芸術の光を集約するとともに、当ホールをプリズムとして多彩な光を河内地域に広げていきたい、との市民の声が実現したものです。

高さ約35m 5階吹抜の大空間・光のプラザ、可動天井音響反射板をもつ約1,500席の大ホール、約400席の小ホール等で構成されています。特に、光のプラザは、単にエントランスホールとしての機能だけでなく、市民のふれあいの場として様々なコンベンション機能を持ち、プリズムホールの核として存在しています。

日　　時　7月22日㈮　集合14：00～解散16：00
集合場所　現地　現場事務所（プリズムホール東隣）
＊近鉄「八尾駅」東へ徒歩３分　西武百貨店の東隣
定　　員　50名
参 加 費　会員 500円、一般 1,000円
当日受付にていただきます。
申込方法　ハガキかＦＡＸまたは電話で７月14日㈭までに日本建築協会事業課（〒530 大阪市北区梅田１－１大阪駅前第３ビル21階、ＦＡＸ06－348－0634、☎06－348－0635）へお申込みください。
催し名（プリズムホールの見学会）、氏名、会員・一般の別、勤務先、参加証送付先、電話番号をお知らせ願います。
＊追って参加証をお送りします。なお、申込者多数の場合は抽選にて決定します。

●建築概要

所在地	大阪府八尾市光町２－40	建築面積	3,839.5㎡
設　計	佐藤武夫設計事務所	延床面積	14,658.4㎡
監　理	八尾市・佐藤武夫設計事務所	構造規模	ＳＲＣ、ＲＣ、一部Ｓ、Ｂ２、５Ｆ、Ｐ１
施　工	竹中・辻本共同企業体		
敷地面積	4,689.69㎡	工　期	昭和61年12月～昭和63年８月

◀協会の会議室を利用しませんか

日本建築協会では事業活動のため大・小２つの会議室を持っていますが、協会業務に使用しない場合には貸会議室として皆さんにご利用いただいています。使用条件は次のとおりですので会社、団体、個人を問わず、一般会議、研修会、研究会、座談会など各種会合にご利用下さい。

- 使用申込……使用前１ヵ月前から受付けます。
- 使用時間……土、日、祝日を除く、10：00～20：00とし、時間延長はできません。
- 取り消し……１週間前までに連絡して下さい。ただし、当日取消は料金をご負担願います。
- 使用料金

時間帯	室別	大会議室　60㎡（20～35名）		小会議室　30㎡（10～16名）	
	種別	会　員	その他	会　員	その他
10：00 ～ 12：00		6,000円	8,000円	3,000円	4,000円
13：00 ～ 17：00		8,000	10,000	4,000	5,000
17：15 ～ 20：00		10,000	12,000	6,000	8,000
10：00 ～ 17：00		12,000	14,000	6,000	8,000
13：00 ～ 20：00		15,000	17,000	9,000	11,000

- 会員が待ち合わせや短時間の打ち合わせなどに利用される場合は無料です。ただし、17：30まで。

◀ＪＩＡ市民大学夏期講座〈都市の希望学〉 －日本建築協会後援－

企　　画　企画委員会　委員長・高口恭行（奈良女子大学教授）
受講対象　一般市民
会　　場　綿業会館　大ホール（大阪市東区備後町３－８）
受 講 料　5,000円（全６回）・当日受講料1,000円（１回）
開催日時とプログラム　いずれも時間は18：00～20：00

期日	テーマ	講師
7／1㈮	脱工業社会における都市計画	大阪大学教授 大久保　昌一氏
7／7㈭	21世紀の都市社会 －スキゾ・キッズ	京都大学人文科学研究所助手 浅田　彰氏
7／11㈪	コンピュータグラフィックの風景論	大阪学院大学教授 大村　皓一氏
7／21㈭	敷瓦が地ベタ感覚で街を散歩する	淡路瓦師・元カメラマン 山田脩二氏
7／28㈭	酒場文化と都市活性化	愛知学泉大学助教授 高田公理氏
8／5㈮	インド音楽から現代都市のサウンドスケープへ	サウンドフォーラム主宰 環境音楽家 弘雄介氏

後援団体　日本建築学会、大阪府建築士会、大阪建築士事務所協会、大阪21世紀協会、大阪府、大阪市、滋賀県、京都府、奈良県、和歌山県、兵庫県
問合せ先　主催者・新日本建築家協会（ＪＩＡ）近畿支部
☎06－229－3371　ＦＡＸ06－229－3374

昭和63年度
◀日本建築協会役員会務分掌（敬称略）

名誉会長　東畑謙三（東畑建築事務所）
〃　塚本猛次（日建設計）
会長　佐野正一（安井建築設計事務所）
副会長　足立孝（摂南大学）　総務・会計・編集担当
　　薬袋公明（日建設計）　総務・会計・編集担当
　　市川宏（東畑建築事務所）　会勢・事業・研修担当
　　松村雄二（松村組）　会勢・事業・研修担当

理事（○印常任理事）

（総務） 5名
浅海正雄（浅海電気）
大林芳郎（大林組）
鴻池藤一（鴻池組）
中西孝（マンテン）
○村上秀夫（大阪城ホール）

（会計） 5名
奥村俊夫（奥村組）
清水義一郎（清水工業所）
銭高善雄（銭高組）
平尾勝（ダイダン）
○前野慶太郎（あめりか屋）

（編集） 10名
○金井弘次（日本建築総合試験所）
金多潔（京都大学）
○小島雄（鹿島建設）
○須賀好富（近畿大学）
高木登（住宅・都市整備公団）
竹中錬一（竹中工務店）
○長谷部朔郎（日建設計）
○松村慶三（浦辺設計）
若山繁（近畿電気工事）
○渡辺恵（東洋シヤッター）

（会勢） 12名
淺沼茂夫（淺沼組）
○大岡昇（大林組）
○岡本行善（昭和設計）
加藤久郎（戸田建設）
川岸繁夫（川岸窯業）
○小林四郎（住友電設）
中島一（愛知工業大学）
成瀬宗（清水建設）
伴一郎（西原衛生工業所）
堀内史郎（第一工業）
○八十島健二（竹中工務店）
○渡辺武（フジタ工業）

（事業） 7名
板井亨介（熊谷組）
今村祐三郎（大阪建設業協会）
○西村良平（阪急電鉄）
鈴木雅夫（大阪市都市整備局）
藤木鐵三（藤木工務店）
○三品哲夫（大阪市建築技術協会）
両角保（浦安工業）

（研修） 5名
○片倉健雄（近畿大学）
立野一郎（ユニオン）
平田定男（平田建築構造研究所）
原田明治（大阪府建築部）
平島治（大成建設）

専務理事　松田至弘　**・常務理事**　吉田悦二

（監事）
牧田顯治（新井組）・尾亀清四郎（三晃空調）

昭和63年度
◀日本建築協会評議員（敬称略）

議長　高橋保夫（銭高組）
副議長　多井幸男（多井建築研究所）

本部所属評議員

（技術部門）
石川康介（近畿大学）
奥村進（東畑建築事務所）
楠昭夫（大阪建物）
黒岡和夫（近畿地建）
桑田繁男（大阪市計画局）
西尾久雄（清水建設）
藤原稔恭（藤原工務店）
溝神宏至朗（安井建築設計事務所）
多井幸男（多井建築研究所）
福家敬（大阪府千里住宅管理事務所）

（総合部門）
石井朝美（間組）
大塚日出夫（淺沼組）
巣山繁雄（戸田建設）
高橋保夫（銭高組）
野村茂則（新工務所）
三木敏男（奥村組）
山田博（藤木工務店）
阿部暢（東洋土建）
佐野友彦（金山工務店）
井上司郎（松村組）
内村俊一（大日本土木）
上加世田進（鉄建建設）
沖田幸作（安藤建設）
白石静二（鴻池組）
瀬尾貞甚（西松建設）
高尾清次（三井建設）
岩出正次（岩出建設）
森田勇（モリタ建設）

（電気部門）
今村騰（中央電気工業）
栗原信英（栗原工業）
山本永造（ヤマト電気）
荒巻恭士（近畿電気工事）
岩崎貞雄（八千代電設工業）

（管工部門）
笹野敦（高砂熱学工業）
田崎至成（日比谷総合設備）
川瀬甲子雄（扶桑管工業）
松下圭佑（須賀工業）
山本光彦（ダイダン）

（建材部門）
小山年光（タジマ）
原田孝太郎（原田セメント化工）
加藤忠三郎（平田タイル）
永原義夫（王建工業）

支部所属評議員

長谷部利夫（長谷部建築設計事務所）
吉田千秋（安井建築設計事務所）
小池康雄（小池組）
黒田征四郎（黒田一級建築設計事務所）
青盛健（青盛建材）
福永敏男（福永建設）

昭和63年度
◀日本建築協会特別委員会委員（敬称略）

■企画委員会　協会の今後の運営を検討、審議する

三品哲夫（大阪市建築技術協会）
片倉健雄（近畿大学建築学科）
村上秀夫（大阪城ホール）
松村慶三（浦辺設計）
原田明治（大阪府建築部）

◀日本建築協会支部長（敬称略）

東海　中島一（愛知工業大学）
京都　橋詰一雄（橋詰工務店）
和歌山　北山俊（日新建設工業）
中国　平本俊秋（日興）

昭和63年度
◀日本建築協会常設委員会委員

昭和63年４月27日開催の定例理事会において、下記のとおり各常設委員会委員を委嘱いたしました。（敬称略　◎印委員長　⊗委員長代行　○印副委員長　△印副委員長代行　△印幹事　▲幹事代行　＊印顧問　職場名は略称を用いました。）

■編集委員会
会誌「建築と社会」の企画・編集

編集理事

金井弘次（日本建築総合試験所）
金多潔（京都大学）
小島雄（鹿島建設）
須賀好富（近畿大学）
高木登（住宅・都市整備公団）
竹中錬一（竹中工務店）
長谷部朔郎（日建設計）
松村慶三（浦辺設計）
若山繁（近畿電気工事）
渡辺忠（東洋シヤッター）

編集委員長

◎長谷部朔郎（日建設計）
⊗上田信也（日建設計）

特集小委員会

＊東孝光（大阪大学）

計画系分科会

（計画系）
角島健二（竹中工務店）
河端秀直（日建設計）
小浦久子（総合設計調査）
鈴木克彦（京都工芸繊維大学）
高田佳子（アートランド）
△田中直人（神戸市開発管理事業団）
平岡博（大阪市計画局）
吉村英祐（大阪大学）
（建築計画系）
江副敏史（日建設計）
△加藤晃規（大阪大学）
北村潤（東畑建築事務所）
嶋田聖二（鴻池組）
庄野利博（安井建築設計事務所）
西川純一（昭和設計）
前川治彦（前川治彦建築研究所）
牧野由美子（大成建設）
三宅淳（大林組）
▲森田晴美（鹿島建設）
山中恵子（山中恵子建築設計室）
山本匡（竹中工務店）
（インテリア・住宅系）
石倉健彦（住宅・都市整備公団）
△加藤力（京都工芸繊維大学）
神谷剛（竹中工務店）
北浦かほる（大阪市立大学）
北山喜与（スペース・プランニング）
駒田哲男（日建設計）

構造分科会

和泉一義（東畑建築事務所）
清孝好（日建設計）
辻岡静雄（大阪大学）
福山国夫（竹中工務店）
△外園隆（大林組）
和田勉（和田建築技術研究所）

設備分科会

安倍浩一（総合設備コンサルタント）
石河信治（大成建設）
石野幸義（新菱冷熱工業）
遠藤進（近畿電気工事）
梶井宏修（近畿大学）
河津隆之（河津隆之事務所）
佐藤秀彦（大阪市都市整備局）
別所清（松下電器産業）
村上幸三郎（東芝電材）

施工材料分科会

大木利文（積水ハウス）
志水史典（大林組）
田添寿昭（大阪府建築部）
△山下仁志（清水建設）
山田敏捷（鹿島建設）
横井征夫（竹中工務店）

法令分科会

△笠井精二（大阪府建築部）
大前博司（大阪市建築指導部）
広瀬丈洋（兵庫県都市住宅部）
南出和延（神戸市建築部）

作品作風小委員会

荒川朱美（京都芸術短期大学）
遠藤公介（竹中工務店）
岡本隆（日建設計）
北澤修一（安井建築設計事務所）
玉﨑良和（大阪府建築部）
○塘伸夫（東畑建築事務所）
林浩二（大林組）
福地一彦（清水建設）
松田善弘（昭和設計）
宮下幹雄（大建設計）
△水川尚彦（住友信託銀行）
宮崎ひろ志（兵庫県都市住宅部）

会員企画小委員会

赤井富弘（近畿地建営繕部）
伊藤郁郎（日建設計）
△今井邦夫（長谷川工務店）
北村恭一（大建設計）
佐伯由紀子（安井建築設計事務所）
柴田厚（日本設計）
○高田光雄（京都大学）
塚口明洋（塚口明洋建築研究室）
堀畑裕一（近畿日本鉄道）
増渕昌利（神戸市）
溝口正人（清水建設）

広告企画小委員会

池渕俊男（タジマ）
佐野寛志（松村組）
○下村甫（竹中工務店）
中川源治朗（清水建設）
原田常介（クリヤマ）
○藤田孝吉（鹿島建設）
山下修司（安井建築設計事務所）
○渡辺忠（東洋シヤッター）

■事業委員会
見学・講演・説明・展示・映画・懇親会若い会員の集いなどの企画および実施

◎西村良平（阪急電鉄）
○島田民彦（竹中工務店）
○鶴田昭一（大林組）

見学会小委員会

○伊東史郎（大林組）
△南次郎（淺沼組）
△南方文也（鹿島建設）
伊藤博（松村組）
井上敬一（竹中工務店）
印藤義博（大阪市都市整備局）
福本功（鴻池組）
福家敬（大阪府建築部）
前野清（藤木工務店）
宮越正明（清水建設）
藪本文彦（大成建設）

広報小委員会

○原見昌志（安井建築設計事務所）
（研修分科会）
△掃部彌（大阪市建設局）
△寺井信夫（竹中工務店）
木場公典（大阪府建築部）
棚橋和夫（錢高組）
谷本敏和（近畿電気工事）
中西稔（ＪＲ西日本大阪工事事務所）
宮内宏
（教室分科会）
△奥村進（東畑建築事務所）
△川村眞次（住宅・都市整備公団）
伊藤武夫（大林組）
酒井重治（野村建設工業）
下村健治（修成建設専門学校）
田村美喜男（旭硝子）
横地勲（関西電力）

若い会員の集い小委員会

○宮野道雄（大阪市立大学）
△黒田智子（四天王寺国際仏教大学）
△龍野豪利（大阪市都市整備局）
△松隈章（竹中工務店）
△松本明（浅井謙建築研究所）
阿部興治（坂倉建築研究所）
生井昌樹（阪急電鉄）
内仲毅（安井建築設計事務所）
小澤朋子（市浦都市開発建築コンサルタンツ）
小田修一（大林組）
大川和彦（大阪府建築部）
大塚慶子（大林組）
大原紀子（アトリエトリフォイル）
国田幸雄（尼崎未来協会）
桜井則雄（大林組）
島隆男（安藤忠雄建築研究所）
鈴木道子（浦辺設計）
田代純（大阪芸術大学）
田中康（大塚造園設計事務所）
田畑重明（坂倉建築研究所）
竹内利明（淺沼組）
手島広行（住宅・都市整備公団）
長友理津子（菅家建築設計室）
藤記真（日建設計）
藤澤繁男（鴻池組）
宮崎良彦（大阪市建設局）
山本淳（清水建設）
横田隆司（大阪大学）
米井寛（東畑建築事務所）
和田英子（大阪ガス住宅設備）

■教育委員会
建築教育についての調査、研究、講座ならびに工高生デザインコンクールなどの企画および実施

◎片倉健雄（近畿大学）

講習会小委員会

○金田宏（大林組）
△尾崎充宏（竹中工務店）
△三木敏男（奥村組）
上田昇（鹿島建設）
大塚穣（清水建設）
高橋憲昭（松村組）
藤井俊彦（大成建設）
吉富拓也（錢高組）

工高生教育小委員会

○中野吉晟（西野田工業高校）
△植松清志（西野田工業高校・定時制）
△和田康由（大阪市立工芸高校）
岡本弘之（安井建築設計事務所）
小山将史（堺市立工業高校）
香西喜八郎（東畑建築事務所）
武田雄二（今宮工業高校・定時制）
出雄隆（都島工業高校）
三宅育男（布施工業高校）
水嶋勇郎（日建設計）

■建材委員会
建材のコンサルタント・新建材の紹介

阿部修（松村組）
有光利治（鹿島建設）
板野昂（錢高組）
猪野達雄（竹中工務店）
岩口勝（大建設計）
小野栄士（大阪府建築部）
岡山信（奥村組）
◎金井弘次（日本建築総合試験所）
亀井明（住宅・都市整備公団）
小西努（大成建設）
○近藤達夫（大日本土木）
末木俊昭（日建設計）
高野道雄（戸田建設）
竹田三夫（鴻池組）
轟泰輔（熊谷組）
中川徹（清水建設）
中原泰（大阪セメント）
西川純一（昭和設計）
長谷川宏（日本建築総合試験所）
広瀬清豪（大林組）
藤野鐵造（藤木工務店）
伯耆紳（安井建築設計事務所）
＊堀内三郎（元・京都大学）
牧田顯治（新井組）
松本章（東畑建築事務所）
○元木貞次（東洋紡エンジニアリング）
保田幸昭（近畿地方建設局）
山田幸一（関西大学）
米川清水（ＮＴＴ関西建築総合センター）
渡辺博（新日本製鐵）

■出版委員会
建築に関する図書の企画・編集・刊行「建築技術選書」特装版および〈プロのノウハウ〉の企画・刊行

市嶋久嗣（大林組）
川道麟太郎（関西大学）
川村佳則（川村建築構造）
鮫島浩（大阪府建築部）
◎須賀好富（近畿大学）
谷川康信（大阪工業技術専門学校）
牧野茂（竹中工務店）
松尾恭治（松村組）
安田孝（摂南大学）
○山田修（大阪市立工芸高校）

■住宅・法規委員会
上記委員会は、昭和63年度は休会。

日本建築協会創立70周年記念出版

◀『住宅近代化への歩みと日本建築協会』発行

日本建築協会では、創立後５年を経過した大正11年９月、日本で初めて現地に実物住宅を建設展示する住宅改造博覧会を現箕面市桜ヶ丘で開催しました。単に実物住宅の展示だけでなく、約15,000坪の敷地に博覧会本館、屋外映画館、飛行塔、テント村などを含む大博覧会として実66日間、延べ７万人に上る観客を集め、大盛況でした。のみならず、25戸の展示住宅のうち、10戸は今なお現地に健在です。昨今では洋風住宅も珍しくないが、現在も良好な住宅地の中で異彩を放っており、住宅近代化に果たした協会の役割の大きさに、今さらながら驚きを禁じえません。

今回、日本建築協会創立70周年記念出版として博覧会前後の社会情勢や住宅近代化への道程、出展作品をはじめ、当時協会が行った設計コンペ入選作の紹介などを集録した資料集を発行しました。

現代住宅の系譜、住宅史の研究、住宅設計の資料としても十分役立つものと信じています。

なお、発行部数 1,000部の限定出版としていますので、下記によりお早めにお申し込み下さい。

大きさ　Ａ４判（モノクロ）、総頁数174頁

定　価　１部 1,500円（送料は本会会員はサービス、会員外は送料300円）

申込方法　郵便振替（振替口座　大阪１－39975）の場合は振替用紙通信欄に「資料集希望」と明記のこと。または、直接ご来会の上お買い求め下さい。

申込み・問合せ先

社団法人　日本建築協会
〒530 大阪市北区梅田１－１－３－2100
大阪駅前第３ビル21階　TEL 06（348）0635





「住宅改造博覧会」の会場模型

日本建築協会創立70周年記念出版

◀住まいの絵本「なっちゃんのたんじょうび」の発行



●体裁
Ａ４判 32頁 カラー印刷
●定価
一般600円 会員特価500円
●送料
１部250円 ２部300円
３部以上実費
●申込先
社団法人 日本建築協会
〒530 大阪市北区梅田
1－1－3－2100
（大阪駅前第3ビル・21階）
TEL.06－348－0635

このたび、日本建築協会の創立70周年記念事業ならびに大阪市のＨＯＰＥ計画（21世紀都市居住イベント構想）の一環として「住まいの絵本」を発行しました。

この絵本は、次代を担うこどもたちの住まいへの関心を高め、豊かで美しいまちづくりを支える住居観、住意識を育てるため、都市居住の魅力をテーマに、一少女の誕生日の一日を描いて、表したものです。

作家は東京在住のイラストレーターで、テレビコマーシャル「イエイエ」「ワンサカ娘」などのヒット作品をつくられた川村みづえさんです。

都会的センスがあふれる素晴らしい絵本ですので、奮ってお申込み下さい。

なお、大阪駅前紀伊国屋および旭屋書店においても販売しております。

◀会員の受賞

去る２月29日、下記会員は、ステンドグラス作家としての功績によって大阪府知事より表彰を受けられました。

ここに誌して、その栄誉をお慶び申し上げます。

記

大阪府工芸功労者表彰

羽　渕　恭　夫氏（ベニス工房社長）

◀プラス・ワン運動にご協力を

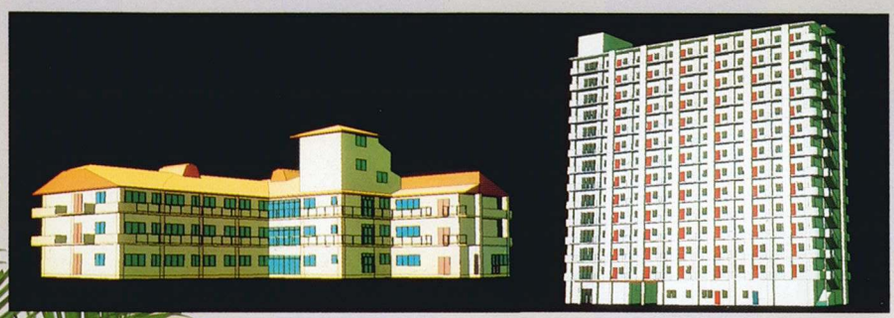
日本建築協会では、昨年創立70周年を迎えましたが、これを機に団体会員の増加、増口に努めた結果、所期の目標をほぼ達成しました。本年は個人会員の増加を図ることとなりました。２月末現在の個人正会員数は 2,580名ですが、会員１人が１人の新会員を獲得すれば、倍増します。皆さんも同僚、後輩、友知人に働きかけて、プラス・ワンキャンペーンにご協力をお願いします。東海支部、中国支部所属地域の新会員は支部を通じて入会手続きをして下さい。入会申込書ご入用の方は事務局へご一報下さればお送りします。

快適環境・クリエイティブ設計。CADの革新を図る〈GDS〉。

〈GDSファミリー〉は、快適な作業環境と効率的・創造的な設計を実現するシステム。ニーズに対応してフレキシブルに成長し、つねにCADの新しい可能性をひらきます。

BEST SYSTEM FOR USERS

- 対話形式の優れた操作性と高速レスポンス。
- 最先端のハードとソフトの結合による豊富で強力な機能。
- コンパクトで多目的に利用できる合理的データベース。
- 各種インターフェースによるデータの自由な拡張と、あらゆるニーズに応える総合的データ・マネジメント。
- 2次元から3次元まで一貫した作業が可能な創造的設計環境。
- あらゆる専門分野のニーズに的確に対応する多彩な専門アプリケーション群。
- たゆまぬ技術革新によるシステムのグレードアップ。
- ユーザー本位の新しい設計手法を開発・提案するサポート体制。
- システム運用の形態・方式・経済性などの徹底的検討によるトータル・ソリューション。





FROM USER

大日本土木株式会社(大阪・東京)

昭和61年3月に大阪、62年5月に東京に、設計の品質向上と顧客へのプレゼンテーションを目的にGDS・SVSを導入、現在、計6ワークステーションが稼動。導入に際しては機能、操作性、将来性を比較検討のうえGDS、SVSに決定した。

当社独自の日本語メニューやプログラムを作成したため、ほとんどの設計者がメニューを見ただけで手軽に操作できる。そして、企画図面やパースなどが短時間で作成でき、カラーシミュレーションも簡単にできるため、設計ツールとしての評価は高い。特に、GDSを利用して独自に開発した施工図作成システムは、躯体図やタイル割付図が簡単に迅速に描けるため、現場技術者から好評で利用率100%。

今後は土木方面への利用を考えているが、GDSの新機能の追加、SVSの点光源処理機能やテクスチャーマッピング機能などの追加を期待している。



建築と技術と人を結ぶ
ARC
yamagiwa

エイ・アール・シー・ヤマギワ株式会社 当社の提供する建築・土木用CADシステム〈GDSファミリー〉は、世界で飛躍的な普及をしています。その実働数は現在、世界で726システム(2536W S)、日本で42システム(170W S)

本　社/〒151 東京都渋谷区千駄ヶ谷1-7-16 TEL(03)405-7811　大阪営業所/〒542 大阪市南区南船場4-4-3 御堂筋アーバンライフビル9F TEL(06)245-7811

1917創刊
1988
69集
建築と社会 © ARCHITECTURE AND SOCIETY
CONTENTS
JOURNAL OF THE ARCHITECTURAL ASSOCIATION OF JAPAN

「建築と社会」6月号表紙
■作品名「太陽神戸銀行神戸本部ビル」■作者　安井建築設計事務所■使用ハードウエア　DEC MICRO VAX-II、SONY/TEKTRONIX 4125J ■使用ソフトウエア　SVS
■太陽神戸銀行神戸本部ビルは三宮の南西側に位置し、外国人居留地跡の一画にある。シーケンスパースは、建物の見え方やボリュウム検討などによく用いられる手法である。今回は海側の 500m上空よりアイレベルまで 100mごとに視点を移動させ、通常では見ることのできない建物を表現してみた。後半のクローズ・アップ部分では対象とする本部ビルのみ陰線処理を施している。

6 通巻795

会告

作品作風

Gallery
スチッチブック
作品作風
レポート
レポート
法令コーナー
私が読んだ本
新建材紹介コーナー
GBRCニュース
建築の眼

特集
作品

本文 1
2
3
4
5

設備の頁161
施工材料の頁160
Information

会員の声
月報
ニュース

バックナンバー目次

■特集予告
7月号／21世紀への照明
8月号／制振
9月号／超高層住宅(仮称)
10月号／共同住宅のリフレッシュ(仮称)
11月号／第35回青年技術者

会　長　佐野正一
副会長　足立　孝・市川　宏
松村雄二・薬袋公明
編集委員会（昭和63年度）
■編集理事
金井　弘次
金多　潔
小島　雄
須賀　好富
高木　登
竹中　錬一
長谷部朝郎
松村　慶三
若山　繁
渡辺　恵
■編集顧問
東　孝光
■編集委員長
長谷部朝郎
代任上田　信也
■編集委員
★計画系分科会
☆計画系
角島　健二
河端　秀直
小浦　久子
鈴木　克彦
高田　佳子
○田中　直人
平岡　博
吉村　英祐
☆建築計画系
江副　敏史
○加藤　晃規
北村　潤
鳴田　聖二
生野　利博
西川　純一
前川　治彦
牧野由美子
三宅　淳
＊森田　晴美
山中　恵子
山本　匡
☆インテリア・住宅系
石倉　健彦
○加藤　力
神谷　剛
北山　喜与
駒田　哲男
★構造分科会
和泉　一義
清　孝好
辻岡　静雄
福山　国夫
○外園　隆
和田　勉
★設備分科会
安倍　浩一
石河　信治
石野　幸義
遠藤　進
梶井　宏修
河津　隆之
佐藤　秀彦
別所　清
村上幸三郎
★施工材料分科会
大木　利文
志水　史典
田添　寿昭
○山下　仁志
山田　敏捷
横井　征夫
★法令分科会
大前　博司
○笠井　精二
広瀬　丈洋
南出　和延
■作品作風小委員会
荒川　朱美
遠藤　公介
岡本　隆
北澤　修一
玉崎　良和
○塘　伸夫
林　浩二
福地　一彦
松田　善弘
宮下　幹雄
＊水川　尚彦
宮崎ひろ志
■会員企画小委員会
赤井　富弘
伊藤　郁郎
＊今井　邦夫
北村　恭一
佐伯由紀子
柴田　厚
○高田　光雄
塚口　明洋
堀畑　裕一
増渕　昌利
溝口　正人
■広告企画小委員会
池渕　俊男
佐野　寛志
○下村　甫
中川源治朗
原田　常介
○藤田　孝吉
山下　修司
○渡辺　恵
○印　副委員長と幹事
＊印　同代行

印　刷　昭和63年 6月20日
発　行　昭和63年 6月25日
発行人　社団法人日本建築協会
発行所　社団法人日本建築協会
大阪市北区梅田1-1-3-2100
電　06—348—0635
振替口座 大阪1-39975
印刷所　日本写植印刷株式会社
電　06—606—1111(代)
大信印刷株式会社
電　06—451—7631
青葉印刷株式会社
電　06—351—5428(代)
定　価　950円（送料共）

特集●中国地方の展望とひろしまの街なみ

SPECIAL FEATURE ON THE VIEW OF CHUGOKU AREA & TOWN SCAPE OF HIROSHIMA

話題建築を聞く（第2回）りりぱっとはうす—遠藤剛生氏に聞く—．プリズムホール（八尾市文化会館）の見学会．JIA市民大学夏期講座〈都市の希望学〉．昭和63年度日本建築協会役員会務分掌・評議員・支部長・常設委員会委員．「住宅近代化への歩みと日本建築協会」発行．住まいの絵本「なっちゃんのたんじょうび」発行．会員の受賞．プラス・ワン運動にご協力を． 1
ジェルベ本社ビル　設計：安井建築設計室　施工：竹中工務店神戸支店 8
神戸市総合運動公園野球場　設計監理：神戸市住宅局営繕部・昭和設計、神戸市土木局公園緑地部・日建設計　施工：清水建設大阪支店・熊谷組大阪支店 12
鳥取厚生年金会館　設計監理：大建設計　建築：大林・熊谷建設工事共同企業体 16
長良川ホテル新館　設計監理：彦谷建築設計事務所　施工：大日本土木 18
PARTY ASHIYA（橋本修英） 20
最近竣工した新建築18点（No2107～2124） 22
ROGETSU BILD.　設計：安井建築設計室　施工：大林組 24
山陰の商都・米子よりのレポート／益尾辰雄 25
大正「住宅改造博覧会」の夢展—箕面・桜ヶ丘をめぐって—報告記／石川康介 27
「大阪市総合設計許可取扱要綱」の改正(2)／増田靖生 29
マンフォードとの出会い—「都市と文化」とその後／高田昇 31
「ハイドロサーム」／阿部修 33
最近の骨材の品質について 34
まちづくりの三種の神器／川崎清．混在と純化／原田明治 36
建築ヲワカクスル也／出江寛．こんなものいらない／松谷輝雄

中国地方の展望とひろしまの街なみ

橋の博物館・橋の広場　設計監理：上田篤アトリエ＋東畑建築事務所・世界都市研究会　施工：フジタ工業（橋の博物館）五洋建設・藤原組共同企業体（橋の広場） 38
広島県情報プラザ　設計監理：広島県土木建築部都市局営繕課・佐藤武夫設計事務所　施工：フジタ工業・鹿島建設・錦建設共同企業体 42
広島市中区スポーツセンター　設計監理：教育施設研究所広島事務所　施工：大本組・堀田建設・湯川組・門出工務店建設工事共同企業体 44
ふくやま美術館　設計：佐藤武夫設計事務所　施工：熊谷組・青木建設・大宗建設共同企業体 46
広島工業大学鶴記念体育館　設計監理：河内義就設計事務所　施工：フジタ工業 48
中小企業大学校広島校　設計監理：広島県設計連合　施工：竹中・砂原・下岸・日興・上野谷建設工事共同企業体 50
中国電力ビル本館　設計監理：中電技術コンサルタント　施工：鹿島建設・大林組・フジタ工業・奥村組共同企業体 52
広島相互銀行本店　設計監理：日建設計　施工：竹中工務店・フジタ工業共同企業体 54
広島銀行宇品保管センター　設計監理：河内義就設計事務所　施工：増岡組 56
広島ターミナルホテル　設計：日本国有鉄道下関工事事務所・日本国有鉄道東京建築工事局・鉄道会館設計事務所　監理：日本国有鉄道下関工事事務所・鉄道会館設計事務所　施工：大林組・フジタ工業共同企業体 58
中川病院　設計施工：大之木建設 60
広島県立歴史博物館　設計監理：広島県土木建築部都市局営繕課・佐藤武夫設計事務所　施工：熊谷組・青木建設・鈴木工務店共同企業体 62
呉市文化ホール　設計：日建設計　監理：呉市建設局建築課・日建設計　施工：清水建設・増岡組・大之木建設共同企業体 63
広島市西区民文化センター　設計監理：広島市都市整備公社・安井建築設計事務所　施工：大成・五洋・鴻治・西本共同企業体 64
リバーフロント日興—設計：KA-MI建築設計事務所　監理：広島県住宅供給公社　施工：日興 65
中国地方の優秀建築賞受賞作品 66
座談会・ひろしまの街なみ　出席者：佐藤重夫／山崎芳樹／荒木英昭　司会者：平本俊秋 68
アンケート・中国地方に所縁のある方々より、特集に寄せて　栄久庵憲司／佐古一／佐々木久子／森下洋子／室山貴義 74
広島建築ガイドマップ 75
中国地方のプロジェクト紹介—広島西部丘陵都市／段原再開発事業／宇品地区再開発／広島西部商業街区ビル／新広島空港／アジア競技大会広島大会／海と島の博覧会・ひろしま／山陽自動車道／祇園新道／広島新交通システム計画／呉フェニックス計画／リバーフロント住宅／本州四国連絡橋瀬戸大橋／瀬戸大橋博'88岡山／瀬戸大橋博'88四国／吉備高原都市／鳥取新都市／マリンテクノひびき灘構想／山口テクノパークほか25点 79
中国地方のニュース—広島市の公的住宅（富士田亮子）／広島湾の淡水化計画／宮島の借景か，対岸の借景（眺望）か 92

GHPの商品化／高田幸雄 96
制振鋼板の特性と建築材料としての適用／田中俊光 98
出江寛建築セミナー．UIA国際デザインコンペ．宮本隆司写真展．学生のための膜構造デザインコンペ．「高規格住宅PART2」発刊のお知らせ． 103
「おおさか女の住まい考」発足．新しい革袋に新しい酒を！ 104
日本建築協会月間の動き（昭和63年4月分） 105
第13回吉田五十八賞決まる—建築の部は安藤忠雄氏に—．「大阪市ハウジングデザイン賞」の推薦募集．第8回大阪都市景観建築賞． 106
「建築と社会」大正8年2月～大正9年5月まで 107

ジェルベ本社ビル

設　　計　安井建築設計室
施　　工　竹中工務店神戸支店



エントランス


ショーウインド

神戸ポートアイランドの中のファッション街区に建つ、ワールドグループの独立した子会社株式会社ジェルベ本社ビルは、埋立地としての特殊地域に立地し、はじめて地下３階（駐車場）を試みたモデルビルである。

ファッション産業に携わるこの本社ビルは、機能と将来への対応を踏まえた上でファッションビルのイメージを十分捉えている。

モチーフとしては、卵からの誕生を意図し、１階外周ヨーヘキを、エッグ（ＥＧＧ）形に平面に配し、庭園との融合をはかっている。

また、ロビー受付のエレベータホールから誘導する視覚は、すべてエッグを提案している。



さらに、敷地の立地条件及びオーナーのニーズを最大限に生かすため総合設計制度を採用し、斜線緩和、容積率の割増および１Ｆ外周に於ける緑地スペースの確保につとめた。

外装及び内装はオーナーの会社カラーであるブルーとホワイトを基調として統一した。

（安井忠生／安井建築設計室）

所 在 地　神戸市中央区港島中町6丁目ファッション街区内
敷地面積　1,653.66㎡
建築面積　893.32㎡
延床面積　9,366.56㎡
構造規模　SC、B3、13F
工　　期　昭和61年３月～昭和64年２月
最 寄 駅　ポートライナー中央公園駅

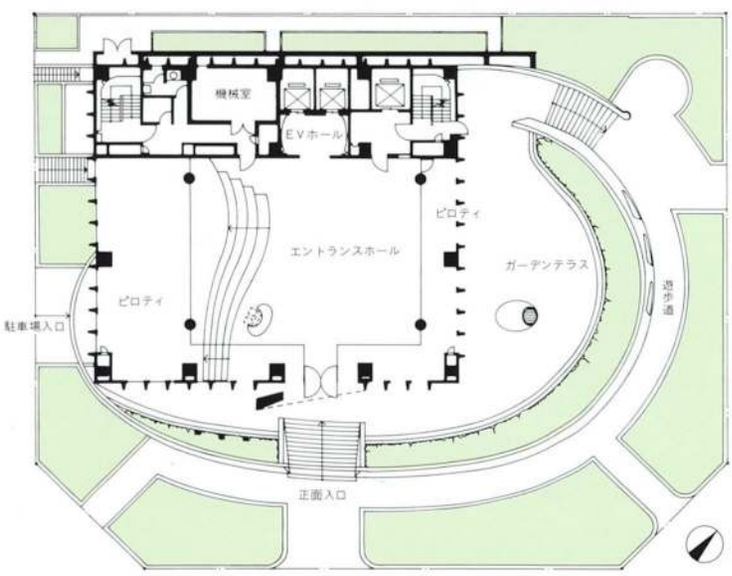
撮　　影　庄野　啓



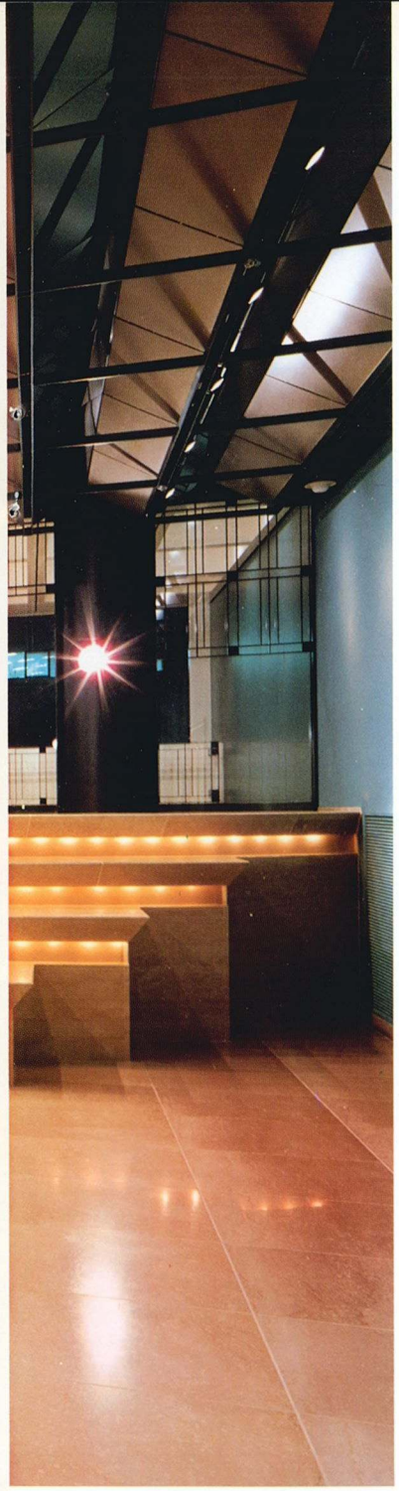
ロビー



エレベーターホール



1階平面図　1：500





ピロティよりガーデンテラスを望む



食　堂

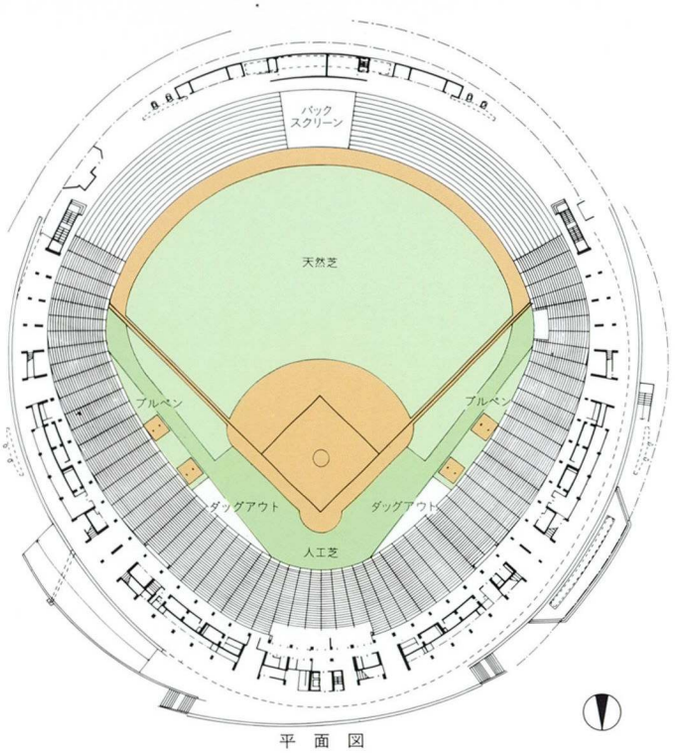


応接室

神戸総合運動公園野球場

—— グリーンスタジアム神戸 ——

設計監理　神戸市住宅局営繕部・昭和設計
　　神戸市土木局公園緑地部・日建設計
施　　工　清水建設大阪支店
　　熊谷組大阪支店



平　面　図





内野席



全　景

所 在 地　神戸市須磨区緑台
敷地面積　550,000.00㎡(公園全体)
建築面積　12,749.63㎡
延床面積　18,986.52㎡
構造規模　RC(一部S)、B1、4F
工　　期　昭和61年3月～昭和63年2月
最 寄 駅　神戸市営地下鉄総合運動公園駅

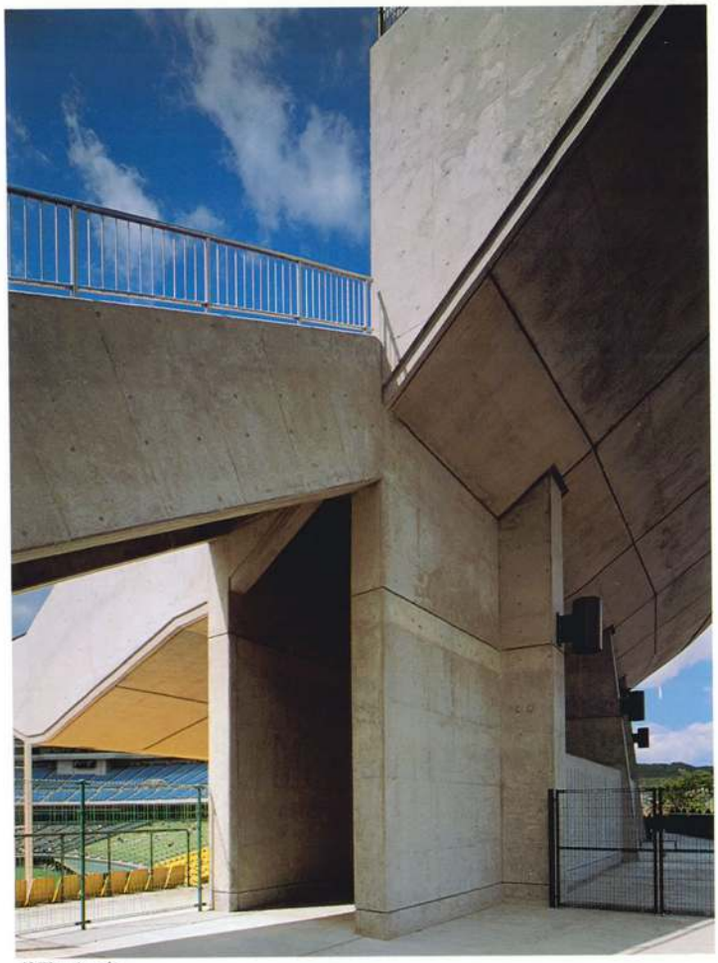
撮　　影　島　修一　SS大阪



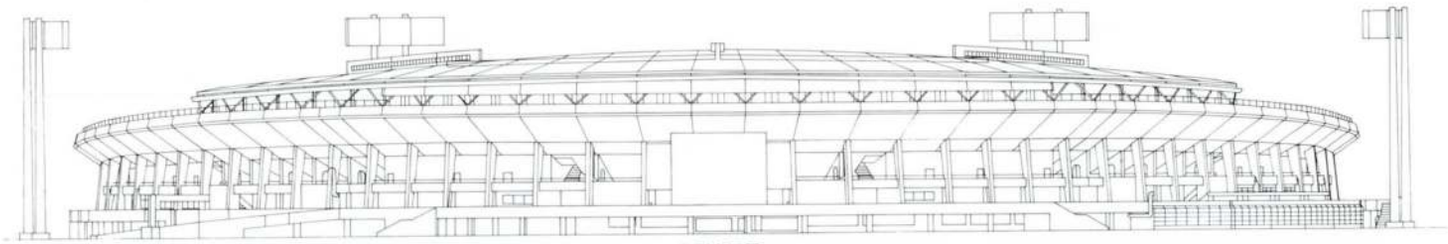
外野席



内野席通路



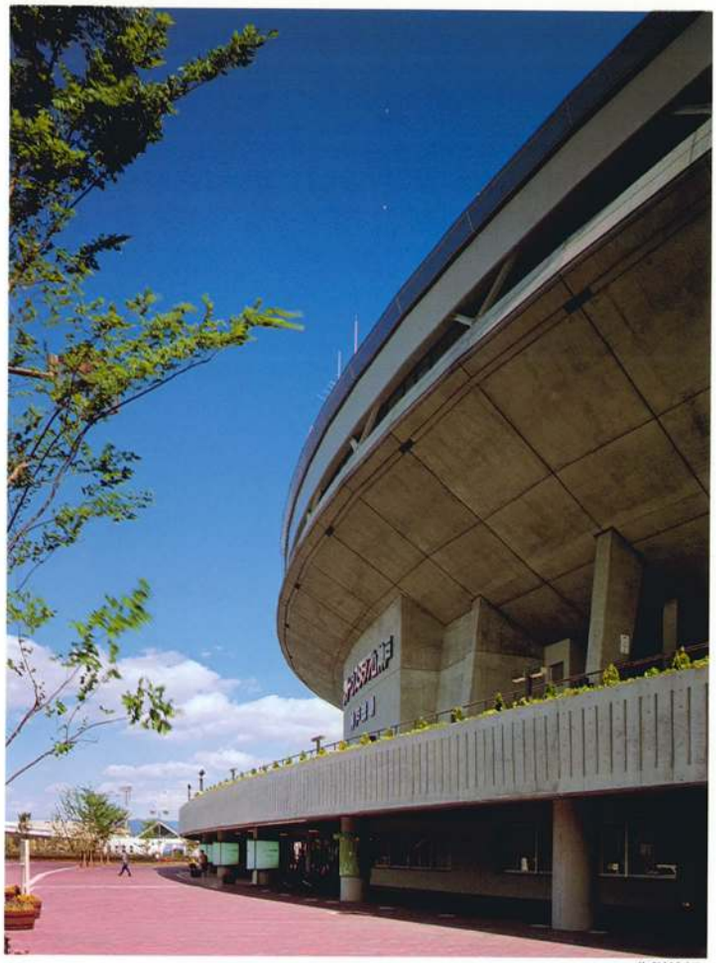
外野スタンド



北側立面図



東側外観(夜景)



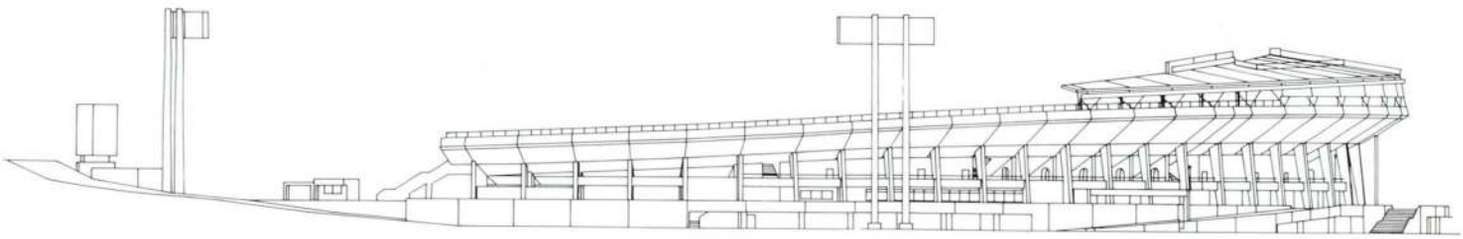
北側外観



レストラン



ロッカールーム



東側立面図

神戸総合運動公園は日常的利用と、国際的な公式競技利用の調和という理念のもとに建設されています。

野球場はユニバーシアード神戸大会が開かれた陸上競技場と合わせて同公園の双子のシンボル施設として設計しています。

「国際スポーツ都市神戸」にふさわしい施設規模をと、両翼99.1m、センター122mの大リーグ球場なみのグランドとし、収容人員は35,000名です。

ナイター照明設備はもちろん、スコアボードは電光掲示板方式とし、一塁側スタンド下には室内練習場も整備しています。

運動公園全体が丘陵地である地形を生かして、グランド面は1階レベルより約5m掘り下げ、内野部分を建築構造物、外野部分を土木構造物とすることにより全体工費の低減を図っています。

1階は関係者諸室を配置しており、動線分離という意味からも一般観客はまず広い2階のオープンデッキに導き、分散配置された各ゲートへとサイン誘導を行っています。

球場の内野観覧席は2階建としていますが1、2



階観覧席へのアプローチの起点もこの2階オープンデッキとなっています。このため2階デッキはサービス動線としても考慮しており、パッカー車(ゴミ収集車)等も外部からの進入及び通行が可能としています。

観客サービスとして、イスは内野席を全て背もたれつき、間隔もゆったり目に配置しています。

また食事を楽しみながら観戦できるよう2階内野席最上部にスカイレストラン(約170席)を設けています。

その他施設のハード面については報道・野球関係者等による野球場建設懇談会を開催し関係者各位の貴重なご意見をもとに建設しました。

(神戸市住宅局営繕部)

健康文化センター　鳥取厚生年金会館

設計監理　大建設計
建　　築　大林・熊谷建設工事共同企業体
電気設備　浅海電気・山口電業建設工事共同企業体
管 工 事　三冷・鳥取ガス建設工事共同企業体







主な協力会社（社名50音順）

アルミ創作パネル工事　奥村重兵衛
カーペット・壁装工事　川島織物
ステンレス製建具工事　紅雲製作所広島
アルミ建具工事　住友ウォールシステム
造作木工事・エースライト工事　内外木材工業
スライディング・ウォール工事　ニチベイ

鳥取市は古くから城のあった鳥取駅北側が開発され発展してきたが、鉄道の高架化を契機として駅南側の開発が進み、新たな都心を形成し始めている。

鳥取厚生年金会館はこの駅南地区にあって、しかも、鳥取駅より200ｍという極めて便利な場所に位置している。

文化・教養・健康のための場として建設され、主要施設として客室（５・４階）、結婚式場（３階）、集・宴会場（２階）、ロビー・レストラン（１階）、アスレチックルーム（地下１階）等を備えている。

この様に会館は複合的多機能を有する建物であるが、ゲストの多様化した要求に対応するためにはアイデンティティがありゲストの心に残る建物、すなわち、印象的な建物とすることが重要である。

そのため内装は各施設の用途・種類に応じて基本イメージを構成し、これに基づいてイメージカラーを定めてスペースの個性化を図っている。また、照明は間接照明を中心として光と色の演出を行ない、これにシャンデリア、光り天井を加えてその効果を高めている。

さらに、これらの人工的な要素に対比して、中庭を有効に配置して緑と自然光を楽しめるように計画している。

外観はペディメント、フルーティング(たて溝)のある黒みかげ石の丸柱、ピラミッド状のトップライト等の印象的な要素を盛り込み、全体を落ち着きのあるシルバーグレーのラスタータイルでまとめている。

その結果、この会館がゲスト達の印象に残り、かわいがられて駅南地区の核となり、さらに、鳥取市の顔となることを願うものである。

（高山司郎／大建設計設計部）

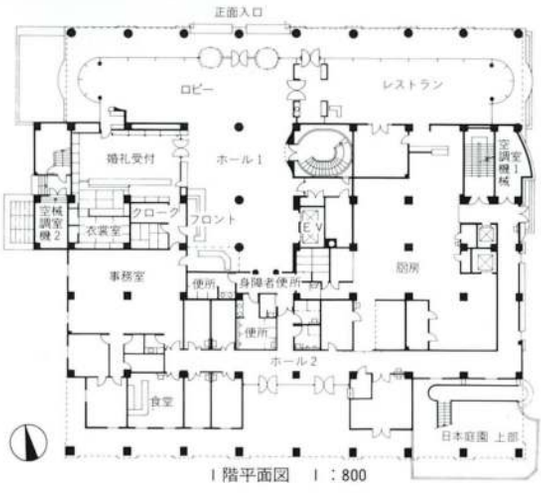


２階宴会場



１階ロビー





１階平面図　１：800

所在地　鳥取市扇町176
敷地面積　3,641.09㎡
建築面積　2,143.90㎡
延べ面積　6,889.44㎡
構造規模　SRC、RC、B1、5F、P1
工期　昭和61年９月～昭和63年２月
最寄駅　JR山陰本線鳥取駅
撮影　SS大阪
施設概要　客室38室、結婚式場・写真室、集・宴会場（大・中・和室）、レストラン、アスレチックルーム



南面外観

長良川ホテル新館

設計監理　彦谷建築設計事務所
施　　工　大日本土木

所 在 地　岐阜市長良志段見字東山537他
敷地面積　13,706.13㎡
建築面積　 3,761.92㎡
延床面積　10,239.33㎡
構造規模　南棟SRC、北棟RC(1部S)、8F、PI
工　　期　昭和61年10月～昭和63年1月
最 寄 駅　JR東海道線岐阜駅

この建物は市制 100年を記念する「岐阜中部未来博覧会」開催に先駆けて建てられた。長良川ホテル新館は、近鉄都ホテルチェーンの一つで、昭和53年に建設された和風別館皆藍亭に隣接して計画された。敷地は旅館の建ち並ぶエリアから離れた奥座敷といったところで、周辺の環境には申し分ない。長良川の上流で、山の中腹にある台地と別館皆藍亭の互いにレベルの異なった地形を生かした建物の構成に留意した。

700人収容できる洋風宴会場、110畳の和風宴会場、大小合わせて6つの宴会場、レストラン、バー、展望浴場、日本間を主とした客室がある。地元を対象にしたコンベンションホテルと高級旅館を合わせもつコンセプトである。ホテルの機能はもとより、ゆとりと広がりを感じさせ、周囲の環境と調和のとれた優雅で清楚な建物に仕上げた。

（彦谷邦一）



撮　　影　村瀬武男

ロビーラウンジ



6Ｆ大宴会場



1Ｆロビー



6Ｆ宴会場用ロビー



4Ｆレストラン／ステーキコーナー



1Ｆロビー

Gallery

まち・建築・ひと



ヨーロッパでは町の中に様々な広場があります。たとえば、映画「ローマの休日」でも舞台になったスペイン広場や、ベニスのサン・マルコ広場。これらは世界的にも有名な観光の名所ですが、その他にも名もない小広場が町の中に点在し、人々の憩いの場になっています。広場は建物や樹木によってうまく囲まれ、屋外でありながらも一種のインテリアスペースのような感じがするため、人々は落ち着いて話をしたり、買物をしたり、お茶を飲んだりすることができます。

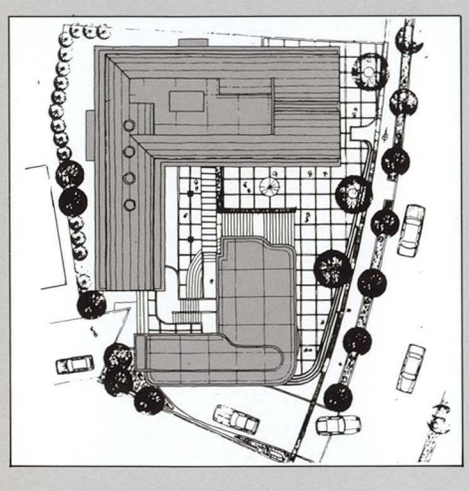
パルティ芦屋を設計するにあたってはじめに考えたことは、ヨーロッパの小広場のような、人々が自然に集まりたくなるような憩いの空間を創りたいということでした。

この建物では二つの広場が用意されています。街路一杯に開らかれた欅と建物とに囲まれた一階の広場と、そこから緩やかな階段で結ばれた二階の広場です。廻りを取り囲む店舗は広場と一体になることで、より魅力的なものになると考えます。二階の広場は西側の住宅街の道に接しており、将来つながることを想定しています。

晴れた日には、広場にテーブルを出して、太陽の下でお茶を飲む——。そんな気分でこの建物を使ってほしいと思っています。

（橋本修英）







PALTY ASHIYA

施	主	ハラノ不動産
設	計	橋本住宅設計室　橋本修英
施	工	鴻池組
所在地		芦屋市大原町28-1
敷地面積		1,051.88㎡
建築面積		629.36㎡
延床面積		2,436.52㎡
規	模	地下1階、地上4階
構	造	鉄筋コンクリート造
工	期	1986年3月～1986年12月



橋本修英

1946年　神戸市生まれ

1968年　武蔵野美術大学卒業

竹中工務店大阪本店設計部を経て

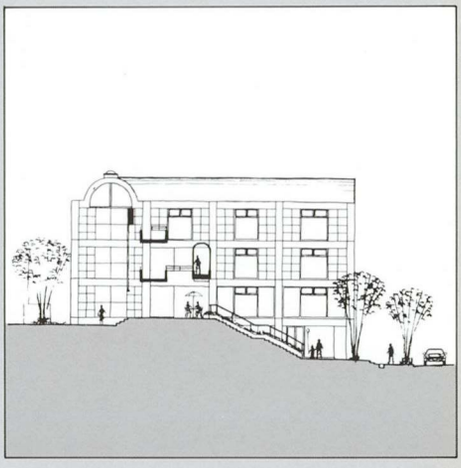
1981年　橋本住宅設計室設立

1987年　ハウステック設立

現在に至る

企画編集　作品作風小委員会　　中山　隆

撮　影　アリス・フォト





2107 東海銀行第一生命ビルディング

設　計：竹中工務店
施　工：竹中工務店
a．名古屋市中区錦３－４－６
b．　2,456.52㎡
c．　2,025.69㎡
d．24,758.40㎡
e．ＳＲＣ、Ｂ3、12F、Ｐ1
f．昭和60年10月～昭和62年７月
g．ＪＲ東海名古屋駅・市営地下鉄栄駅



2108 岐阜ファミリーパークセンターゾーン体育館

設　計：岐阜市建築課・都市緑化基金、桂建築設計事務所
施　工：大日本土木
a．岐阜市北野北地内
b．588,797.88㎡
c．　2,332.94㎡
d．　2,926.27㎡
e．RC、一部S、２F
f．昭和61年６月～昭和62年７月
g．近鉄岐阜駅



2109 ベルシェ松戸Ｉエドケン

設　計：アステック
施　工：早野組東京支店
a．千葉県松戸市上本郷字北台2208－１
b．　419.66㎡
c．　238.605㎡
d．1,217.915㎡
e．RC、７F、Ｐ1
f．昭和61年１月～昭和62年９月
g．千代田線北松戸駅



2110 西神センタービル

設　計：神戸市開発管理事業団・東畑建築事務所
施　工：鹿島建設
a．神戸市西区糀台５
b．　6,076㎡
c．　3,191㎡
d．10,998㎡
e．SRC、Ｂ1、７F、Ｐ2
f．昭和61年10月～昭和62年11月
g．西神中央線西神中央駅



2111 福徳相互銀行伊丹支店

設　計：泉沢建築設計事務所
施　工：三井建設
a．伊丹市船原町２－76
b．202.04㎡
c．161.36㎡
d．427.65㎡
e．Ｓ、３Ｆ
f．昭和62年９月～昭和62年12月
g．阪急電車伊丹駅



2112 富山事務所

設　計：泉沢建築設計事務所
施　工：八雲工務店
a．京都市左京区上高野掃部林 1－13.1－14
b．722.51㎡
c．184.61㎡
d．305.39㎡
e．木造２F、１部S
f．昭和62年５月～昭和62年12月
g．叡山電鉄修学院離宮前



2113 福徳相互銀行立花支店

設　計：泉沢建築設計事務所
施　工：不二建設
a．尼崎市七松町１－６－11
b．151.42㎡
c．130.88㎡
d．261.76㎡
e．Ｓ、２F
f．昭和62年８月～昭和62年12月
g．ＪＲ立花駅



2114 米澤ビル

設　計：三信建築設計事務所
施　工：ユニチカ
a．大阪市北区末広町19－４
b．　392.90㎡
c．　297.61㎡
d．2,398.50㎡
e．SRC、９F、Ｐ1
f．昭和62年４月～昭和63年２月
g．大阪地下鉄扇町・南森町駅



2115 新岡山空港旅客ターミナルビル

設　計：日本空港コンサルタンツ
施　工：大成建設広島支店
a．岡山市日応寺地内
b．81,713.0㎡
c．　3,267.1㎡
d．　6,675.9㎡
e．RC、３F
f．昭和62年２月～昭和63年２月
g．ＪＲ山陽本線岡山駅



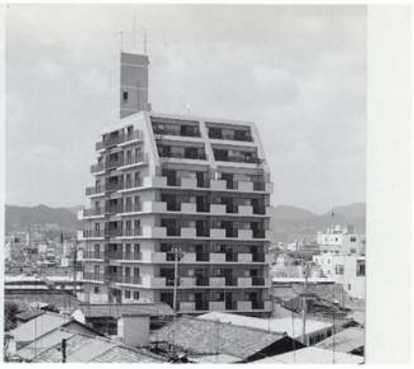
2116 別府市南部振興開発ビル

設　計：ＲＩＡ建築綜合研究所
施　工：鹿島建設九州支店
ａ．大分県別府市千代町１－８－18
ｂ．3,290.02㎡
ｃ．1,964.24㎡
ｄ．10,384.86㎡
ｅ．ＲＣ
ｆ．昭和61年４月～昭和62年６月
ｇ．ＪＲ日豊本線別府駅



2117 十八銀行平和町別館

設　計：日建設計大阪本社
施　工：鹿島建設・松尾建設ＪＶ
ａ．長崎市平和町25－９
ｂ．1,409.23㎡
ｃ．668.36㎡
ｄ．2,782.03㎡
ｅ．ＲＣ、一部ＳＲＣ、Ｂ2、2Ｆ
ｆ．昭和61年５月～昭和62年６月
ｇ．ＪＲ長崎本線浦上駅



2118 朝日プラザ長田南

設　計：ＡＡＡ総合設計
施　工：大末建設
ａ．神戸市長田区庄田町３－５－22、23
ｂ．430.817㎡
ｃ．286.393㎡
ｄ．2,153.507㎡
ｅ．ＳＲＣ、10Ｆ
ｆ．昭和61年６月～昭和62年７月
ｇ．ＪＲ新長田駅



2119 朝日プラザ豊中旭丘弐番館

設　計：ＡＡＡ総合設計
施　工：鉄建建設大阪支店
ａ．大阪府豊中市旭丘87
ｂ．1,693.144㎡
ｃ．991.545㎡
ｄ．3,349.666㎡
ｅ．ＲＣ、Ｂ1、５Ｆ
ｆ．昭和61年９月～昭和62年９月
ｇ．阪急宝塚線豊中駅



2120 兵庫県浜坂警察署

設　計：兵庫県都市住宅部営繕課
施　工：株本建設工業、オザキ住建
ａ．兵庫県美方郡浜坂町戸田字寺田37
ｂ．4,123.00㎡
ｃ．988.88㎡
ｄ．2,141.85㎡
ｅ．ＲＣ、４Ｆ
ｆ．昭和61年10月～昭和62年10月
ｇ．ＪＲ山陰本線はまさか駅



2121 たんば田園交響ホール

設　計：兵庫県都市住宅部営繕課・設備課
施　工：東洋・柄谷ＪＶ
ａ．兵庫県多紀郡篠山町北新町
ｂ．6,918.00㎡
ｃ．2,355.41㎡
ｄ．2,956.21㎡
ｅ．ＲＣ、２Ｆ、（１部３Ｆ）
ｆ．昭和62年２月～昭和63年３月
ｇ．ＪＲ福知山線篠山口



2122 沖縄県民会館（会議棟）

設　計：大谷研究室、国建ＪＶ
施　工：金正建設・丸満工務店ＪＶ
ａ．沖縄県宜野湾市字真志喜809
ｂ．55,553㎡
ｃ．2,394㎡
ｄ．2,366㎡
ｅ．ＲＣ
ｆ．昭和60年３月～昭和62年８月
ｇ．各社名護又は石川線真志喜バス停



2123 沖縄県南部保健所

設　計：二基建築設計室
施　工：金城キク開発・第一建設ＪＶ
ａ．南風原町字宮平460
ｂ．5,044.13㎡
ｃ．1,716.11㎡
ｄ．2,397.71㎡
ｅ．ＲＣ、Ｂ1、２Ｆ
ｆ．昭和62年６月～昭和62年12月
ｇ．泡瀬東線宮城入口バス停



2124 沖縄県立芸術大学美術棟

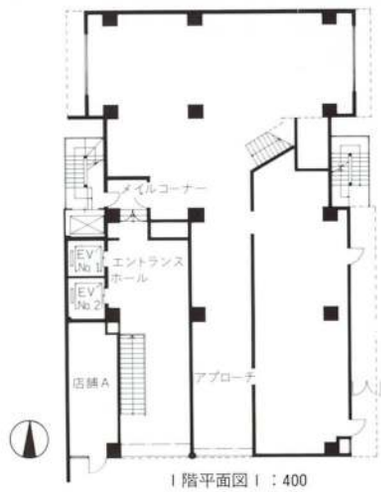
設　計：沖縄県建築設計監理協同組合
施　工：国吉組・南海建設ＪＶ
ａ．沖縄県那覇市首里当蔵町２－２
ｂ．16,519.00㎡
ｃ．1,667.80㎡
ｄ．3,417.42㎡
ｅ．ＲＣ、Ｂ1、３Ｆ
ｆ．昭和62年７月～昭和63年２月
ｇ．那覇交通石嶺線当蔵バス停



ROGETSU. BILD.

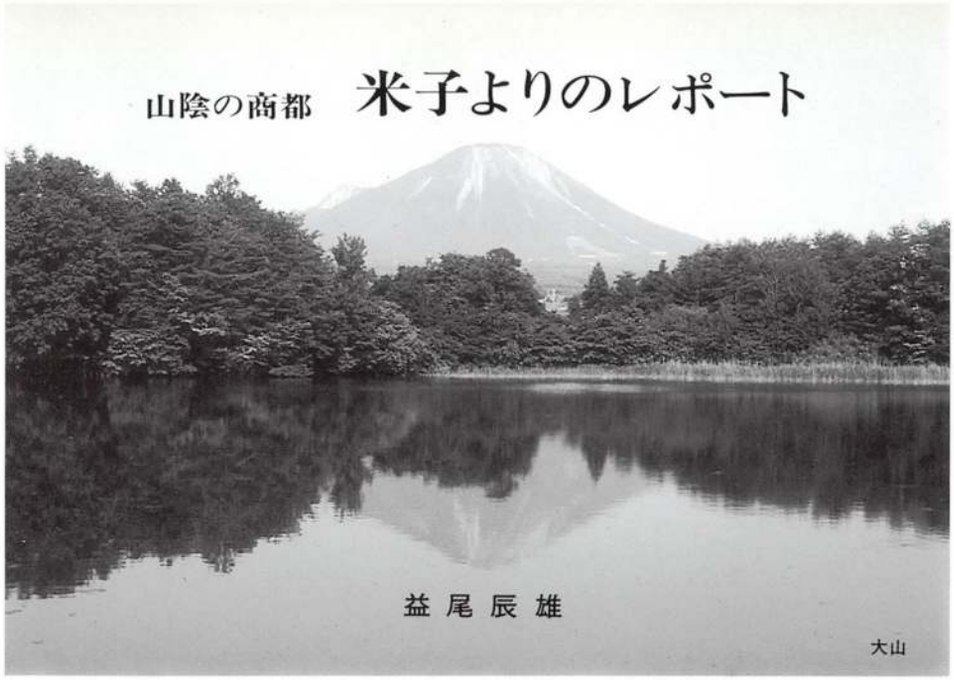
設　　計　安井建築設計室
施　　工　大林組

所 在 地　大阪市北区曽根崎新地1－24
敷地面積　468.75㎡
建築面積　351.15㎡
延床面積　2,672.41㎡
構造規模　SRC、B1、8F
工　　期　昭和61年9月～昭和62年8月
最 寄 駅　JR大阪駅
撮　　影　島　修一



1階平面図 1：400

山陰の商都　米子よりのレポート



益尾辰雄

大山

米子を出立して

私は総勢約130名の益尾一族の中の、角益尾と呼ぶ分家の一人息子に生まれた。本家は江戸時代の中期から油屋を営んでいたという記録がある。祖母は長女であり、本家の相続人より年うえであったので、他家から祖父傳三郎を養子に迎えて分家をして、角益尾と称して瀬戸物商を営み、愛知県の瀬戸、佐賀県の有田などの窯元とも取引をしていた。父は二代目伝三郎を襲名して、家業を継いでいたから、順調に行けば私は三代目傳三郎となり、孫に昔話でもきかせている結構なご身分であったであろうが、人生はそんな甘いものではなかった。父が遊びずきであったので、旧制米子中学（現米子東高校）５年のときに倒産、父の死と続き、人生の荒波にさらされる身となった。

一人の叔父が早稲田大学の文科を出て東京にいた関係で、大正12年８月の夏休みに東京に行き、30日の夜行列車で東京をたち、一昼夜かかって米子に帰り、翌９月１日の朝２学期の始業式に出て、家に帰って服を脱ぎ、ひといき入れた12時頃、かすかにゆれる地震を感じた。それから２時間ぐらいたって、大阪の朝日と毎日新聞の号外が出て、東京方面に大地震が起きたらしいが、箱根から向こうは連絡がつかないので、詳細は不明であると知らせた。これが関東大震災の第一報であり、若い私を建築の方に向けさせる原因になった。

その後、数日にわたって新聞紙上に写真入りの大きい報道があり、つい数日前に登った浅草の煉瓦造の12階の折れたこと、本所の被服敞跡には数千名の人々が避難して、その大部分が焼死体となられたことも知り、若い私の心をたぎらせた。

私には６名の叔母たちがあり、皆、米子の町かその周辺に縁づいており、一人息子の辰ちゃんは大阪にでも出て、どこかのお店の店員にでもなり、商売の修業でもして、米子に帰って商人になって欲しいという願いを持っていたが、東京にいた叔父は、これからは建築の仕事が帝都復興のためにいくらでもあるから、東京に出て来いという。歳前から大岡山に移ったばかりの、バラック時代の東京高等工業学校建築科に入学し、昭和３年に卒業して竹中工務店に入社したのが、私の人生の出発であった。

竹中時代の昭和４年の写真が手元にあるが、前列左から２人目は、後に松田・平田建築設計事務所長として家協会の会長をされた故松田軍平先生、２列目の左から２人目は、竹中の筆頭専務になった故神谷新一氏であり、私は２列目の右端にいる。神谷氏がよく「あなたは早くうちをやめてよかったよ」というので、皮肉られているように思ったこともあったが、神谷氏をはじめ、その当時の竹中工務店の社員の大部分がすでにこの世におられないことを思うにつけても、工業学校教師への再出発は、私の一大転機だった。

都島工業学校で私が受け持ちをした卒業生の中からは、昭和17年には京都大学の教授として、伝統ある日本建築の講座を守り、この３月退官した川上貢君、33歳で東大から鋼管構造の研究で工学博士の学位をもらい、現在福岡大学の教授をしている多田英之君、同じく東大工学部を出て大林組の常務取締役になった福田邦雄君、昭和20年に出て京都大学土木工学科に行き、土質研究で学位をもらい、中堀ソイルコーナーを経営している中堀和英君などがあり、都島の黄金時代に教師をしたことを光栄に思っている。

米子の地盤

10年ぐらい前に、益尾本家がＲＣ造で５階建のビルを、米子駅から 500ｍぐらい離れた所に建てたときに、ＲＣの長さ45ｍの地業杭を用いたときいて驚いた。大阪駅前付近でも長さ30ｍの杭ですむのに、米子がそんなに地盤の悪い所であったとは。そこで米子の土質柱状図を二～三集めて調べてみると、深さ14ｍ～16ｍの所にN値14～20の棚があり、深さ40ｍ以上まで降ってようやくN値50以上の所に達することを知った。

また別の文献から、米子駅の裏の目久美町からは縄文時代の、駅の前の方からは弥生時代の遺跡が出たことも知った。これらのことから総合して考えると、弓ヶ浜なる砂浜の半島は、6000～4000年ぐらい前の縄文時代には多分なく、2000年ぐらい前の弥生時代以後になって、東側を流れている日野川から出る砂が堆積し、すでにあった小島をつないで、できたものと考えられる。したがって、米子はその半島のつけ根にあたるということを知った。（図１）

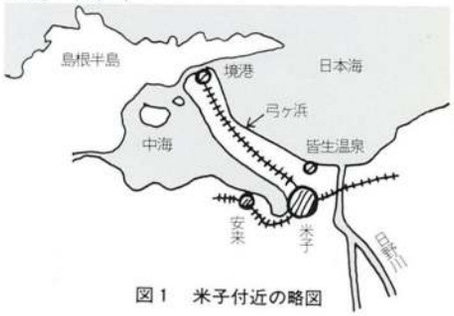


図１　米子付近の略図

明治期にいたるまでの米子

昭和48年に復刻された米子市史によると、米子の名前が歴史上にあらわれたのは応仁の乱以降のことであり、戦国時代には守護職の山名と出雲の尼子とがこの地で争い、その後関ヶ原の合戦に徳川方についた中村一忠が、伯耆国18万石を徳川家康から賜り、米子城を築いて城主となった。（写真１）

しかし、中村一忠には子供がなかったので、その後は加藤貞泰、池田由成が城主となり、最後には鳥取の池田32万石の領地となり、明治にいたるまで、鳥取池田の城代家老の荒尾氏が米子の町を治めることになった。

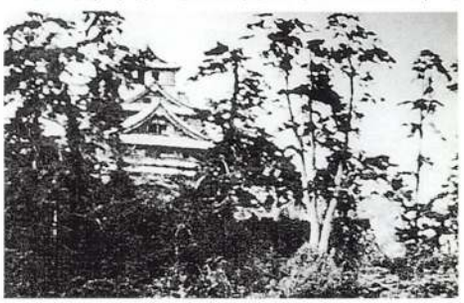


写真１　往時の米子城



1745年（享保５年）湊山金城米子新府から

図２　城山の周辺





写真２　重要文化財・廻船問屋後藤家住宅

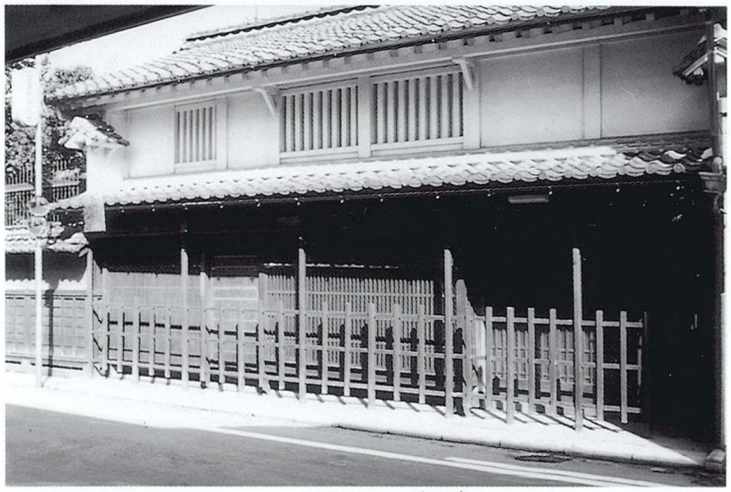


写真３　坂口家住宅



写真４　皆生の旅館「東光園」



写真５　米子市公会堂

1745年（享保５年）の米子城（湊山金城）の外濠内の図（**図２**）があるが、このときの武家屋敷の道路の配置が基本となり、明治の終わり頃、大正天皇が皇太子のときに行啓された際、ここにできた公園内の公会堂と、当時の国鉄の米子駅とを結ぶ、幅員20ｍぐらいの道路は、この図の道路の延長上にできた。

明治以後の米子と建築

武家屋敷の少しは残ったようであるが、過半数の方々は鳥取また東京に去られたようである。米子城の天守閣は、明治10年頃までは残っていたということであるが、町に残っているうわさによると、この天守閣は蛇体新助なる人物が、金30円で買い取り、風呂屋の薪にしてしまったといわれている。

今でも残っている古い建物をあげてみよう。

重要文化財である後藤家住宅は外堀の横にある江戸時代の廻船問屋の跡であり、今でも家族の方が住んでおられる。10数年前に解体修理をされたときにも見に帰った。（**写真２**）

地方財閥、坂口家住宅（**写真３**）は明治初期の建築であると思う。初代の坂口平兵衛氏時代に建てられたもので、現在は３代目に当たる坂口平吉郎氏が当主である。

最近の米子の市街と建築

昭和60年発行の週刊朝日に司馬遼太郎は、「街道をゆく」という記事の中で、米子の市街地からは、どこから見ても「伯耆大山がみえる」と書いていたが、大山は土地の人間にとっては自慢の一つである。（**冒頭写真**）

つぎにあげる建築２例は、いずれも20年以上経過しているが、終戦後の建築物の代表としてあげよう。まず皆生温泉の東光園（設計：菊竹清訓、庭園：流政之）は、ご覧のような外観であり、竣工したときには多くの雑誌に紹介された（**写真４**）。また、庭が大変きれいであり、エレベーターに乗って、それを見おろすことができる。かつて天皇陛下が宿泊された室がそのまま残してある。

つぎは、村野藤吾設計の公会堂（**写真５**）をあげよう。この建築物の設計を村野先生にお願いしたのは、事務所の中に米子市出身の方がおられたことと、当時の故野坂寛治市長が、自分の代によいものを残したいという気持ちが強かったことによると思う。

米子に寄せる思い

現在の松本徹（よう）市長は２期目であり、米子市発展のために東奔西走しておられるようであるが、河合弘道前市長が少しく長く居坐った関係もあり、駅前通りの繁雑ぶり（**写真６**）は手の打ちようがないと思う。

しかし、最近の夏の風物となった「がいな祭」（**写真７**）や商店街のにぎわい（**写真８**）を見ると、さすがに山陰一の商都であると思う。

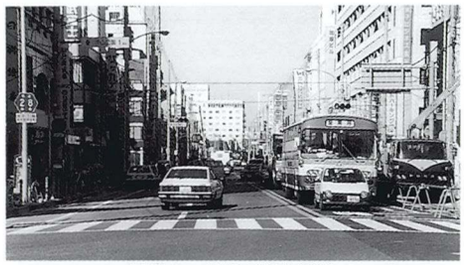


写真６　最近の駅前通り



写真７　米子の「がいな祭」



写真８　米子の本通り商店街

（ますお たつお　日本建築協会会員・大阪府建築士会名誉会員・関西米城会監事）

展覧会準備スケジュール

■昨年２月９日（月）午後１時
INAXギャラリーにて打合せ
５月14日（木）午後12時より
協会にて打合せ
５月20日（水）午後６時より
協会にて住宅展企画委員会
６月13日（土）午前10時より
伊丹市緑が丘、予備調査
６月16日（火）午後６時より
協会にて住宅展企画委員会
７月９日（木）午後２時より
協会にて住宅展打合せ
７月14日（火）午後５時より
INAXギャラリーにて打合せ
７月30日（木）
協会にて住宅展打合せ
８月12日（水）午後６時半より
協会にて住宅展打合せ
８月20日（木）午後３時より
INAXギャラリーにて打合せ
10月１日（木）午後１時桜井駅集合
伊瀬邸訪問、桜ヶ丘予備調査
10月８日（木）午後
伊瀬邸訪問調査
10月15日（木）午前中
白土邸訪問調査
10月16日（金）午前中
武井邸訪問調査
10月17日（土）午前中
高室邸訪問調査
10月25日（日）
午前中　沢村邸訪問調査
午後　斎藤邸訪問調査
10月26日（月）午後３時より
柏岡邸訪問調査
10月29日（木）午前10時より
渡辺邸訪問調査
午後６時より協会にて打合せ
11月７日（土）
午前中　仙田邸訪問調査
午後　藤森邸訪問調査
篠崎邸訪問調査
11月13日（金）午後５時半より
INAXギャラリーにて打合せ
11月25日（水）午後３時より
INAXギャラリーにて打合せ
12月４日（金）午後１時より
伊瀬邸訪問
12月９日（水）午後６時より
協会にて打合せ

■今年１月21日（木）
午後12時半より協会にて打合せ
午後３時よりINAXギャラリーにて
打合せ
１月26日（火）午後４時より
資料集について協会にて打合せ
１月末
INAX BOOKLET原稿締め切り
２月４日（木）午後１時より
資料集について協会にて打合せ
３月２日（水）午後１時より
資料集原稿持ち寄り
３月８日（火）午後２時より
INAXギャラリーにて記者発表会

日本建築協会創立70周年記念

大正「住宅改造博覧会」の夢展

―箕面・桜ヶ丘をめぐって―

報　告　記



70周年記念住宅展、無事終わる

去る５月29日に、大正「住宅改造博覧会」の夢展が幕を閉じた。３月８日に始まり、営業延べ日数81日間で、4627人の来場者があった。建築の専門家、住宅に携わる多くの人々はもちろん、昨今のレトロブームも手伝ってか、勤め帰りのＯＬ、主婦、学生などさまざまな人々に観ていただいたようだ。意外と（？）、２：１の割合で男性が女性を上回ったそうである。テーマが住宅であるだけに、建築分野に留まらず幅の広い関心を呼び、四大新聞等一般紙、各専門紙など新聞社23社、雑誌13件、毎日、朝日、関西のテレビ３社のパブリシティを得るなどして、相当の反響をよんだようである。筆者などもほんの数分テレビで話をしただけなのに「観ました」と思わぬ人から声をかけられ、今さらながらにテレビ社会のスゴさを実感したりもした。

さて、この企画を協会の70周年の記念事業の一環として行う話が持ち上がったのは昨年のはじめであったかと思う。そして約１年間の準備を経て、展覧会が行われることとなった。私自身が関わっただけでも、およそ左の表のような準備がなされた。

もちろん多くの人々が準備に加わり、これ以外のことが一杯あったことと思うが、桜ヶ丘の現地調査を行った一人として少し感想を述べたい。

展覧会が多くの人々の協力を得て成功裡に終わった今、少しの裏話も許されるだろう。

住宅調査の困難さ

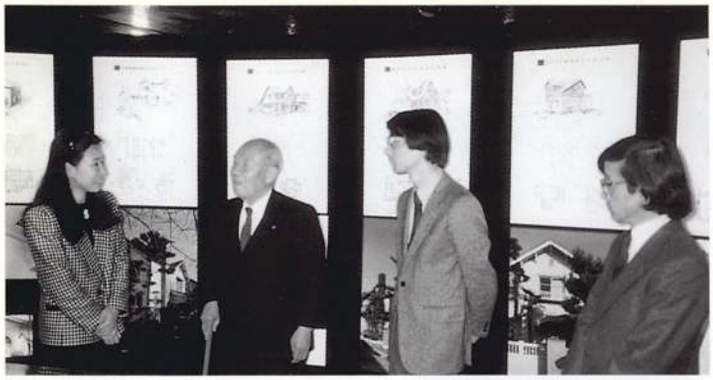
幸いにして、住宅改造博覧会において出品された27棟のうち現存する全13棟について拝見させていただいたのは、今回偶然が重なったこともあって、非常にラッキーであった。

いわば見ず知らずの家をいきなり訪問し、調査を申し込んで断られないほうが不思議なくらいである。最初は、協会と大林組との関係から、伊瀬邸を訪問することからスタートした。伊瀬氏はこの桜ヶ丘の由緒ある住宅に住むことを、非常に誇りとされており、われわれの意図をすぐに理解され、いろいろなことを教えていただいた。

他の家については、協会と縁のある建設会社がかつて関与したという以外、現在お住まいの方とわれわれを繋ぐものはなかった。何のコネもない者がとるテは一つしかない。突然訪問するかたちで大学の名前を使ったりして（協会の名を先に出さなかったのは、近ごろ多いナントカ協会の訪問販売、押し売りなどと誤解されないため。協会に悪かったかな？一般の人々に対する日本建築協会の知名度はどんなものだろう）調査の依頼書を手渡し、次の訪問日を強引に決めるというかなり手荒なやり口を行使した。今思いかえしてみると冷汗ものである。一緒に行った吉田先生のお陰もあった。女性は得だと言えばサベツになるが、そう思わざるをえない。

お留守のところは再度伺う、またまた不在のところもある。その辺りをウロウロしているとたまたま、その家の方が戻ってこられ、やっと話を聞いていただくこともあった。今回の調査では、このタマタマという幸運が多く重なったような気がする。

調査依頼書を受け取ってもらっても承諾されたわけではない。相手の都合構わず渡しているのだから、それから検討していただくことになる。後日電話と言うわけにもいかず（電話ならきっと断られるだろう）、何日の何時にまた伺いますと、これまた強引に伝えてしまう。きっと嫌がられているだろうという後ろめたい気持ちが時々襲ってくる。過去に幾度か研究者の調査が行われたようで、またですか、という雰囲気のお宅もあり、トキが悪かったのか、一度はとりつくシマもなく断られ





大正「住宅改造博覧会」の夢展





—箕面・桜ヶ丘をめぐって—





る日もあった。仕方ない、こちらが勝手にプログラムを作って動いていたのだから……。

しかしそこは地元の強みで、根気よく通うにつれ、桜ヶ丘の雰囲気もこちらで次第に飲みこめ、そのうち顔もおぼえてもらい、道で声を掛けられるほどにもなり、結果として、現存する全戸にわたり、中まで立ち入って、調査をさせていただいた。3月開催という、こちら側が勝手に決めた期日に間に合わせるための制限時間内（後で気づいたことであるが、われわれが調査をした時期はちょうど展覧会の開催時期と一致していた）に大学の仕事との兼ね合いもあるなか、相手方の都合を調整しつつ行うという時間的問題よりも、信頼されることの重要性を強く感じたが、住宅の調査は、個人の城というプライヴェート空間に入り込む非礼と入らぬ遠慮の境目を綱渡りする因果なイトナミであると知る。

今回INAXギャラリーの協力を得て、話題性もある有意義な展覧会が開けたことで、調査に協力いただき、ご迷惑をおかけした桜ヶ丘の方々に、少しでもお返しが出来たのではないかと内心思っている。

雑感

10年ひと昔と言うが、10年前と言えば流行らないものとして退けられるほど、昨今の変化は大きい。この尺度でいうなら、60年も前となると全く価値観の異なる大昔のこととなる。しかし人々は大正時代の改造住宅に少なからぬ憧れを持った。

最近はレトロブームということで復古調、懐古趣味的なものが肯定的な意味合いでもてはやされている。復古調と言えば少し前までは「明治」が想起されたが、この頃は大正、昭和初期に関心が移っているようだ。今回の住宅展に出された家は確かに、大正ロマン、大正モダニズムを感じさせるが、今展の盛況は単にレトロとは言い切れず、むしろ65年前の理想住宅を見て、今日の住宅の貧困、建築に関わる人々の無力、庶民の憧れと諦め、もはや叶わぬ住宅への夢、受け身的に住まわされている現実などの方が重くのしかかり、とてもレトロペクティヴな感傷に浸っていられなかったのではなかろうか。

大正時代に理想とされた住宅が持つ性能と形態を可能にする技術が完璧なまでに備わった今、それを享受する地盤（土地）が、多くの人々にとって容易に手の届かない今日の状況は皮肉でもあり、悲劇的でもある。

最後に

明治、大正時代の建築が保存、再生の対象とされ注目されるようになったのは、たかだか30年前のことであるが、それらの多くは一般庶民の建物ではない。当時の庶民住宅がそのまま残され生活が営まれているケースは、住宅全体数からすると少数だろう。今回展示された近代住宅は、その意味でも重要性を持つと思われる。現在のように住宅に経済性、利便性、快適性のみを求めるなら、一般の住宅は次々とスクラップ・アンド・ビルトされ、今後いわゆる「普通の」家が何の痕跡も残さずに消える恐れもないとは言えない。最近、歴史学の分野では、一般庶民の生活のディテール記述に重点を置くアナール学派が注目されているが、建築においてもこのあたりの分野を記録に残す必要性がありそうです。（近畿大学建築学科／石川康介）

法令コーナー

編集委員会法令分科会

226

「大阪市総合設計許可取扱要綱」の改正（その２）

前号では、大阪市の「総合設計許可取扱要綱」の主な改正について、

１．改正の趣旨

２．国の「総合設計許可準則」の改正内容

３．「大阪市総合設計許可取扱要綱」の改正

(1)公開空地の評価の拡充

の概要までを紹介したが、今回はひき続き、「大阪市総合設計許可取扱要綱」の改正４項目のうち、

(2)共同住宅の容積割増し対象の拡大

(3)斜線制限の緩和に関する基準の改善

(4)斜線制限の緩和に関する空地率の引き下げをご紹介したい。

３．「大阪市総合設計許可取扱要綱」の改正

(2)共同住宅の容積割増し対象の拡大

共同住宅の総合設計の適用にあたっては、従来、延べ面積の⅔以上が住宅である場合について、一般の総合設計の場合によりも大きな容積割増しを認める優遇措置を設けていたが、今回の改正では、延べ面積の¼以上が住宅である場合についても適用できるよう対象範囲を拡大し、その割合が¼～⅔の場合においては、住宅部分の割合に応じて容積割増し量を引き上げた。

大阪市の要綱実施基準（抜粋）

第１　容積率制限の緩和

４．共同住宅の容積の割増し

(1)　容積の割増し

延べ面積の４分の１以上を住宅の用に供するものの容積割増しは次式の値以下とする。

$V=A\times v\times\{1+(S/A-0.1)\times Ki\times(3/4a+1)\}$

a：建築物における住宅の用に供する部分の床面積の延べ面積に対する割合（２／３を超えるときは２／３とし、以下同様とする。）

(2)　大規模敷地における容積の割増し

敷地面積2,000平方メートル以上で、延べ面積の４分の１以上を住宅の用に供するものの容積割増しは次式の値以下とする。

$V=A\times v\times\{1+(S/A-0.1)\times Ki\times(3/2a+1)\}$

(3)　商業地域の指定する区域内の容積の割増し

商業地域で、大阪環状線の内側及びその周辺で、指定容積率が40／10又は60／10の区域のうち本市が指定する区域内において、共同住宅を含む建築物の容積割増しは次式の値以下とすること。

ただし、住宅の用に供する部分の床面積の合計が割増容積分以上であり、それらの住戸は、原則として専有部分の床面積が55平方メートル以上であること。

$V=A\times v\times\{1+S/A-0.1)\times Ki\times 3\}$

(4)　容積割増しの限度

(1)～(3)に規定する容積の割増しを行うに当たって、計画建築物の延べ面積は次に掲げるものを限度とする。

●(1)及び(2)の場合

$A\times v\times(a\times 3/8+3/2)$ と $A\times\{v+(a\times 15+20)/10\}$ のうちいずれか小さいもの

●(3)の場合

$A\times v\times 1.75$ と $A\times\{v+(30/10)\}$ のうちいずれか小さいもの

(5)　公開空地率の下限

公開空地率は、次に掲げる区分に従い、ア又はイに掲げる式によって得られる値以上とすること。

ア．第２種住居専用地域、住居地域又は準工業地域

$S'/A=\{0.2+(1-C)\times 10/4.5\times 0.3\}-0.1$

イ．近隣商業地域又は商業地域

$S'/A=0.2+(1-C)\times 10/4.5\times 0.3$

(3)斜線制限の緩和に関する基準の改善

斜線制限の緩和に関する基準は、敷地境界線上における計画建築物の立面投影面積が、一般規制により許容される最大の立面投影面積よりも小さいこととしている。

今回の改正では、高さが100 mを超える高層建築物の立面投影面積の算定にあたっては、100 m～150 mの部分の面積に½を、150 mを超える部分の面積に⅓を乗じることとした。

同要綱実施基準（抜粋）

第２　斜線制限の緩和

３．立面投影面積

多角形の敷地の各辺（各辺とは敷地境界線をいうが、多角形でない敷地及び複雑な形状の多角形の敷地については、それを単純な多角形に近似した場合の各辺をいう。以下同じ。）において、次によって算定した立面投影面積のSi'がSi以下であること。

(1)　立面投影面積Si'

Si'とは、多角形の各辺における基準点Oi（(3)によって求められる点）を通る鉛直線上の各点を視点とし、計画建築物の各部分（広告物、建築設備等を含む。）を各辺上の鉛直面を画面としたもの（以下「スクリーン」という。）に水平方向に投影させることによって構成される図形の面積をいう。

ただし、高さ100メートルを超える建築物に対するSi'の算定については、次のア．イ及びウを加えたものをもってSi'とする。

ア．建築物の高さ100メートル以下の部分の立面投影面積

イ．建築物の高さ100メートルを超え150メートル以下の部分の立面投影面積に２分の１を乗じて得たもの

ウ．建築物の高さ150メートルを超える部分の立面投影面積に３分の１を乗じて得たもの

(2)　立面投影面積Si

Siとは各辺において、法第56条第１項第１号及び第２号の規定によって許容される最大の立面投影面積をいう。

(3)　視点Oi

Oiとは、各辺について、その中点から次の各号に掲げる区分に従い当該各号に掲げる距離だけ外側にある点をいう。

①　第二種住居専用地域又は住居地域

○道路に接する各辺については当該道路の幅員

○その他の各辺については16メートル

②　近隣商業地域、商業地域、準工業地域、工業地域又は工業専用地域

○道路に接する各辺については当該道路の幅員

○その他の各辺については12メートル

③　建築物の敷地が斜線制限の高さの制限の異なる用途地域の内外にわたる場合

○道路に接する各辺については当該道路の幅員

○その他の各辺については下記の式による数値

$$\frac{16\ell_1+12\ell_2}{\ell}$$

ℓ_1：各辺のうち、第二種住居専用地域又は住居地域に存する部分の長さ

ℓ_2：各辺のうち近隣商業地域、商業地域、準工業地域、工業地域又は工業専用地域に存する部分の長さ

ℓ：各辺の長さ（$\ell=\ell_1+\ell_2$）

(4)斜線制限の緩和に関する空地率の引き下げ

建築基準法施行令の改正に伴って、斜線制限の緩和のみを行う場合においては、敷地内に確保しなければならない空地の割合の最低限度を５％引き下げた。

同要綱実施基準（抜粋）

第２　斜線制限の緩和

１．敷地の条件及び公開空地

敷地の条件及び公開空地については、第１の１（敷地の条件）及び２（公開空地）によること。ただし、空地率は、次の数値以上とする。

空地率$=1.15-C$

４．最後に

前号から２回にわたり、主に、大阪市「総合設計許可取扱要綱」の改正（昭和63年２月10日改正）について紹介したが、大阪市では地区計画等を定めている区域がないため、国の改正内容のひとつである都市開発方針に定められた２号地区等で地区計画等によって高度利用を図るべきとされる地区に対する容積割増しに関しては、とくに新たな規定を設けないこととした。

大阪市においては、総合設計の活用事例はすでに約230件に達しているが、今後さらに本制度の趣旨が十分理解され、市街地環境の整備・向上に、ひろく活用されることを望んでいる。

（大阪市計画局建築指導部指導課／**増田靖生**）

「建築と社会」誌20年●特集一覧 ――昭和42年～62年

「建築と社会」誌は、昭和42年から大型化しＡ４変形判となった。特集と作品作風頁を二本柱に、シリーズものの頁を織り込み、その時々の社会を反映したテーマを選んで掲載してきた。(58年４月号以降定価950円) 購読希望者は事務局 (06-348-0635) へ。

＊印は欠号

巻＼号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
昭和42年 (48集)	＊国立劇場	＊建設機械	＊日本建築協会50周年記念号	＊社会と建築	都市と流通空間	住宅と設備	生産施設	モントリオール万博	建設資金	最近の外装	第14回青年建築家	建築と生命
昭和43年 (49集)	都市生活	＊都市のいこいの場	＊50周年記念事業記録号	＊幼児施設	＊教育施設	＊医療施設	都市交通＊施設	都市供給処理施設	群としての＊住居	都市のアクセサリー	第15回青年技術者	＊新都市計画法の諸問題
昭和44年 (50集)	＊建築産業の構造と方向	鉄筋コンクリート構造耐震設計の再検討	計画と住民―中部からの報告	＊老人とすまい	＊建築史の方向―現代がよみがえる過去―	＊建築行政に期待するもの	転換しつつある住宅生産	＊解決をせまられる公害問題	＊海洋開発	＊民家の系譜と保存計画	＊第16回青年技術者	＊九州からの報告
昭和45年 (51集)	現代社会とは何か	建築と安全	日本万国博＊と技術開発	設計＊のシステム化	グッドデザイン＊運動	高層建築問題	欧米における契約	建築家の課題と責任	＊工事計画	ディベロッパー	第17回青年技術者	山陽・山陰＊からの報告
昭和46年 (52集)	住宅―60年代の総括と70年代の展望	都市エネルギーと無公害化ビル	＊建築基準法	都市生＊活とみどり	企画と設＊計のプロセス	解体工学	都市と港湾	転換期の＊ニュータウン	軟弱地＊盤と震災	変貌する建築生産	第18回青年技術者	自然＊とレジャ空間
昭和47年 (53集)	冬期オリンピックと札幌	600号記念号	インテリアデザイン	都市交＊通問題	＊水利用	量産住宅の設備	＊一般号（桂中学）		＊都市住環境へのアプローチ	＊都市防災	第19回青年技術者	北陸の新建築
昭和48年 (54集)	建築教育	＊泉北ニュータウンのコミュニティ施設	大阪大林＊ビルディング	レジャー＊と施設	大阪国際＊ビルディング	老＊人コミュニティ	住宅―建築家のすまい	＊新用途地域制と環境	構造と施工	仕上と材料	第20回青年技術者	＊ヨーロッパのまちづくり
昭和49年 (55集)	歴史的環境保全	明日の建築はどうなるか	保養所作品	既成市街地の住宅地整備の方策	北摂ニュー＊タウン計画	建築生産と流通機構の変容	ビルの省エネルギー化	高層プレハブ住宅の構造設計	＊みどり	＊屋根防水工事の失敗例とその対策	第21回青年技術者	ビル防災に関する12章
昭和50年 (56集)	図書館	東海＊の新建築	＊インテリア	ＰＣ板を使用した工業化住宅	社会＊・建築・法	都市の景観と施設	建築とプレストレストコンクリート	生活排水処理施設のあり方	人間環境＊としてのターミナル	騒音対策と防音材料	第22回青年技術者	集合住宅＊の設備
昭和51年 (57集)	証言'76―建築デザインの動向	建築基礎＊構造の問題点	医療施設	床工＊法と材料	建築防災＊と法	＊市街地整備	工場建築と設備	鉄骨構造のジョイント	集住体のハードとソフト	＊結露防止対策と断熱材料	第23回青年技術者	設備からみた建築の問題点
昭和52年 (58集)	＊デザインの動向―部分と全体	兵庫県―その風土と建築・建築界	●日本建築協会60周年記念号●ニュータウンの管理	コンクリートの品質管理と行政指導の方向	日影規制＊と法	＊身障者施設	照明設備	埋立地における構造問題―大阪南港と芦屋浜を例として	日本住宅公団と建築作品	ミニ乱開発から計画的ミニ開発へ	建築における省エネルギー化	第24回青年技術者
昭和53年 (59集)	デザインの動向―新旧のコントラスト	＊水	医療施設―病院建築と情報システム	外壁塗装材料	電波障害＊と建築	組合方式による集合住宅計画	住宅設備	新しい耐震設計	ＣＡＤ―設計とコンピュータ	＊一般号	第25回青年技術者	ビル環境
昭和54年 (60集)	＊転換期の再開発	大阪南港ポートタウン	商業空間	コンクリートのひびわれ	＊日影規制	ホテル建築と情報システム	農村施設＊の変貌	建物の終局強度の検討	庄内＊のまちづくり	80年代のインテリア	第26回青年技術者	建設業の労務事情
昭和55年 (61集)	80年代の都市と建築―まちづくりの歴史と展望	＊●今後の省エネルギーの趨勢●建築金物	＊●最近の銀行建築●安井建築設計事務所作品集	住宅の耐久性	建築行政と法規	最近の防水工法	都市景観＊とアメニティ	屋内体育施設の設備	水ぎわのまちづくり	今後の外装吹付仕上材	●第27回青年技術者●転機にたつマンション・集合住宅	設計のための新耐震設計法
昭和56年 (62集)	職能論	中国の論文―北京の都市計画	ポートピア＊'81	台所まわりの計画と設備	シーリング材の知識	災害と法―安全な環境をめざして	都市住宅―住まい手からの発想	●建築物と風―デザイナーのために●日建設計作品集	住宅・都市整備公団―関西における都市整備を中心とした新公団の役割	間仕切壁の性能評価	第28回青年技術者	障害者の暮らしやすい環境と設備
昭和57年 (63集)	新たな商業空間の展開	省エネルギーと開口部	医療施設―地域医療と設備計画	近畿の地盤と地質	都市景観―まちなみ美観への誘い	大阪市庁舎（第１期）	音とホール建築	大スパン構造	昭和設＊計作品集	●絵本にみるすまいとまちづくり●オー・エム・ホル日航ビル	●第29回青年技術者●地方の庁舎建築	風土・空気と人間
昭和58年 (64集)	＊関西の建築文化を考える	マイコンの建築への利用	多様化する＊運動施設	建築と品質管理	計画におけるコミュニケーションとプレゼンテーション	大阪駅とターミナルビル	維持管理と設備更新	東海の将来と文化を考える	オフィス・インテリアの変革	プレストレスト(鉄筋)コンクリート構造	●第30回青年技術者●大阪城国際文化スポーツホール	集合住宅と生活音
昭和59年 (65集)	21世紀への関西―魅力あるまちづくりを問う――	関西の超高層ビル	ビルのリフレッシュ―内外装補修技術の現状と発展―	建設産業とロボット開発	住環境と法制度	●まちの活性化と商業空間●京都駅南口再開発ビル（アバンティ）	消防設備のポイント	みどりとそれをとりまく人々	高齢化社会と生活空間	床の構工法	●第31回青年技術者●ディテールの思想	光応用システムと建築
昭和60年 (66集)	大阪湾物語	東海の現在と近未来	●自由様式への道―建築家安井武雄●建築物の基礎を考える	情報化をめぐる建築・都市事情	ホール―それが生みだす文化―	建物の表情―最近の外壁材料	大阪国際見本市新会場	●建築と水の演出●神戸研究学園都市	都市と健康スポーツ	●接合●日建設計作品	●村野藤吾の一断章●東海特集	第32回青年技術者
昭和61年 (67集)	これからの住空間―都市型集合住宅にみる	屋根―そのデザインと素材	●現代デザイン―ポストモダニズム10年●これからの防水工法	インテリジェントビル・の建築設備計画	自治体営繕と公共建築	●建築防災と法●大阪市庁舎	21世紀の住居と設備	●開発●ツイン21	ＣＡＤ―その応用と展開	オフィス空間の構成	第33回青年技術者	インテリア・イクステンションとリニューアル
昭和62年 (68集)	入浴物語	腐食	創立70周年記念号	躍動する東海へ	保管・貯蔵施設	室内の仕上床	駅	行政建築家の可能性	シティホテルの設備	宝塚の街づくり	建物と街並みの接点―建物の外構―	第34回青年技術者

マンフォードとの出会い——『都市と文化』とその後

高田　昇（都市計画家）

都市の古典が今「新しい」と思いはじめて、20年ぶりに『ユートピア』から『田園都市論』『メガロポリス』などを読み直している。とりわけルイスマンフォードの『都市と文化』がつきることのない面白さをもって離れられない。

この本は、第二次大戦中ドイツナチスに捕えられ、収容所に入れられていたポーランドの建築家たちが、必死の思いで一冊を隠し持ち、手から手にまわし読みしたという、生命にかえてでも守ろうとしたほどのものである。

収容所の中でなぜこの本が必要だったのか。彼らは生死の境を行き帰しながらも、平和が訪れた後の自分たちの都市の復興に、この本が確かな指針となると確信したからだろう。戦後一面の焼野原になったワルシャワのまちは、ほとんど戦前と同じ町並みを復原させて世界を驚かせたが、それはただ単に意地を張ったアピールというだけではなく、「歴史の中から現代の都市にとって望ましい目標を発掘する」ためにはどうしても必要なことだったのだろう。

徹底した歴史研究と都市の現在をすみずみまで歩き確めることによって、50年前にニューヨークをはじめとする大都市の衰退という歴史上かって経験したことのない現象を予測した文明批評家、それがルイスマンフォードだ。

＊　　＊　　＊

マンフォードは歴史学者でもあり、経済学者でもあり、哲学者でもある。そして建築評論家としても卓越した批判力をもってル・コルビュジェをきびしく斬り、フランク・ロイドライトを支持した。「ライトは自然の素材の利用とその場の景観へ自分の設計の適応に特別な才能を発揮したけれども、おなじように天才的能力をもって、現代的建築法や機械が提供する新しい工法も利用した。彼は機械を費用節減の手段やまがい物の提供者としてではなく、人間の目標の協力者として扱った」また、「まさしくライトは、地域主義を歴史的で古代的なものの束縛から切りはなし、それを生きた現在へ、過去と未来をともに含む現在へと向け、彼の新しい建築形態のなかで特殊なものと普遍的なもの、地方的なものと世界的なものを統合したのであった」と今日のレトロブームやポストモダン云々の混乱をすでに喝破している。

さて、マンフォードがイメージした「理想の都市」とはどんなものだったのか。それを一言で紹介する力は私にないし、マンフォードの『ユートピアの系譜』から始まって『技術と文明』『人間の条件』『歴史における都市』『機械の神話』にいたるぼう大な著作が一貫して求めたテーマが「都市とは？」そしてそこに生きる「人間とは？」であったように思う。

ただ広範にわたるマンフォードの都市論の中で、核心となるイメージの供給源は、中世の都市であることは確かなようだ。なぜ中世の都市なのか。その一つは都市と農村との間にバランスが保たれていたことであり、もう一つには市民の緊密な人間関係と相互扶助があったことである。また五官を通じて感じる中世都市の豊かさの証拠が一つひとつ取り出される。

このことは、今日の都市がもっとも必要としていることでもある。言いかえれば都市と自然の共存でありコミュニティであり、下町



の復権であり、アメニティ、都市文化である。

私たちがかって都市について教えられてきたことは、中世都市の否定からスタートし、産業革命や文明開花というようなことを持ち上げて評価することにつきていたように思い起こされる。そして都市はただただ成長し、発展するものと思い込んできた感じがする。しかしマンフォードは、都市を成長と衰退の輪廻のなかで把えようとしたのだ。そういう視点で見直すと、中世都市の豊かさが浮上してくるのだ。またマンフォードはつねに人間を見る。市民が一番輝いていた時、豊かな感性に彩られていた時はいつか、という目だ。そうなると、現代都市ほどきびしく批判されるべきものはない。

今また都市の未来を語ることがある種の流行となっている。大阪論、東京論、21世紀論が出つくし、風化しつつある。しかし議論はほとんど消化されないまま、大型開発プロジェクトとグルメ・遊び志向の両極の話しにおさまってしまう、というオチがつきそうなのだ。で私たちはいったいどんな都市像を頼りにして仕事をしていくのか、心もとない限りだ。

＊　　＊　　＊

そんな中で数少ない希望の灯が、陣内秀信の『東京の空間人類学』『わたしの東京学』であり、木津川計の『含羞都市へ』である。陣内はイタリアの歴史都市に学び、木津川は上方芸能の歴史から養分を得ている。また宮本憲一の『都市経済論』は都市計画にかかわる者必読の書であるが、宮本が財政学から都市問題に入ったのはマンフォードの『都市と文化』に魅せられてという。私に都市の古典を見直すようにすすめ、チャンスを与えたのも氏である。

そして20年前、私に最初のマンフォードとの出会いをつくったのが恩師であり『建築と都市のデザイン』の著者・嶋田勝次だ。ここで恩師は人と都市の共感を求めて、神戸という都市をやわらかな都市にとねがう、陣内に通じる視点を貫いている。

マンフォードは、自分の生まれた都市であるニューヨークを徹底して歩くことから始めたという。タウンウオッチングの元祖ともいえよう。今都市を読むのはとてもむずかしい時代だ。それだけに大言壮語や遊び感覚に流されない確かな目が必要とされている。ウォッチングもいい加減な流行に終らないことを願いたい。

たかだ　すすむ

1943年　大阪生まれ
神戸大学工学部建築学科卒業後、宮後建築事務所を経て
1970年　ＣＯＭ計画研究所設立 代表。
神戸大学非常勤講師、大阪都市環境会議事務局長

主な業務経歴

・豊中市住環境整備計画（昭和51年日本都市計画学会賞受賞）
・名古屋市都市景観整備計画
・神戸駅周辺整備計画
・京都四条通活性化計画
・大阪北梅田地区まちづくり計画
・デネブ、Roji コート、原山台コープ等コーポラティブハウス計画
・神戸市・名谷コープタウン計画
（昭和62年神戸市建築文化賞受賞）

主な著書

・水都再生へのパースペクティブ（共著・関西市民書房刊）
・危険都市の証言（共著・関西市民書房刊）
・人間居住環境を考える（共著・学陽書房刊）
・大阪盛り場コミュニティ図鑑（編・創元社）
・歴史的町並み保全辞典（共著・柏書房刊）

無機質浸透反応性塗布型躯体強化剤



メキシコ・マヤ遺跡 Photo by TOMO, May'88

コンクリート・石材用、劣化・吸水抑制剤

ハイドロサームは浪漫色。

最近、中国で5000年前のコンクリート仕上げ住居床が色も艶やかに発掘された。2500年前のパルテノン神殿の石柱は今日もエーゲ海の群青に映えている。1350年前に建立された法隆寺のエンタシス木柱が、奈良の朝もやを深呼吸している。いづれも幾千年と生き続けている。生きるは息る、一呼吸すること。だからコンクリートにも呼吸させなければならないと信じて創り、多くの方々に使って頂けるようになったハイドロサーム。例えば、3年前に270社のコンクリート補修材料から選ばれてＪR新幹線の床版・高らんの補修。住宅・都市整備公団のベランダ防水。原子力発電所や原子力研究所の外壁補強。大阪御堂筋に今春完成した倉敷紡績新社屋6900㎡の御影石外壁のエフロと汚染防止。ソニー・シンガポール工場床面防水。営団地下鉄上野駅の天井部補修工事。日大三高校舎築後12年の打ち放し外壁２万㎡のリフレッシュと、新築校舎打ち放し外壁2000㎡の劣化・クラック予防と美観保持に。などなど厳しい眼の方々に継続的ご採用頂いている。理由は色々のようだが、1.無機質系浸透型で呼吸性を保つから耐久力が抜群、2.水溶液だから安全で作業性が良い、3.耐久性があり作業が簡単だからコストパフォーマンスが良い、4.コンクリートの色も質感も変えず素材を生かせる、5.マイナーなメーカーにしてはコンクリートと水の本質をわきまえている。多少自惚れ乍らこう思っている。この製品にかけた私たちの夢を、ご自身の仕事のロマンにとり入れて下さる方々が増えているのだと。そして、塗布型躯体強化剤なのに塗布面の色も質感も変えない特色を、私たちは無色と言わず時代を超えた浪漫色と呼んでみたいと。







補修工事例

- 住・都整備公団ベランダ
- JR新幹線床版・高らん
- 地下鉄上野駅天井部

CHEMIX JAPAN LTD.
日本ケミックス株式会社
〒101 東京都千代田区東神田1-12-10 誠心ビル3階
TEL 03(864)7261(代) FAX 03(864)9698

大阪地区販社
三菱油化株式会社・㈱菱和産資株式会社 大阪支店
三菱油化産業資材事業部門
大阪市東区伏見町5-1(明治生命館6F)
TEL06(208)4851(代)

株式会社 粋工舎 〒582 大阪府柏原市本郷２丁目1-7
TEL0729(73)2370

コンクリートの色、質感を損わず耐久性を向上させる

ハイドロサーム

無機質系、塗布型、浸透反応性、劣化・吸水抑制剤

日本ケミックス株式会社　東京都千代田区東神田1-12-10 〒101 ☎(03)864－7261
大阪地区販社
菱和産資株式会社　大阪市東区伏見町5-1 明治生命館 〒541 ☎(06)208－4852
株式会社粋工舎　大阪府柏原市本郷2－1－7 〒582　☎(0729)73－2370

●はじめに

欧米に比べわが国では建設投資の内に占めるリフォーム費の割合は非常に少なく、そのためその方面の研究や材料の開発も遅れているとされている。近年、建物のリフォーム、リフレッシュが以前に比べ大幅に増えてきているが、300種以上あるといわれている補修工法や補修材料から最適のものを選択するとなると容易ではない。それぞれ一長一短はあるが、今回は比較的数の少ない無機質系の浸透性劣化・吸水抑制剤をご紹介する。

このハイドロサームを取り上げた理由は、

1．水溶液なので、施工面の乾湿にかかわらず作業が可能で、安全である。
2．応用範囲が、コンクリートやモルタルだけでなく、れんが、タイル、スレート、ＡＬＣ、ＰＣ、天然石材や目地にまで及ぶ。
3．塗布膜を形成せず、対象物の色や質感を変えない。
4．無機質なので耐久性が高い。
5．施工の目的別に６種の品番を揃えている。
6．最近、急激に使用実績が伸びている。

など、他の合成樹脂系及び有機溶剤系撥水剤にない特色が考えられるからである。

反面、施工後は水をかけるか、雨が降らない限りその効果を目視することが困難であることや、効果の発現が他の樹脂系、溶剤系のものと比較して少し遅い等の欠点もある。

●組成

アルカリ金属塩化合物と無機質系高反応性触媒の透明で無臭の水溶液。

●作用と効果

1．〈浸透〉表面張力が水の半分以下の水溶液中のハイドロサーム成分が、水よりも深くコンクリートや石質の毛細管水隙や空隙を通り、浸透する。
2．〈反応〉浸透したハイドロサームは、コンクリート、石質中の遊離アルカリ（主として遊離石灰）や、骨材中の反応性の高いシリカ（無定形シリカ）と反応し、徐々に水隙や空隙内で非水溶性無機化合物となる。
3．〈強化〉生成された無機化合物は、反応前より安定した物質となり、水隙や空隙を充てんし、環境温度により１日～４日後から基質を緻密化し、躯体表層を強化する。
4．〈防水〉水隙や空隙を充てんされ組織を緻密化された非水溶性無機化合物は、コンクリート、石質自体の吸水を妨げ、吸水による劣化を抑制し、表面に塗布する有機撥水剤や樹脂コーティング剤と異なり、通気性のある耐久性防水バリヤーを形成する。
5．〈保護〉コンクリートの表面は、空気中の炭酸ガスによって、ＰＨ12～13位の強いアルカリ性を呈していたセメントの水和生成物である遊離水酸化カルシウムが、除々に炭酸石灰となり、アルカリ性を失う。このことを炭酸化又は中性化と言うが、中性化した部分の鉄筋は発錆する。基質を緻密化し、吸水やガスの侵入を抑制することによって、中性化の促進は抑制される。
6．〈耐久〉このようにハイドロサームで処理されたコンクリート・石質は、安定した緻密な保護層によって水の侵入を防ぎ、中性化やアルカリ骨材反応はもとより、塩害・凍害も抑制し、コンクリート構築物の耐久性、安定性を向上させ、その効果は合成樹脂又は有機溶剤系撥水剤による塗膜と異なり、非常に長期にわたり、また紫外線劣化も少ない。

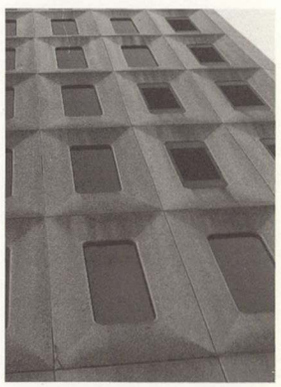
●特徴と性能

1．表面張力が少なく、浸透性が大きいから紫外線の影響も少なく、耐久性に優れている。
2．強いアルカリ性なので、劣化した躯体のアルカリ性の回復に有効である。
3．グレードＳとＰは、塗料・仕上げ材のプライマーとして躯体内部からの有害物質を抑制し、塗料・仕上げ材の耐久性を増す。
4．汚れた表層の洗浄や防かびに効果がある。
5．脆化した表層の引張強度を30～50%向上させる。
6．グレードＨＳやＲＸは撥水性もあり、防水性に最も優れている。
7．ＨＳとＲＸは速効型で0.3㎜以下のヘアークラックからの漏水防止、及びヘアークラック発生の低減効果がある。
8．エフロレッセンスの防止、かび・藻などの着床予防効果がある。
9．無臭の水溶液なので、作業性がよく、安全だからコストパフォーマンスがよい。

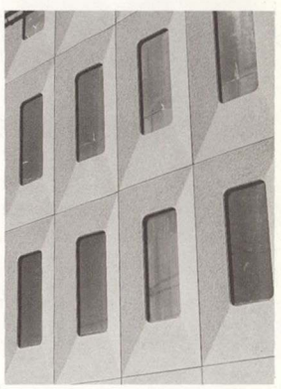
●用途

ハイドロサームは全てのセメント質、石質の表面、コンクリート、モルタル、天然石材、れんが、タイル、ＰＣ、ＡＬＣ、スレート、目地、スタッコ等を対象に、一般建造物・土木構築物の地下部分に至るまで、状況に応じて６種類のグレードで対応できる。

ＰＣ板 処理前



ＰＣ板 処理後



●施工法

1．施工面の付着物（汚れ、エフロ、油分、塗料等）を除去し、水洗する。
2．0.3㎜以上の亀裂や豆板、穴、欠けは補修する。できるだけ補修部分にＳ又はＰをアンダーコートする。
3．ガラス面やアルミ、植物等に付着しないよう養生する。
4．熱源や直射日光によって、施工面が50℃以上の場合は水冷するか、日影を作り塗布する。
5．塗布は刷毛、ローラー、低圧（1.5～2.0kg／㎠）でのスプレーガンで、一度にたっぷりと吸い込みがなくなるまで塗布する。
6．タイル面等浸透しにくい面は表面に結晶が固着する場合があるので、半乾のうちに水に浸したウエス等で充分に拭き取る。

●使用量

４～８㎡／ℓ（平均５㎡／ℓ）
125cc～250cc／㎡（平均200cc／㎡）

●設計価格（材工共）

1800～2000円／㎡
（500㎡以上　足場・養生費別途）

阿部　修／建材委員

最近の骨材の品質について
（受託試験と抜取試験）

財団法人 日本建築総合試験所
所 在 地…吹田市藤白台5－8－1　〒565
電　　話…(06)872－0391　FAX…(06)872－0784
業務時間…平日：9：00～17：00
　　土曜：9：00～12：00

Ⅰ．はじめに

当試験所では、昭和56年度より受託試験における工事用材料試験の結果をその年度毎に集計している。本報は昭和61年度までの過去6ヶ年間における骨材の品質試験結果の集計からその一部を抜粋し、報告したい。また、昭和62年10月より京阪神地区の生コン工場 130社から、毎月、当試験所の職員が直接、骨材の試料抜取を行ない、洗い試験、塩分試験および粘土塊量試験の3項目について試験を実施しており、これらの試験結果についても紹介する。なお、詳細は既刊のＧＢＲＣ季刊誌50号に掲載しているので参考にされたい。

Ⅱ．受託試験における骨材の品質

1．受託の状況

骨材の受託件数（試験項目数）は、細骨材と粗骨材を合わせて年間13,000件前後となっており、この6年間ほぼ横ばい状態である。試験項目別にみると、大阪府下特定行政庁連絡協議会〝コンクリート工法に関する指導要綱〟の指定試験項目である塩分試験および粘土塊量試験が最も多く、全試験項目数の約9割（昭和61年度）を占めている。

2．受託試験における骨材種類の割合

図－1に示すように細骨材については、海砂が全体の48～55%を占め、次いで山砂、混合砂（山砂＋海砂、海砂＋砕砂、etc）が多く、川砂については約2%となっている。最近の傾向としては、山砂単味が減り、その代わりとして山砂と海砂との混合砂が増えている。

また、粗骨材については、砕石が全体の約9割を占め、その他として山砂利が3～7%、川砂利が2～4%となっており、傾向としては砕石の占める割合が徐々に増大していることがわかる。

3．骨材の品質

（1）昭和61年度の骨材試験結果

表－1に昭和61年度の骨材試験の集計結果を示す。ここでは各試験項目別に細骨材は海砂、山砂、混合砂、粗骨材は砕石について、データ個数（試験件数）：n、平均値：$\overline{x}$、最小値：x_{min}、最大値：x_{max}およびJASS又はJISの規定値を満足しているものの割合をそれぞれまとめて示す。

（2）過去6ヶ年間における骨材の品質

過去6ヶ年間における細骨材および粗骨材の各試験結果の平均値の推移を**図－2**に示す。これによると、細骨材については目立った傾向として山砂、川砂の洗い損失量および海砂の塩分量がこの6年間において年々減少しており、好ましい傾向といえる。一方、山砂の比重は昭和61年度の平均値で2.50とJASS5の規定の下限値であり、全般的に小さな値となっている。粘土塊量については、昭和60年より洗い操作を行なった試料を用いる関係でJIS A 1137による値に較べ著しく小さな値となっている（図省略）。

次に、粗骨材については、受託試験の大半を占める砕石の品質としてこの6年間大きな変動は見られない。なお、山砂利、川砂利については年度毎のバラツキが目立つが、この理由として受託件数が砕石に比べ非常に少ないこと、また、これらはコンクリート用骨材としての適否を決める場合の事前調査を目的として依頼される場合が多いことなどによるものと考えられる。

Ⅲ．抜取試料による骨材の品質

1．試料

昭和62年10月より翌年1月の期間に京阪神地区の生コン工場 130社から、毎月、当試験所の職員が直接、細骨材および粗骨材をそれぞれ約20kg採取したもので採取箇所はベルトコンベア上またはストックヤードが大半で、そのほか受入ホッパー、貯蔵ビン、サイロ、計量ビン等である。

2．試験項目

試験項目は、大阪府下特定行政庁連絡協議会の〝コンクリート工法に関する指導要綱〟に基づいたもので、海砂については塩分試験および粘土塊量試験、山砂については洗い試験および粘土塊量試験をそれぞれ実施した。また、山砂と海砂を混合した砂については塩分試験、洗い試験および粘土塊量試験を行なった。粗骨材については粘土塊量試験のみを行なった。

3．試験結果およびまとめ

各試験項目別にその試験値の分布をヒストグラムで表わし、**図－3**に示した。この試験結果からまとめると次のとおりである。

（a）**洗い損失量**　山砂では平均値2.47%で79%の試料が規定値(3.0%以下）を満足し、山砂と海砂の混合砂では平均値2.25%で約91%の試料が規定値を満足している。

（b）**塩分量**　海砂では平均値0.009%で約99%の試料が規定値（0.04%以下）内にある。また、山砂と海砂の混合砂では平均値0.005%、海砂と砕砂の混合砂では平均値0.007%でいずれの場合もすべて規定値を満足している。

（c）**粘土塊量**　細骨材：山砂では平均値0.19%で約99%の試料が規定値（1.0%以下）内にある。また、山砂と海砂の混合砂では平均値0.11%、海砂では平均値0.05%でいずれの場合も規定値を満足している。

粗骨材：砕石の平均値は0.09%で約95%の試料が規定値（0.25%以下…JASS 5 昭和59年版）を満足している。なお、山砂利（試験件数n＝12）については、いずれも0.14%以下で規定値内であった。

また、今回の抜取試料による試験結果と昭和61年度の受託試験の結果とを比較すると次のとおりである。

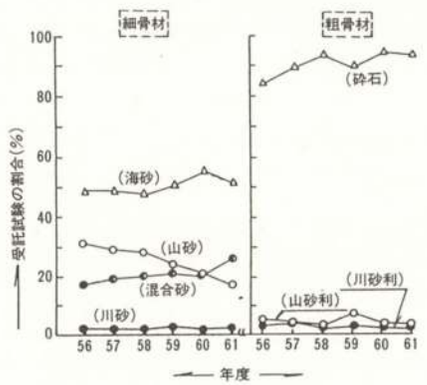
洗い損失量については、山砂において平均値で受託試験の場合1.

52%に対し、抜取試験の場合2.47%と約 1.6倍の値となっている。また、海砂の塩分量については平均値で受託試験の場合0.007 %、抜取試験の場合、0.009となっており、抜取試験の場合の方がやや大きい値となっているものの両者とも低い値であった。次に、粘土塊量については、山砂および海砂において受託試験の場合も抜取試験の場合も平均値が全く同値であり、砕石においても両者の値に大きな差異はなかった。

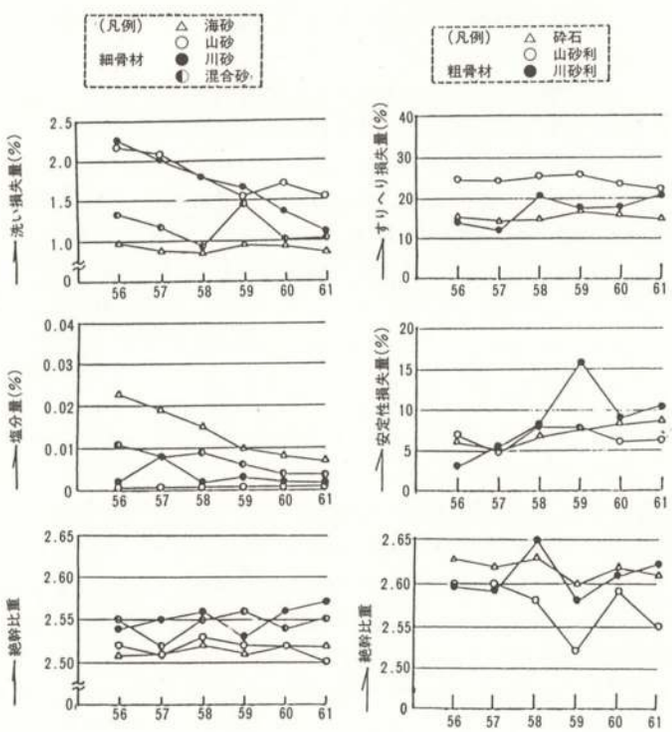
Ⅳ．おわりに

以上のようなことから、骨材の品質としては総合的にみて良好な結果であるといえる。特に海砂の塩分量は年々減少の傾向にあり、現在では総量規制で生コンクリート中の塩分検査も実施されており、品質の管理が徐々に徹底化されていることが伺える。一方、抜取試料による試験結果からもわかるように山砂の泥分量が多く含まれる場合があり、これは耐久性上好ましくなく泥分の除去あるいは泥分の少ない他の砂と混合して用いるなどの対策が必要である。また、一昨年コンクリート中の塩化物総量規制とともにアルカリ骨材反応対策に関する建設省からの通達が出され、これも新たに骨材の品質管理項目として考えて行くべきであろう。

堺分室長　星野　善孝

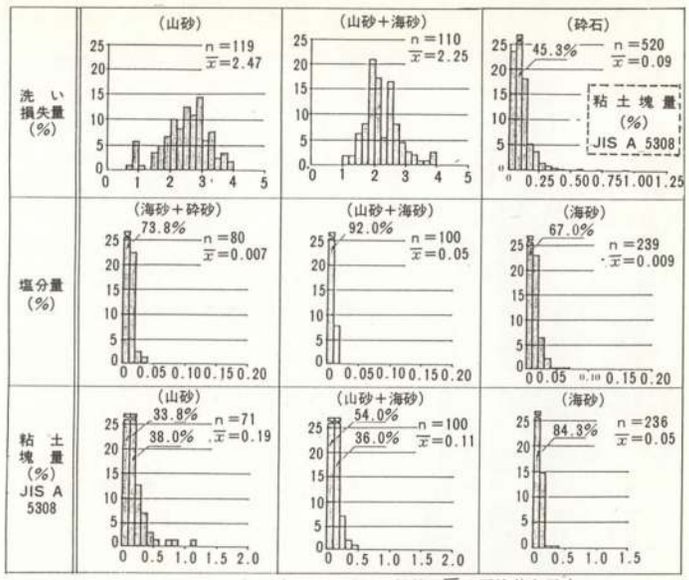


図－１　骨材の種類別・受託試験の割合



注）図中の横軸は、いずれも年度を示す。

図－２　過去６ヶ年間における骨材の品質



注　１）図中のｎはデータ個数、x̄は平均値を示す。
　　また、縦軸はいずれも度数(%)を示す。
　２）混合砂の場合、その混合比率は、(山砂＋海砂）についてはほぼ５：５、(海砂＋砕砂）についてはほぼ７：３であった。

図－３　抜取試料による細骨材および砕石の試験値の分布

表－１　昭和61年度の骨材試験の集計結果

試験項目、骨材の種類		データ個数 n	平均値 x̄	最小値 x min	最大値 x max	規定値との関係　注1) 規定値	満足度
ふるい分け (F．M)	海砂	70	2.67	1.46	3.47		
	山砂	30	2.79	2.02	3.29		
	混合砂	10	2.86	2.17	3.30		
	砕石	50	6.63	5.86	7.09	——	——
洗い損失量 (%)	海砂	82	0.85	0.10	2.01		100%
	山砂	86	1.52	0.18	3.98	3%以下	95%
	混合砂	24	1.02	0.26	3.45		——
	砕石	119	0.30	0.01	1.25	1.0%以下	98%
単位容積重量 (kg/ℓ)	海砂	45	1.58	1.50	1.66		
	山砂	18	1.63	1.54	1.72		
	混合砂	3	1.67	1.61	1.75		
	砕石	29	1.58	1.45	1.77	——	——
絶乾比重	海砂	65	2.52	2.45	2.63		92%
	山砂	26	2.50	2.41	2.57	2.5以上	69%
	混合砂	4	2.55	2.52	2.61		——
	砕石	55	2.61	2.36	2.86	2.5以上	95%
吸水率 (%)	海砂	65	1.99	0.90	2.73		100%
	山砂	26	1.99	1.37	4.04	3.5%以下	96%
	混合砂	4	1.72	1.16	2.04		——
	砕石	55	1.34	0.33	3.98	3.0%以下	95%
すりへり損失量(%)	砕石	50	14.5	0.1	23.9	4.0%以下	100%
安定性損失量 (%)	海砂	26	4.0	1.2	8.4		100%
	山砂	23	2.6	0.7	5.0	10%以下	100%
	混合砂	2	2.2	0.8	3.6		100%
	砕石	73	8.8	0.5	36.6	12%以下	81%
軟石量 (%)	砕石	20	4.1	0.0	19.0	——	——
粘土塊量 (%) 〔JISA 5308〕	海砂	1,487	0.05	0.00	0.89		100%
	山砂	700	0.19	0.00	1.52	1.0%以下	99%
	混合砂	1,097	0.11	0.00	0.88		——
	砕石	2,750	0.07	0.000	0.61	——	——
塩分量 (%)	海砂	3,118	0.007	0.001	0.155		99%
	山砂	697	0.001	0.001	0.020	0.04%	——
	混合砂	1,337	0.004	0.001	0.040	以下	——

注１）砕石の規定値は、JISA 5005 コンクリート用砕石による。また、ここでいう満足度とは、それぞれのデータ個数の内で規定値を満たしているものの割合をいう。



建築の眼

川崎清
京都大学工学部教授

原田明治
大阪府建築部技監

出江寛
出江寛建築事務所

松谷輝雄
鴻池組設計部長

正月号から6月号まで上記の4氏が担当

まちづくりの三種の神器

最近のまちづくりの基本構想の中には「国際化」「情報化」「文化化」の三つのお題目が必ずと言っていいほど唱えられている。「文化化」については各府県とも、美術館、博物館、文化ホールなどを競って建て一応面目を果している。情報化についても、様々なサービスシステムの情報化、建物のインテリジェント化、O．A．化など進展しようとしている。国際化についても、国際会議場、国際文化ホールなど国際と名前のついた公共施設がやたら目立っている。これらの行政努力については、大いに評価をしてやりたい。しかし、こうして立派な施設が出来ているがそれでうまくいっているかどうか、一度外国人になった積りで試して見るといい。

例えば博物館が何かの文化施設を見にゆくと仮定して、地下鉄やバスなどを乗りついで目的地にゆけるかどうか。街路名から始って、バスや地下鉄の行先表示、料金の払い方、乗り替え、ルートの確認など、全てローマ字や英語などで一貫した表示がなされているか、部分的にはあっても全体のシステムとして完備していないことに気がつくだろう。生きた町の中で日本の文化を知って貰うための国際化のための情報システムがうまくいっていないのが実情である。立派な施設をつくると同時に、まちづくりのベーシックなところを考えて貰いたいものだ。（K．K）

混在と純化

地価の暴騰もようやく沈静してきた。しかしマイホームの夢も一層遠のいたと感じる人がめっきり多くなった。東京のオフィス需要による商業地の値上りに端を発し、一挙に周辺住宅地や大阪圏等に波及した地価形成のメカニズムにメスを入れなければ、今後もこのような馬鹿げた事態が突然的に起る可能性は常に内在する。損をみるのは切実に居住改善を望む住宅需要層である。その対策の一つは土地利用規制である。現行の都市計画法の用途地域制は、適正な地価形成をはかるうえで、あまり有効でない。住居地域や第二種住専地域は、住宅以外にも商業、業務施設等の雑多なものの立地を許容しているが、地価は収益性の高い商業・業務施設の地価の動向で形成され、新たな住宅立地を困難にしている。

わが国の街の汚い原因に、雑多な施設の混在を許している都市計画にやはり問題があると指摘する人も多い。「ゆとり」と「うるおい」のある魅力的な街づくりのためにも、このままでよいとは思えない。その場合施設の混在を規制し、用途地域の純化をはかる方法（平面的土地利用規制）もあるが、既に市街地がかなり形成されているわが国の都市の現情と、都市魅力の一つでもあり、また今日的潮流にあるハイブリッドな街への指向をも考えて、例えば都市の一定の地域において、低層階部分に必要な施設の立地を許容し、上部空間を住宅専用の用途にする「用途地域の空間化」の検討等、今日的課題に応えうる効果的な手法の開発が要請されている時期にあると考えている。（H．A）

建築ヲワカクスル也

面白い建築は多いが、何怜の建築は少ない。万葉では何怜と書いておもしろとよませた。何は可、怜は憐で美をめで、いつくしむ感動より生れた言葉であった。昔のおもしろとは、この心にかかわる、もののあわれといった感動をともなう、美しいおもしろでなければならなかった。建築もこの何怜の建築であるべきではないか。

私は、竹中時代に日本の古建築が持つモダンに目を開かれたのであるが、何故それがモダンなのかというのは漠然としたものでしかなかった。しかし、独立後、年とともにそれが何なのか凝縮しつつあるように思える。伝統とは墨守することと考えられがちであるが本来伝統とはクリエイティブなものである。逆にいうならクリエイティブでなければ伝統とはいえない。この伝統に学びつつ、これからも創作活動を続けていく所存である。茶人・山上宗二はその修業に関し次のように述べている。「十五ヨリ三十マテ萬事ヲ師ニマカスル也、三十ヨリ四十一マテハ我分別ヲ出ス、習骨法、普法度、数奇雑談ハ心次第ナリ、但十ノモノ五我ヲ出スヘシ、四十ヨリ五十マテ十年ノ間ハ師ト西ヲ東ト違テスル也、其内我流ヲ出シテ上手ノ名ヲトル也、茶湯ヲワカクスル也、又、五十ヨリ六十マテ十年ノ間ハ師ノコトク一器ノ水一器ニ移スヨウニスル也、名人ノ所作ヲ萬手本ニスル也、」私は今五十路を歩んでいるが、四十から五十の「師ト違テ云々」のくだりが好きで、我流を出すことにより「建築ヲワカクスル也」でありたいと思っている。（K．I）

こんなものいらない

“こんなものいらない”というＴＶ番組が面白い。制度やしきたりなど、なにげなく当り前に思われている事がらが日常生活のなかで存在価値が逆転されて運用され、それなら“いらないのではないか”というものである。日曜夜の番組なので見ている方も多いと思うが、例えば日本の大学入試の英語の問題をアメリカのハイスクールの先生達に回答させたところ、100点満点でほとんどの先生が20～30点であったという。しかも回答した先生達の感想が正解の内容が信じられないと語っている。

そこで“入試の序列をするための英語教育ならいらないよ”というものである。さて、その気になってみてみると我々を取り巻く建築の世界でもなんと要らないものの多いことか。例えば、一級建築士。その権限と責任をどれ程与えられているだろうか。どのような技術と創意性を発揮しても確認申請と評定審査の段階でいとも簡単に一級建築士の権限は霧散してしまう。行政担当官と日本建築センターの思うがままとはうがち過ぎだろうか。乱造が原因かその資質が問題なのか、建築士の制度が見直されようとしている今、すべての責任のもとで100％発揮出来る権限を建築士よ持とうではないか。（T．M）



本州・四国連絡橋瀬戸大橋

特集

中国地方の展望とひろしまの街なみ

作品

橋の博物館・橋の広場

広島県情報プラザ

広島市中区スポーツセンター

ふくやま美術館

広島工業大学鶴記念体育館

中小企業大学校広島校

中国電力ビル本館

広島相互銀行本店

広島銀行宇品保管センター

広島ターミナルホテル

中川病院

広島県立歴史博物館

呉市文化ホール

広島市西区民文化センター

リバーフロント日興

中国地方の優秀建築賞受賞作品

本文

座談会　ひろしまの街なみ

アンケート　栄久庵憲司／佐古　一／佐々木久子／森下洋子／室山貴義

広島建築ガイドマップ

中国地方のプロジェクト紹介

ニュース

広島市の公的住宅／広島湾の淡水化計画／宮島の借景か、対岸の借景(眺望)か

中国支部編集委員会

平本俊秋、稲葉　登、古林敏郎、横田昇三、柴田修身、森畑　武、橋本秀夫、小林泰樹



橋の公園から見た博物館



広場の廻廊から見た博物館



リアルト橋の½模型　内部は展示スペースでもある

橋の博物館・橋の広場

設計監理　上田篤アトリエ＋東畑建築事務所・世界都市研究会
施　　工　フジタ工業(橋の博物館)、五洋建設・藤原組共同企業体(橋の広場)

モニュメント工事　前田屋外美術
コルゲート工事　新高製作所



瀬戸大橋の岡山側の玄関、ＪＲ児島駅から北に歩くと突如巨大な太鼓橋が姿を現わす。どこにでもある地方都市の雑然とした文脈とは無関係に、あたかも一夜にして構築されたかのごとき異彩を放つ橋の博物館である。

敷地は、瀬戸大橋の開通に伴って急速に都市整備の進む倉敷市児島の、新市街地と旧市街地との接点に位置し、ここに地域の活性化をねらって計画された、「児島カルチャースクエア」の中心的施設が、「橋の博物館」（倉敷市瀬戸大橋架橋記念館）と「橋の広場」である。基本構想は、世界都市研究会（会長：上田篤京都精華大学教授）により行なわれ、ひきつづき、上田篤アトリエ＋東畑建築事務所で設計が進められた。

橋の博物館は、日本古来の太鼓橋をモチーフとした形態をもち、階段状の大屋根には実際に人が登ることもできる。内部は、いわば「橋の裏の空間」であるが、ここにさらに「幻のリアルト橋」が架かるというパラドキシカルな構成となっている。このリアルト橋は、ヴェネチアに現存するものとは異なるパラディオの案によるもので、『建築四書』等に残された図面をもとに、約½のスケールでつくられている。「橋の裏面」にあたる天井全面には、「橋の下に集う人々」が浮世絵風に描かれており、空間を圧倒している。また、両妻面のカーテンウォールは、昼間は周囲の街並を映し出し、夜間は一転して、乳白色のリアルト橋を美しく浮き上がらせる。

一方、隣接する橋の広場は、太鼓橋を渡った先の、いわば「境内」であり、ヴォールト屋根の廻廊に囲まれたニュートラルな広がりの中に、多様なモニュメントが林立している。床面には、瀬戸大橋のケーブル断面を模したステンレス鋳造平板が埋め込まれ、それらの一部が、上にのびてコルゲートパイプの柱となり、あるものは椅子やテーブルとして、またあるものは照明塔やマネキン人形の台座として使われている。

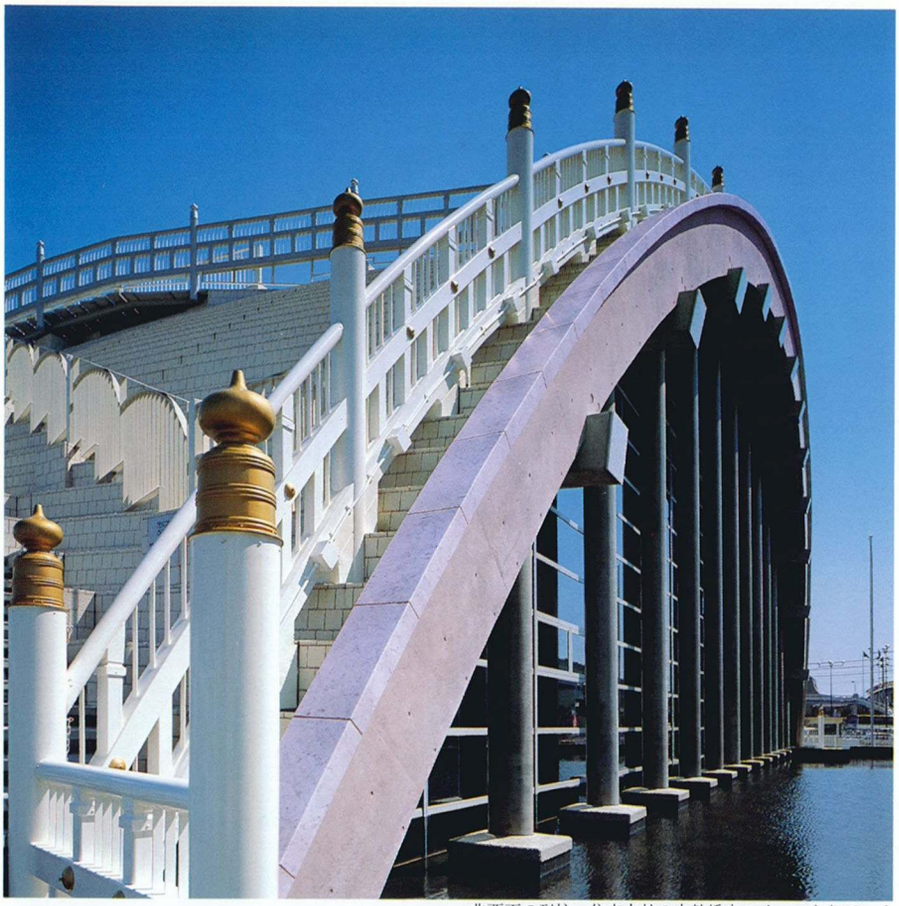
この街のなだらかな日常性の中に、忽然とこの異次元世界を思わせる場が生まれたことは、ひとつのハプニングであった。太鼓橋とパラディオのぶつかり合いも、カーテンウォールの画像の昼夜の豹変も、コルゲートパイプの上のマネキン人形も、すべてがいわば「ハプニング」である。私たちは、形態の全体としての整合性よりも、むしろ見る者をはっとさせるような「ハプニング」をひとつのコンセプトとしてとらえ、設計監理にあたった。

瀬戸大橋の開通により新たな様相を見せ始めたこの地域の時代のモニュメントとして、この施設が根づいてくれることを、関係者の方々とともに見守っていきたいと思う。

（米井　寛／東畑建築事務所）







北西面の列柱　住吉大社の太鼓橋をモチーフとしている



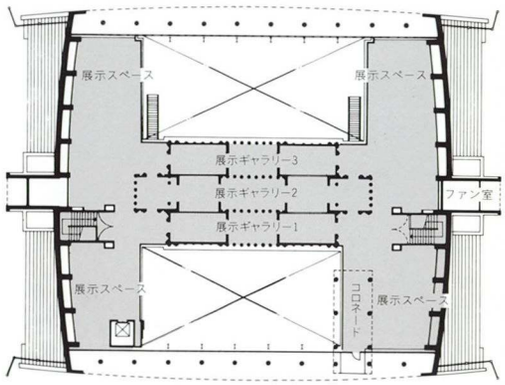
橋の広場から見た博物館　屋根の上に自由に人が登ることができる



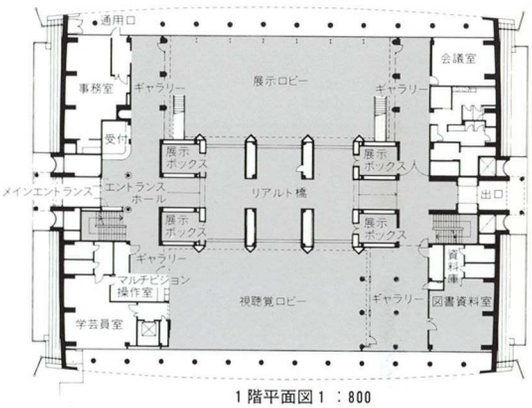
映像・研修室　橋の裏が表現されている

◀南東面(夜景)浮世絵風の天井画と白いリアルト橋が浮き上がる
広場に林立するコルゲートパイプのモニュメント　中央は「ダンシング・ブリッジ」

所 在 地　倉敷市児島味野2-3792
敷地面積　3,298.46㎡(橋の博物館)+3,923.30㎡(橋の広場)
建築面積　1,677.34㎡(橋の博物館)+　366.75㎡(橋の広場)
延床面積　3,318.46㎡(橋の博物館)+　77.40㎡(橋の広場)
構造規模　RC、一部PC、S、B1、2F(橋の博物館)
　　RC、一部S(橋の広場)
工　　期　昭和61年12月～昭和62年12月
最 寄 駅　JR瀬戸大橋線児島駅
撮　　影　島　修一



2階平面図1：800



1階平面図1：800



地階平面図1：800



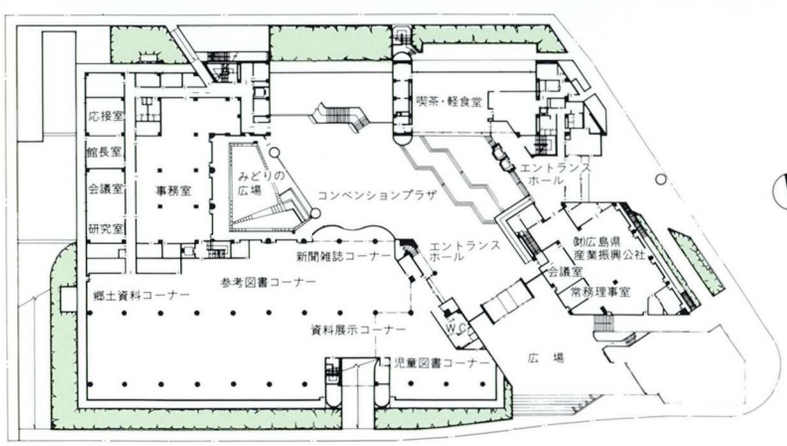
配置図1：3000

広島県情報プラザ

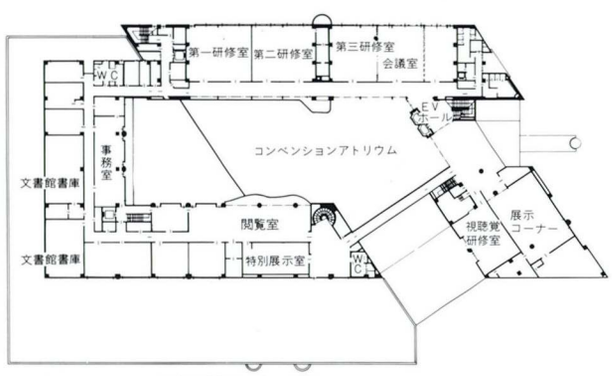
設計監理　広島県土木建築部都市局営繕課・佐藤武夫設計事務所
施　　工　フジタ工業・鹿島建設・錦建設共同企業体



コンベンションプラザ



1階平面図・配置図 1：2000



2階平面図　1：2000

所 在 地　広島市中区千田町３－７－47
敷地面積　10,015.78㎡
建築面積　 5,666.42㎡
延床面積　23,674.02㎡
構造規模　SRC、B2，6F
工　　期　昭和61年６月～昭和63年３月
最 寄 駅　JR山陽本線広島駅
撮　　影　国際写真



情報プラザは〝情報〟というキーワードを共通の基盤に持つ県立図書館、県立文書館、そして産業・技術交流センターの３つの施設からなる複合施設である。計画は各々独自のサービスをもち、行政での位置ずけがなされている機能に、２つの共通テーマを与え、高度な情報複合施設としてより高いサービスを提供し、県民のニーズに答えることを目指した。
（１）情報化の進展に対応できる技術を内包する施設→インテリジェントビルの提案。
（２）人々の出会いを誘発し、人間性の発見できる空間→コンベンションアトリウムの提案。
敷地は広島市の南に位置する。市の中心部から約２キロメートルの距離にあり、移転した広島大学工学部跡地の一部で元安川に面している。この跡地を利用し現在県及び市の文化・技術・医療など先端的な公共施設を集中した建設工事が進んでおり、今後新しい地域として注目を集めることになるであろう。
建物は高層部と低層部からなりたっている。北側の住宅地への日照を確保するため、南側に配置した高層棟と北側の低層部に囲まれた部分に施設のテーマ空間であるコンベンションアトリウムと緑の広場がある。全体構成は、地下に駐車場（100台）と書庫関係を集中し、地上にはアトリウムを中心に低層部に図書館と文書館を高層部に産業・技術交流センターを配置した。施設の中央にあるコンベンションプラザは全体の玄関であると同時に多目的なイベント広場でもある。１階から５階をむすぶ吹抜け空間には立体トラスによるガラスの屋根がかけられており外光が降り注ぎ、施設の主要な部屋はすべてこの空間を通して相互に見通すことができる。１・２階に配置した図書館と文書館は一般の県民が利用する部分であるため最も利用しやすい配置とした。100万冊（書庫も含む）収容する図書館の主空間である開架閲覧室は1700㎡の広さを誇るワンルームのオープンフロアを特色としている。この他１・２階と地階の一部には集会関係の諸室が配置されている。３階から５階は産業・技術交流センターの諸室が配置されており24メートルの大架構とＯＡフロアー・ＯＡ照明の採用により部屋配置の変更と情報機器の導入に高い自由度を確保した。また４階に設けた融合化サロンは産・学・官各界の名士のサロンとしてゆとりある出合いが演出されている。施設全体には光ＬＡＮをはじめとして情報化への技術的対応が計られているが、今後社会の動向に合わせて導入される県民へのサービスを定着させ施設イメージをつくってゆくかが課題であろう。（佐藤武夫設計事務所）



全　景



喫茶・軽食堂



視聴覚研修室

広島市中区スポーツセンター

設　　計　教育施設研究所広島事務所
施　　工　大本組・堀田建設・湯川組・門出工務店建設工事共同企業体

所 在 地　広島市中区千田町３丁目
敷地面積　7,065.03㎡
建築面積　4,308.57㎡(駐車場1,554.86㎡)
延床面積　8,284.73㎡(駐車場1,554.86㎡)
構造規模　SRC、3F、一部5F
工　　期　昭和61年10月～昭和63年３月
最 寄 駅　JR山陽本線広島駅
撮　　影　国際写真



正面



南面外観



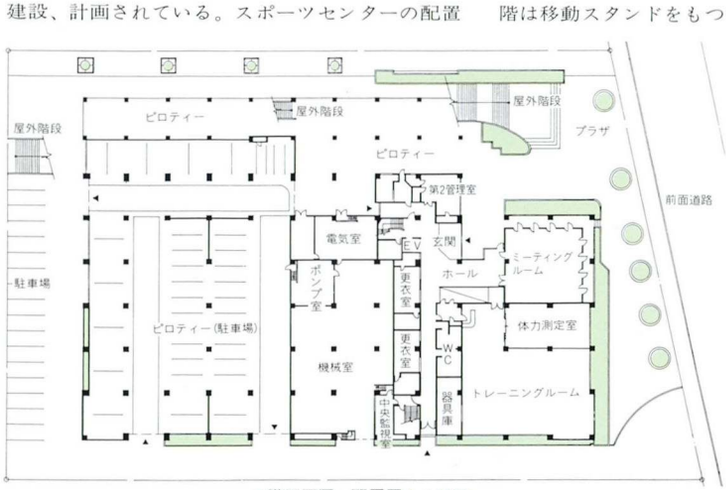
大体育室

昭和55年広島市が政令都市に指定されて以来、各行政区に、地区スポーツセンターが順次建設されている。この度新築となった中区スポーツセンターは、広島の中心にあたる「中区」に建設され、また1994年に広島市で開催される第12回アジア競技大会においては、バスケットボール会場となる予定である。

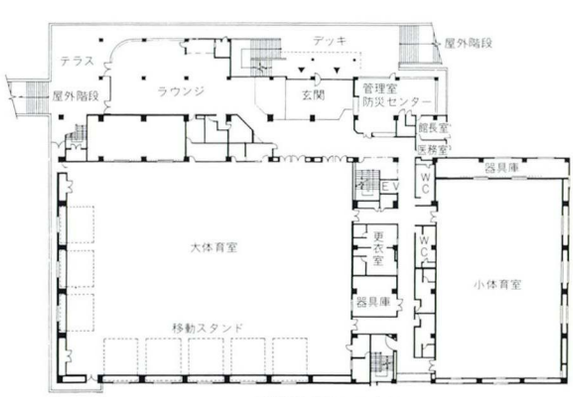
敷地は広島大学工学部の移転による跡地にあり、この跡地は区民の教育・文化・健康ゾーンとして、他に工業技術センター・県民プラザ（図書館）・総合検診センター等の公共施設等と、地区公園が建設、計画されている。スポーツセンターの配置計画をする上で大きなポイントとなったのは、60台分の駐車スペースと、大小体育室の位置関係であった。限られた敷地内で駐車台数を確保するため、1階の約半分をピロティー形式の屋内駐車場に利用し、大小体育室を2階の同一フロアーに配置した。メインフロアーが2階であるため、管理事務室も2階に配置し、外来者は敷地アプローチから巾6mの屋外階段で直接2階の玄関に導いている。大会時においてもこの屋外階段で、2階3階の玄関に誘導する計画である。1階にはトレーニングルーム、ミーティングルーム等を配し、3階は移動スタンドをもつギャラリー、ランニングコース、ラウンジ等を計画している。

外観のデザインは、周囲の施設との融合を図りながらスポーツセンターとしてのイメージを印象づけるよう心掛けた。外壁のタイル色は跡地利用計画のベーシックカラーであるベージュを採用した。大小体育室のギャラリー1階の窓は大きな横長の連窓として扱い、2、3階デッキ部分の手摺の水平ラインと合わせて建物に軽快さを表現した。また大体育室の屋根部分は斜めにカットし、軽いイメージの金属板を使用することで、建物全体の重量感を和らげている。

（教育施設研究所）



1階平面図・配置図1：1200



2階平面図1：1200

ふくやま美術館

設　　計　佐藤武夫設計事務所
施　　工　熊谷組・青木建設・大宗建設共同企業体
電気設備　近電工・大村電工共同企業体
機械設備　東洋熱工業・丸八工業共同企業体

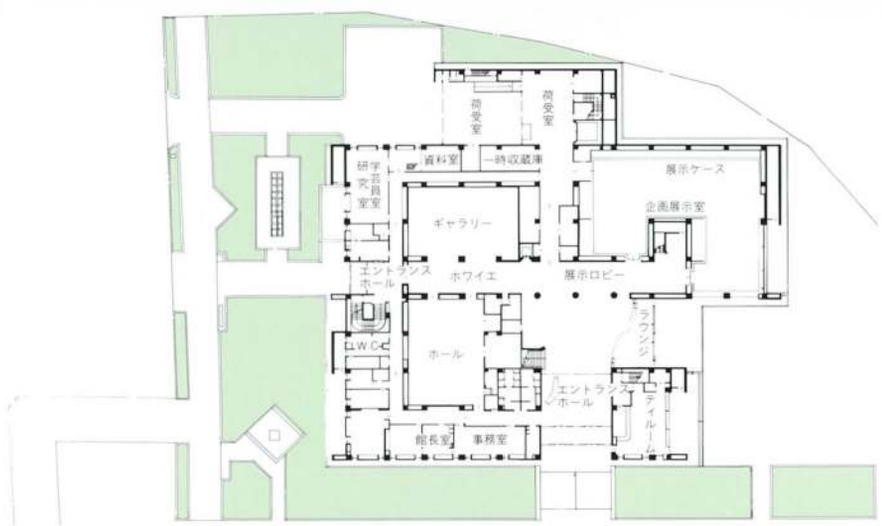
所 在 地　福山市西町2-2-5
敷地面積　109,790.00㎡
建築面積　3,310.64㎡
延床面積　7,007.31㎡
構造規模　SRC、BI、2F
工　　期　昭和61年9月～昭和63年3月
最 寄 駅　JR山陽本線福山駅
撮　　影　国際写真


エントランス


ホワイエ

この美術館は新幹線福山駅に隣接する福山城公園の中心に位置し、交通の至便さと緑豊かな公園の静かさとをあわせもつ新しい都市公園型美術館として、福山市を中心とする広域圏の住民参加によるオープンタイプの美術館をめざしている。
外観は福山城の石垣のスカイラインに溶けこむように水平線を強調し、またその材料は周辺の緑と調和のとれた桜色の花こう岩を選定した。屋根は断熱材裏打ちの那智黒石打込ＰＣ版を用い、防水層との間に空気層を設けることによって断熱とドラフト効果をねらっている。またこのＰＣ版と素地のままのＰＣ版とを組み合わせることによって地場産の「備後絣」をパターン化している。
建物は３層で構成されている。地階に機械室を、１階には展示部門（企画展示）・管理部門・学芸部門を、２階には展示部門（常設展示）・教育普及部門・収蔵部門をそれぞれブロックごとにコンパクトにまとめた。建物の中心にテーマ空間としての展示ロビーを設けることによって各展示室への導入空間としての機能と休憩や展示にも使えるよう十分なスペースと雰囲気づくりを意図した。
また公園の美術館化、美術館の公園化をめざして、各展示室・ラウンジ・ティールーム等から緑豊かな公園や天守閣が眺められるように、額縁化された窓（ピクチャーウィンドー）を設けている。
デザイン的には明るい色と軽いディテールをねらいながら外観は直線を基調にした男性的なイメージを、内部は曲線を多用し、また間接照明を積極的に用いることによって柔らかく、女性的なイメージをねらった。

（佐藤武夫設計事務所）



1階平面図・配置図1：1200



2階平面図1：1200

全景
エントランスホール▶





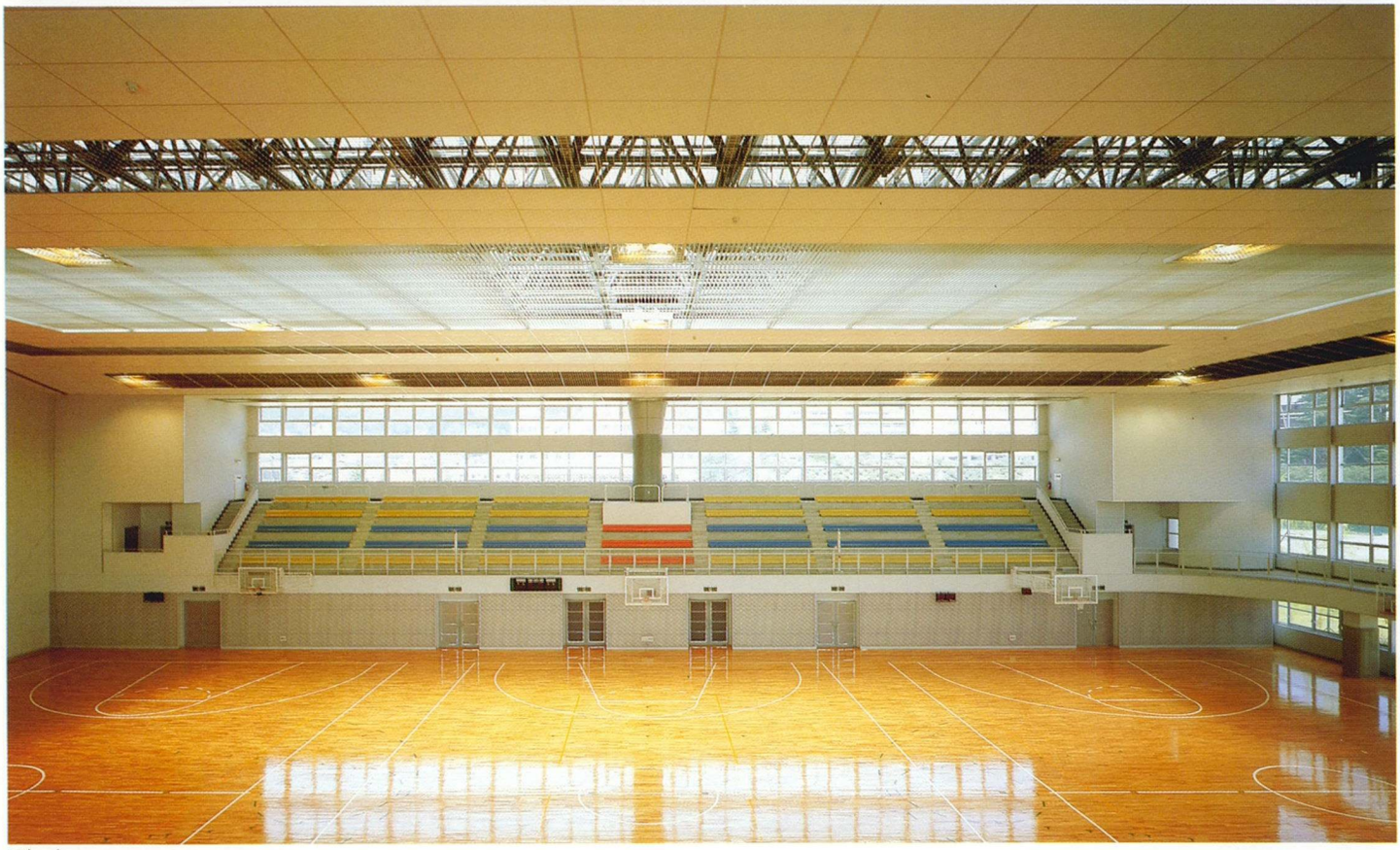
広島工業大学鶴記念体育館

設計監理　河内義就設計事務所
施　　工　フジタ工業

所 在 地　広島市佐伯区五日市町大字三宅725
敷地面積　109,171.785㎡
建築面積　3,494.349㎡
延床面積　7,070.129㎡
構造規模　RC、一部S、3F
工　　期　昭和60年9月～昭和61年10月
最 寄 駅　JR山陽本線五日市駅
撮　　影　国際写真



全景



アリーナ

広島工業大学は、広島市の西端に位置し、住宅団地、ゴルフ場などに囲まれた緑の多い閑静な丘陵地にあって、北西に細長い南東斜面の段状キャンパスである。建物はキャンパスの南に位置し、大学30周年記念構想の一環として企画され、体育施設の中核となる規模でソーラーシステム等、省エネ施設も備えている。

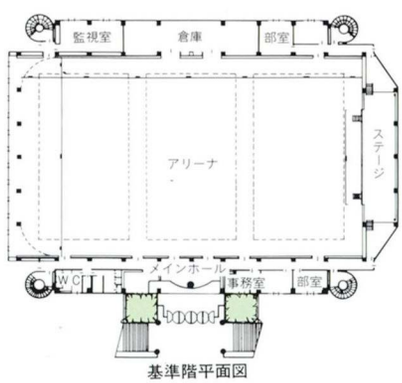
平面は、１階に25ｍ温水プール、更衣室、シャワー室、トレーニングルーム（サブアリーナ）、２階にメインアリーナ（バスケットコート３面）を配し、４隅に円形階段（コア）を置き、競技運営、選手動線として、有機的な連絡をとれるようにしている。２階のアリーナには直接外部階段によりアプローチが可能であり、それぞれの階にイベント等に対応できる充分な広さのホールをとり、それぞれ独立した形での利用ができる。

外観は、全長63ｍ、全幅46ｍ、高さ23ｍ（アリーナ面34ｍ×57ｍ、観客席約 800席）の大規模体育館で、フレームは、大屋根を立体トラスによる大架構で６本の柱で支え、４隅の柱（階段コア）を円形として柔らかさを持たせ、外装はアルミパネルと連窓サッシで変化を持たせている。色は、楣と円形階段を大学の基調色の白としてフレームを柔らかく表現し、壁面はグレーとして、威圧的にならないようスケール感を押さえている。

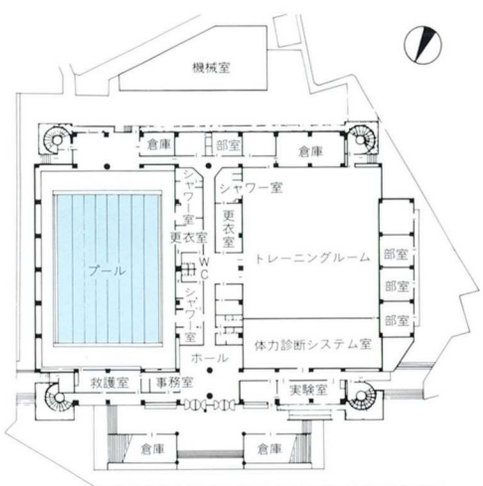
周辺は、北側隣地と近接していることやキャンパス内施設への影響を考慮し、機械室の騒音対策についても遮音構造、消音ダクト等を使用している。

施工面も振動及び騒音対策、安全施工の為に、２階床版上にて屋根の鉄骨トラスを組み、仕上も全て完了させてからリフトアップを行なうなど、珍しい工法も採用され、内外へ大きく話題も提供し、広島市の優秀建築物表彰、全国ソーラーシステム優良デザインコンテスト入選をそれぞれはたしている。

（河内義就設計事務所）

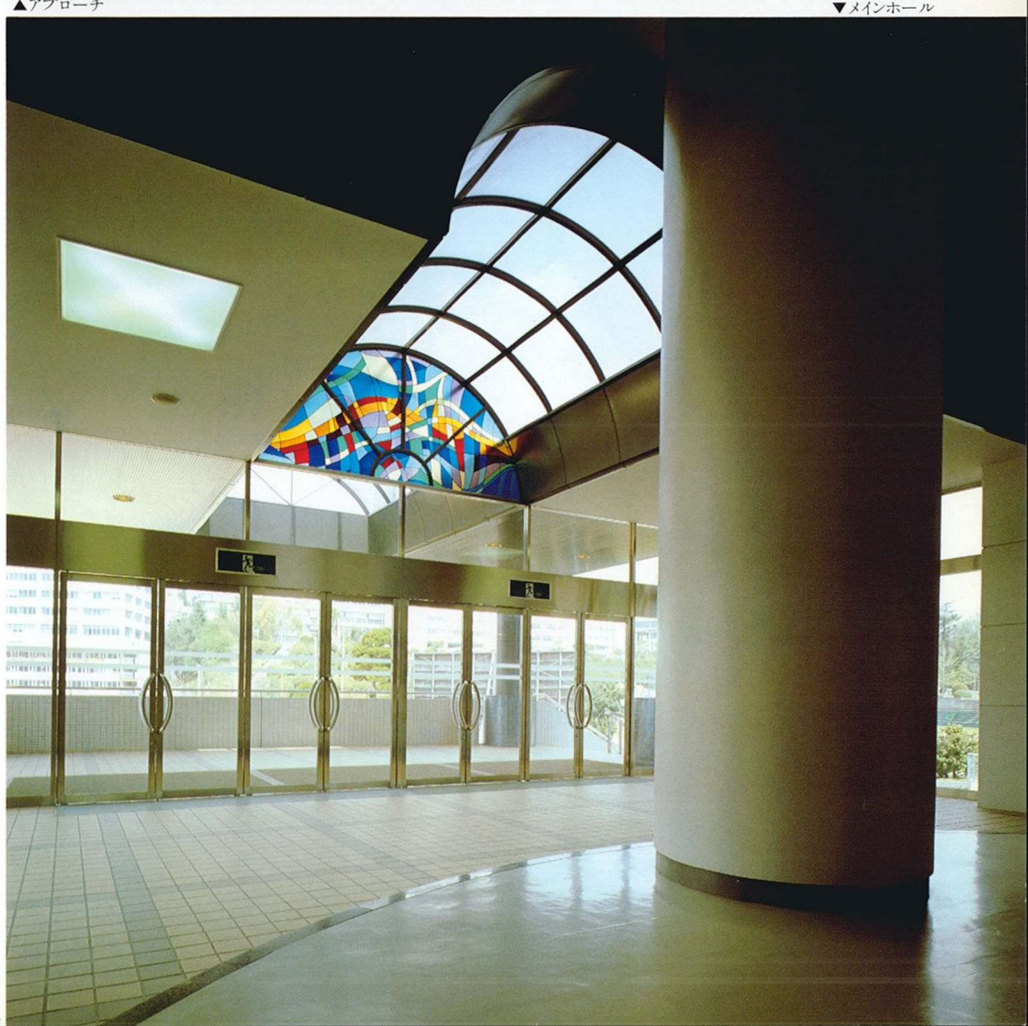


基準階平面図



1階平面図・配置図


▲アプローチ


▼メインホール

中小企業大学校広島校

設計監理　(協)広島県設計連合
施　　工　竹中・砂原・下岸・日興・上野谷建設工事共同企業体



▲ 正面外観

▼ 全　景



所 在 地　広島市西区草津新町１－21－５
敷地面積　9,948.99㎡
建築面積　2,879.30㎡
延床面積　7,238.86㎡
構造規模　RC、一部SRC、4F
工　　期　昭和61年11月～昭和63年３月
最 寄 駅　JR山陽本線新井ノ口駅
撮　　影　国際写真

中小企業大学校は、通常の大学というよりむしろ、中小企業の経営者、管理者等の人材育成を目的とした国の機関であり、特に宿泊機能を有する研修施設を備えた大学としての性格を持っている。
設計にあたり、第１に大学校としての落ちつきを持つ、スマートな建物。第２に、中高年の利用者にとって、研修を受けるばかりでなく、異業種、他県からきた人々との交流を深められる親しみの湧く施設、の２つのテーマを設定した。建物の構成は、金属パネルとガラスで仕上げた２層吹抜の玄関棟を中心に配し、左右に勾配屋根をのせたツインコリダーの平面型の研修棟（２階建）と宿泊棟（４階建）を雁行型に組合せ、視覚的に変化のある形態とした。屋根や外壁は水平線を強調し安定感を持たせると共に、色彩は同系色でまとめ、軒樋のＧＲＣや外壁出隅タイルは曲面加工を施し、柔らかみのある建物とした。
研修棟には、一般教室、実習室、事務室をまとめニューメディアに対応できるものとし、一般教室には、可動間仕切を採用している。宿泊棟の１階には、フロント、管理サービスゾーン、２階には浴室、食堂等のパブリックゾーンをレイアウトし研修と宿泊の切替えを行う。眺望のきく、３・４階の宿泊室からは、宮島や鈴ヶ峰の夜景を望むことができる。
その他外部には、研修生のコミュニケーションの場として、サンクンガーデンや、バーベキューコーナーを設計した。設計から、竣工に至るまで、ハードの面で、大小様々な課題があったが、最後に、山口牧生先生のモニュメントと坂本和正先生の特注家具がセットされた時、建設に携さわった、方々のエネルギーによって、建物が躍動し始めたという感慨を覚えた。

（藤井　洋）

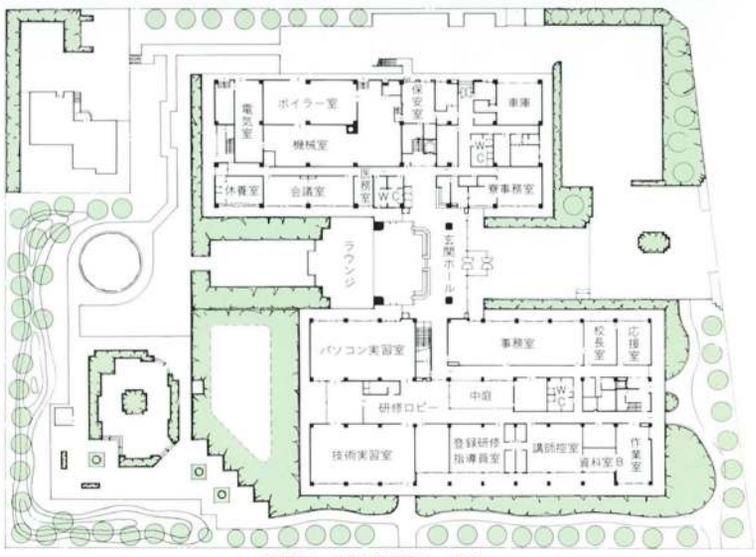

ラウンジ


読書室

設　　計　（意匠）村田相互設計事務所・大旗連合設計・関根建築設計事務所
　　（構造）アクト建築設計事務所
　　（設備）相互設備事務所
監　　理　村田相互設計事務所・相互設備事務所



2階平面図１：1200

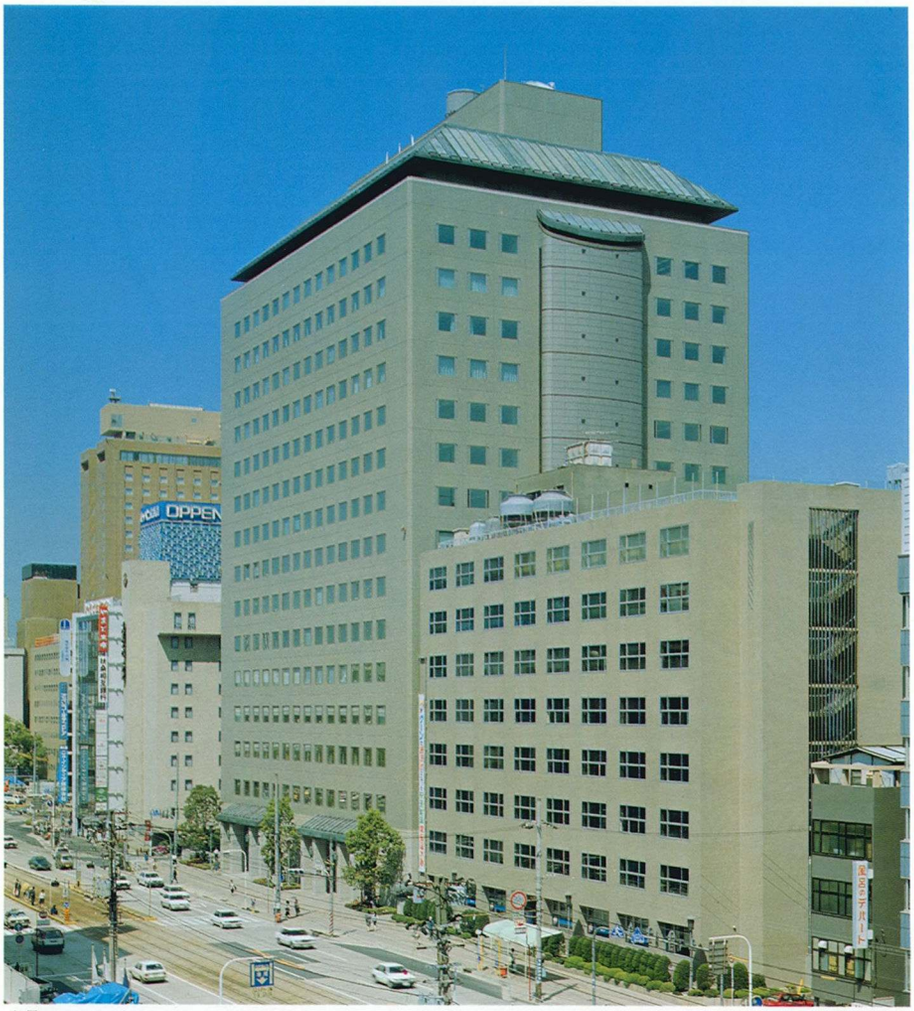


配置図・１階平面図１：1200

中国電力ビル本館

設計監理　中電技術コンサルタント
施　　工　鹿島建設・大林組・フジタ工業・奥村組共同企業体

所 在 地　広島市中区小町
敷地面積　13,240㎡
建築面積　2,161㎡
延床面積　35,550㎡
構造規模　SRC、S、B2、16F
工　　期　昭和60年6月～昭和62年3月
最 寄 駅　JR山陽本線広島駅
撮　　影　国際写真



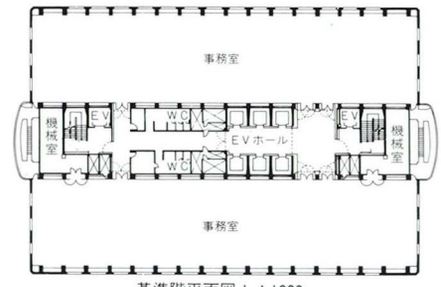
全景

設計にあたっては、100万国際都市広島にふさわしいファサードで都市景観に貢献することはいうまでもないが、同時に、情報化社会に対応するため、オール電化の本格的なインテリジェントビルを目指した。
また、質実剛健な風格と、旧2号館同様に鯉城通りのランドマークとして市民に親しまれるよう「旧館のメモリーの継承」をデザインのテーマにした。
三連アーチの玄関様式、ファサードの三層構成などは、それを簡略化し、新たにデザインしたものである。
一方、制約のある敷地を最大限に活かす方策として〝ゲートウェイ様式〟を採用しているのも、大きな特長であろう。
つまり敷地外周は一方通行と路面電車の停留所があることによって、かなり交通規制を受けるが、車の動線をスムーズに処理することまた35,000㎡の建築容積を所定の位置に確保するための方策として、これを採用した。正門のゲートウェイと、本社ビルの〝玄関〟をシンメトリーに配置し、安定したイメージを強調している。
その他、公益事業会社という建物の性格を考慮して、低層階には地域開放型の施設（展示ホール、食堂、大会議場等）を配置しているのも特長の一つになっている。平面的にはセンターリニアーコアタイプで、上階にいくにしたがってクローズの度合が厳しくなっている。

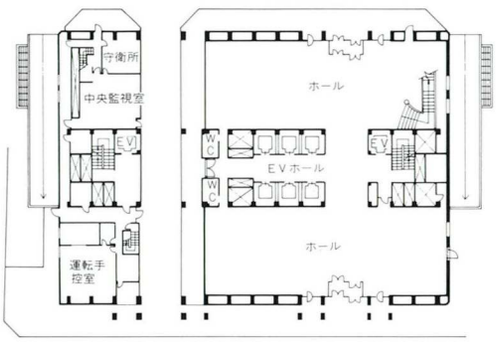
（中電技術コンサルタント）



南面外観



基準階平面図 1：1000



1階平面図 1：1000

ホール
大会議場 ▶





広島相互銀行本店

設計監理　日建設計
施　　工　竹中工務店・フジタ工業共同企業体



全　景

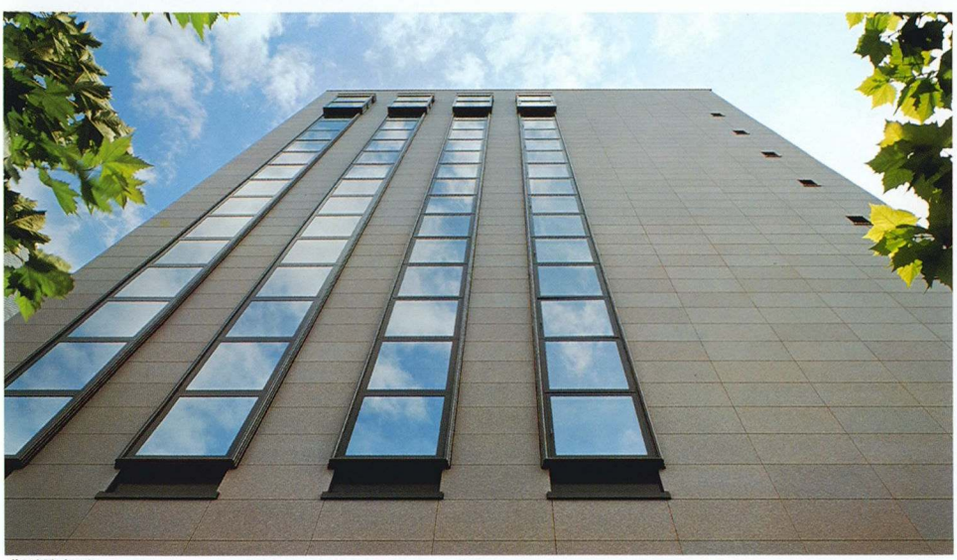
広島相互銀行本店新館は、昭和35年に建てられた本店建物の隣接地に既存施設の機能規模を大幅に拡大するために建設された。市街地の中心部で限られた敷地を有効に利用するために高層化を行い、周辺街路にわずかながらオープンスペースを確保した。

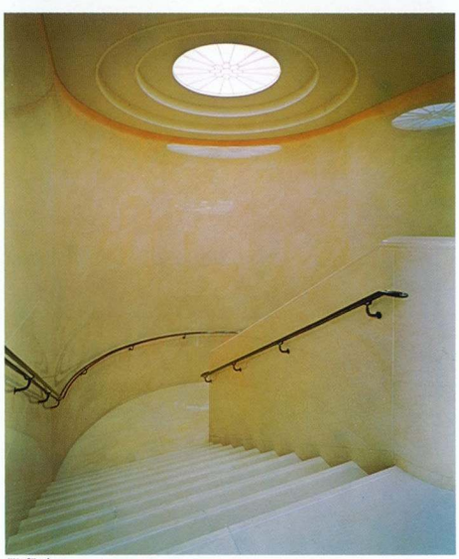
外観上は今後、広島のスカイラインを永く形成してゆく建物として、堅実な形でまとめた。外装材の選定に当たっては、社会的使命として、都市環境向上に貢献する姿勢の建築主の理解を得て全面花崗石貼りとした。

新館建設と同時に、既設の建物の外装も同種の花崗石でリフレッシュし、さらに内装も一新して、新館と一体的な利用が計れるようにした。特に営業部は既設をメイン営業室とし、新設の貸付営業室と同じ大理石貼りとして新館と区別のつかない新しい営業室として再生している。

（日建設計）


エントランスホール

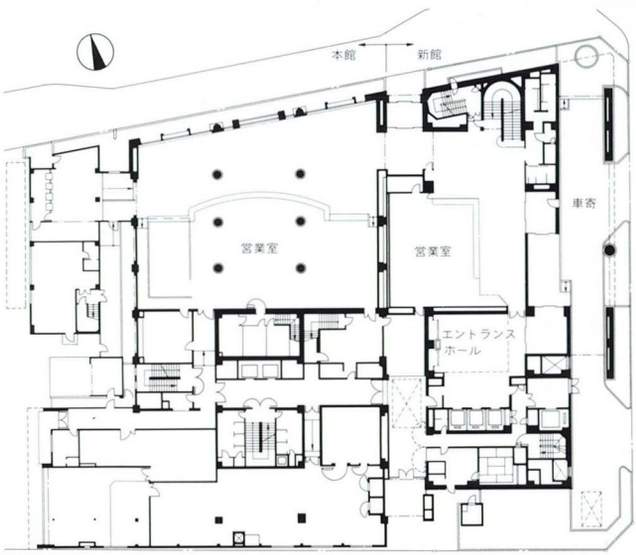

北面見上げ


階段室

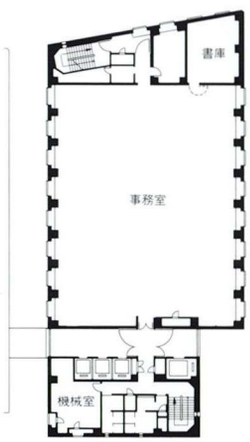
所 在 地　広島市中区胡町1-24
敷地面積　3,813.69㎡
建築面積　2,842.39㎡(新館　940.72㎡)
延床面積　16,466.30㎡(新館8,999.59㎡)
構造規模　RC、B1、10F、P2
工　　期　昭和60年1月～61年10月
最 寄 駅　JR山陽本線広島駅
撮　　影　国際写真



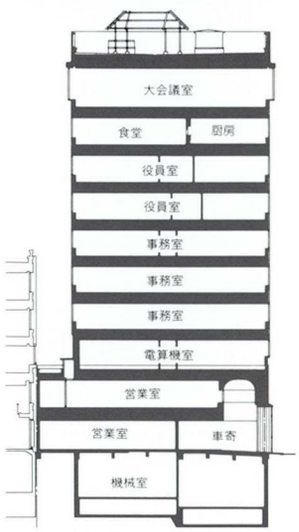
本店1階営業室



1階平面図1：800



新館基準階平面図1：800



新館断面図1：800

広島銀行宇品保管センター

設計監理　河内義就設計事務所
施　　工　増岡組
保管設備　クマヒラ・熊平製作所



東面外観



全景



倉庫(ハンドル式システムラック)

所 在 地　広島市南区宇品御幸1-6-18
敷地面積　4,478.62㎡
建築面積　1,339.80㎡
延床面積　3,948.96㎡
構造規模　RC、3F
工　　期　昭和61年3月～昭和61年10月
最 寄 駅　JR山陽本線広島駅
撮　　影　国際写真

外装仕上　庇　コールテン鋼ウェザーコートプレパレン処理
外壁　(上部)合板型枠打放し吹付タイル
(下部)合板型枠打放し御影石状吹付タイル
建具　アルミ製電解着色

この建物は、分散していた書類、用度品、広告宣伝品等の保管を一ヶ所に集中統合して、事務の効率化、合理化を図るための多目的倉庫ビルとして企画された。

敷地は、広島の海の玄関宇品港に近く、京橋川河岸沿いにあり、岸より低く、低層住宅が密集する地域にある。

よって建物は、中空スラブ等の採用で、機能上許されるだけ高さを押さえて、周辺への圧迫感をさけた。又、外装の色彩もモノトーンを基調に、形態を明解に表現することで、街並みへの配慮をした。

外観は伝統的な土蔵をイメージしつつ、庇のコールテン鋼、腰壁の御影石風吹付、上部壁を白の吹付タイルとして基本的な構成とし、開口部及び非常用進入口のベランダ等をアクセント的に配置した。

内部は、保管機能上、日常出し入れの多い用度品倉庫、管理室等を1階に設け、保存用一般書類を2・3階に保管し、磁器テープは3階の一部に保管し、RC造の床、壁の内側を更に断熱気密パネルで囲い、二重構造とし、個別空調をして完全保管としている。また、これらの出し入れには敏速化を図るため、全てハンドル式の移動ラックを使用している。

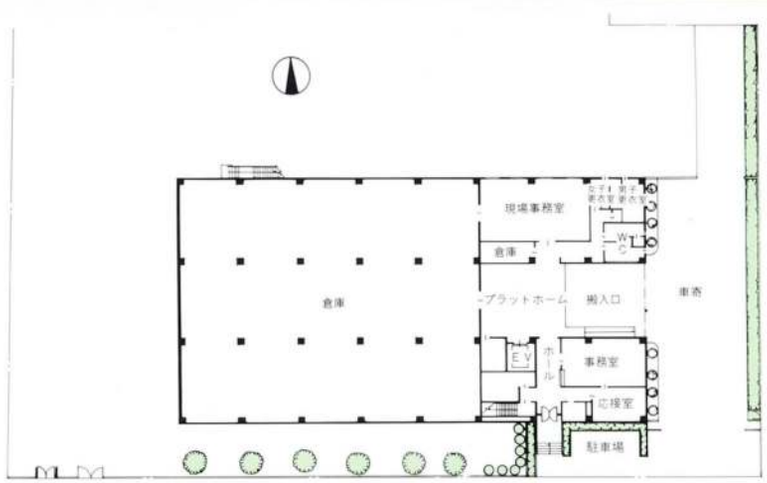
また、保管量は、いずれも現状の2倍近くのスペースが確保され、更に将来対応として2スパン程度増築予定も残している。

屋上には、これまで隣接する独身寮の厚生施設としてあったテニスコート2面のうち、1面を上げて、建物とその周りに余裕のある計画ができ、利用者に好評を得ている。

（河内義就設計事務所）


南面外観


東面見上げ



平面図 1：800

広島ターミナルホテル

設　計　日本国有鉄道下関工事事務所・日本国有鉄道東京建築工事局・鉄道会館設計事務所
監　理　日本国有鉄道下関工事事務所・鉄道会館設計事務所
施　工　大林組・フジタ工業共同企業体



全　景

広島駅新幹線口の駅前広場に面する当ホテルは、旧国鉄用地の活用策として計画された。鉄道線路を間にして市中心部の反対側に位置する当地周辺に高層建築は少なく、地上22階建の規模を持つ当ホテルは、駅周辺のランドマークとなっている。

設計にあたり営業面と連動したコンセプトワード「Sohpisticated & Good Hearted」が設定され、これをもとに外装からインテリアまで検討が進められた。外装は白いシンプルなイメージを与えるべく、白いタイル壁面に水平ラインを強調した開口部を整理して設ける構成とした。

ホテル内の施設構成は、1～2階吹抜のロビー、2階吹抜まわり飲食店、1000㎡の大宴会場と大中小14室の宴会場、440室662名収容の客室、20階スカイレストラン等である。

ロビー空間は吹抜内の床にレベル差を設けることにより、ラウンジやカスケードのスペースとし、



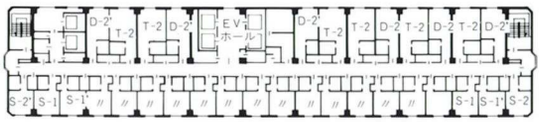
また2階新幹線コンコース面にもエントランスを設けロビーと結び、変化のある親しみやすい空間とした。

大宴会場「悠久」は市内最大規模を確保し、また多様な利用に対応出来る各種設備の充実を図りながら豪華さを演出するため、72個のシャンデリアと間接照明をグリッド状に配置し、瀬戸内の波のきらめきを表現した天井構成とした。440室から成る客室は多くのタイプを設け、各々の家具も利用者に好ましいものとなるよう配慮し、色調は基本コンセプトにそったシックなパステル調とした。

料飲施設は、ワインレッドで統一したメインバー・厳島神社の能舞台をモチーフしたディスプレイスペースを持つ和食堂・眺望を重視した20階レストランやバーラウンジなど基本コンセプトをベースにした個性的インテリアとなるよう心がけた。

（鉄道会館設計事務所）

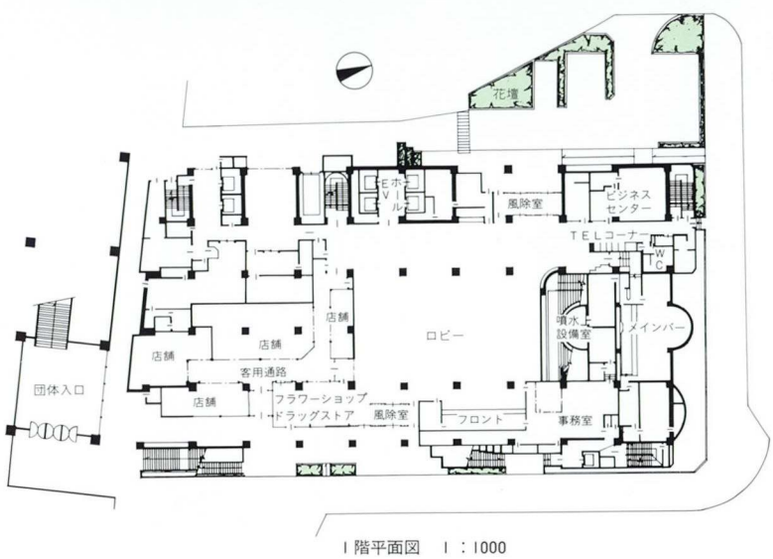
外装仕上　低層部　二丁掛磁器タイル
　　高層部　二丁掛磁器タイル、ＰＣ版
　　塔屋部　穴アキＰＣ版吹付タイル



基準階平面図　1：1000

所 在 地　広島市南区松原町1-5
敷地面積　33,236.3㎡
建築面積　 3,203.4㎡
延床面積　32,096.2㎡
構造規模　SRC、S、BI、22F
工　　期　昭和60年７月～昭和62年５月
最 寄 駅　JR山陽本線・山陽新幹線広島駅
撮　　影　国際写真


1階ロビー



1階平面図　1：1000


大宴会場「悠久」

中川病院

設計施工　大之木建設

所在地　呉市中通1-3-4～8
敷地面積　2,053.87㎡
建築面積　829.47㎡（本館）　34.40㎡（機械室棟）
延床面積　6,408.81㎡（本館）　34.40㎡（機械室棟）
構造規模　SRC、8F
工　　期　昭和61年11月～昭和62年11月
最寄駅　JR呉線呉駅
撮　　影　国際写真





待合ホール

現在の日本の病院は、医療技術の進展に伴い治療施設としては世界的レベルにありますが、患者の生活環境としてはまだ遅れています。そのため、できるだけ患者の声を予算及空間のゆるす範囲で代弁するよう心がけ設計いたしました。

〈分かりやすい平面〉

中央部コアにエレベーターを配し、すぐ横に視覚的に認知可能な避難階段を２ヶ所設け、上下階の連絡や避難の容易さを追求いたしました。外来患者は、1階に集中させるべく診察エリアを設け、病棟はダブルコアとして見通しの良い形状にしました。

〈居住性〉

出入りの多い大部屋の病室ドアに引戸を採用し、個室、２人部屋には防音性にすぐれたスチール枠の開戸を採用いたしました。また、便所や水まわりの出入口を病室側からできるだけはなすことにより、病室の居住性を高めるよう配慮いたしました。

〈安全性〉

避難については室内避難階段をエレベーターホールをはさんで対角に２ヶ所配し、廊下のつきあたり部にはバルコニー及び屋外階段（消防署の安全のための指導による）を設け、各階の廊下は全て強制機械排煙を設備しています。

〈メンテナンス〉

機械室棟からの配管類は、地中ＲＣピット内を通って１階スラブ下の配管ピット内に納めメンテナンスのしやすい計画にしてあります。同時に地中埋設管をできるだけ避け、配管コストの低下を計りました。

〈将来性〉

南側駐車場エリアを多く残した全体配置計画により、将来的には低層棟の増築を容易にし、Ｂ階段の２階部分で接続可能になっております。将来のビルのインテリジェント化、特にコンピューター化に対応すべく、各診察エリアとナースセンターを２ウェイ配管にて連結させてあります。

〈コスト追求〉

動力関連機械の一部を別棟（ＣＢ造平屋）の機械室棟に入れることにより、立上り立下り管の配管ロスの減少を実現させました。受水槽室を地下に配置する案を変更し、機械室棟横の屋外に配して地下室を全て中止し、工期短縮と費用の低下をはかりました。屋上機械エリアの外部に設る予定の目隠しルーバーを中止するため外部から見えにくい機械配置に変更し、目立たないカラーの検討をいたしました。階高を低くおさえて天井高の調整で配管処理をしました。

（大之木建設）



エレベーターホール



配置図・１階平面図１：600

広島県立歴史博物館(仮称)

設計監理　広島県土木建築部都市局営繕課・佐藤武夫設計事務所
施　　工　熊谷組・青木建設・鈴木工務店共同企業体





所 在 地　福山市西町2-4
敷地面積　5,481.00㎡
建築面積　3,265.66㎡
延床面積　8,940.63㎡
構造規模　SRC、BI、2F
工　　期　昭和62年7月～昭和64年3月予定
最 寄 駅　JR山陽本線福山駅

呉市文化ホール

設　計　日建設計
監　理　呉市建設局建築課・日建設計
施　工　清水建設・増岡組・大之木建設共同企業体



所 在 地　呉市中央3-10-1
敷地面積　4,199.76㎡
建築面積　3,757.08㎡
延床面積　14,393.10㎡
構造規模　RC、S、B2、4F、P2
工　　期　昭和62年6月～昭和64年9月予定
最 寄 駅　JR呉線呉駅





広島市西区民文化センター

設計監理　広島市都市整備公社・安井建築設計事務所
施　　工　大成・五洋・鴻治・西本共同企業体



所 在 地　広島市西区横川新町6
敷地面積　6,175.49㎡
建築面積　4,185.03㎡
延床面積　33,351.72㎡
構造規模　SRC、RC、B1、23F
工　　期　昭和62年6月～昭和64年8月予定
最 寄 駅　JR山陽本線広島駅

リバーフロント日興

設　計　KA-MI建築設計事務所
監　理　広島県住宅供給公社
施　工　日興

所 在 地　広島市中区東平塚町9-6、9-7
敷地面積　689.82㎡
建築面積　362.93㎡
延床面積　2,914.00㎡
構造規模　SRC、一部RC、11F、PI
工　期　昭和63年３月～昭和64年６月予定
最 寄 駅　JR山陽本線広島駅





中国地方

—広島市・呉市・岡山市・倉敷市—

昭和62年度優秀建築賞

受賞作品紹介



私立学校教職員共済組合広島会館

設　　計　安井建築設計事務所
施　　工　大林組広島支店
所 在 地　広島市東区光町 1-15
敷地面積　3,967.02㎡
建築面積　2,554.47㎡
延床面積　9,794.80㎡
構造規模　SRC、B1、9F
工　　期　昭和59年11月～昭和61年2月
最 寄 駅　JR山陽本線広島駅
表　　彰　昭和62年度広島市優秀建築物



農協ビル

設　　計　大旗連合建築設計・村田相互設計事務所
施　　工　フジタ工業・大林組・清水建設JV
所 在 地　広島市中区大手町 4-7-3
敷地面積　2,845.18㎡
建築面積　1,054.10㎡
延床面積　14,202.60㎡
構造規模　SRC、B1、11F
工　　期　昭和59年11月～昭和61年8月
最 寄 駅　JR山陽本線広島駅
表　　彰　昭和62年度広島市優秀建築物



広島相互銀行本店新館

設　　計　日建設計
施　　工　竹中工務店・フジタ工業JV
所 在 地　広島市中区胡町 1-24
敷地面積　3,813.69㎡
建築面積　940.72㎡
延床面積　8,999.59㎡
構造規模　SRC、B1、10F
工　　期　昭和60年1月～昭和61年10月
最 寄 駅　JR山陽本線広島駅
表　　彰　昭和62年度広島市優秀建築物



広島工業大学鶴記念体育館

設　　計　河内義就設計事務所
施　　工　フジタ工業広島支店
所 在 地　広島市佐伯区五日市町大字三宅725
敷地面積　109,171.78㎡
建築面積　3,494.34㎡
延床面積　7,070.12㎡
構造規模　RC、一部S、3F
工　　期　昭和60年9月～昭和61年10月
最 寄 駅　JR山陽本線五日市駅
表　　彰　昭和62年度広島市優秀建築物



広島YMCA

設　　計　山下設計大阪支社
施　　工　竹中工務店・大之木建設JV
所 在 地　広島市中区八丁堀7－11
敷地面積　3,736.18㎡
建築面積　1,071.21㎡
延床面積　9,043.25㎡
構造規模　SRC、B2、9F
工　　期　昭和59年11月～昭和61年1月
最 寄 駅　JR山陽本線広島駅
表　　彰　昭和62年度広島市優秀建築物



パブリコーポ海岸通

設　　計　大旗連合建築設計
施　　工　五洋建設中国支店
所 在 地　呉市海岸1-8-18
敷地面積　1,501.50㎡
建築面積　706.96㎡
延床面積　6,771.13㎡
構造規模　SRC、12F
工　　期　昭和61年2月～昭和62年7月
最 寄 駅　JR呉線川原石駅
表　　彰　昭和62年呉市優秀建築物



HUMAN STREET PAN

設　　計　総合設計
施　　工　井本建設
所 在 地　呉市西中央3-11-12
敷地面積　423.12㎡
建築面積　355.27㎡
延床面積　1,692.78㎡
構造規模　RC、B2、5F
工　　期　昭和61年3月～昭和61年11月
最 寄 駅　JR呉線呉駅
表　　彰　昭和62年呉市優秀建築物



アークホテル岡山

設　　計　大林組本店一級建築士事務所
施　　工　大林組広島支店
所 在 地　岡山市下石井2-6-1
敷地面積　2,838.15㎡
建築面積　2,398.99㎡
延床面積　12,251.80㎡
構造規模　SRC、11F
工　　期　昭和61年1月～昭和62年2月
最 寄 駅　岡山駅
表　　彰　昭和62年岡山市優秀建築物



吉備路文学館

設　　計　藤木工務店倉敷支店
施　　工　藤木工務店倉敷支店
所 在 地　岡山市南方3-5-35
敷地面積　2,270.12㎡
建築面積　767.72㎡
延床面積　1,369.21㎡
構造規模　RC、3F
工　　期　昭和60年10月～昭和61年10月
最 寄 駅　岡山駅
表　　彰　昭和62年岡山市優秀建築物



作陽短期大学情報処理学科岡山校

設　　計　竹中工務店広島一級建築士事務所
施　　工　竹中工務店広島支店
所 在 地　岡山市矢津2050－13
敷地面積　51,282.62㎡
建築面積　1,054.66㎡
延床面積　2,783.00㎡
構造規模　RC、3F
工　　期　昭和61年7月～昭和62年3月
最 寄 駅　東岡山駅
表　　彰　昭和62年岡山市優秀建築物



岡山放送本館

設　　計　アイサワ工業一級建築士事務所
施　　工　アイサワ工業
所 在 地　岡山市学南町3-2-1
敷地面積　10,345.37㎡
建築面積　1,040.51㎡（本館のみ）
延床面積　3,752.07㎡（本館のみ）
構造規模　SRC、5F
工　　期　昭和60年9月～昭和61年9月
最 寄 駅　法界院駅
表　　彰　昭和62年岡山市優秀建築物



山陽相互銀行庭瀬支店

設　　計　日建設計大阪本社
施　　工　アイサワ工業
所 在 地　岡山市平野995－2
敷地面積　579.30㎡
建築面積　253.14㎡
延床面積　315.37㎡
構造規模　RC、2F
工　　期　昭和61年2月～昭和61年6月
最 寄 駅　庭瀬駅
表　　彰　昭和62年岡山市優秀建築物



岡山健康管理センター・おかやま社会保険センター

設　　計　丸川建築設計事務所
施　　工　清水建設広島支店
所 在 地　岡山市昭和町12－15
敷地面積　3,429.29㎡
建築面積　1,481.19㎡
延床面積　4,555.76㎡
構造規模　SRC、B1、5F
工　　期　昭和60年10月～昭和61年12月
最 寄 駅　岡山駅
表　　彰　昭和62年岡山市優秀建築物



住友生命倉敷ビル

設　　計　日建設計
施　　工　大林組・大本組JV
所 在 地　倉敷市昭和2-4-6
敷地面積　1,583.53㎡
建築面積　604.64㎡
延床面積　2,809.08㎡
構造規模　RC、5F
工　　期　昭和61年9月～昭和62年3月
最 寄 駅　JR山陽本線倉敷駅
表　　彰　第2回倉敷市都市優秀建築賞



小野内科医院

設　　計　岡田建築事務所
施　　工　目黒建設
所 在 地　倉敷市玉島八島1755－1
敷地面積　2,308.69㎡
建築面積　390.34㎡
延床面積　481.48㎡
構造規模　RC、3F
工　　期　昭和61年12月～昭和62年3月
最 寄 駅　JR山陽本線新倉敷駅
表　　彰　第2回倉敷市都市優秀建築賞



吉田邸

設　　計　中村設計
施　　工　竹中工務店広島支店
所 在 地　倉敷市笹沖1378－7
敷地面積　983.41㎡
建築面積　406.37㎡
延床面積　585.10㎡
構造規模　RC、2F
工　　期　昭和61年4月～昭和62年2月
最 寄 駅　JR山陽本線倉敷駅
表　　彰　第2回倉敷市都市優秀建築賞



エルパソ イン 倉敷

設　　計　丹羽建築設計事務所
施　　工　松本組
所 在 地　倉敷市中央1-9-4
敷地面積　340.45㎡
建築面積　243.29㎡
延床面積　679.83㎡
構造規模　RC、B1、3F
工　　期　昭和61年8月～昭和62年3月
最 寄 駅　JR山陽本線倉敷駅
表　　彰　第2回倉敷市都市優秀建築賞

座談会

ひろしまの街なみ

出席者

佐藤重夫　（広島大学名誉教授、広島工業大学教授）
山崎芳樹　（広島商工会議所会頭）
荒木英昭　（前・広島県都市局長、現・住宅・都市整備公団都市開発事業部長）

司会

平本俊秋　（日本建築協会中国支部長）

城下町　広島

司会　今日は、広島の街並み――過去・現在・将来について、ご出席のお三方に語っていただこうと思います。まず戦前の街並みということで一番先に頭に浮かぶのが広島城です。戦前の広島についてはいかがでしょうか。

佐藤　ずっと古く学生時代に、親戚が大手町や胡（えびす）町、銀山（かなやま）町なんかにおりましたから戦前も知ってはいるんです。戦前の街並みというのは、町人町にしても武家屋敷の跡にしても、非常に合理的、機能主義的なところがありますね、城下町ですから。ただ、広島の町屋のムードは、ほかの都市に比べて地味ですよね。だから、商人の応対なんかも実直そのものですよ。でもそういうご老人は亡くなって、現在は逆になってますけどね。

山崎　この前、広島のロータリークラブで、広島大学の歴史の先生が広島城のお話をなさいまして、平野にできた城というのは、当時日本では大変珍しいそうですねえ。大体、城というのは抜け穴ができているのだそうでして、双葉の里の方にそういうのがあるのじゃないかという伝説があったそうです。それが原爆で城がやられて、それを復興するときに調べてみたら、石を砕いて基礎が固められ、その上に築城されていて、抜け穴は全然なかったそうです。あれは、毛利輝元が造ったんですが、豊臣秀吉がここへ来て城を見て、「この城は毛利輝元らしい城だ」と。そのとき、毛利輝元は、朝鮮に出兵していて留守だったそうで、いまの京口御門のところが、ちょうど外堀の石になるという話でしたねえ。

佐藤　土木工事の石積みなどは、上流の太田川の水を意識しての、足元の敷石だと思いますね。

山崎　それから、福島正則が来まして、「この城は水害にあったら、ひとたまりもない」と。その水害を防ぐために太田川に土手を築いて、堰をつくって、水が流れたときに、城の方にはこないで、ほかに流れていって、城が安全だと、そういうふうなことを福島正則がやったということを聞きました。


広島城

佐藤　そうでしょうね。いまの猿猴川から府中川の方に持っていくというのが一つの手ですが、こっちは三篠川がありますから、あれも同時に氾濫しますから、向こうへ流さしたことはあると思います。

司会　城下町の都市計画が条里制というか、縦横十文字で、非常によいと思われますが。

佐藤　広島は、計画都市としては整然とした方じゃないでしょうか。

司会　それと、民家が非常に京都風であったということで、表の格子とか跳ね揚げ戸とか、ベンガラ塗りの民家が、いまでもあちこちに残っていますね。段原とか草津に。それから、山陽大道が日本で一番古くからついたということで、広島が早く発展したというふうに、本には書いてありますが、山崎さんの前の道が、殿様が汐風呂に行く道だったらしいですね。

山崎　そうらしいですねえ。私の近所にも古くから汐風呂がありました。門を入ると庭に古いいちょうの大木がありまして、大きな屋敷もありまして、殿様がそこへも見えておったというふうに、我々、子供の頃に聞いておりました。先日、丹那のところを歩いてみたんですが、忠魂碑が残っていまして、「東郷平八郎書」と書いてあるんです。その入り口に神社がありまして、そこの門柱を見ますと、


佐藤重夫氏


山崎芳樹氏


荒木英昭氏


座談会風景


司会　平本俊秋氏

と　き　昭和63年２月24日(水)
ところ　広島県民文化センター会議室
傍聴者　古林敏郎、橋本秀夫、森畑武、横田昇三

「浅野長矩公書」と書いてありましたねえ。私、そういうのを見て、昔、あれをつたって、いまの本浦に行っておったんじゃなかろうか、という感じを持ったんです。

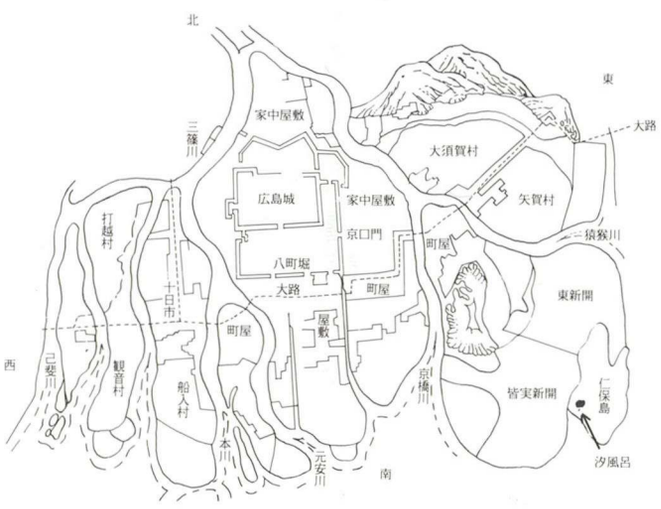
荒木　確かに、海側のマツダの大工場群の方に目を向けないで、山側の方だけを見てると、本当に古い街並みが残っていますね。

佐藤　東京のヤングなんか、広島は100万都市だけど、こんなひなびたところがあるんだなって、ロマンチックなムードに浸りに来るんでしょうね。来たら、どうしたって山崎さんのところの大工場が目に入ってしまうようですけど（笑い）。

山崎　しかし、あの大工場の以前は、私たちの小さい頃はあそこへ泳ぎに行ってましたからね。もう昔の姿は思い出せなくなりましたねえ。

司会　道と言えば、山陰から山陽に来る道――「塩の道」とか、「銀の道」、砂鉄を運んだ「たたら道」が、山陰から三次を通って、尾道の方に出ていたんですが、この道が昔は一番発展してたらしいですね。

山崎　そうでしょうね。いまでも日立の安来工場がありますが、あの辺で鉄が出たんでしょ？　備前長船なんかも、そういう形でできたんじゃないでしょうか。



浅野藩当時の広島の地形

軍都としての発展

司会　砂鉄が刀をつくるのに、非常によかったらしいですね。それから、広島が軍都になっているんだけど、どういうわけで軍都になったのか、理由はご存じないでしょうか。

佐藤　どうして広島が軍都になったのか、というのはよくわからないんですけど、水路部が測量したのが明治17年ですね。それから始まって呉軍港ができているんですね。宇品は陸軍の方になっていくんですけど、御幸橋から鉄道があったんですね。石のスリッパで、荷物を運ぶという、その石のスリッパがどこかに残ってやせんかと思ったことがあるんですけど、まだ見付かっていません。軍都になる初期の頃には、結局、馬が引っ張ったんだと思います。古くは、八木の渡しから、山路が大路で、海の方は、丹那の奥から江波に寄って、地御前方面という、水と両方でしょうが、デルタがあったというのは、地形的な軍都のポイントじゃなかったんでしょうかね。

山崎　いまの丹那の岩風呂があるところですね、あれが海岸でしたね。それがもう一つ土手があって、それの先に葭川ができまして、その土手に直角にまた土手があり、これを桜土手と言ってました。その間が埋め立てられて宇品の新開になったわけですね。

荒木　よく言われることですけど、千田県令が、一生懸命宇品港を造ったのと、ちょうど日清戦争が勃発するのを予想していたように山陽鉄道が広島まで開通したということで、広島は軍都として栄える。山陽鉄道の敷設が姫路か岡山で止まっていたら広島の繁栄はなかったでしょうね。私、よく言うんですけど、山陽本線の西の箱根越えといわれた西条――八本松なんかでも、楽な工事じゃないんですね。広島の人間としては、あの時よくやってくれたという気持です。

佐藤　そして、大本営を持ってきたわけですからね。いまの官庁組

織の分散から言えば、広島にも大蔵省を持ってきたらいいと思うんです（笑い）。造幣局は、大阪と広島にしかないんです。

山崎　大蔵大臣は、わが広島出身ですし（笑い）。

荒木　明治の時に、明治天皇以下、その時の要人達が広島みたいなとこいやだなんて言わないで、ちゃんと来られたのですから、もう一度、期待してもいいかもしれない（笑い）。

佐藤　山が迫っていて、デルタはその当時、かなり広かったけど、いまの人口になってくると、逆に多少、マイナスにはなっていますが、もうちょっと広い範囲の新交通あたりを、環状線で大野の辺から回すようなことをすると、また変わった新しい世界ができるんじゃないですか。先ほどの大蔵省の件は暴言ですけど、本当はそれぐらいの原動力があれば、どっと変わるんじゃないでしょうか。

広島では、古くは「塩の道」や「鉄の道」は尾道に出るんですが、尾道はマーチャントの道なんです。電信局は尾道の方が先にできて、そのあと広島ができたわけです。別の意味で言うと、広島はお城ができて、デルタも広かったけれども、そういうことが重なって軍都といわれた。軍需品の工業がありますし、海軍でいえばセーラーペンができてますし、家庭工業のちょっと大きいような工業がいろいろある。それとマツダさんは、元々コルクでしょ？　コルクというのは、瓶の口ですよね。これは医薬品屋です。ですから、土地の産物をもって、いろいろの工業や商業ができていくというのが、おのずから集中して、広島が軍都の線と同時に発展したんじゃないですか。

山崎　広島には被服廠があるし、兵器廠があったし、軍の出先機関というのはいつ頃できたか知りませんけど、きちんと揃ってますね。奥の方よりも、こっちの方にそういった施設が固まっているような感じがしますね。

佐藤　それも、千田知事のおかげですよね。あれだけの埋め立て地をこしらえたというのは、いまでこそ小さいかもしれないけれども、当時としては立派な仕事ですよね。

荒木　千田知事の宇品港築港が明治22年で、市制と同じ、来年が市制100年、広島港100年、広島城400年なんです。

司会　建築的に言うと、戦前ということになると、産業奨励館が当時一番ハイカラだったんじゃないでしょうか。

佐藤　あれは外人の設計で、ハイカラではあるし、大きな建物であったということですよね。大きいと言えば、陸軍の煉瓦造の方がよほど大きいんですが、当時の千田知事が、予算の段階で、大河あたりの住民にむしろ旗で反対されてるわけですね。

山崎　だけど、ああいう事を思い付かれたということは、千田知事さんは外国に行かれて、いろんな知識を得ておられたんでしょうか。

佐藤　その辺はよく知りませんが、以前に警察部長で広島県におられたんです。当時は、いまの知事と違って官選知事ですよね。その前は、ほかの県です。それから宮城県にかわって、また、知事で広島に戻ってきた方です。比較的進歩的に産業を興し、民生安定というか、たまたま日露戦争後の経済的な上昇期ですから、そういうことで商工業に対しては熱心だったですね。そのかわり、農水産業に対しては人気が悪くて、２年間反対されてますね。

司会　戦前の建物でいまも残っているものに、元被服廠だった煉瓦積みの大きな倉庫と、いまは広島大学の病院になっていますが、あの中に煉瓦積みが残ってますが、これは元兵器廠の建物。それと宇品の資料館、ああいうものは非常にしっかりしていますね。

佐藤　産業奨励館というのは外人の設計ですから、構造的な面から言えば、ちょっと弱いんです。下が２枚半の煉瓦ですから。外人は地震のことを考えないですからね。いまアンデルセンの店になってます三井銀行、あの方が構造的には進んでましたね。

司会　焼け残ったのに福屋がありますね。あれは昭和４年ですね。

佐藤　元の福屋ですね。いまの福屋は、私が設計したんです。階段なんか、増築してますけど、これは昭和10年にできたんです。

山崎　あの時分は、前に車を停めて、買い物に行ってました。私はあの時分、古いオースチンを持ってたんですが、電車道のこっちに車を停めて買い物に行ってましたね。そんなことをしても、何も言われなかった時代でした。

戦後復興と100ｍ道路

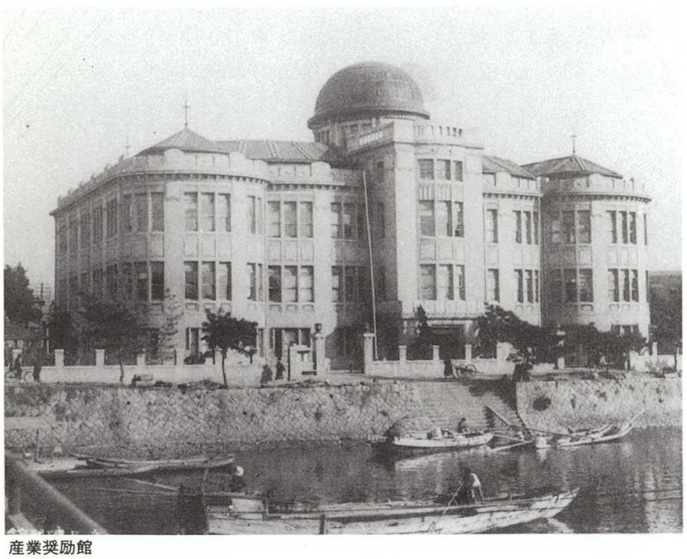
司会　それが原爆で全部やられてしまったということで、次は復興ということになるんですが……。

佐藤　復興都市計画の功労者の第一は、やはり広島市の佐々木助役さんですね。佐々木さんは名古屋におられたんですね。100メートル道路をもう一本南に計画していたんですが、それは潰されました。苦労されまして、表面には出ていないですけど、広島にとっては功績者ですねえ。

司会　100メートル道路があるということで、よく名古屋と比較されますねえ。

荒木　全国で100メートル道路は４本ですか。札幌が１本、名古屋が２本ありますねえ。

山崎　昭和通りですけど、昭和通りのもとは後藤新平ですからね。



産業奨励館



宇品資料館

後藤新平イズムは、そのあと昭和通りがなくなってからできたんだけども、後藤新平のときは、もっと大きかったですね。

荒木　ただ、戦災復興の計画というのは、全国で60本ぐらい100メートル道路をつくろうとしたんですねえ。だけど、アメリカから援助をもらっているのに、そんな素晴らしい町づくりするだなんて、そんな馬鹿なことを言うなとアメリカさんに怒られたらしいんですが、広島の場合、歯を食いしばってもやりましょうと。

佐藤　アメリカという国は不思議な国で、非常に保守的なのと両方の議論を絶えずやる国で、それがいいところでもあるんです。教育行政にしても、農業政策にしても。これからは、政治にしても、産業にしても、そういういろいろのスタッフというか、ディスカッションのもとがあって、かなりきついけれども、そういうのがおのずから調和されて進んでいく世の中になるんじゃないでしょうか。都市改造にしても、僕は、荒木市長さん達と一緒に区画整理の最初の委員なんですが、１坪換地というようなものなど10年ぐらいやりました。随分矛盾したことをやってきたんですが、これもやむを得なかったといいながら、その辺のところを我々ももうちょっと行き方があっかもしれないと思うんです。広島のは、ロットが小さいですから、40メートル行ったら、もう８メートルの道があるわけです。ですから、いまの再開発の時代になってくると、難しいことになりますよね。４つぐらいのロットで、真ん中に十文字に、通路を家の中に入れてしまうというぐらいにして再開発をやればいいけども、１つのロットだけじゃやりにくいですね。駅前のＢ地区なんか、Ｂ地区全体でなさるからいいと思いますが、あれ以下だと、再開発の都市というのはやれないですよね。

司会　段原再開発なんかはどうでしょう？

佐藤　段原はいいと思いますよ。だけど、段原の性格が駅前と違って、かなり住居がありますからね。

山崎　段原の性格がもう少しはっきりしてくると、なおいいと思うんですね。大工業の三菱やマツダ東洋工業関連のものと同時に、もうちょっと小さい規模の家庭工業的な、ほんの部品だけを専門につくるような人たちが集まるロフトビル的なものがあって、住まいがあって、商業地があるということになると、一番いいと思いますねえ。みな職業にありながら、町全体としては、一つの大きなチェーンの中にあって、連帯性もできるし。

山崎　段原町には兵器廠があって、弾薬庫が爆発したことがあります。我々丹那の方に逃げたことがあります。そのとき、缶詰会社がありましたが、その缶詰会社の方が我々避難したところへ食糧を持って来てくださったことを覚えています。そのあとが料亭になりましたね。いまはないですけどね。



広島市内の100ｍ道路

水と都市

佐藤　広島には、食糧関係の工業がかなりありましたね。これは軍とも関連したと思うんですけど。それから、駄菓子みたいなもの。これは広島も福山も岡山もあります。岡山は一番大阪に近いから、どんどん出すわけです。福山の人は、運賃の関係で、京、大阪に出すのは、岡山よりは不利なんです。しかし、福山の人は、帰り船を使うことを考えたらしいんです。飴なんかは澱粉ですから、澱粉工業から発達してるわけです。岡山でもそうです。広島はカルビーがありますね。広島は、軍隊もあり町の人口も多いから大阪方面への輸送というより、現地で消費してます。もっと古くは、江波焼きという陶器があったんですね。これは、日常品でその土地で使うと同時に、船で運びますから、これはいまはなくなりましたが、水を使った輸送ということですよね。

山崎　輸送という点でいきますと、遠田川の方は中小企業が多いんです。あれは、呉工廠の仕事を受注しまして、呉に納めておったわけですね。日本製鋼所ができたのも、そういう海軍工廠の仕事の流れといいますか、技術の母体もそういうところにあったでしょうし、水運を通じて発展したと思いますね。

佐藤　そういうところは、将来に生かさないといけませんわね。海岸緑地とかいろんなことがありますけれども、また別の観点から、多角的に考える必要があると思いますね。

司会　広島はいま、リバーフロント計画を盛んにやってるようですが、河岸を緑地にするというのは、非常に成功しましたねえ。

佐藤　川下りや遊覧船もいいですね…。パリに行くと、セーヌ河の遊覧船に皆乗るようですねえ。

山崎　セーヌでいつも思うんですが、岸があって、道路があって、その道路を走っていると、岸へ丸い鉄の輪が残ってますよね。あれ何だろうかと聞くと、昔、道路がないとき、船をつなぐ金物だといいました。岸辺に道路をつくって、交通をうまくやってるわけです。何年に一回かは増水があるそうですね。あっても、そのときは交通を遮断すればいいと。それは傷まないような構造にしておく。ああいうところは見習う心要があると思いますね。

韓国に漢江というのがありますが、あれがこんどのオリンピック施設をつくるのに、橋をかなり付けておりますけど、あの河川敷同士でまた橋があるんです。その河川敷が、水が出ても大丈夫にさすた



リバーフロント計画

め上流に３つダムをつくったらしいですね。漢江の中を浚渫しまして、その砂を使って、ソウルにたくさんビルを造りましたでしょ？浚渫のあと、いま観光船が走ってますからね。ああいうところは、なかなか合理的なことをやってると思いますねえ。しかも、橋が直角じゃないんです。アクセスをとってまして、川の中に柱を入れまして、橋を下げたりして、うまく自動車のはけかたをコントロールしてるんですよ。

佐藤　韓国の川は、ものすごく出水しますからね。

道路行政とまちづくり

司会　そうすると、広島の今の道路のことは、どうなんでしょう？

山崎　さっき、川の話が出ましたけれども、広島県というのは、県の面積は広いですよね。だけど、平野は13%ぐらいしかないんです。ヘリコプターで飛んでみますと平野は、ほんとにデルタ地帯だけですよ。あとは、山の裾の方を道路が走って行ってるわけです。これを何とか交通でうまくやるためには、内陸部から海岸部に来る分は、川の土手をうまく使うことを考えるべきだと思うんですよ。あと、それを東西に結ぶ道路をつけていくといいですね。日本人は農耕民族ですから、道路に対する考え方自体が根本的にちょっと違うわけですね。私はいつも思うんですが、ロンドンとかパリは別にしまして、東南アジア、例えばマレーシアのクアラルンプールを見ましても、道路の作り方が根本的に違いますね。カーブなんかも、大きいですよ。そういうものをポイント的に改良していかないと、いま、山陽自動車道ができる、中国縦貫道ができるといっても、利用の効率は小さいですね。やっぱりうまく肋骨をつけてやっていく。ドイツのアウトバーンを例にとりますと、７キロに１つインターチェンジがあるんでね。それと一般道路と共用できるようになっている。日本は15キロに１つぐらいですね。そうすると、共用の仕方がまずい。ですから、そういうソフトの面での交通をいかにさばくかということについての考え方が、道路をつくるときに考慮されていない。

荒木　ユーザーの代表ともいえる山崎さんのお立場からは、確かに道路に対する御不満はもっともだと思います。バンコクの高速道路でも、片側３車線ですね。ジャカルタなんかでも、幹線道路は片側５車線ぐらいでやってる。そういうことから考えると、山崎さんがおっしゃるように、首都東京も、いまになってみれば、世界一の機能を備えている都市だし、羽田と都心をつなぐ高速道路などは１日の交通量20万台なんていってるわけですから、当然、ニューヨーク並に片側５車線にしないといけないんでしょうねえ。あれだけやるんでさえ、オリンピックに間に合わすということで、河野さんあたりが蛮勇をふるって、かろうじてできたわけです。路肩だって、本来は高速道路じゃなくても１メートルぐらいあるのが理想なんですよね。ところが、東京の高速道路の路肩は25センチですからね。それで皆さんは我慢しながら使っている。そういう点では、日本は一等国といっても、社会の基盤という面では相当遅れていますね。首都の計画について先ほどクアラルンプールは非常に立派だというお話がありましたが、シンガポールなんか小さいですから、気配りが行き届いたんですけど、よその国すべて、なかなか全部に気配りしてというわけにはいかない。発展途上国なんかは、どうしても一点豪華主義でいきますね。ヨーロッパの都市計画なんかも、極めてブルジョア的で、スラムなんかあろうがなかろうが、100年の計でりっぱなものをやりましょうという発想が原点です。日本の場合は、行政というのはものすごく気配りをして、最低の方にも何とか光を当ててということを考慮しますから。仮に東京だって、あの道路をつくるときに、広島の連中は一生懸命に戦災復興やってるかもしれないけれども、地方都市の広島に金を回すなと東京だけにつぎ込んでいれば、10車線の道路だってできたかもしれない。他の国はそれをやってるわけです。日本の場合は、なかなかそれが難しい。

山崎　私、オランダで驚いたことは、湖の下にトンネルを掘っていますね。将来これが必要だと思ったら、年月がかかっても重点的にやっていくということでないと、ただ総花的にやって、ある時代が来たら役立たずになって、それをまた修正しようとする方が金がかかって、トータルで見たら、経済的でなかったという形になりはしないでしょうか。そういう点で一つ思うのは、企業というのはその辺を考えるわけです。だけど、行政の方は、一般の要望に広く応えなきゃいけないということで、ある時期になってまた問題が出たらまたそのときやればいいじゃないかということで、トータルでは無駄になってるんじゃないかと思いますねえ。

荒木　確かに、用地が高い。補償が大変だと泣き言ばかり言ってないで、道路行政も民間の建築活動ともっと融和する必要がありますね。

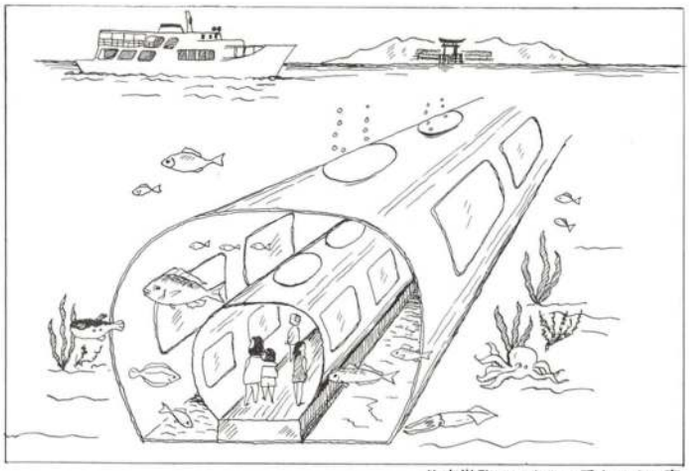
佐藤　昔、ピッツバーグの鉄鋼所、あそこの路面電車は、歩道の脇を走っていましたね。真ん中を走らさなきゃならんという概念に捉らわれないで、もう少しソフトな発想でやれるようにしていかないといけないと思います。それから、三川町は電線を地下に入れて、ファッションの町とか何とかいってやってますね。僕は、道路の両方を５階か６階建てに揃わせて、その上に屋根をつくれと。ミラノの昔のガレージ屋みたいにね。それで、中に木を植えればいいじゃないかと。いまはでこぼこの高さですけれども、高さを揃えて、そういうものを乗せられるようにすれば、今度は両脇にガラス屋根を持っていくことはできるんですよね。そうすれば、なおよくなるので、揃える協定を結んだらどうかと言ったことがあるんですけどね。

山崎　パリとかヨーロッパの有名なところは、ほとんどそうなってますね。

荒木　セミパブリックな空間みたいなものが要るんでしょうね。いまの状況をみると民地の方は俺のところは何も入れささんよと。もし公共的なものに使いたいと言っても、用地買収にうんとは言わんよと。自分が持っている100坪なり何なり自分の都合のよいように絶対使うという意識だし、今度は目の前の河川なり道路なり、我々行政は役人で、これは自分でがっちり管理するという意識がありますね。その間の緩衝地帯的なものが本当は要るんでしょうね。

佐藤　都市の問題は、イギリスなんかと先入観念が違いますね。イギリスなんかは、王室のものだという観念がありますからね。そういうところに社会的な認識があります。いま王室の財産じゃないですけど、そういう培ってきた観念がありますから、そこが違いますよね。

荒木　広島県の用地買収が進まないということは、ある意味で民度が高いという面もあるんですよ。日本が近代的な契約社会になってきたものだから、相手がある交渉に来た場合、少しでも高い金で売ろうということ自身、それ即非協力的だと否定するのは無理な面があると思うんですね。日本がだんだん近代的な、ヨーロッパ的な社会になって、これは当たり前で、それに対して我々がしっかりしなけりゃいかんと。マツダなんかでも、何だ、広島の車か、なんてそっぽを向かれている中で、アメリカで必死に交渉をして、売りまくってきたんでしょうからね。行政も相手の理解が足りないと泣き言をいっていないで企業と同じことをしなければいけないと思います。



海底遊覧のできる二重トンネル案

海と島の博覧会

司会　来年はまた、海と島の博覧会がありまして、あれは瀬戸内海を通路にするより、泊まり場にせよという話がありましたね。泊まり場にせよということは、そこにレジャーの施設をつくって、そこへ人間をたくさん集める。海をそういうふうに使ったらどうかと思います。

佐藤　カギを何処にみつけだすか、でしょうね。広島は、山があり、海があり、自然があり、教育の面で特徴がある。そういう自然を生かしながら、教育もレジャーもできるということですね。そのほか、保健とレジャーが一緒になった方法、あれなんか、若い人は面白いと言いますね。ですから、多角的な利用を考える。そのアイデアの元は自然ですね。広島は、車で20分も走れば雉がいるんです。深山に行かないと体験できないことが、近郊にあるということですね。

山崎　私は、先日、ホノルルの広島県人の人と話をしていましたら、いまハワイでは、カキの養殖を盛んに研究しているということを聞きました。それと、もう一つ大切なことは砂浜の管理です。あれを1年に一回ぐらいはふるいにかける。そして、ガラスの破片とかいろんなゴミをとる。レジャーに人を駆り出していくために施設がうまく管理されていく。西ドイツかフランスで見たんですが、土手の上をキャタピラーの付いたものが走って、土手に茂った雑草をオートマティックに切っていく。そういう機械がちゃんと使われているわけです。福山の芦品川なんか、小さい島があって、木がたくさん生えてますね。ああいうのをある時期には切って、活用出来るようにする。自然のままで置いておけば、それで責任逃れだという格好になってもいかんのじゃないかと思うんです。これからいろんな施設をやろうということですが、そういうものが必要になると思いますねえ。

佐藤　それが就労にもなり、地場産業にもつながっていきますからね。いいお話ですね。

司会　今年は、博覧会が日本で50か60ありますね。

荒木　強敵が横浜、名古屋、福岡。広島の海と島の博覧会は何が何でも成功ささないといけないですねえ。

山崎　広島は、島をうまく使うということが一つの特徴になってると思いますね。博覧会を一つの契機にして、島の開発が進んで、それを利用して、レジャーなどに有効に使っていく。そういう知恵を出して、それを実現させていくことでしょうね。

佐藤　私は、こういうことを考えたらどうかと思うんです。二重のパイプをつくりまして、鉄でつくったり、合成樹脂の透明のでつくる。宮島と大野の間は1キロぐらいしかないので、海の間に二重のパイプを通し、中のパイプは歩道にして、外側のパイプの間は海の水が出たり入ったりするようにして、そこへ水族館をつくって、この土地の魚を入れる。そういうことをやると、下手な水族館よりは自然観察ができるし、しかも、いつの間にか歩いて向こうへ着く。ほかのところにないものを考えたらどうか。こういうことを前に申し上げたことがありますが、島づたいにそういうものをつくったらどうか。ここはタコだ、ここはメバルだと。子供の自然観察になるし、おばちゃんはメバルを担いでこっちの島に行って、帰りはみかんを積んで船で帰るとか、いまの技術なら、そう困難じゃないのではないでしょうか。浅いところなら、水面に船が通るのが見えますからね。夢みたいなことかもしれないけれども…。

荒木　非常に楽しいアイデアですね。確かに、外国なり、日本でも明治の頃は、非常に目新しいものを取り入れていましたが、最近では、日本で珍しいものがあまりないですね。モノは全然違いますが、セントルイスの西部の門というんですか、すごいアーチ、あれ高さは120メートルぐらいあるんですか。あんな変わったものよくつくったものだなあと思って感心するんですけど、技術的には佐藤さんのおっしゃるガラスのパイプの方がずっと可能だと思いますねえ。

山崎　今度の本四架橋は、1,000トンの電車を走らせて、83センチ沈むわけですし、あれを構造上、たわみの方もうまく解決して行けるようにしたわけでしょ？あれも、日本人がつくった大きなものとしては、初めてでしょうね。そういうふうに日本人の本当の知恵を出せば、オリジナリティのあるものができるのじゃないでしょうか。

荒木　我々役人から見ますと、一つは日本の行政というのは、ともかく公平にということがありますし、今度の「海と島の博覧会」みたいに期限を切られて、昭和64年7月までにと言われると、ともかく役人としては、何が何でもそのときまでに、世界のお客さんをきちんとお迎えしなければならない。外国みたいに壮大な大失敗を気にしないんならいいんですけど、日本人の場合、ともかくミスをきらいますから、目新しい、変わったものというのはなかなか出てこないですね。

山崎　その点で、この間もテレビを見ていて一つ感心したのは、今度のカルガリーのオリンピック、50億円利益が出てるんですね。その前のロサンゼルスのオリンピックも利益を出しましたし、日本では神戸のユニバーシアード、あれなんか山を崩して、その山でポートアイランドをつくって、そのあとがグラウンドになって、それから集合住宅もできたりして、そのときかなりの利益をあげて、それを県・市とか体協に配られたようですけど、これからは、そういう面での知恵をみんなで出すようにしていかないといけないんじゃないでしょうか。

司会　広島も「国際文化都市」とうたってるわけですから、今度は大きな会議場が要るでしょうしね。

佐藤　会議場はもちろんですが、そういう個々の問題を包み込む大きな哲学がほしいですね。宿泊もあれば、レジャーもあり、教育もありという総合的な施設が要りますね。それと、昔通りに、稲なら稲をつくるという、そういう基本的なものも残しておかないといけないですよね。もう食糧は外国に頼って、つぶしてしまえという時代になっても、日本人の精神の中に在るサンプルと言っては悪いけれども、一部の頑固家庭と頑固おやじは大切にしていかなければならないんじゃないですか（笑い）。

司会　本日は、お忙しいところ貴重なお話をうかがいましてありがとうございました。

瀬戸内文化圏への夢

栄久庵憲司

終戦直後、原爆で父と妹をなくした私は、寺の住職であった父の残した過去帳と崩れた墓を頼りに檀家を一軒一軒尋ね回っていた。何もない焼野原、破壊された広島の焦土から、美しいものへの憧れと豊かさへの渇望、それを実現すべくインダストリアル・デザインという一生の主題を見い出したのである。

原爆は「ヒロシマ」を世界に知らしめる発端であり、広島の平和運動は、ある意味で原爆のエネルギーを世界に拡散させることである。しかし、流出させることばかりでなくストックして文化を発酵させるような都市づくりの仕掛が必要である。それは単にメモリアルなものだけでなく、生産的で創造的な知恵の結集したものでなければならない。今、原爆で犠牲になった人たちの魂が何を望んでいるのか、もう一度見直すときがきている。

文化の発酵という点では、瀬戸内圏全体の連関が重要な課題である。いままでの歴史が積み重った瀬戸内文化圏が、新たな架橋によって触発され、新たな知恵を生むことを望むが、各地区、各都市が均質化されて一緒になるのではなく、さらに個性を発揮して相乗作用を起こし、文化の密度を高め合うことが必要である。創造の発生装置として環境にこだわりを持ち、すでにある良いものは強調し、ないものは足してみる、切り換えねばならないものは切り換える。そうした考えが各地で発生し、継続され、ローカルな文化こそが真に国際的な文化となりうる。そんな瀬戸内文化圏の姿を夢にいだいている。

（GKインダストリアルデザイン研究所所長）

中国地方のまちづくり

佐古　一

地域には、その地域の特色を生かした産業、文化が根づき、人々が定住できる産業、情報の基地づくりが大切であるが、本州と四国が児島・坂出ルートで結ばれたことによって、従来の東西の人の流れ、物の流れが、今後は南北にも流れることは大変意義がある。

この橋の開通を契機に、中国山脈を横断する道路建設計画も展開されるならば、真の意味で南北が一体化することになる。

橋の一番の効果とは、人と人の交流であり、コミュニケーションが円滑に図れるということである。連絡橋は単に利便性でとらえずに、文化的レベルを高め、多くの人々の知恵が結集できるものと考えたい。

わが中国地方の都市は、それぞれ歴史、風土がある。これからも、独自の個性を尊重した人間性豊かなまちづくりのために、また、素晴らしい空間づくりのために、ふるさとを愛する人々のエネルギーが強く結集されることを望むものである。

（大成建設取締役会長）

広島の都市圏

佐々木久子

広島市は、まるで化石の街のように変貌してゆく、原爆によって焼土となった広島に、古き良き時代の日本建築を望むのは無理なことなのだろうか。

私にとって、かけがえのない故里である広島市が、外国の街のようになってゆくのは悲しい。

コンクリートで固めたビルは、人の心を安やかにはしてくれない。妙にカサカサと落着きのない気分にしてしまう。

京都や奈良や高山を旅すると、ああ、日本は良いなあ……と思えるのは、人の心と呼吸を合わせる木や紙や畳の住居が一杯あるからだ、と思う。

欧米風な街づくりは、日本の風土には合っていない、と私は考えている。

日本のあちこちに新しく建てられる建築物が、最も大切な情の部分を切り捨てていることに対し猛省を促したいと思うのであるが……。

（雑誌「酒」主幹）

広島に慰霊の舞台空間を

森下　洋子

建築家でもない全く素人の自由な発想をお許し下さい。

本四架橋の児島ルートが開通すれば、各種の交流の波が広島にもおしよせることでしょう。経済だけでなく、文化の交流も発展させたいものです。

そんなことを考えると、広島市出身の私は、原爆慰霊の広場に野外の舞台空間を建設していただきたいと思うのです。原爆資料館を大きく建てかえて資料をたくさん収納し、さらにこの入口附近を高く広く造り、臨時の野外舞台として人々の心をなぐさめる慰霊の場として活用したらいかがでしょうか。

夏の夜、照明にてらされたこの舞台空間に各芸術ジャンルの人々が得意の演目を捧げれば、厳粛なうちにも楽しく美しい芸術の花が夜空に映えるのではないでしょうか。

（松山バレエ団プリマバレリーナ）

街づくりと建築についての私見

室山　貴義

白壁土蔵づくりの町並みと、柳が揺れる堀割。倉敷は「日本のふるさと」とまで呼ばれ、その魅力は、今も多くの観光客を惹きつけている。

これは、太平洋戦争で多くの都市が灰燼に帰したなか、本市が幸運にも戦災を免かれたことによるが、反面、本市は、都市計画、なかでも都市再開発には泣かされており、行政としても、それが大きな課題となっている。

そうした悪条件のなか、本市の旧倉敷市街地が前述の倉敷川畔以外の場所でも、しだいに秩序らしきものを感じさせて来たのは、倉敷を知り尽し、常にその全体を考える建築家の設計になる建物や広場や通りが、その数を増して来たからだと思う。

街全体としては個性に乏しくても、一つひとつの建物がそれぞれに個性的である方がいいのか、一つひとつの建物は同じようなイメージでも、街全体として鮮やかな個性をもつ方がいいのか、行政としても、街づくりにかかわる者としても、重大な選択ではないか。

（倉敷市助役）

（50音順）

広島建築ガイドマップ

戦時中（S18頃）の広島には建築協会会員が大勢いました。私達は、古林義敦氏（広島県立工業学校建築科長）のよき指導のもとで、講演会や研究発表会等に参加し、庶民的雰囲気の中で楽しく相互学習をすすめることが出来たからです。

又、広島の町にはダンディーな仕立をするドイツ人の洋服屋さん、おいしいパンを売る髭男の白系ロシヤ人、共に猿猴橋のレリーフを借景に歩く姿は美しく異国情緒として眼に映りました。相生橋袂では、ヤンレッツ設計の産業奨励館（原爆ドーム）が水面に写り、鉄橋を渡る市電の音が寝むそうに流れてきました。

広島県立工業学校建築科製図教室には、第一次大戦捕虜ドイツ人の作った大型製図が正面にずらりと並び、原爆の日まで掲示され私達をよく励してくれました。私達の住む広島は、明治、大正、昭和の長い間、外国文化を受け入れ、国際色豊かな幸福な町でした。

原爆の戦災により広島は、一瞬のうちに灰儘に帰しました。しかし、人間は強靱なものです。原爆の灰の中から立ち上がりました。広島復興に力を与えたものは、

S22、天皇陛下中国地方ご巡幸とご来広、旧軍用地の活用

S24、「広島平和記念都市建設法案衆参議院可決」……等々です。

これらにより広島100万都市発展の基を作りました。毎年襲ってくる大洪水は太田川放水路の新設により広島市を大水害から救いました。幹線道路の夢は今少しの時間が必要ですが、100m道路の採用は、全国でも珍らしい構想と聞きます。そして、コルビュジェ、イサム・ノグチ、丹下健三氏等の広島に於ける指導は建築界に新風を送り、広島建築美・都市発展に偉大な力をもたらしました。

急激な都市発展のピッチは大きなうねりをみせながら進展してきました。都市と公園、水と都と都市景観のあり方はその視野を更に拡大し、現在では国家予算も導入され町並みも立派になり親水都市の美観が誕生しています。原爆の中心地にありながら破壊によく耐え現在も使用されている小学校、病院等もあります。

しかし広島名建築も近代的機能にそぐわなくなり解体されてゆくものも多く出ました。解体の陰から新しいデザインの建物が出現しますが、又其の次に新建材で創られ、新しい機能をもつビルが現れ、2～3年で町並の様子が急激に変貌し建物も高層化しています。しかも、建物は個人的単体でなく、都市景観を構成する大きな要素です。

ここに掲載する建物は、広島の優秀建築作品の中から選考し、その一部を掲載したものです。更に原爆や宗教改革の中に生きつづける古建築も掲載しました。

（中国支部編集委員会）



平和記念資料館



世界平和記念聖堂



日本赤十字病院



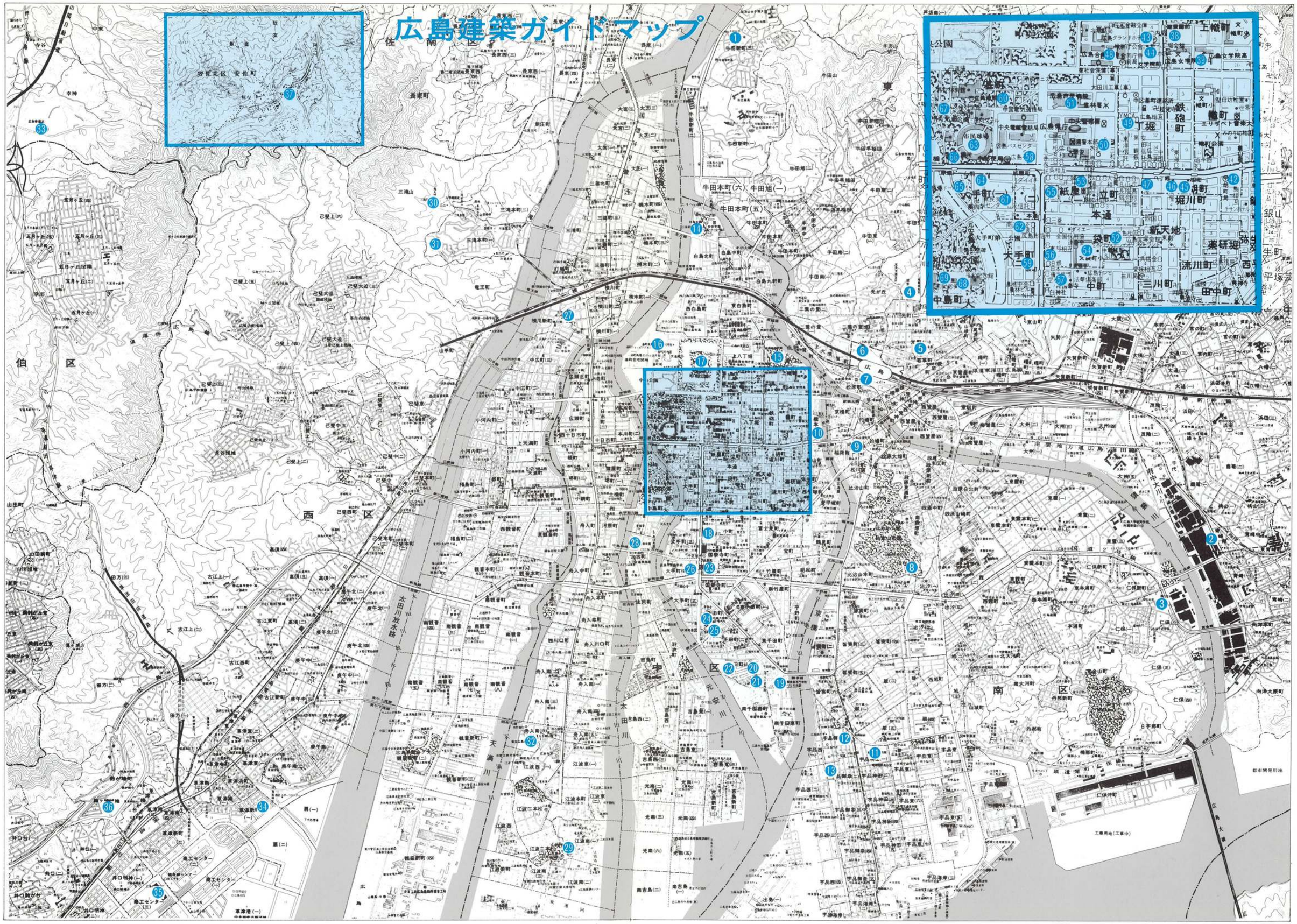
縮景園

建築ガイドマップ作品リスト

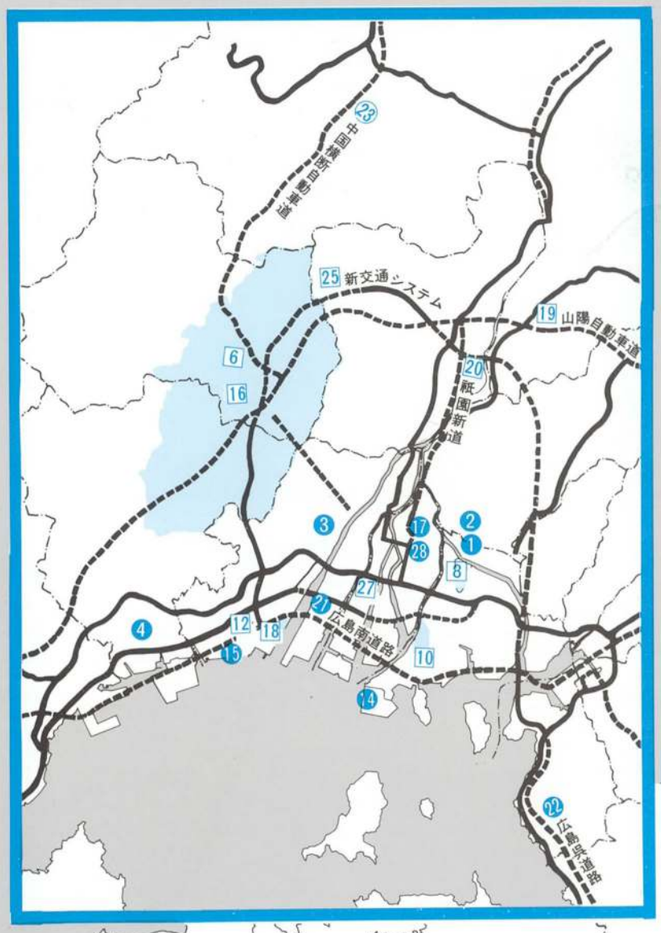
No.	建物名	場所	建物規模	竣工年	設計事務所
1	不動院	東区牛田新町	W、1F	室町	—
2	マツダ本社	安芸郡府中町	SRC、B1、9F	S．60	日建設計
3	広島第二市外電話局	南区仁保町	S、B1、15F	S．54	日本総合建築事務所
4	国前寺	東区山根町	W、1F	明歴2	—
5	私学共済ガーデンパレス	東区光町	SRC、B1、9F	S．61	安井建築設計事務所
6	広島ターミナルホテル	東区松原町	SRC、B1、22F	S．62	国鉄下関工事区 鉄道会館
7	広島ステイションビル	南区松原町	SRC、B1、7F	S．50	安井建築設計事務所
8	広島現代美術館	南区比治山	SRC、B2、2IF	S．64	黒川紀章
9	住友生命広島ビル	南区稲荷町	SRC、B1、13F	S．45	日建設計
10	リクルート広島ビル	中区橋本町	SRC、B1、8F	S．56	入江、三宅設計事務所
11	広島県立病院	南区宇品神田	SRC、B1、7F	S．53	村田相互設計事務所
12	御幸プラザ	南区宇品	SRC、13F	S．53	三井建設
13	郷土資料館	南区御幸	SRC、2F	S．59	丹青社
14	広島郵便貯金会館	中区白島北	SRC、B2、4F	S．47	郵政省建築部
15	縮景園	中区上幟町	W、1F	元和6	上田宗箇
16	基町地区再開発公営高層アパート	中区基町	SRC、17F	S.47-53	大高建築設計事務所
17	広島城	中区基町	RC、5F	S．33	石本建築事務所
18	中国電力ビル本館	中区小町	SRC、2F、16F	S．62	中電技術コンサルタント
19	知恩寺	中区千田町	SRC、6F	S．59	都市建築研究所
20	中区スポーツセンター	中区千田町	SRC、5F	S．63	教育施設研究所
21	広島市立工業技術センター	中区千田町	SRC、4F	S．62	広島県設計連合
22	広島県情報センター	中区千田町	SRC、B2、6F	S．63	佐藤武夫設計事務所
23	広島市庁舎	中区国泰寺	SRC、B2、17F	S．60	安井建築設計事務所
24	日赤病院本館	中区千田町	RC、B1、3F	S．14	—
25	広島原爆病院	中区千田町	RC、8F	S．63	内藤建築設計事務所
26	農協ビル	中区大手町	SRC、B1、11F	S．60	村田相互設計事務所 大旗連合設計
27	西区民文化センター	西区横川新町	SRC、B1、23F	S．64	安井建築設計事務所
28	広島厚生年金会館	中区加古町	SRC、B1、7F	S．60	丹下健三都市建築設計研究所
29	江波気象台	中区江波	RC、2F	S．10	—
30	三滝寺多宝塔	西区三滝町	W、2F	室町	—
31	広島市少年自然の家	西区三滝町	RC、3F	S．53	広島県設計技術センター
32	県立広島商業高校	中区舟入南	RC、4F	—	—
33	修道大学キャンパス	安佐南区沼田	—	—	日建設計
34	中小企業大学広島校	西区商工センター	RC、4F	S．62	広島県設計連合
35	広島サンプラザ	西区商工センター	SRC、B1、5F	S．60	久米建築事務所
36	鈴ケ峰公営住宅	西区鈴ケ峰	—	S.53-56	現代計画研究所 青木建築研究所 白土建築設計事務所
37	安佐町農業協同組合町民センター	安佐北区安佐	RC、2F	S．60	象設計集団
38	広島県立美術館	中区上八丁堀	RC、B1、3F	S．43	白土建築設計事務所 河内義就設計事務所 村田相互設計事務所
39	広島女学ゲーンス記念ホール	中区上幟町	RC、2F	S．43	一粒社ヴォーリス建築事務所
40	平和記念聖堂	中区幟町	RC、2F	S．29	村野藤吾
41	エリザベート音楽大学	中区胡町	RC、4F	S．54	日建設計
42	広島相互銀行本店	中区胡町	SRC、B1、10F	S．62	日建設計
43	広島グランドホテル	中区八丁堀	SRC、B1、14F	S．48	清水建設
44	新八丁堀会館	中区上八丁堀	SRC、B1、9F	S．53	K構造研究所
45	三越	中区胡町	SRC、B2、8F	S．48	鹿島建設
46	天満屋	中区胡町	SRC B2、11F	S．29	竹中工務店
47	福屋	中区胡町	SRC、B3、11F	S．47	日建設計
48	広島地方合同庁舎	中区上八丁堀	SRC、B2、15F	S．62	中国地方建設局
49	広島YMCA新会館	中区八丁堀	SRC、B2、9F	S．61	山下設計
50	広島県庁舎東館	中区基町	SRC、B2、20F	S．59	日建設計
51	広島市民病院	中区基町	RC、B2、9F	S．51	村田相互設計事務所
52	並木バラスト	中区袋町	SRC、B1、6F	S．60	エーディー設計
53	広島MIDビル	中区紙屋町	SRC、B1、11F	S．62	出江寛建築事務所 村田相互設計事務所
54	袋町小学校	中区袋町	RC、4F	—	広島市営繕課
55	広島銀行本店	中区紙屋町	SRC、B2、8F	S．40	日建設計
56	明治生命広島ビル	中区袋町	SRC、B4、17F	S．41	フジタ工業
57	広島全日空ホテル	中区中町	SRC、B2、22F	S．58	鹿島建設 観光企画設計社
58	そごう（広島センタービル）	中区胡町	SRC、B3、10F	S．49	石本建築事務所
59	広島三井ビルディング	中区大手町	SRC、B1、16F	S．52	鹿島建設
60	ひろしま美術館	中区基町	RC、B1、1F	S．53	日建設計
61	広島県民文化センター	中区大手町	SRC、B2、9F	S．61	佐藤武夫設計事務所
62	広島銀行協会	中区大手町	RC、4F	S．49	日建設計
63	広島市市民球場	中区基町	RC、B1、3F	S．57	石本建築事務所 安井建築設計事務所
64	広島東京海上ビル	中区大手町	S、B1、12F	S．53	三菱地所
65	原爆ドーム	中区大手町	煉瓦、4F	T．4	ヤンレッツ
66	広島商工会議所	中区基町	SRC、B2、9F	S．40	日建設計
67	広島市こども文化センター	中区基町	RC、B1、4F	S．53	近代設計コンサルタント
68	原爆資料館	中区中島町	RC、2F	S．30	丹下健三都市建築設計研究所
69	広島国際平和文化会館	中区中島町	SRC、B2、3F	S．64	丹下健三都市建築設計研究所

※ここに掲載しました建築作品は中国支部本号編集委員会で選考し、概要紹介および、地図上での位置を記載したものです。

広島建築ガイドマップ


佐伯区
安佐北区
安佐南区
東区
中区
南区
西区
伯区
牛田本町(六)、牛田旭(一)
牛田本町(五)
牛田本町(一)
牛田東(一)
牛田東(二)
牛田新町(一)
牛田新町(二)
牛田新町(三)
牛田新町(四)
牛田新町(五)
牛田山
牛田早稲田(一)
牛田早稲田(二)
牛田早稲田(三)
牛田早稲田(四)
牛田早稲田(五)
牛田早稲田(六)
牛田早稲田(七)
牛田早稲田(八)
牛田早稲田(九)
牛田早稲田(十)
牛田早稲田(十一)
牛田早稲田(十二)
牛田早稲田(十三)
牛田早稲田(十四)
牛田早稲田(十五)
牛田早稲田(十六)
牛田早稲田(十七)
牛田早稲田(十八)
牛田早稲田(十九)
牛田早稲田(二十)
牛田早稲田(二十一)
牛田早稲田(二十二)
牛田早稲田(二十三)
牛田早稲田(二十四)
牛田早稲田(二十五)
牛田早稲田(二十六)
牛田早稲田(二十七)
牛田早稲田(二十八)
牛田早稲田(二十九)
牛田早稲田(三十)
牛田早稲田(三十一)
牛田早稲田(三十二)
牛田早稲田(三十三)
牛田早稲田(三十四)
牛田早稲田(三十五)
牛田早稲田(三十六)
牛田早稲田(三十七)
牛田早稲田(三十八)
牛田早稲田(三十九)
牛田早稲田(四十)
牛田早稲田(四十一)
牛田早稲田(四十二)
牛田早稲田(四十三)
牛田早稲田(四十四)
牛田早稲田(四十五)
牛田早稲田(四十六)
牛田早稲田(四十七)
牛田早稲田(四十八)
牛田早稲田(四十九)
牛田早稲田(五十)
牛田早稲田(五十一)
牛田早稲田(五十二)
牛田早稲田(五十三)
牛田早稲田(五十四)
牛田早稲田(五十五)
牛田早稲田(五十六)
牛田早稲田(五十七)
牛田早稲田(五十八)
牛田早稲田(五十九)
牛田早稲田(六十)
牛田早稲田(六十一)
牛田早稲田(六十二)
牛田早稲田(六十三)
牛田早稲田(六十四)
牛田早稲田(六十五)
牛田早稲田(六十六)
牛田早稲田(六十七)
牛田早稲田(六十八)
牛田早稲田(六十九)
牛田早稲田(七十)
牛田早稲田(七十一)
牛田早稲田(七十二)
牛田早稲田(七十三)
牛田早稲田(七十四)
牛田早稲田(七十五)
牛田早稲田(七十六)
牛田早稲田(七十七)
牛田早稲田(七十八)
牛田早稲田(七十九)
牛田早稲田(八十)
牛田早稲田(八十一)
牛田早稲田(八十二)
牛田早稲田(八十三)
牛田早稲田(八十四)
牛田早稲田(八十五)
牛田早稲田(八十六)
牛田早稲田(八十七)
牛田早稲田(八十八)
牛田早稲田(八十九)
牛田早稲田(九十)
牛田早稲田(九十一)
牛田早稲田(九十二)
牛田早稲田(九十三)
牛田早稲田(九十四)
牛田早稲田(九十五)
牛田早稲田(九十六)
牛田早稲田(九十七)
牛田早稲田(九十八)
牛田早稲田(九十九)
牛田早稲田(百)
牛田早稲田(百一)
牛田早稲田(百二)
牛田早稲田(百三)
牛田早稲田(百四)
牛田早稲田(百五)
牛田早稲田(百六)
牛田早稲田(百七)
牛田早稲田(百八)
牛田早稲田(百九)
牛田早稲田(百十)
牛田早稲田(百十一)
牛田早稲田(百十二)
牛田早稲田(百十三)
牛田早稲田(百十四)
牛田早稲田(百十五)
牛田早稲田(百十六)
牛田早稲田(百十七)
牛田早稲田(百十八)
牛田早稲田(百十九)
牛田早稲田(百二十)
牛田早稲田(百二十一)
牛田早稲田(百二十二)
牛田早稲田(百二十三)
牛田早稲田(百二十四)
牛田早稲田(百二十五)
牛田早稲田(百二十六)
牛田早稲田(百二十七)
牛田早稲田(百二十八)
牛田早稲田(百二十九)
牛田早稲田(百三十)
牛田早稲田(百三十一)
牛田早稲田(百三十二)
牛田早稲田(百三十三)
牛田早稲田(百三十四)
牛田早稲田(百三十五)
牛田早稲田(百三十六)
牛田早稲田(百三十七)
牛田早稲田(百三十八)
牛田早稲田(百三十九)
牛田早稲田(百四十)
牛田早稲田(百四十一)
牛田早稲田(百四十二)
牛田早稲田(百四十三)
牛田早稲田(百四十四)
牛田早稲田(百四十五)
牛田早稲田(百四十六)
牛田早稲田(百四十七)
牛田早稲田(百四十八)
牛田早稲田(百四十九)
牛田早稲田(百五十)
牛田早稲田(百五十一)
牛田早稲田(百五十二)
牛田早稲田(百五十三)
牛田早稲田(百五十四)
牛田早稲田(百五十五)
牛田早稲田(百五十六)
牛田早稲田(百五十七)
牛田早稲田(百五十八)
牛田早稲田(百五十九)
牛田早稲田(百六十)
牛田早稲田(百六十一)
牛田早稲田(百六十二)
牛田早稲田(百六十三)
牛田早稲田(百六十四)
牛田早稲田(百六十五)
牛田早稲田(百六十六)
牛田早稲田(百六十七)
牛田早稲田(百六十八)
牛田早稲田(百六十九)
牛田早稲田(百七十)
牛田早稲田(百七十一)
牛田早稲田(百七十二)
牛田早稲田(百七十三)
牛田早稲田(百七十四)
牛田早稲田(百七十五)
牛田早稲田(百七十六)
牛田早稲田(百七十七)
牛田早稲田(百七十八)
牛田早稲田(百七十九)
牛田早稲田(百八十)
牛田早稲田(百八十一)
牛田早稲田(百八十二)
牛田早稲田(百八十三)
牛田早稲田(百八十四)
牛田早稲田(百八十五)
牛田早稲田(百八十六)
牛田早稲田(百八十七)
牛田早稲田(百八十八)
牛田早稲田(百八十九)
牛田早稲田(百九十)
牛田早稲田(百九十一)
牛田早稲田(百九十二)
牛田早稲田(百九十三)
牛田早稲田(百九十四)
牛田早稲田(百九十五)
牛田早稲田(百九十六)
牛田早稲田(百九十七)
牛田早稲田(百九十八)
牛田早稲田(百九十九)
牛田早稲田(二百)
牛田早稲田(二百一)
牛田早稲田(二百二)
牛田早稲田(二百三)
牛田早稲田(二百四)
牛田早稲田(二百五)
牛田早稲田(二百六)
牛田早稲田(二百七)
牛田早稲田(二百八)
牛田早稲田(二百九)
牛田早稲田(二百十)
牛田早稲田(二百十一)
牛田早稲田(二百十二)
牛田早稲田(二百十三)
牛田早稲田(二百十四)
牛田早稲田(二百十五)
牛田早稲田(二百十六)
牛田早稲田(二百十七)
牛田早稲田(二百十八)
牛田早稲田(二百十九)
牛田早稲田(二百二十)
牛田早稲田(二百二十一)
牛田早稲田(二百二十二)
牛田早稲田(二百二十三)
牛田早稲田(二百二十四)
牛田早稲田(二百二十五)
牛田早稲田(二百二十六)
牛田早稲田(二百二十七)
牛田早稲田(二百二十八)
牛田早稲田(二百二十九)
牛田早稲田(二百三十)
牛田早稲田(二百三十一)
牛田早稲田(二百三十二)
牛田早稲田(二百三十三)
牛田早稲田(二百三十四)
牛田早稲田(二百三十五)
牛田早稲田(二百三十六)
牛田早稲田(二百三十七)
牛田早稲田(二百三十八)
牛田早稲田(二百三十九)
牛田早稲田(二百四十)
牛田早稲田(二百四十一)
牛田早稲田(二百四十二)
牛田早稲田(二百四十三)
牛田早稲田(二百四十四)
牛田早稲田(二百四十五)
牛田早稲田(二百四十六)
牛田早稲田(二百四十七)
牛田早稲田(二百四十八)
牛田早稲田(二百四十九)
牛田早稲田(二百五十)
牛田早稲田(二百五十一)
牛田早稲田(二百五十二)
牛田早稲田(二百五十三)
牛田早稲田(二百五十四)
牛田早稲田(二百五十五)
牛田早稲田(二百五十六)
牛田早稲田(二百五十七)
牛田早稲田(二百五十八)
牛田早稲田(二百五十九)
牛田早稲田(二百六十)
牛田早稲田(二百六十一)
牛田早稲田(二百六十二)
牛田早稲田(二百六十三)
牛田早稲田(二百六十四)
牛田早稲田(二百六十五)
牛田早稲田(二百六十六)
牛田早稲田(二百六十七)
牛田早稲田(二百六十八)
牛田早稲田(二百六十九)
牛田早稲田(二百七十)
牛田早稲田(二百七十一)
牛田早稲田(二百七十二)
牛田早稲田(二百七十三)
牛田早稲田(二百七十四)
牛田早稲田(二百七十五)
牛田早稲田(二百七十六)
牛田早稲田(二百七十七)
牛田早稲田(二百七十八)
牛田早稲田(二百七十九)
牛田早稲田(二百八十)
牛田早稲田(二百八十一)
牛田早稲田(二百八十二)
牛田早稲田(二百八十三)
牛田早稲田(二百八十四)
牛田早稲田(二百八十五)
牛田早稲田(二百八十六)
牛田早稲田(二百八十七)
牛田早稲田(二百八十八)
牛田早稲田(二百八十九)
牛田早稲田(二百九十)
牛田早稲田(二百九十一)
牛田早稲田(二百九十二)
牛田早稲田(二百九十三)
牛田早稲田(二百九十四)
牛田早稲田(二百九十五)
牛田早稲田(二百九十六)
牛田早稲田(二百九十七)
牛田早稲田(二百九十八)
牛田早稲田(二百九十九)
牛田早稲田(三百)
牛田早稲田(三百一)
牛田早稲田(三百二)
牛田早稲田(三百三)
牛田早稲田(三百四)
牛田早稲田(三百五)
牛田早稲田(三百六)
牛田早稲田(三百七)
牛田早稲田(三百八)
牛田早稲田(三百九)
牛田早稲田(三百十)
牛田早稲田(三百十一)
牛田早稲田(三百十二)
牛田早稲田(三百十三)
牛田早稲田(三百十四)
牛田早稲田(三百十五)
牛田早稲田(三百十六)
牛田早稲田(三百十七)
牛田早稲田(三百十八)
牛田早稲田(三百十九)
牛田早稲田(三百二十)
牛田早稲田(三百二十一)
牛田早稲田(三百二十二)
牛田早稲田(三百二十三)
牛田早稲田(三百二十四)
牛田早稲田(三百二十五)
牛田早稲田(三百二十六)
牛田早稲田(三百二十七)
牛田早稲田(三百二十八)
牛田早稲田(三百二十九)
牛田早稲田(三百三十)
牛田早稲田(三百三十一)
牛田早稲田(三百三十二)
牛田早稲田(三百三十三)
牛田早稲田(三百三十四)
牛田早稲田(三百三十五)
牛田早稲田(三百三十六)
牛田早稲田(三百三十七)
牛田早稲田(三百三十八)
牛田早稲田(三百三十九)
牛田早稲田(三百四十)
牛田早稲田(三百四十一)
牛田早稲田(三百四十二)
牛田早稲田(三百四十三)
牛田早稲田(三百四十四)
牛田早稲田(三百四十五)
牛田早稲田(三百四十六)
牛田早稲田(三百四十七)
牛田早稲田(三百四十八)
牛田早稲田(三百四十九)
牛田早稲田(三百五十)
牛田早稲田(三百五十一)
牛田早稲田(三百五十二)
牛田早稲田(三百五十三)
牛田早稲田(三百五十四)
牛田早稲田(三百五十五)
牛田早稲田(三百五十六)
牛田早稲田(三百五十七)
牛田早稲田(三百五十八)
牛田早稲田(三百五十九)
牛田早稲田(三百六十)
牛田早稲田(三百六十一)
牛田早稲田(三百六十二)
牛田早稲田(三百六十三)
牛田早稲田(三百六十四)
牛田早稲田(三百六十五)
牛田早稲田(三百六十六)
牛田早稲田(三百六十七)
牛田早稲田(三百六十八)
牛田早稲田(三百六十九)
牛田早稲田(三百七十)
牛田早稲田(三百七十一)
牛田早稲田(三百七十二)
牛田早稲田(三百七十三)
牛田早稲田(三百七十四)
牛田早稲田(三百七十五)
牛田早稲田(三百七十六)
牛田早稲田(三百七十七)
牛田早稲田(三百七十八)
牛田早稲田(三百七十九)
牛田早稲田(三百八十)
牛田早稲田(三百八十一)
牛田早稲田(三百八十二)
牛田早稲田(三百八十三)
牛田早稲田(三百八十四)
牛田早稲田(三百八十五)
牛田早稲田(三百八十六)
牛田早稲田(三百八十七)
牛田早稲田(三百八十八)
牛田早稲田(三百八十九)
牛田早稲田(三百九十)
牛田早稲田(三百九十一)
牛田早稲田(三百九十二)
牛田早稲田(三百九十三)
牛田早稲田(三百九十四)
牛田早稲田(三百九十五)
牛田早稲田(三百九十六)
牛田早稲田(三百九十七)
牛田早稲田(三百九十八)
牛田早稲田(三百九十九)
牛田早稲田(四百)
牛田早稲田(四百一)
牛田早稲田(四百二)
牛田早稲田(四百三)
牛田早稲田(四百四)
牛田早稲田(四百五)
牛田早稲田(四百六)
牛田早稲田(四百七)
牛田早稲田(四百八)
牛田早稲田(四百九)
牛田早稲田(四百十)
牛田早稲田(四百十一)
牛田早稲田(四百十二)
牛田早稲田(四百十三)
牛田早稲田(四百十四)
牛田早稲田(四百十五)
牛田早稲田(四百十六)
牛田早稲田(四百十七)
牛田早稲田(四百十八)
牛田早稲田(四百十九)
牛田早稲田(四百二十)
牛田早稲田(四百二十一)
牛田早稲田(四百二十二)
牛田早稲田(四百二十三)
牛田早稲田(四百二十四)
牛田早稲田(四百二十五)
牛田早稲田(四百二十六)
牛田早稲田(四百二十七)
牛田早稲田(四百二十八)
牛田早稲田(四百二十九)
牛田早稲田(四百三十)
牛田早稲田(四百三十一)
牛田早稲田(四百三十二)
牛田早稲田(四百三十三)
牛田早稲田(四百三十四)
牛田早稲田(四百三十五)
牛田早稲田(四百三十六)
牛田早稲田(四百三十七)
牛田早稲田(四百三十八)
牛田早稲田(四百三十九)
牛田早稲田(四百四十)
牛田早稲田(四百四十一)
牛田早稲田(四百四十二)
牛田早稲田(四百四十三)
牛田早稲田(四百四十四)
牛田早稲田(四百四十五)
牛田早稲田(四百四十六)
牛田早稲田(四百四十七)
牛田早稲田(四百四十八)
牛田早稲田(四百四十九)
牛田早稲田(四百五十)
牛田早稲田(四百五十一)
牛田早稲田(四百五十二)
牛田早稲田(四百五十三)
牛田早稲田(四百五十四)
牛田早稲田(四百五十五)
牛田早稲田(四百五十六)
牛田早稲田(四百五十七)
牛田早稲田(四百五十八)
牛田早稲田(四百五十九)
牛田早稲田(四百六十)
牛田早稲田(四百六十一)
牛田早稲田(四百六十二)
牛田早稲田(四百六十三)
牛田早稲田(四百六十四)
牛田早稲田(四百六十五)
牛田早稲田(四百六十六)
牛田早稲田(四百六十七)
牛田早稲田(四百六十八)
牛田早稲田(四百六十九)
牛田早稲田(四百七十)
牛田早稲田(四百七十一)
牛田早稲田(四百七十二)
牛田早稲田(四百七十三)
牛田早稲田(四百七十四)
牛田早稲田(四百七十五)
牛田早稲田(四百七十六)
牛田早稲田(四百七十七)
牛田早稲田(四百七十八)
牛田早稲田(四百七十九)
牛田早稲田(四百八十)
牛田早稲田(四百八十一)
牛田早稲田(四百八十二)
牛田早稲田(四百八十三)
牛田早稲田(四百八十四)
牛田早稲田(四百八十五)
牛田早稲田(四百八十六)
牛田早稲田(四百八十七)
牛田早稲田(四百八十八)
牛田早稲田(四百八十九)
牛田早稲田(四百九十)
牛田早稲田(四百九十一)
牛田早稲田(四百九十二)
牛田早稲田(四百九十三)
牛田早稲田(四百九十四)
牛田早稲田(四百九十五)
牛田早稲田(四百九十六)
牛田早稲田(四百九十七)
牛田早稲田(四百九十八)
牛田早稲田(四百九十九)
牛田早稲田(五百)
牛田早稲田(五百一)
牛田早稲田(五百二)
牛田早稲田(五百三)
牛田早稲田(五百四)
牛田早稲田(五百五)
牛田早稲田(五百六)
牛田早稲田(五百七)
牛田早稲田(五百八)
牛田早稲田(五百九)
牛田早稲田(五百十)
牛田早稲田(五百十一)
牛田早稲田(五百十二)
牛田早稲田(五百十三)
牛田早稲田(五百十四)
牛田早稲田(五百十五)
牛田早稲田(五百十六)
牛田早稲田(五百十七)
牛田早稲田(五百十八)
牛田早稲田(五百十九)
牛田早稲田(五百二十)
牛田早稲田(五百二十一)
牛田早稲田(五百二十二)
牛田早稲田(五百二十三)
牛田早稲田(五百二十四)
牛田早稲田(五百二十五)
牛田早稲田(五百二十六)
牛田早稲田(五百二十七)
牛田早稲田(五百二十八)
牛田早稲田(五百二十九)
牛田早稲田(五百三十)
牛田早稲田(五百三十一)
牛田早稲田(五百三十二)
牛田早稲田(五百三十三)
牛田早稲田(五百三十四)
牛田早稲田(五百三十五)
牛田早稲田(五百三十六)
牛田早稲田(五百三十七)
牛田早稲田(五百三十八)
牛田早稲田(五百三十九)
牛田早稲田(五百四十)
牛田早稲田(五百四十一)
牛田早稲田(五百四十二)
牛田早稲田(五百四十三)
牛田早稲田(五百四十四)
牛田早稲田(五百四十五)
牛田早稲田(五百四十六)
牛田早稲田(五百四十七)
牛田早稲田(五百四十八)
牛田早稲田(五百四十九)
牛田早稲田(五百五十)
牛田早稲田(五百五十一)
牛田早稲田(五百五十二)
牛田早稲田(五百五十三)
牛田早稲田(五百五十四)
牛田早稲田(五百五十五)
牛田早稲田(五百五十六)
牛田早稲田(五百五十七)
牛田早稲田(五百五十八)
牛田早稲田(五百五十九)
牛田早稲田(五百六十)
牛田早稲田(五百六十一)
牛田早稲田(五百六十二)
牛田早稲田(五百六十三)
牛田早稲田(五百六十四)
牛田早稲田(五百六十五)
牛田早稲田(五百六十六)
牛田早稲田(五百六十七)
牛田早稲田(五百六十八)
牛田早稲田(五百六十九)
牛田早稲田(五百七十)
牛田早稲田(五百七十一)
牛田早稲田(五百七十二)
牛田早稲田(五百七十三)
牛田早稲田(五百七十四)
牛田早稲田(五百七十五)
牛田早稲田(五百七十六)
牛田早稲田(五百七十七)
牛田早稲田(五百七十八)
牛田早稲田(五百七十九)
牛田早稲田(五百八十)
牛田早稲田(五百八十一)
牛田早稲田(五百八十二)
牛田早稲田(五百八十三)
牛田早稲田(五百八十四)
牛田早稲田(五百八十五)
牛田早稲田(五百八十六)
牛田早稲田(五百八十七)
牛田早稲田(五百八十八)
牛田早稲田(五百八十九)
牛田早稲田(五百九十)
牛田早稲田(五百九十一)
牛田早稲田(五百九十二)
牛田早稲田(五百九十三)
牛田早稲田(五百九十四)
牛田早稲田(五百九十五)
牛田早稲田(五百九十六)
牛田早稲田(五百九十七)
牛田早稲田(五百九十八)
牛田早稲田(五百九十九)
牛田早稲田(六百)
牛田早稲田(六百一)
牛田早稲田(六百二)
牛田早稲田(六百三)
牛田早稲田(六百四)
牛田早稲田(六百五)
牛田早稲田(六百六)
牛田早稲田(六百七)
牛田早稲田(六百八)
牛田早稲田(六百九)
牛田早稲田(六百十)
牛田早稲田(六百十一)
牛田早稲田(六百十二)
牛田早稲田(六百十三)
牛田早稲田(六百十四)
牛田早稲田(六百十五)
牛田早稲田(六百十六)
牛田早稲田(六百十七)
牛田早稲田(六百十八)
牛田早稲田(六百十九)
牛田早稲田(六百二十)
牛田早稲田(六百二十一)
牛田早稲田(六百二十二)
牛田早稲田(六百二十三)
牛田早稲田(六百二十四)
牛田早稲田(六百二十五)
牛田早稲田(六百二十六)
牛田早稲田(六百二十七)
牛田早稲田(六百二十八)
牛田早稲田(六百二十九)
牛田早稲田(六百三十)
牛田早稲田(六百三十一)
牛田早稲田(六百三十二)
牛田早稲田(六百三十三)
牛田早稲田(六百三十四)
牛田早稲田(六百三十五)
牛田早稲田(六百三十六)
牛田早稲田(六百三十七)
牛田早稲田(六百三十八)
牛田早稲田(六百三十九)
牛田早稲田(六百四十)
牛田早稲田(六百四十一)
牛田早稲田(六百四十二)
牛田早稲田(六百四十三)
牛田早稲田(六百四十四)
牛田早稲田(六百四十五)
牛田早稲田(六百四十六)
牛田早稲田(六百四十七)
牛田早稲田(六百四十八)
牛田早稲田(六百四十九)
牛田早稲田(六百五十)
牛田早稲田(六百五十一)
牛田早稲田(六百五十二)
牛田早稲田(六百五十三)
牛田早稲田(六百五十四)
牛田早稲田(六百五十五)
牛田早稲田(六百五十六)
牛田早稲田(六百五十七)
牛田早稲田(六百五十八)
牛田早稲田(六百五十九)
牛田早稲田(六百六十)
牛田早稲田(六百六十一)
牛田早稲田(六百六十二)
牛田早稲田(六百六十三)
牛田早稲田(六百六十四)
牛田早稲田(六百六十五)
牛田早稲田(六百六十六)
牛田早稲田(六百六十七)
牛田早稲田(六百六十八)
牛田早稲田(六百六十九)
牛田早稲田(六百七十)
牛田早稲田(六百七十一)
牛田早稲田(六百七十二)
牛田早稲田(六百七十三)
牛田早稲田(六百七十四)
牛田早稲田(六百七十五)
牛田早稲田(六百七十六)
牛田早稲田(六百七十七)
牛田早稲田(六百七十八)
牛田早稲田(六百七十九)
牛田早稲田(六百八十)
牛田早稲田(六百八十一)
牛田早稲田(六百八十二)
牛田早稲田(六百八十三)
牛田早稲田(六百八十四)
牛田早稲田(六百八十五)
牛田早稲田(六百八十六)
牛田早稲田(六百八十七)
牛田早稲田(六百八十八)
牛田早稲田(六百八十九)
牛田早稲田(六百九十)
牛田早稲田(六百九十一)
牛田早稲田(六百九十二)
牛田早稲田(六百九十三)
牛田早稲田(六百九十四)
牛田早稲田(六百九十五)
牛田早稲田(六百九十六)
牛田早稲田(六百九十七)
牛田早稲田(六百九十八)
牛田早稲田(六百九十九)
牛田早稲田(七百)
牛田早稲田(七百一)
牛田早稲田(七百二)
牛田早稲田(七百三)
牛田早稲田(七百四)
牛田早稲田(七百五)
牛田早稲田(七百六)
牛田早稲田(七百七)
牛田早稲田(七百八)
牛田早稲田(七百九)
牛田早稲田(七百十)
牛田早稲田(七百十一)
牛田早稲田(七百十二)
牛田早稲田(七百十三)
牛田早稲田(七百十四)
牛田早稲田(七百十五)
牛田早稲田(七百十六)
牛田早稲田(七百十七)
牛田早稲田(七百十八)
牛田早稲田(七百十九)
牛田早稲田(七百二十)
牛田早稲田(七百二十一)
牛田早稲田(七百二十二)
牛田早稲田(七百二十三)
牛田早稲田(七百二十四)
牛田早稲田(七百二十五)
牛田早稲田(七百二十六)
牛田早稲田(七百二十七)
牛田早稲田(七百二十八)
牛田早稲田(七百二十九)
牛田早稲田(七百三十)
牛田早稲田(七百三十一)
牛田早稲田(七百三十二)
牛田早稲田(七百三十三)
牛田早稲田(七百三十四)
牛田早稲田(七百三十五)
牛田早稲田(七百三十六)
牛田早稲田(七百三十七)
牛田早稲田(七百三十八)
牛田早稲田(七百三十九)
牛田早稲田(七百四十)
牛田早稲田(七百四十一)
牛田早稲田(七百四十二)
牛田早稲田(七百四十三)
牛田早稲田(七百四十四)
牛田早稲田(七百四十五)
牛田早稲田(七百四十六)
牛田早稲田(七百四十七)
牛田早稲田(七百四十八)
牛田早稲田(七百四十九)
牛田早稲田(七百五十)
牛田早稲田(七百五十一)
牛田早稲田(七百五十二)
牛田早稲田(七百五十三)
牛田早稲田(七百五十四)
牛田早稲田(七百五十五)
牛田早稲田(七百五十六)
牛田早稲田(七百五十七)
牛田早稲田(七百五十八)
牛田早稲田(七百五十九)
牛田早稲田(七百六十)
牛田早稲田(七百六十一)
牛田早稲田(七百六十二)
牛田早稲田(七百六十三)
牛田早稲田(七百六十四)
牛田早稲田(七百六十五)
牛田早稲田(七百六十六)
牛田早稲田(七百六十七)
牛田早稲田(七百六十八)
牛田早稲田(七百六十九)
牛田早稲田(七百七十)
牛田早稲田(七百七十一)
牛田早稲田(七百七十二)
牛田早稲田(七百七十三)
牛田早稲田(七百七十四)
牛田早稲田(七百七十五)
牛田早稲田(七百七十六)
牛田早稲田(七百七十七)
牛田早稲田(七百七十八)
牛田早稲田(七百七十九)
牛田早稲田(七百八十)
牛田早稲田(七百八十一)
牛田早稲田(七百八十二)
牛田早稲田(七百八十三)
牛田早稲田(七百八十四)
牛田早稲田(七百八十五)
牛田早稲田(七百八十六)
牛田早稲田(七百八十七)
牛田早稲田(七百八十八)
牛田早稲田(七百八十九)
牛田早稲田(七百九十)
牛田早稲田(七百九十一)
牛田早稲田(七百九十二)
牛田早稲田(七百九十三)
牛田早稲田(七百九十四)
牛田早稲田(七百九十五)
牛田早稲田(七百九十六)
牛田早稲田(七百九十七)
牛田早稲田(七百九十八)
牛田早稲田(七百九十九)
牛田早稲田(八百)
牛田早稲田(八百一)
牛田早稲田(八百二)
牛田早稲田(八百三)
牛田早稲田(八百四)
牛田早稲田(八百五)
牛田早稲田(八百六)
牛田早稲田(八百七)
牛田早稲田(八百八)
牛田早稲田(八百九)
牛田早稲田(八百十)
牛田早稲田(八百十一)
牛田早稲田(八百十二)
牛田早稲田(八百十三)
牛田早稲田(八百十四)
牛田早稲田(八百十五)
牛田早稲田(八百十六)
牛田早稲田(八百十七)
牛田早稲田(八百十八)
牛田早稲田(八百十九)
牛田早稲田(八百二十)
牛田早稲田(八百二十一)
牛田早稲田(八百二十二)
牛田早稲田(八百二十三)
牛田早稲田(八百二十四)
牛田早稲田(八百二十五)
牛田早稲田(八百二十六)
牛田早稲田(八百二十七)
牛田早稲田(八百二十八)
牛田早稲田(八百二十九)
牛田早稲田(八百三十)
牛田早稲田(八百三十一)
牛田早稲田(八百三十二)
牛田早稲田(八百三十三)
牛田早稲田(八百三十四)
牛田早稲田(八百三十五)
牛田早稲田(八百三十六)
牛田早稲田(八百三十七)
牛田早稲田(八百三十八)
牛田早稲田(八百三十九)
牛田早稲田(八百四十)
牛田早稲田(八百四十一)
牛田早稲田(八百四十二)
牛田早稲田(八百四十三)
牛田早稲田(八百四十四)
牛田早稲田(八百四十五)
牛田早稲田(八百四十六)
牛田早稲田(八百四十七)
牛田早稲田(八百四十八)
牛田早稲田(八百四十九)
牛田早稲田(八百五十)
牛田早稲田(八百五十一)
牛田早稲田(八百五十二)
牛田早稲田(八百五十三)
牛田早稲田(八百五十四)
牛田早稲田(八百五十五)
牛田早稲田(八百五十六)
牛田早稲田(八百五十七)
牛田早稲田(八百五十八)
牛田早稲田(八百五十九)
牛田早稲田(八百六十)
牛田早稲田(八百六十一)
牛田早稲田(八百六十二)
牛田早稲田(八百六十三)
牛田早稲田(八百六十四)
牛田早稲田(八百六十五)
牛田早稲田(八百六十六)
牛田早稲田(八百六十七)
牛田早稲田(八百六十八)
牛田早稲田(八百六十九)
牛田早稲田(八百七十)
牛田早稲田(八百七十一)
牛田早稲田(八百七十二)
牛田早稲田(八百七十三)
牛田早稲田(八百七十四)
牛田早稲田(八百七十五)
牛田早稲田(八百七十六)
牛田早稲田(八百七十七)
牛田早稲田(八百七十八)
牛田早稲田(八百七十九)
牛田早稲田(八百八十)
牛田早稲田(八百八十一)
牛田早稲田(八百八十二)
牛田早稲田(八百八十三)
牛田早稲田(八百八十四)
牛田早稲田(八百八十五)
牛田早稲田(八百八十六)
牛田早稲田(八百八十七)
牛田早稲田(八百八十八)
牛田早稲田(八百八十九)
牛田早稲田(八百九十)
牛田早稲田(八百九十一)
牛田早稲田(八百九十二)
牛田早稲田(八百九十三)
牛田早稲田(八百九十四)
牛田早稲田(八百九十五)
牛田早稲田(八百九十六)
牛田早稲田(八百九十七)
牛田早稲田(八百九十八)
牛田早稲田(八百九十九)
牛田早稲田(九百)
牛田早稲田(九百一)
牛田早稲田(九百二)
牛田早稲田(九百三)
牛田早稲田(九百四)
牛田早稲田(九百五)
牛田早稲田(九百六)
牛田早稲田(九百七)
牛田早稲田(九百八)
牛田早稲田(九百九)
牛田早稲田(九百十)
牛田早稲田(九百十一)
牛田早稲田(九百十二)
牛田早稲田(九百十三)
牛田早稲田(九百十四)
牛田早稲田(九百十五)
牛田早稲田(九百十六)
牛田早稲田(九百十七)
牛田早稲田(九百十八)
牛田早稲田(九百十九)
牛田早稲田(九百二十)
牛田早稲田(九百二十一)
牛田早稲田(九百二十二)
牛田早稲田(九百二十三)
牛田早稲田(九百二十四)
牛田早稲田(九百二十五)
牛田早稲田(九百二十六)
牛田早稲田(九百二十七)
牛田早稲田(九百二十八)
牛田早稲田(九百二十九)
牛田早稲田(九百三十)
牛田早稲田(九百三十一)
牛田早稲田(九百三十二)
牛田早稲田(九百三十三)
牛田早稲田(九百三十四)
牛田早稲田(九百三十五)
牛田早稲田(九百三十六)
牛田早稲田(九百三十七)
牛田早稲田(九百三十八)
牛田早稲田(九百三十九)
牛田早稲田(九百四十)
牛田早稲田(九百四十一)
牛田早稲田(九百四十二)
牛田早稲田(九百四十三)
牛田早稲田(九百四十四)
牛田早稲田(九百四十五)
牛田早稲田(九百四十六)
牛田早稲田(九百四十七)
牛田早稲田(九百四十八)
牛田早稲田(九百四十九)
牛田早稲田(九百五十)
牛田早稲田(九百五十一)
牛田早稲田(九百五十二)
牛田早稲田(九百五十三)
牛田早稲田(九百五十四)
牛田早稲田(九百五十五)
牛田早稲田(九百五十六)
牛田早稲田(九百五十七)
牛田早稲田(九百五十八)
牛田早稲田(九百五十九)
牛田早稲田(九百六十)
牛田早稲田(九百六十一)
牛田早稲田(九百六十二)
牛田早稲田(九百六十三)
牛田早稲田(九百六十四)
牛田早稲田(九百六十五)
牛田早稲田(九百六十六)
牛田早稲田(九百六十七)
牛田早稲田(九百六十八)
牛田早稲田(九百六十九)
牛田早稲田(九百七十)
牛田早稲田(九百七十一)
牛田早稲田(九百七十二)
牛田早稲田(九百七十三)
牛田早稲田(九百七十四)
牛田早稲田(九百七十五)
牛田早稲田(九百七十六)
牛田早稲田(九百七十七)
牛田早稲田(九百七十八)
牛田早稲田(九百七十九)
牛田早稲田(九百八十)
牛田早稲田(九百八十一)
牛田早稲田(九百八十二)
牛田早稲田(九百八十三)
牛田早稲田(九百八十四)
牛田早稲田(九百八十五)
牛田早稲田(九百八十六)
牛田早稲田(九百八十七)
牛田早稲田(九百八十八)
牛田早稲田(九百八十九)
牛田早稲田(九百九十)
牛田早稲田(九百九十一)
牛田早稲田(九百九十二)
牛田早稲田(九百九十三)
牛田早稲田(九百九十四)
牛田早稲田(九百九十五)
牛田早稲田(九百九十六)
牛田早稲田(九百九十七)
牛田早稲田(九百九十八)
牛田早稲田(九百九十九)
牛田早稲田(千)
牛田早稲田(千一)
牛田早稲田(千二)
牛田早稲田(千三)
牛田早稲田(千四)
牛田早稲田(千五)
牛田早稲田(千六)
牛田早稲田(千七)
牛田早稲田(千八)
牛田早稲田(千九)
牛田早稲田(千十)
牛田早稲田(千十一)
牛田早稲田(千十二)
牛田早稲田(千十三)
牛田早稲田(千十四)
牛田早稲田(千十五)
牛田早稲田(千十六)
牛田早稲田(千十七)
牛田早稲田(千十八)
牛田早稲田(千十九)
牛田早稲田(千二十)
牛田早稲田(千二十一)
牛田早稲田(千二十二)
牛田早稲田(千二十三)
牛田早稲田(千二十四)
牛田早稲田(千二十五)
牛田早稲田(千二十六)
牛田早稲田(千二十七)
牛田早稲田(千二十八)
牛田早稲田(千二十九)
牛田早稲田(千三十)
牛田早稲田(千三十一)
牛田早稲田(千三十二)
牛田早稲田(千三十三)
牛田早稲田(千三十四)
牛田早稲田(千三十五)
牛田早稲田(千三十六)
牛田早稲田(千三十七)
牛田早稲田(千三十八)
牛田早稲田(千三十九)
牛田早稲田(千四十)
牛田早稲田(千四十一)
牛田早稲田(千四十二)
牛田早稲田(千四十三)
牛田早稲田(千四十四)
牛田早稲田(千四十五)
牛田早稲田(千四十六)
牛田早稲田(千四十七)
牛田早稲田(千四十八)
牛田早稲田(千四十九)
牛田早稲田(千五十)
牛田早稲田(千五十一)
牛田早稲田(千五十二)
牛田早稲田(千五十三)
牛田早稲田(千五十四)
牛田早稲田(千五十五)
牛田早稲田(千五十六)
牛田早稲田(千五十七)
牛田早稲田(千五十八)
牛田早稲田(千五十九)
牛田早稲田(千六十)
牛田早稲田(千六十一)
牛田早稲田(千六十二)
牛田早稲田(千六十三)
牛田早稲田(千六十四)
牛田早稲田(千六十五)
牛田早稲田(千六十六)
牛田早稲田(千六十七)
牛田早稲田(千六十八)
牛田早稲田(千六十九)
牛田早稲田(千七十)
牛田早稲田(千七十一)
牛田早稲田(千七十二)
牛田早稲田(千七十三)
牛田早稲田(千七十四)
牛田早稲田(千七十五)
牛田早稲田(千七十六)
牛田早稲田(千七十七)
牛田早稲田(千七十八)
牛田早稲田(千七十九)
牛田早稲田(千八十)
牛田早稲田(千八十一)
牛田早稲田(千八十二)
牛田早稲田(千八十三)
牛田早稲田(千八十四)
牛田早稲田(千八十五)
牛田早稲田(千八十六)
牛田早稲田(千八十七)
牛田早稲田(千八十八)
牛田早稲田(千八十九)
牛田早稲田(千九十)
牛田早稲田(千九十一)
牛田早稲田(千九十二)
牛田早稲田(千九十三)
牛田早稲田(千九十四)
牛田早稲田(千九十五)
牛田早稲田(千九十六)
牛田早稲田(千九十七)
牛田早稲田(千九十八)
牛田早稲田(千九十九)
牛田早稲田(千百)
牛田早稲田(千百一)
牛田早稲田(千百二)
牛田早稲田(千百三)
牛田早稲田(千百四)
牛田早稲田(千百五)
牛田早稲田(千百六)
牛田早稲田(千百七)
牛田早稲田(千百八)
牛田早稲田(千百九)
牛田早稲田(

中国地方のプロジェクトマップ



21世紀へ向けて瀬戸内が変わりつつある！

中国地方のプロジェクト紹介

青函トンネル、瀬戸大橋があいついで開通され、21世紀へ向けて日本列島が1つになりました。

残りの瀬戸内2橋も本格的に工事が再開され、ひときわ目立つ中国地方は全国的に見れば多少、羨望的に見られる感もありますがそれだけ気候的にも、地理的にも恵まれています。

また、産業面でも観光面でも大きく日本の期待が集まる所であり時期でもあります。このような折に中国地方の特集号としてビッグプロジェクトを紹介することは、よそから見れば知る機会だし地元から見れば知ってもらいたい機会だと考えて情報を集めました。プロジェクトとしては主に、山口県、広島県、岡山県、香川県からビックなものを抽出し、併せて島根県、鳥取県を加えてみました。抽出件数は全部で、44件、記事紹介は19件と、紙面上許す限り載せてみました。全体の量から見れば、各官庁の出先などが集中する広島県が多くなってしまったことは止むを得ない点もありますが、他県の方々には誌面を借りてお許しを願いたいと思います。

表現方法としては全体の構成をリスト、瀬戸内のマップ、広島のマップ、それに、概要を載せた記事紹介を組み合わせて構成してみました。リストの中で、○印はテーマのみ、□印は記事を紹介させていただきました。

プロジェクトそのものとしては、民間独自のもの、公社、公団など、また官民共同の民活プロジェクトで大きいものもたくさんあり、中には夢のあるすばらしいものも多くあって、是非紹介したいものもあったのですが、今回は、紹介を省略させていただいたことは、非常に残念ではありますが、お許し願いたいと思います。

地元から見れば、この機会に中国地方のアピールにもなるし、編集側としても、今後の活性化への一助に微力ながら貢献出来れば幸いと思います。なお、地元広島を始め、中国地方の関係各位の方々には貴重な時間、貴重な資料、或いは原稿まで頂いたことは、非常に感謝します。また紙面の都合上、一部割愛させていただいたものもあり、おことわりを申し上げるとともにこの場を借りて厚く御礼申し上げます。また、原稿依頼の時が関係各位方々には年度末で一番忙しい時なので、大半はパンフレットなどより転記させていただきましたが、このことについても重ねておことわりを申し上げます。

（中国支部編集委員会）



本州四国連絡橋瀬戸大橋

紹介プロジェクト一覧表　凡例　□記事紹介　○プロットのみ

地域	番号	プロジェクト名称
広島県（広島市）	①	広島駅前再開発
	②	広島駅新幹線口再開発
	③	己斐駅周辺再開発
	④	五日市駅周辺再開発
	⑤	呉駅前西地区再開発
	6	広島西部丘陵都市
	⑦	広島港坂地区開発計画
	8	段原再開発事業
	⑨	広島中央テクノポリス
	10	宇品地区再開発
	⑪	備北都市圏整備構想
	12	広島西部商業街区ビル
	13	新広島空港
	⑭	メッセコンベンションシティ構想
	⑮	ニューメディアコミュニティシティ構想
	16	アジア競技大会広島大会
	⑰	市政100周年・築城400年記念事業
	18	'89海と島の博覧会ひろしま
	19	山陽自動車道
	20	祇園新道
	㉑	広島南道路
Ⓐ	㉒	広島呉道路
	㉓	中国横断自動車道
	㉔	県民の浜整備事業
	25	広島新交通システム計画
	26	呉フェニックス計画
	27	リバーフロント住宅（HOPE計画）
	㉘	電柱埋設事業
岡山県	29	吉備高原都市
	30	本州四国連絡橋瀬戸大橋
	㉛	南新産業都市
	㉜	総合流通センター
	㉝	県営御津工業団地
	㉞	健康の森
Ⓑ	35	瀬戸大橋博'88岡山
香川県	㊱	田園テクノポリス
	㊲	新宇多津都市
Ⓒ	38	瀬戸大橋博'88 四国
鳥取県	39	鳥取新都市（津ノ井ニュータウン）
Ⓓ	㊵	'89鳥取・世界おもちゃ博覧会
島根県	㊶	石見空港
Ⓔ	㊷	松江菓子博'89
山口県	43	マリンテクノひびき灘構想（マリノベーション構想）
Ⓕ	44	山口テクノパーク

プロットNo. A－6

広島西部丘陵都市



土地利用基本計画図

土地利用別面積配分

計画対象区域 3,840ha			
既開発地 520ha (13.5%)	開発計画地区 1,940ha (50.6%) 計画開発地区 1,250 ha (32.6%)	計画誘導地区 690ha (18.0%)	保全地区 1,380ha (35.9%)
			保留地区 260ha (6.7%)

開発計画地区内の土地利用配分(グロス、単位：ha)

用途	計画開発地区	計画誘導地区	計
住居系	740	630	1,370
工業・流通系	260	40	300
学術・研究・文化系	90	—	90
レクリエーション系	90	—	90
その他誘致系	70	20	90
合計	1,250	690	1,940

広島西部丘陵都市７つの機能開発

1. 学術・研究機能

学術・研究を通じて地域の活性化と国際レベルでの交流拠点づくりを進めていきます。

2. 高度情報通信機能

広島の情報拠点性を高め、産業の誘致、活性化、都市生活のアメニティ向上を図ります。

3. 都市型産業機能

リフレッシュパーク、ハイテク・ソフトパーク、ビジネスパーク等の整備を行い、産業構造の高度化、多角化を図ります。

4. リゾート・レクリエーション機能

アジア競技大会のメイン会場となる広島広域公園をはじめ、自然や農業資源を活用した多様なレクリエーション機能を開発します。

5. 保健・医療機能、福祉機能

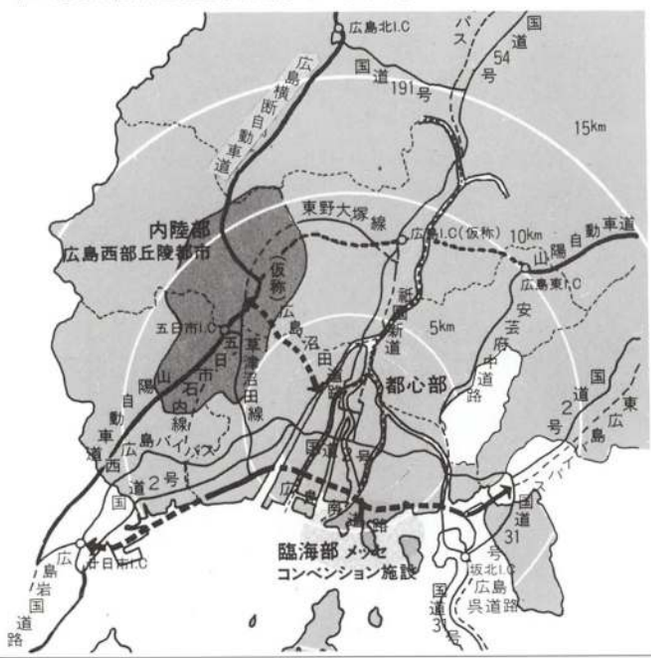
高齢化社会等の進展に対応し、保健、医療、福祉について質の高い新たなサービスを提供していきます。

6. 都市センター機能

都市としての一体性を確保しつつ、自立性を高め、また、都市全体のシンボルとしての求心性を持った空間を形成していきます。

7. 高質居住機能

ゆとりある居住環境と魅力的なコミュニティを備え、質の高いライフスタイルを生み出す住宅地を形成していきます。



プロットNo. A－8

段原再開発事業

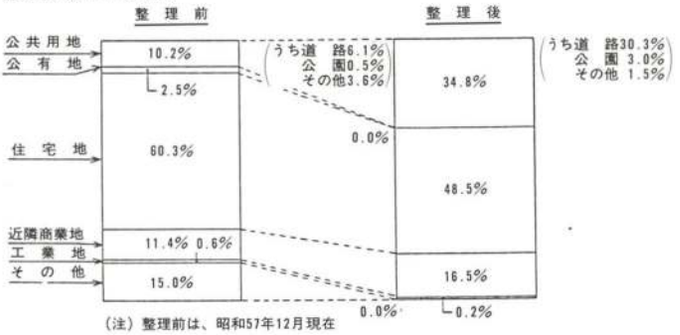
計画概要

区域内の都市計画道路は南北に幅員36ｍの中広宇品線、東西に幅員25ｍの比治山東雲線が地区中央で十文字に交差する形で、また地区北端の比治山蟹屋線の拡幅を計画している。これら都市計画道路の総面積は約6.8haで地区面積の14.2%にあたる。これら都市計画道路を軸として、幅員４～12ｍの区画道路（総延長約12,400ｍ）を配する計画である。また公園については１か所当り1,000～2,500㎡の児童公園を５ヶ所配する計画である。

施行前後の土地利用を比較してみると、道路率は施工前の6.1％が施工後30.3%に、公園等は0.5 %が3.0%となる。

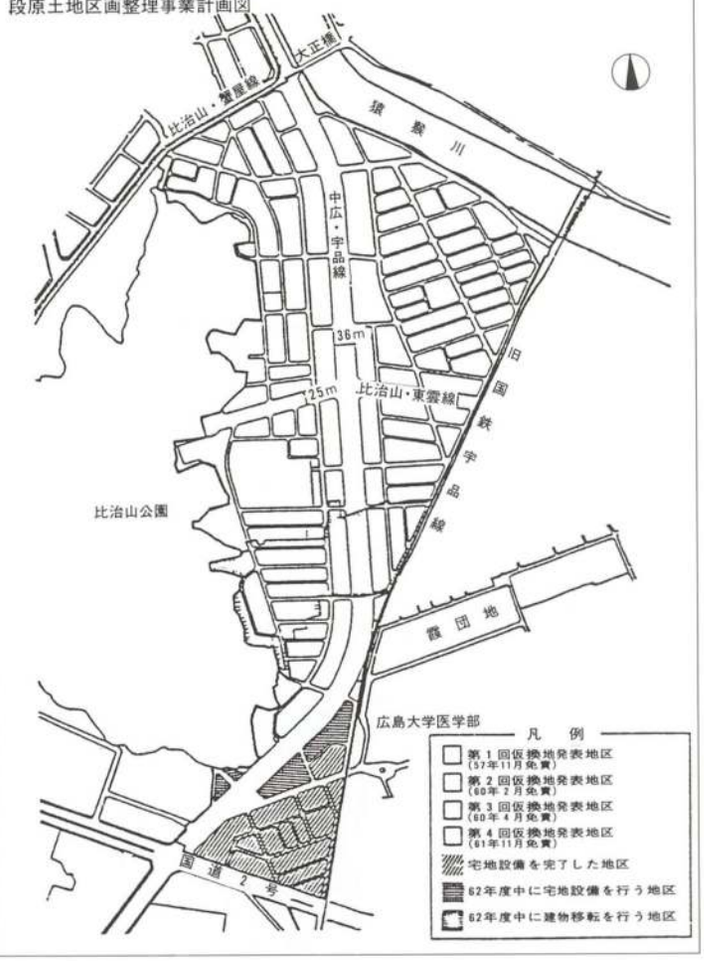
宅地は90%が65%となり、公共減歩率は約27%となっているが、宅地の総価額において減価を生じるためこの減価補償金相当額で用地を先行取得し、実質減歩率を平均15%にする計画である。

整理前後の土地利用



(注) 整理前は、昭和57年12月現在

段原土地区画整理事業計画図



ブロットNo.
A－10

宇品地区再開発

計画概要

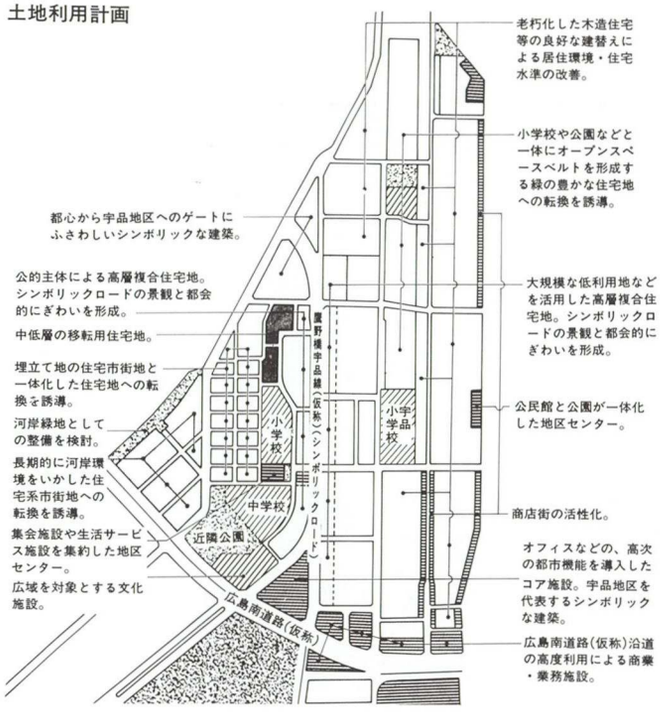
区域面積
計画対象区域…… 約134ha
（埋立て地約13haを含む）

住宅建設戸数
住宅建設戸数…… 約3,500戸
うち民間住宅…… 約2,600戸
公的住宅…… 約 900戸

主な公共施設等の整備
幹線道路／(仮称)鷹野橋宇品線 幅員30m
(仮称)広島南道路 幅員60m
公園緑地／近隣公園 1ヶ所
教育施設／小中学校 各1校
その他／地区センター 1ヶ所
緑道など

宇品地区をより住みやすく魅力ある街に再生する方向を示すもので、計画は二つの柱があり、その一つは、住みやすくゆとりのある住宅づくりの計画です。このために、埋立て地を中心とした地区で新たな住宅の建設や、学校、公園などの施設の整備を計画しています。また、既成市街地の中では、建物の新築・建替えにあたってのルールづくりや相談体制づくり、市道、路地、空き地の魅力づくりなど宇品地区がデルタ内の理想的な住宅地となるよう、様々な取組みを提案しています。
もう一つは、宇品地区が海田から五日市に至る湾岸地域の中心地となるような、活気のある拠点づくりの計画です。このために、特色のあるオフィスや店舗などが立地しやすいような環境をつくりだすとともに、幹線道路網の整備によって都心や周辺地域からの交通を便利にしたり、まとまった駐車場を確保することを計画しています。21世紀の宇品はインテリジェントビルや高層住宅群が建ち並ぶ、広島市の一大拠点の顔を持つことになるでしょう。
その一方で、新しいものと歴史、賑わいと落ち着き、大きなスケールと人間的なスケールがお互いに共存し合う、複合共生のまちになることが、この計画の目標です。

土地利用計画



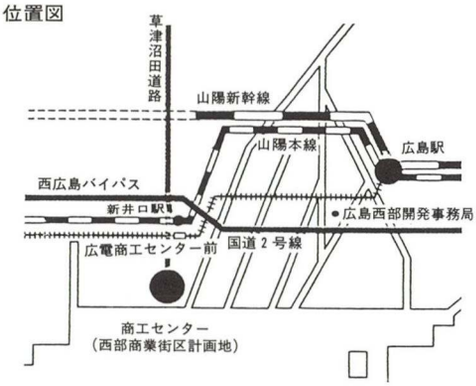
ブロットNo.
A－12

広島西部商業街区ビル

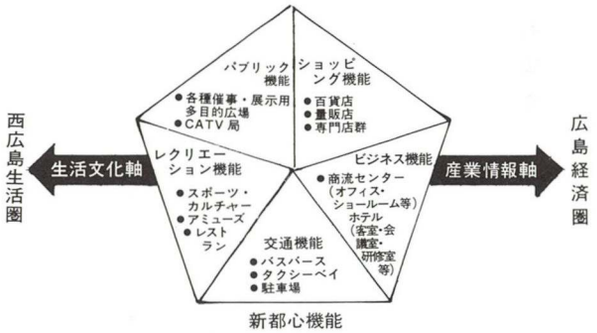
計画概要

■名　称　(仮称)広島西部商業街区ビル
■所在地　広島市西区井口明神1丁目10―133 他
■敷地面積　合計 約34,300㎡
Aブロック 約16,100㎡
Bブロック 約16,000㎡
Cブロック 約 2,200㎡
■延床面積　合計 約168,100㎡(立体駐車場を含む)
Aブロック 約80,300㎡
Bブロック 約78,500㎡
Cブロック 約 9,300㎡
■店舗面積　46,000㎡
百貨店 株式会社天満屋 22,000㎡
量販店 株式会社広電ストア 8,000㎡
専門店 16,000㎡(通路を含む)
■駐車台数　約2,300台

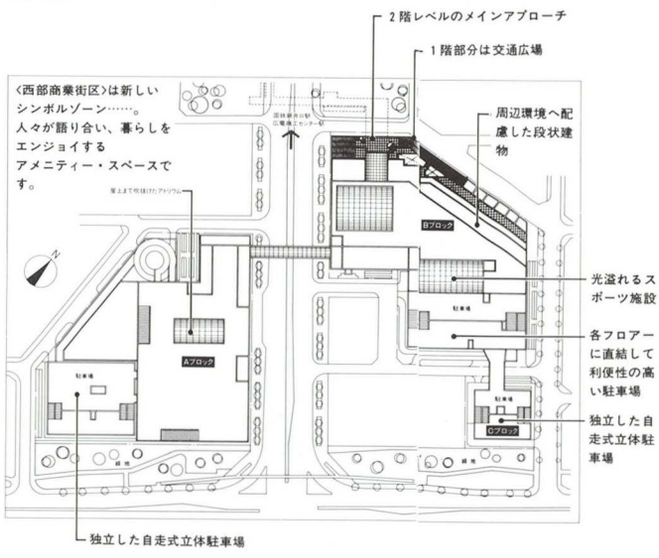
位置図



施設機能



配置図



プロットNo. A－13

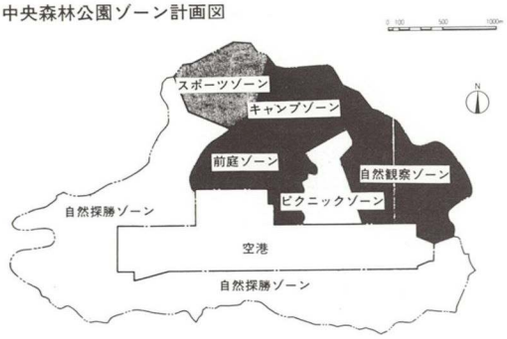
新広島空港

新広島空港概要

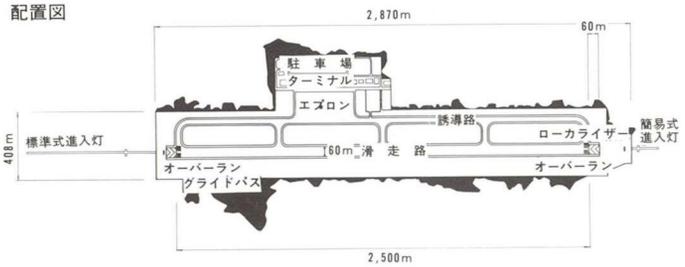
所　在　地　広島県豊田郡本郷町用倉地区
事業主体　運輸省
事業年度　昭和61年度～昭和68年度（昭和68年12月20日開港予定）
用途・規模　第２種空港　管理面積 163ha
　　滑走路　2,500m×60m

広島県では、21世紀へ向けて新たな飛躍を遂げるための高速交通体系整備の基幹的施設として、拡張整備が困難な現空港に代えて新広島空港を、豊田郡本郷町用倉地区に、昭和68年12月20日の開港を目指して建設中である。
新広島空港は、広島市の東方約50kmの県のほぼ中央部に位置するため、広島市から山陽自動車道を経由して50～60分程度で利用できるばかりでなく、県内各地域から短時間での利用が可能となる。
この新空港は、国内航空ネットワーク形成の中での中・四国地方の基幹空港としての役割ばかりでなく、昨年策定された第４次全国総合開発計画において、国際定期便の就航する空港としての整備が位置づけられており、将来、滑走路を3,000ｍに延長できるよう既に用地を確保しており、さらに、昭和69年に広島で開催される第12回アジア競技大会の空の玄関としても予定している。
また、空港の建設は単に〝空路の駅〟の整備にとどまらないで、空港を核に空港周辺を、情報、リゾート、産業、国際交流などの諸機能をもった臨空港都市の建設を推進している。

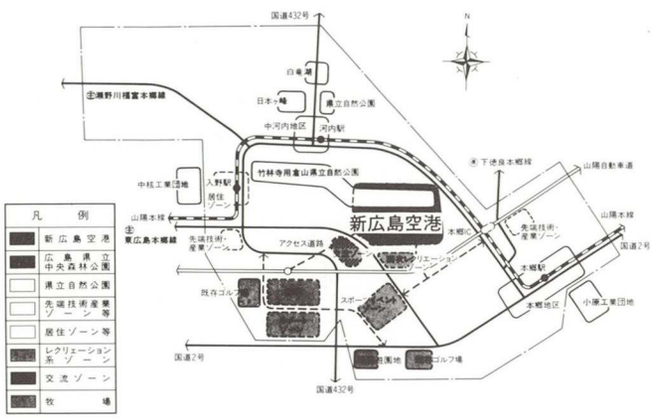
中央森林公園ゾーン計画図



配置図



臨空港都市土地利用構想図



プロットNo. A－16

アジア競技大会広島大会

開催計画

開　催　年　昭和69年
開催時期　５月又は10月の15日間
開　催　地　広島市を中心とする県内地域
運営主体　財団法人広島アジア競技大会組織委員会
参加国・地域　アジアオリンピック評議会に加盟している37の国及び地域
参加選手・役員数　約6,000人

主な施設

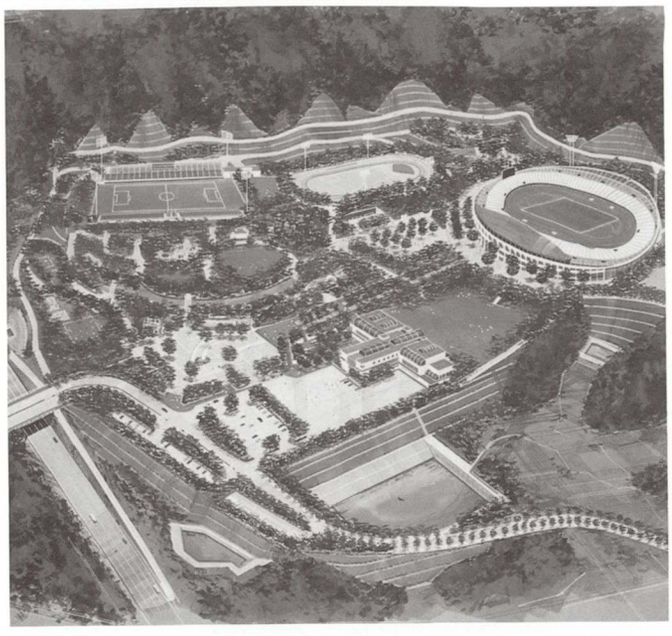
- 陸上競技場（第一種公認、400mトラック）
- サブトラック（400mトラック）
- 第一球技場（サッカー）
- 第二球技場（ホッケー）

アジアのオリンピックともいわれるアジア競技大会は、アマチュア・スポーツを公正に競技することを通じて、アジアの若人の間に国際的敬愛と親善を促進することを目的とした、アジア諸国のスポーツの祭典です。あすのアジアを担う若人たちが一堂に会して、その力と技を競い、同時に友情と連帯を築く、アジア地域の総合競技大会で、４年ごとに、原則としてオリンピック大会の中間の偶数年度に開催され、アジア諸国間の相互理解に大きく寄与します。
開催競技は、必須競技（３競技）、選択競技（26競技）、それにデモンストレーション競技から成り、必須競技の中には、建築・絵画・彫刻の展示や音楽の演奏などを行う芸術展示が含まれ、文化の交流をはかることも意図されています。

実施予定競技

①陸上競技	②水泳	③アーチェリー
④バドミントン	⑤バスケットボール	⑥ボクシング
⑦自転車競技	⑧馬術競技	⑨フェンシング
⑩サッカー	⑪ゴルフ	⑫体操
⑬ハンドボール	⑭ホッケー	⑮柔道
⑯漕艇	⑰射撃	⑱卓球
⑲テニス	⑳バレーボール	㉑ウェイトリフティング
㉒レスリング	㉓ヨット	㉔ボーリング
㉕カヌー	芸術展示	

メインスタジアムのある広島広域公園（完成予想図）



プロットNo. A－18

'89海と島の博覧会・ひろしま

—SEA & ISLANDS EXPO HIROSIMA 1989—

開催計画

テ ー マ　海と島のグランドデザイン——輝く海と島と人
会　　期　昭和64年７月８日(土)～10月29日(日)（114日間）
会　　場　広島市商工センター東(西区扇２丁目)及び広島県内沿岸・島しょ部
目標入場者数　353万人（沿岸・島しょ部会場を含む）
主　　催　財団法人'89海と島の博覧会協会
事 業 費　100億円

昭和64年の７月８日から10月29日までの 114 日間、広島市と広島県の沿岸・島しょ地域において博覧会が開催される。この博覧会は、〝海と島のグランドデザイン〟をテーマとして瀬戸内海を舞台に開催されるスケールの大きな博覧会である。昭和64年は市制百年に当たる年で、全国的に多くの博覧会が開催されるが、その中でも'89海と島の博覧会・ひろしまは、他の博覧会にない多くの特色を持っている。

第一は、博覧会の形式上の特色である。'89海と島の博覧会・ひろしまは、広島市のメイン会場と広島県の瀬戸内海沿岸・島しょ地域に設けられる22のサブ会場を陸と海のルートで結び、訪れる人々が瀬戸内海の多島美を満喫できるような広域回遊型のまったく新しい形式の博覧会である。

第二は、メイン会場の会場づくりにおいて独自の工夫がなされる点である。従来の博覧会はパビリオン中心で、映像やもの珍しい文物を見て回るパターンが一般的であったが、このメイン会場は中央に約６haの人造海が作られ、その周辺に半島状の７つの島を配置、テーマに忠実な会場づくりが行われるほか、この７つの島の随所には海と島にまつわる物語や伝説に登場する人物や持ち物をオブジェ化して配置するなどパビリオンの中に入らなくても充分楽しめる環境演出がほどこされる。更に会場全体が５～６ｍの起伏を持って造成されることも従来の博覧会では見られない特色である。

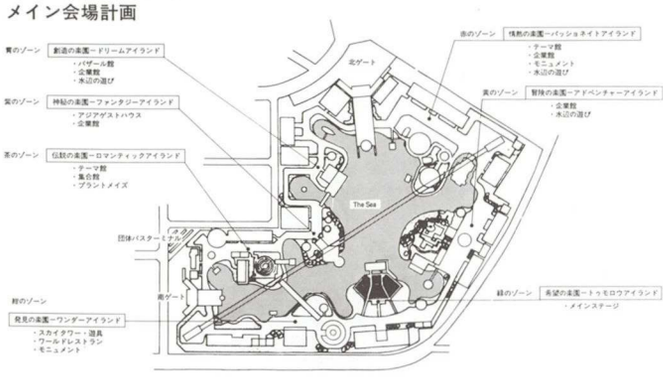
第三は、テーマとねらいが先見的である点である。世の中の流れは、余暇時間の増大に伴ってリゾート時代に突入しようとしているが、このリゾート時代に照準を合わせて海と島即ち瀬戸内海に新たな光を当て、瀬戸内海をかっての交通空間、産業空間から海のリゾート空間として提案していくねらいを持っている。また、このことは人々のライフスタイルをリゾートスタイルに変えていくという先導的先見性ももっている。

このように'89海と島の博覧会･ひろしまは、さまざまな側面において従来型の博覧会の概念を超えており、瀬戸内海を舞台とするこの〝リゾート博覧会〟は来年７月８日のオープンに向けて諸準備が進められている。

会場位置図



メイン会場計画



プロットNo. A－19

山陽自動車道

計画概要

区　　間　大阪府吹田市～山口県下関市
距　　離　494km
事業年度　昭和47年６月より

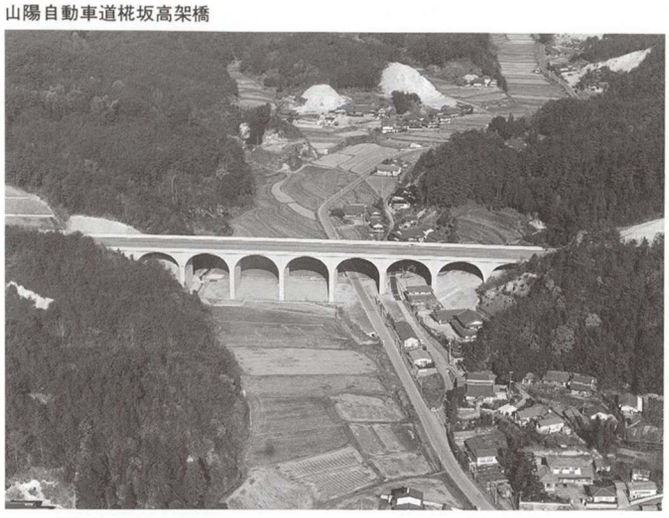
山陽自動車道は、起点を大阪府吹田市、終点を山口県下関市とする延長 494 km（予定路線山口～下関間60kmを含む）の高速自動車国道である。吹田市から西宮市西部までは、中国縦貫自動車道と重複する。日本道路公団広島建設局の担当事業区間は、このうち岡山県、広島県、山口県であり、延長は既開通区間も含めて約 306 kmである。山陽自動車道の路線は、瀬戸内海沿岸の諸都市を結び、中国地方と京阪神及び九州経済圏と直結するほか、中国横断自動車道、本四連絡道路と結ばれ、中国縦貫自動車道も含めた中四国の幹線道路網の中心となる路線である。このほか、現国道２号のバイパスとして機能し、２号の交通混雑を緩和することも期待される。

山陽自動車道は、基本計画が昭和47年６月から順次策定されており、また整備計画、道路公団に対する施行命令もやはり同時期から５次に亘って出されて現在に至っている。昭和60年３月に、中国横断自動車道の一部の広島自動車道が開通するのと同じく、山陽自動車道の広島ＪＣＴ～五日市ＩＣ間約３kmが初めて開通した。以来部分開通を重ね現在約 117 kmが開通している。

路線は、沿線都市周辺を除き、中国山地が瀬戸内海へのびる中を貫いており、トンネルや橋梁の占める割合の多い典型的な山岳道路の様相を呈する区間、台地状の中を切盛土で通過する区間が多い。また都市部では、高架構造が主体となるが、環境施設帯や、盛土部の遮音築堤など環境や景観に配慮した道路構造に留意している。

広島市周辺の山陽自動車道は、昭和63年内には東広島市の西条ＩＣから大野町までが開通する予定であり、これにより広島市の北側をほぼ半周する路線が出来上る。これにより、高速道路網としての山陽自動車道の位置付けも大きく飛躍すると思われる。

山陽自動車道桃坂高架橋



ブロットNo. A－20

祇園新道

一般国道54号は、中国地方の中枢都市である広島市から山陰の松江市に至る幹線道路であります。この道路も他の道路と同様に幹線道路としての交通量の増加に加えて最近の宅地開発による広島市北西部からの交通流入が大巾に増加したことにより大変混雑しております。

このために各種の検討が行われ、新たに交通対策として祇園新道を骨格とする道路整備に合せて新交通システムの導入が計画され、昭和46年、広島市中区紙屋町から安佐南区緑井までの8.5kmのバイパスが祇園新道として事業化されたものであります。

この道路の特徴は、広い植樹帯と副道を設け、道路の新設と同時に供給管共同溝を設置して電線類を上空からなくして快適な道路空間を創設したことで、全国でも初めてであります。

道路の構造は、巾員50mを標準としております。

○車道は片側3車線3.25m×3＋0.75m＝10.5mで道路端から本線車道端までは12.5m。

○植樹帯は3.5mで沿道環境の保全と景観を配慮する。

○副道は5.0mで沿道の利便性の向上を図る。

○自転車歩行車道は4.0mで副道側には巾1.3mの植樹帯を設けている。

○横断施設は、交差点部にはできるだけ多くの地下道又は歩道橋を設置する。

地下には、幹線共同溝を設け、電力、電話、ガスの幹線と、将来の情報ネットワークである光ファイバーケーブルの収納を行い、流域下水道幹線の下水本管を収納している。また供給管共同溝を設け、沿道の建物に直接供給する電気、電話、ガス、水道、下水管を収納している。

地上には中央分離帯の上に新交通システムを支える橋脚等を設け、橋桁、駅舎等に利用される。

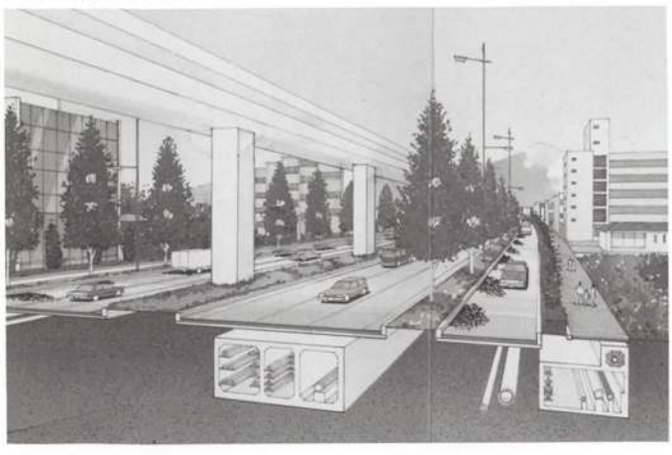
このように、将来展望のもとに道路面のみならず、地上、地下を最大限に有効利用することは、今後の道路建設の一つのモデルとなるでしょう。

この祇園新道の事業は、昭和52年に都市計画決定を行い、昭和54年から関係者700名家屋移転446戸に対する用地買収を始め昭和57年から道路工事に着手し、昭和60年からは供給管共同溝工事に昭和61年からは幹線共同溝の工事に着手したものであります。

全体の事業費は、道路事業費743億円、幹線共同溝、供給管共同溝関連事業費211億円、新交通のインフラ整備事業費330億円、合計1,284億円で、この内道路事業費では、用地買収費415億円（全体507億円）、道路工事費123億円の計538億円の投資で昭和63年3月23日、広島市東区牛田新町1丁目から安佐南区緑井までの延長5.9km（6車線計画の内の2車線、又は、8車線計画のうちの5車線）が今回暫定供用されました。

今後は引続いて幹線共同溝、新交通システムの工事等を鋭意進め、昭和69年春の全面供用開始に向けて努力するものであります。

祇園共同溝完成予想図



ブロットNo. A－25

広島新交通システム計画

計画概要

区　　間　中区紙屋町二丁目～安佐南区長楽寺
延　　長　12.8km
駅　　数　16駅（平均駅間距離約850m）
構　　造　高架式（一部地下式）
総事業費　約900億円（昭和61年度価額）
経営主体　広島高速交通株式会社（第3セクター）
開業予定　昭和69年春

中区紙屋町～安佐南区長楽寺間に導入しようとしている新交通システムとは、「道路を立体的に利用した専用軌道上を、コンピューター制御により自動走行することが可能な、バスと鉄道の中間程度の輸送力をもつ交通システム」で、次のような特徴をもっています。

(1)　安全性・信頼性

専用軌道上を走行しますので、交通渋滞や交通事故の心配がなく、鉄道と同じようにダイヤどおり定時運行ができます。

(2)　低公害性

電気を動力としますので排気ガスがなく、車輪はゴムタイヤを使用しますので、騒音・振動は極力おさえることができます。

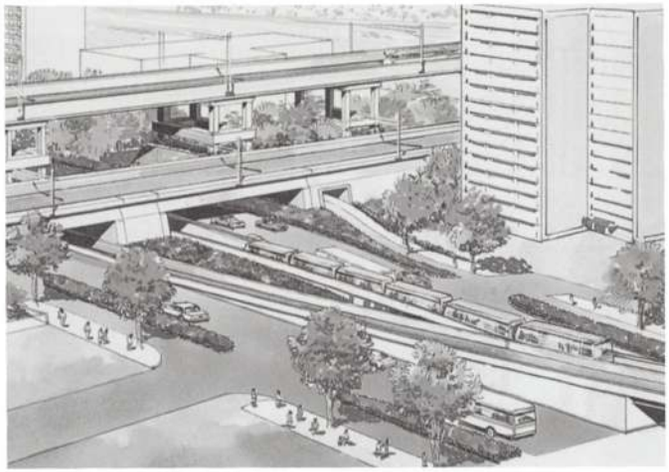
(3)　快適性

車内は騒音・振動が少なく、空調設備も完備し快適な乗心地が確保されます。

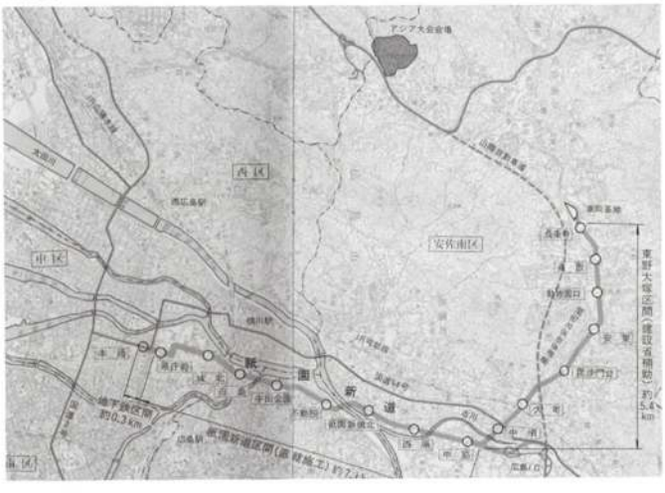
(4)　経済性

輸送効率が高く、省エネルギー型の公共交通機関です。建設費は地下鉄の1/3程度ですみます。コンピューターの利用により運行管理面での省力化が可能です。

新幹線交差部予想図



路線図



プロットNo. A－26

呉フェニックス計画

計画概要

所　在　地　呉市
計画・事業主体　第三セクター
計画・事業年度　62～65年度
用　途・規　模　20万トン級タンカー利用（L＝約320m、W＝約55m、6～7層）、総面積　約10万㎡（有効7万2千㎡）

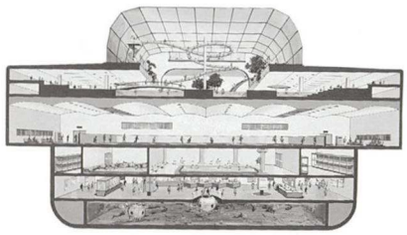
呉市は、戦前東洋一の軍港として、また戦後は巨大タンカー日精丸をはじめ、数々のタンカー、コンテナ船を手がけてきた鉄鋼と造船のまちである。しかし、近年の構造不況は、地域経済の低迷を招きいま、新しい方向転換が求められている。

本計画は、これまでの造船技術を生かし、巨大タンカーの空間を最大限に利用した最も合理的で近代的な〝新しいまち〟を創造するものであり、呉市の再生の一翼を担うプロジェクトである。

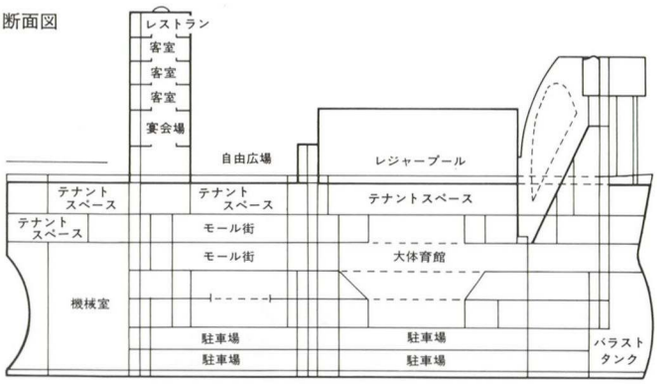
約10万㎡のスペースを利用して、体育館、プール、海洋研修センター、ビジュアルホール、シーフード・レストラン、自由広場、駐車場等を設け広島市と至近距離の埋立地先に設置する予定。

特に、後背地と船とが一体となった魅力あるウォーターフロントの形式を目指し、雇用創出、第三次産業の振興、さらには周辺市町の海洋関連産業ネットワークの拠点として、広域的地域経済への波及効果を期待している。

船内完成予想図



断面図



完成予想図



プロットNo. A－27

リバーフロント住宅（HOPE計画）

広島市ＨＯＰＥ計画では、それぞれの地区特性に応じて、「山の住宅」「丘の住宅」「川の住宅」「海の住宅」「町の住宅」「工場の住宅」といった性格づけを明確にし、それにふさわしい住宅地環境づくりを志向します。その中でとくに川は、広島市にとって極めて有意義な資源です。川は多様な生活の場を提供し、市街地を空間的に構造づけ、雄大な空間をもたらしています。リバーフロント住宅は、このような川を住宅地環境の中に積極的に位置付けしなおすことによって、広島にふさわしい魅力を獲得する新しい都市型住宅のありかたです。ＨＯＰＥ計画では、川を生かした単体住宅が建設されることだけでなく、その結果として市街地全体の住環境の質が総体的に高められていくことを目指します。

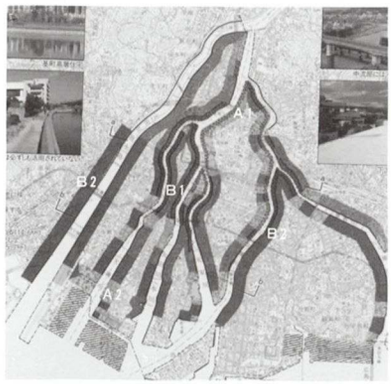
川辺の魅力づくりの手法

1．川の見える住宅を
2．河岸に美しい建築景観を
3．川の雰囲気を背後のまちへ
4．開放的な河岸を
5．水とふれあう場所を
6．歩きたくなる川辺に
7．親しみのある川へ

リバーフロントの区分

居住からみた地区区分 ＼ 河岸タイプ	イ住宅が河岸緑地に接する ロ宅地が河岸に接する	ハ宅地が道路を介して河岸緑地に接する ニ住宅が道路を介して河岸に接する
A都心商業業務地区 B高密住宅地	A1	B1
C臨海西部地区 D臨海中部地区 E臨海東部地区	A2	B2
F住工混在地区	A3	B3
G旧漁村地区	C	

区分図



基町団地



プロットNo. B－30

本州四国連絡橋瀬戸大橋

西のエーゲ海と並ぶ世界でも有数の多島海景勝地、瀬戸内海にいま本四連絡橋が架かる。この海は古くから交通の要路として栄えて来た。しかし四国はこの海により本州と隔てられており、四国島民にとって本四連絡は永年の夢であった。

この夢は今から凡そ100年前に提唱されたが、現実性を帯びてきたのは昭和30年頃からで、国鉄、建設省とあいついで調査を開始した。

調査は、鉄道、道路それぞれ独自で行なっていたが、昭和37年に国鉄と建設省が共同で土木学会に調査を委託した。この調査は東の方から明石～鳴門（Aルート）、宇野～高松（Bルート）、宇野～高松（Cルート）、下津井～坂出（Dルート）、尾道～今治（Eルート）の5ルートについて行なわれた。

これらの調査を基に検討が進められA、Dの2ルートは道路鉄道併用橋で、Eルートは道路単独橋で建設することが決定された。しかしいよいよ着工という昭和48年の秋、予想もしなかったオイルショックが襲い、総需要抑制の一環として着手の延期を指示されるに至った。その後、経済の好転に伴い、昭和52年に1ルート3橋の着工が正式に決定され、昭和53年11月、児島・坂出ルートの起工式が執り行われた。

瀬戸大橋のメインは道路鉄道併用の長大吊橋となるが、この計画の基本的問題点は長大吊橋に高速の鉄道を通すことができるかどうかであり、とくに鉄道荷重は道路荷重に比べて大きく、鉄道荷重による吊橋の変形及びこれが列車走行に及ぼす影響が主たる問題となった。そこで各種実験研究を行ない、併用橋について技術的に可能であることの結論を得た。

設計に当たって、鉄道の基本条件は、在来線規格の複線電化で甲線とした。また海峡部は新幹線複線の併設が可能な構造とし、列車の計画速度は在来線120km／h、新幹線160km／hとした。道路は1種2級とし、設計速度は100km／h、4車線の自動車専用道路とした。ルートは図に示すように鉄道は宇野線茶屋町駅から分岐し道路は早島ICからそれぞれ南下し、児島付近で道路鉄道が合流し海峡部に入る。そして四国へ渡り番の州において再び別れ、鉄道は宇多津駅において予讃本線に接続、道路は坂出ICに至る。

共用部における特殊構造物の1つは鷲羽山トンネルで双設2段の4つ目トンネルである。鷲羽山は我国で最初に国立公園に指定された景勝地であり、技術的に非常に困難であったが景観保護上、また工事中の周辺環境に与える影響を考慮して切取の計画をトンネルに変更した。

海峡部の主要な橋梁は、下津井瀬戸大橋、北備讃瀬戸大橋、南備讃瀬戸大橋の吊橋、そして景観を配慮してトラス橋から斜張橋に変更した櫃石島橋、岩黒島橋である。南北備讃瀬戸大橋は、このルート最大の橋梁であり、中央支間が長いだけでなく、自然条件の厳しい備讃瀬戸の海中に基礎を置く世界で初めての本格的な道路鉄道併用吊橋である。また、備讃瀬戸は国際航路であるため、海面から桁下まで65mを確保した。海峡部橋梁は交錯する航行船舶の安全を確保しつつ、複雑な海底地形や地質、波浪、潮流などの厳しい自然条件を克服して海中に橋脚やアンカレイジの建設を行なわねばならない。そこで下部工は設置ケーソン工法を開発し施工した。一方、上部工については、最大高さ190mにおよぶ主塔架設、直径1mものケーブル架設、補剛桁架設の順序で施工した。工事は下部工に53年10月着工、58年12月完了、上部工は58年4月着工し62年8月12日、南備讃瀬戸大橋において最終ボルト締結式が行なわれ、本州と四国が地続きとなった。

本四備讃線の停車場は、地域の開発状況、駅勢人口、輸送需要の動向などを検討した結果、植松、木見、上の町、児島の4駅を設置した。瀬戸中央自動車道には早島、水島、児島、坂出北、坂出の5箇所のインターチェンジを設け、その他バスストップ、サービスエリア、パーキングエリアなどを配置した。

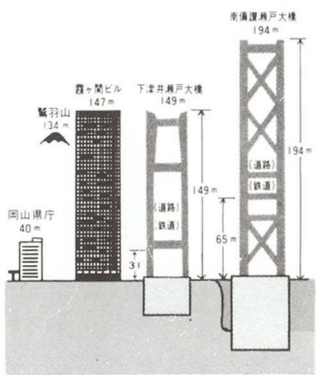
海峡部は長大橋梁が連続し、しかも海上から30～90mの高所を列車や自動車が走行することになる。そこで海洋特有の気象条件を考慮し、各種の災害、事故を想定し、その防止と発生時の対応のための諸設備を設け、安全を確保している。

調査開始から30年、そして9年余の歳月と1兆1千3百億円の工費をかけ瀬戸大橋は4月10日開業を迎えた。そしてこの間に開発した多くの技術は一昨年着工した明石海峡大橋に、また今年5月に着工した来島海峡大橋に生かされている。

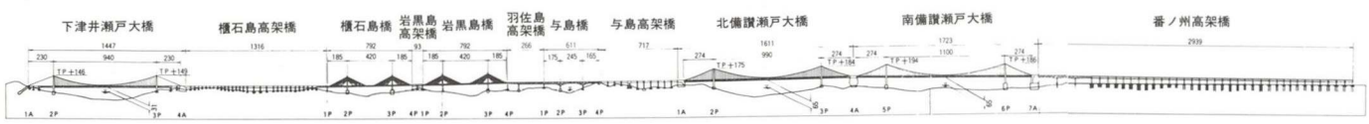
主要設計条件

速　　度	道路100km／h 鉄道120km／h （新幹線160km／h）	ケ ー ブ ル	直径107cm （南備讃瀬戸大橋）
荷　　重	道路は総重量43トン級トレーラー走行可能 鉄道は総重量1,400トンの2列車が同時走行可能	最大中央径間	南備讃瀬戸大橋 1,100m
耐　　風	秒速60～80m	最 大 水 深	南備讃瀬戸大橋 （6P） －50m
耐　　震	マグニチュード 8～8.5程度（震源距離約150km）	最大基礎寸法	南備讃瀬戸大橋 （7A） 75m×59m×高さ125m
		最 大 塔 高	南備讃瀬戸大橋 （5P） 海上194m
		最 大 桁 下 高	南北備讃瀬戸大橋 65m

大きさの比較







ブロットNo. B－35

瀬戸大橋博'88岡山

岡山県瀬戸大橋架橋記念博覧会開催概要

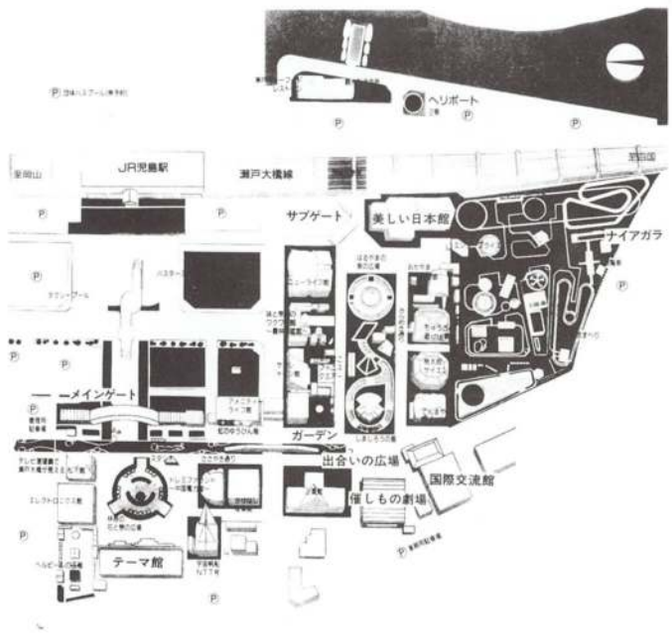
テ ー マ　むすぶ心、ひらく未来――21世紀へ向けて
会　　期　昭和63年３月20日(日)～８月31日(水)　165日間（会期中無休）
会　　場　岡山県倉敷市児島　ＪＲ瀬戸大橋線児島駅前
開場時間　午前９時30分～午後６時
　（ただし７月20日から８月20日は午後９時まで）
会場規模　約26ha
事業規模　160億円
主　　催　岡山県瀬戸大橋架橋記念博覧会協会
　〈構成団体〉岡山県、岡山市、倉敷市、岡山県商工会議所連合会、山陽新聞社、岡山日日新聞社、山陽放送、岡山放送、テレビせとうち
後　　援　総理府ほか13省庁、26団体

未来社会を展望する博覧会

世紀の大事業といわれ、本州と四国を陸続きにする〝瀬戸大橋〟の架橋を記念し、倉敷市児島のＪＲ瀬戸大橋線児島駅前で「むすぶ心、ひらく未来――21世紀へ向けて」をテーマに、昭和63年3月20日から8月31日までの165日間開催される瀬戸大橋博'88岡山では、瀬戸大橋時代を迎えて大きく発展する郷土岡山を、今一度、全国的な規模、国際的な視野から見つめ直すとともに、広く内外の人々との交流を深め、豊かで活力に満ちた未来社会を展望。人、自然、文化、科学などの様々な分野で夢とロマンあふれる楽しい催しが繰り広げられています。
私たちの昨日、今日、未来を見詰め、熱い感動と興奮を呼び起こすこのビックイベント「瀬戸大橋博'88岡山」にぜひおいでください。

テーマ館	展　示 映　像	瀬戸大橋建設の人間ドラマ ＳＦＸ映画「モモタロー フォーエバー」
美しい日本館	展　示 映像 I 映像 II	サイボットと一緒　未来の一日 トライビジョンシアター アクアスクリーンシアター
国際交流館	展　示 催　事 買　物	17ヵ国の都市のパノラマ展示 インターナショナルイベントステージ 外国の街並みワールドバザール
企業パビリオン	展示・映像・参加	17館
プレイランド	参　加	日本初のナイアガラなど20数機種
ヘリコプター遊覧	――	空から見る瀬戸大橋
遊覧船	――	クルージングで楽しむ瀬戸大橋

会場図



ブロットNo. C－38

瀬戸大橋博'88四国

瀬戸大橋博'88四国開催概要

テ ー マ　本流と創造――21世紀へ向けて
主 催 者　財団法人香川県瀬戸大橋架橋記念博覧会協会
会　　場　香川県坂出市番の州沙弥地区
会　　期　昭和63年３月20日～８月31日（会期中無休）
規　　模　会場面積：約62ha
　想定入場者数：300万人

新しい香川、そして四国を築いていこうとする博覧会

瀬戸大橋の完成は単に香川と岡山が結ばれるということではなく、四国と本州が陸路で結ばれることであり、これによって日本の主要４島が初めてひとつにつながります。そこで、瀬戸大橋博'88四国では、長い間の夢の実現を素直に喜ぶとともに、架橋を契機として新しい香川、そして四国を築いていこうとする博覧会として位置づけていきます。

架橋を喜び祝う〝お祭り〟としての博覧会

本博覧会は世紀の事業である瀬戸大橋の完成を喜び祝うものです。したがって、参加する多くの人々が楽しく愉快な場を共有し、子供も大人も素直な喜びを共感できる〝お祭り〟として性格づけます。そこで四国や日本全体のみならず、世界の人々にも共にお祝いしてもらう国際的なお祭りとしての要素をもたせます。

瀬戸大橋そのものを巨大な展示施設とする博覧会

本博覧会は、人類の英知の結晶ともいえる架橋を記念して開催するものであり、瀬戸大橋そのものが国際的価値をもつ展示物です。したがって、博覧会の展示テーマの展開においても、〝橋〟を媒介にして基本理念をうたいあげるとともに、会場計画でも瀬戸大橋の偉観を十分見ることができるよう工夫していきます。

海と空への広がりを生かした博覧会

大小3000余の島々が浮かぶ瀬戸内海は、私たちにとって母なる海であり、また文明の回廊でもあります。博覧会の開催にあたっては、さまざまな展示物により、瀬戸内海と私たちのかかわりについて改めて考えるとともに、会場構成やイベントの実施等においても、瀬戸内海の水と緑、さらに空への広がりを積極的に活用していきます。

日本海と瀬戸内海と太平洋を結ぶ新しい広域観光圏を創出する博覧会

瀬戸大橋は四国と中国を結び、さらには環瀬戸内海時代の先駆ともいえるスケールの大きい広域観光圏の中核として一層脚光を浴びることは必至です。この意味において、本博覧会は瀬戸内海を中心に、日本海から太平洋を結ぶ新しい広域観光圏を創出する出発点となる博覧会でもあります。

主な出展パビリオン

❸四国館（四国四県）
❹マリン・シティ高松館
❺三井グループ・東芝館
❻立体ＣＧシアター富士通パビリオン
❽三菱未来館
❾日本ハム館
❿四国電力館
⓫TADANO SPACE PORT
⓮ＮＴＴファンタジー・シアター
⓯マブチモーター・パビリオン
⓱立体映像の松下館
⓲RYUSYO館
㉗明日の四国をひらく建設館
㉘郵政館・ゆうあいプラザ

会場図



ブロットNo. B－29

吉備高原都市

計画概要

所　在　地	上房郡賀陽町、御津郡加茂川町	
計画・事業主体	国、県、町、地域振興整備公団、民間	
計画・事業年度	昭和58年度～昭和75年度	
用途・規模	保健福祉区	56ha
	自然教育レクリエーション区	284ha
	研究学園区	198ha
	センター区	34ha
	産業区	174ha
	住区	406ha
	農用区他	648ha
	計	1,800ha

吉備高原都市は、岡山県のほぼ中央に位置し、東は旭川、西は高梁川にはさまれた広大なひろがりと、豊かなみどりに恵まれたなだらかな高原地帯であり、岡山市、倉敷市から約25km、新見市から32kmの距離にあります。

岡山県では、昭和53年に中国縦貫自動車道が県内開通したのをはじめ、昭和63年には瀬戸大橋、新岡山空港の完成、更に、中国横断自動車道、山陽自動車道といった広域交通網の整備がすすめられ、吉備高原都市の西側には、山陰と山陽を結ぶ中国横断自動車道にインターチェンジが計画されるなど広域交通網の整備がすすむ中で、西日本の経済、文化、産業の中核として発展が期待されています。吉備高原都市は、この恵まれた条件を活かして、みどりあふれる自然の中に、温かいふれあいのある新しいコミュニティづくりをめざして、

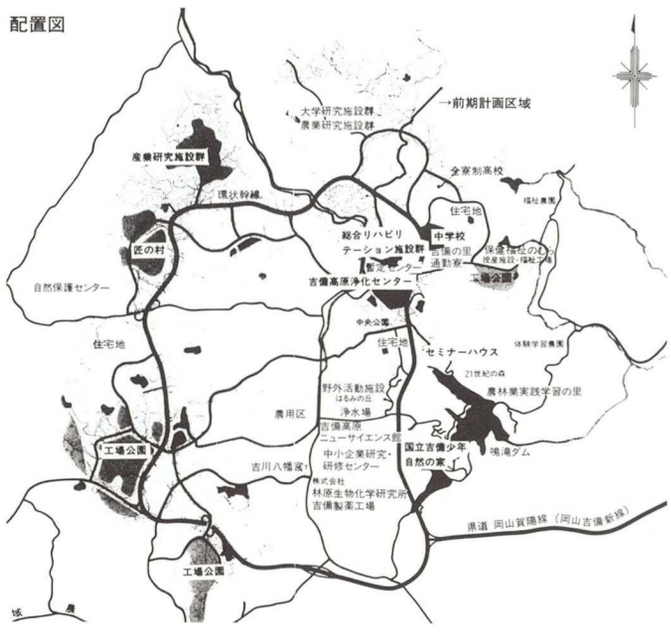
- 人と人、人と自然のふれあいの街をつくります。
- 西日本の保健・福祉・文化のセンターをめざします。
- 地域の産業、文化を振興します。
- 既存都市の不足する機能を補います。

を街づくりのねらいとして建設がすすめられています。

基幹施設

吉備高原総合リハビリテーションセンター
全寮制高校
授産施設、福祉工場
吉備NC能力開発センター
吉備松下工場
セミナーハウス
農林業実践学習の里
野外活動施設（はるみの丘）
国立吉備少年自然の家
吉備高原ニューサイエンス館

配置図



ブロットNo. D－39

鳥取新都市（津ノ井ニュータウン）

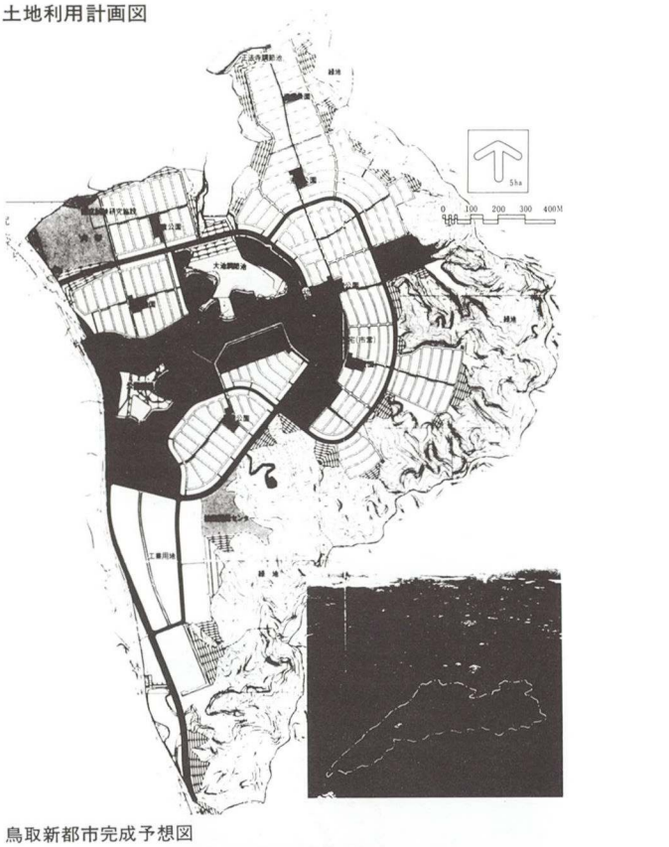
計画概要

所　在　地	鳥取市生山他4地区の一部
計画・事業主体	地域振興整備公団・鳥取県・鳥取市
計画・事業年度	昭和58年度から約15年間
事業区域面積	約300ヘクタール
計画人口	約10,000人（2,500戸）

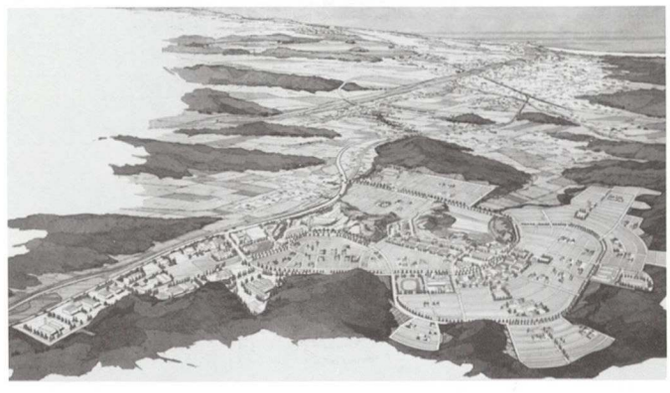
美しい自然と豊かな歴史にはぐくまれた街、鳥取市。近年、着実な人口増加（昭和62年12月現在・ 137,570人）と産業の進展がみられます。中心市街地の整備、大学を中心とする文教地区の形成、住宅団地、工業団地の整備などが進行中です。第4次鳥取市総合計画では、70年代の人口を20万人と想定し、教育、文化などすべてにわたる都市機能の充実をはかり、魅力ある山陰の中核都市をめざしています。

鳥取新都市は、先進の都市づくりに求められるさまざまな機能を積極的に取入れ、調和の取れた人間性を第一に考えた街づくりをめざしています。「山陰地方の模範となるような魅力ある快適な住宅地区」「産業構造の変化に対応する、付加価値の高いハイテク産業を導入した工業地区」「地域における文化・教育・研究など広いニーズに応える様々な施設」などをそれぞれの関連性を考慮しながら適切に配置しております。

土地利用計画図



鳥取新都市完成予想図



プロットNo. F－43

マリンテクノひびき灘構想

――マリノベーション構想――

構想の性格

この構想は、第四次県勢振興の長期展望及びこれに基づく山口県水産業振興の基本構想の地域部門編の一部をなすいっぽう、21世紀に照準を合わせた整備開発の方向を示したものである。従って、早期に実現可能なものや、その実現が、今後の技術開発が待たれるものや財源調達に左右される可能性期待事業も含んでいる。

構想の対象地域

下関市、豊浦町、豊北町の１市２町の沿岸及びその沖合海域並びにこれと接する陸域。

構想対象地域の特性

(1) この海域には、日本最大の大陸棚が広がり、沿岸から沖合を通じて散在する大小の瀬や天然礁、それに対馬暖流、日本海底冷水流及び沿岸水流などの海洋条件を備え、また、多様な水産資源が存在する。

(2) 下関市を中心に、水産流通・加工にかかる各種施設、水産関連他産業が集積されている。

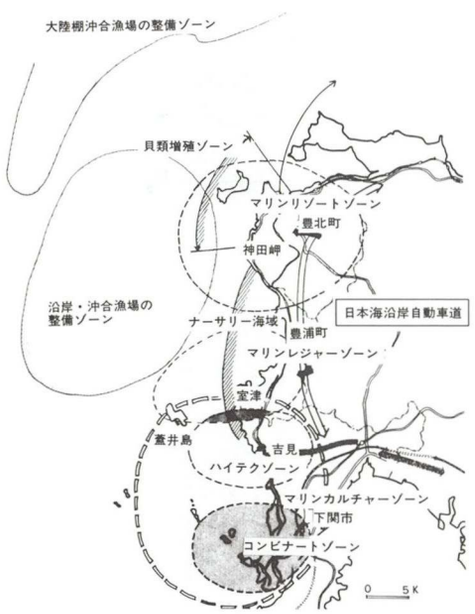
(3) 優れた海域景観とともに、下関市、北九州市など人口密集地と至近距離にあり、海洋観光、レジャー地帯としての需要が高い。

(4) 地域内に水産大学校、水産研究所などがあり、水産関係の頭脳集団としての活用が可能である。

整備開発構想

構想	基本目標	基本的開発整備方策
マリンテクノひびき灘構想	“豊かな海づくり” 沿岸・沖合海域の漁場開発と漁業振興	大陸棚沖合漁場の開発整備
		沿岸・沖合漁場の開発整備
		幼稚仔保護育成海域の造成
		大規模養殖場の開発整備
		漁業生産管理方式の整備
		資源・漁海況情報システムの整備
		新技術を導入した種苗生産施設の整備
		水産ハイテク研究機関の整備
	“ゆとりある地域づくり” 海洋レジャー、漁業文化の活用による定住圏整備	海洋レジャー、漁業文化の活用
		定住条件の整備
		一般情報サービスシステムの整備
	“活力ある水産都市づくり” 水産物の流通・加工拠点の整備	水産物流通機能の強化
		水産加工事業の振興
		市況情報システムの整備

ゾーニング



プロットNo. F－44

山口テクノパーク

事業概要

事業主体　地域振興整備公団(関連公共事業：山口県、山口市、地域公団)
事業手法　産炭地域振興事業
所在地　山口市佐山及び宇部市山中
開発面積　208.7ha(分譲予定面積115.6ha)
事業年度　昭和61年度～昭和65年度

山口テクノパークは、産・学・住の中核的機能を集約させたテクノポリスの中心開発区におけるインダストリアルパークとして位置付け、豊かな自然環境を生かした新しいタイプの「水と緑の産業空間」の創出を目指した環境重視型の工業団地です。また、周辺のゴルフ場や果樹園をレクリエーションゾーンに取り入れ、先端技術産業に携わる技術者や就業者にとって仕事と遊び・楽しみの融合した創造の場としてふさわしい環境づくりを行うとともに、その西南部の近接地には、快適な居住空間「活力と潤いと魅力ある宇部新都市」の開発を計画しています。

山口テクノパークは、国道２号と山口宇部有料道路にはさまれた山口市佐山地区及び宇部市山中地区にまたがる 208.7 ヘクタールの丘陵地に位置しており、山口宇部空港、山陽新幹線小郡駅及び中国縦貫自動車道小郡ＩＣ等の広域交通機関には、約15分でアクセスしています。

土地利用計画

土地利用	面積(ha)	利用率(%)
工場敷地	85.3	40.9
工場敷地内緑地	26.3	12.6
公園	11.8	5.7
道路	10.3	4.9
溜池・調整池	23.4	11.2
緑地等	46.4	22.2
その他	5.2	2.5
合計	208.7	100.0

中心開発区ゾーニング図



山口テクノパーク完成予想図



広島市の公的住宅

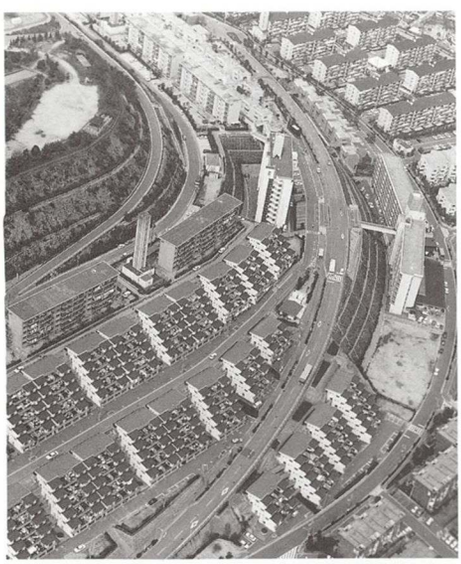
富士田亮子

各地でその地域にあったゆとりある住まいづくりと快適な住環境づくりが進められている。広島市においても基本構想や新基本計画、地域住宅計画（ＨＯＰＥ計画）及び第２次住宅建設５ヶ年計画に沿い、施策を講じている。

広島市の基本構想及び新基本計画には、「国際平和文化都市―世界の平和に貢献する水と緑と文化のまち」を都市像として掲げ、都市美づくりを進めている。また、昭和60年度に地域住宅計画策定事業の地区指定をうけている。広島を流れる６つの川を考慮に入れ川を意識した良好な住宅地景観の形成、良好な都市型住宅の誘導や川沿いの地区におけるモデル住宅の建設を基本とした〝リバーフロント住宅〟がそこでは提言された。更に、昭和61年度を初年度とする第２次住宅建設５ヶ年計画には①居住水準の向上、②地域に根ざした住まいづくり、③魅力ある都市居住空間の創造、④住宅産業の振興促進の４つの基本目標を掲げ、施策を講じている。

公的住宅の建設においても、以上の目標を達成するため、河岸緑地にマッチし、都市美を考慮した外観と住みよい住戸を目指した試みが行われている。ここではその事例を２、３あげてみることとする。

鈴が峰住宅

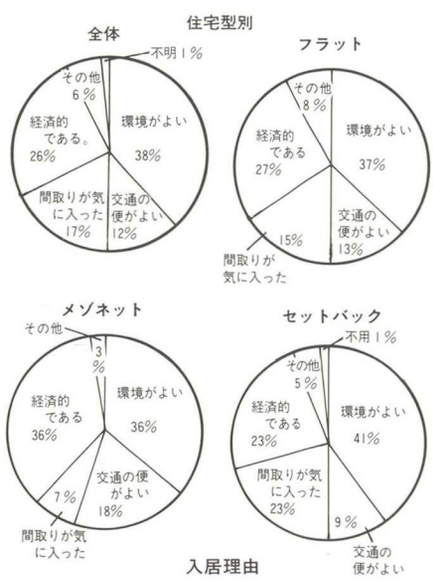


鈴が峰住宅

広島市は西部丘陵地、鈴が峰山麓から臨海部を埋めたて用土砂を採取し、その跡地に住宅地を造成した。ここはＪＲ山陽本線、広島電鉄宮島線や国道２号線沿線にあり、南向きまたは東向き傾斜地の瀬戸内海を臨むことのできる地域である。ここに市営住宅、住宅・都市整備公団（賃貸、分譲住宅）、市都市整備公社分譲住宅、民間戸建住宅が建設され、総戸数2358戸の住宅団地をつくっている。そのうち市営住宅のタイプは45度の南向き斜面地形にあわせたセットバック住宅、東斜面の方位、敷地の奥行に不利である地区にはフラット型、メゾネット型、平地では中層（５階建）、高層（10階建）住宅計816戸が建設された。敷地の形状の違いを利用して、住戸形式の多様化を図っている。

セットバック住宅は住棟が平家建住宅を斜めに積み重ねた形式で、北側、法面側に共用通路をとり、住棟間の連絡通路としている。この通路を横の動線、階段を縦の動線として２戸連で４～７層の住宅が階段上に積層し、変化のある外観を呈している。この住宅タイプは傾斜地に立地するため、眺めがよく、各住戸の独立性が高く、南向き居室の日照が得られ、６帖程度の広いバルコニーが得られる一方、北面に有効な開口部がとれにくく、屋根面積が大きいことによる漏水心配や設備配管が地中に埋設され、長いため、メンテナンスが困難であることや建設費が割高になるなどの問題点が懸念された。

セットバック住宅、斜面住宅３ＤＫ入居者に対し、入居後２～３年後（昭和59年夏）に私の研究室で住み方調査を行い、居住者による評価をみると次のようなことをあげている。



入居理由（全体）の第１は環境がよい、第２は経済的である、第３は間取りが気にいった、第４は交通の便がよいであり、ほぼ建設計画の意図にあっている。入居後の評価で満足している点としては立地条件のよさ、避難通路や階段があるため、プライバシーが守られやすい点をあげ、逆に不満な点としては結露しやすい、階段が多く高齢者に不自由な点などをあげている。斜面利用で、階段が多いことが独立性を高める一方、生活行動を左右する要因となっている。

また、間取りについての評価では部屋が狭い、３ＤＫで部屋数が少ない点をあげている。そして、メゾネット住宅を除き、客を招きにくいようである。バルコニーが特色であるセットバック住宅のバルコニーの広さについては丁度よいが大半であり、広いと感じているのは少ない。バルコニーの使い方は洗濯物を干す、植木や盆栽を置くなどの共同住宅のどのバルコニーにもみられる使い方の他に日光浴、子供の遊び場、物置など居住室の延長としても用いられ、家族にとってゆとりの空間として評価が高い。

このように傾斜地を生かした住宅は外観に変化がつき、入居者にとっても独立性が高く、日照条件が確保されるようである。

庚午南住宅

西区庚午では昭和20年代に建設された老朽化の進んだ木造住宅の建替え時期にあたり、地域の住環境整備を積極的に進めるために、市営住宅の建替えが昭和59～61年度にかけて行われた。場所は太田川放水路に面し、広島空港の対岸、鈴が峰団地の東にあたる地域である。146戸の住宅を除去し、417戸の中層主体の都市型住宅の実現を目標として計画されたものである。画一的な間取りや住棟の平行配列を避け、自分の家らしいプランと外観とするため、間取りの種類を多くし、１タイプの建設戸数を少なくする方式をとっている。間取りは２ＤＫ、３ＤＫ、３ＬＤＫ、４ＤＫ、３ＤＫ身障者用であるが住宅タイプや住戸床面積はバラエティーに富んでいる。

この住戸、住棟の特色は立体街路を満たすため、各階の玄関の位置を変えている。また、鈴が峰住宅にみられたルーフガーデン（バル

コニー）を設け、設備配管は屋外に出している。間取り、住棟配置、設備のメンテナンス等は鈴が峰住宅を改善しているといえよう。また、外観も今までの公的住宅にはみられない豊かなものとなっている。

この他、地域住宅計画の一貫として、川の流れをとり入れた公営住宅の建替え計画が中区江波でも行われている。

昭和町平和アパート

昭和23、24年に昭和町に建設された鉄筋コンクリート造４階建、３棟の公営住宅の外観修景が地域住宅計画にあわせ行われた。このアパートは広島市の中心部昭和町の京橋川沿いにある。広島市で最初の鉄筋コンクリート造の公営住宅である。８畳＋６畳＋台所、６畳２室＋台所の２Ｋタイプ72戸である。ＤＫタイプ形式が成立する以前の間取りで、当時としては羨望の目でみられた住宅であったが老朽化、狭小化したため、次第に近年の生活水準にあわなくなり、改善、維持補修をその都度行っていたが、昭和62年度に現状のまま、大巾な改善を行ったものである。入居者は高齢の小家族で占められているため、最低居住水準はほとんどの世帯で確保され、住戸内では台所設備の改善が行われた。屋外では景観改善を中心とした工事が行われた。河川と周辺建物等が一体となり、河川緑地にマッチした景観づくりを進めるため、次のような工事が行われた。

①外壁仕上等工事……外壁明装（マスチック塗装）や高架水槽の目隠し、デザイン化

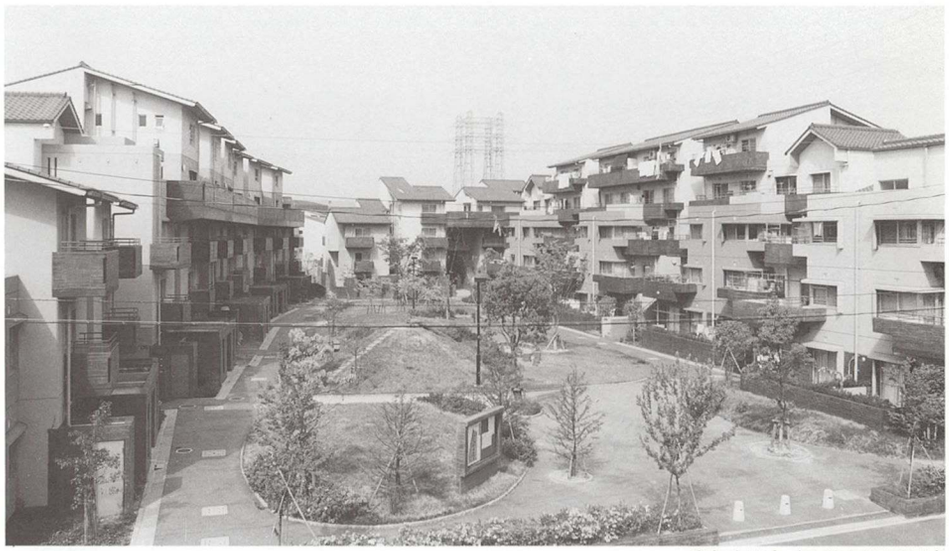
②共視聴アンテナ設備設置工事……各住戸毎のアンテナ林立を一棟毎に共視聴アンテナを設置、集約化

③団地内通路等工事……団地内通路をインターロッキング舗装し、案内板・ベンチ・街灯等を整備してコミュニティー道路化

④植樹、植栽等工事

⑤その他の景観改善工事……自転車置き場の設置、団地内電線の地中埋設、ゴミ集積場の整備、シンボルゲートの設置

こうして、既存の建物を生かしながら、整備することは、建替えとあわせ、公的住宅の質を高めていく上で欠くことのできないものである。



庚午南住宅（建替事業実施後）



昭和町平和アパート（改修前）



同上（改修後）

以上のように広島市では公的住宅建設・修景にあたり、画一的な住戸、住棟計画を排し、川の流れを生かし、取り込み、周囲の建物と調和した外観づくりを進めている。あわせて、入居者にとって愛着のある、地域コミュニティーの形成しやすい住棟や戸建住宅のよさ（専用庭がある等）を取り入れた広いバルコニー、ゆとりのある間取りの住戸等、新しい都市型住宅づくりを進めている。

今後も公的住宅は都市美の点からも、入居者にとって住みよい住まいづくりの点からも、地域環境を積極的につくりだしていく先導的役割が期待される。

（ふじた　りょうこ／広島女学院大学短期大学部住居学）

広島湾の淡水化計画——広島を大改造する一つの夢

故 河内義就

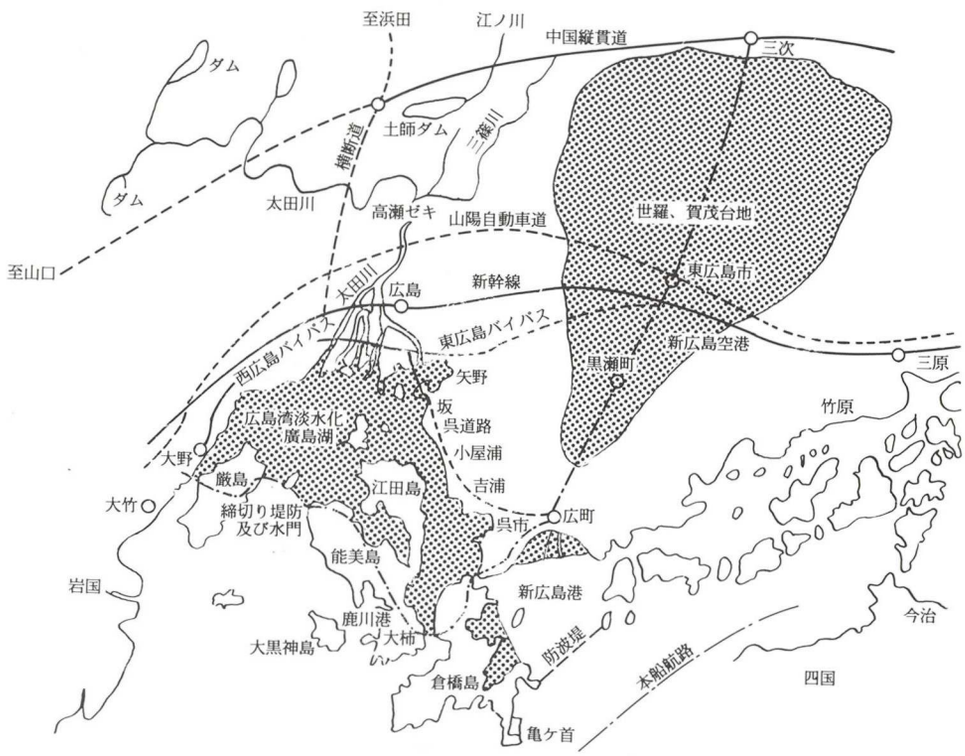
私の提言は、広島湾淡水化構想で、1970年の新全総ができた時、広島の将来を憂えて考えられたもので、中水利用の考え方です。
明治26年広島に大本営が置かれた理由をご存知でしょうか。広島湾が閉鎖しやすい戦略的な観点からだし、呉軍港も同様な理由です。

3.1キロメートルで閉鎖、淡水の広島湖

別図のように、宮島と能美、がんねに大那沙美島をはさんで千百メートルと千メートル、倉橋島と江田島間早瀬の瀬戸四百メートル、そして音戸の瀬戸約百メートル、この5つの水道さえ閉鎖すれば、面積が約175平方キロメートルあり、湛水量が平均で1年当たり約23億トンあり、この3.1キロメートルの水道を締め切れば、1年分の水で海水と入れ替えることができます。
海が湖となるのですから。もちろん都市部、流域部の下水は全部三次処理済みとして放流すれば、都市環境には大した影響はなく、現在の満干の差だけは水が使えるはずです。
それは、約5億トンあります。100日間、たとえ一滴の雨が降らなくても、1日500万トンの水が使えることとなるわけです。現在太田川、江の川から取水している水が1日60万トンであることを思い合わせれば、これがいかに頼もしい数字であるかご理解いただけるでしょう。
さらに本案を実施することによって、提防嵩上げ問題の解決にもなり、国の経費3、4千億円の節約ともなり、その上市民と水のつながりも維持でき正に一挙両得といえましょう。

世羅、加茂台地を田園都市へ

更にこの余りある水を瀬野川沿いか矢野町を通って熊野台地へ揚水し、世羅、加茂台地、黒瀬町方面の開発にまず使用したいのです。
世羅、加茂台地は交通が比較的開けているにもかかわらず、過疎状態が続いています。これは水がないからです。
広島湾を締め切ると臨海産業が大変ですが、実はこれがねらいで、本船航路から4時間もかかって入ってくる現在の宇品港を国際港として呉市広沖へもって行き、広沖を400ヘクタール埋めたてて広島の外港を造ります。広島、呉の重工業も、倉橋島の2つの湾を埋め立てれば約600ヘクタールの土地が生まれ、そこへ移転できます。その跡地である観音江波の敷地が約50万坪は、住宅地、臨海公園などにします。
広島港を呉市広沖に移し、広島と高速道路でつなぎ、倉橋島へ造船団地及び重工業を移せば、絶好の港湾形態となり、沖の仮泊スペースも広く、来島海峡を通るメイン水路から直入となり、神戸港に劣らぬ港となるでしょう。



広島湾淡水化構想

広島湖の締切提防は高速道路に

広島湖の締切提防及び水門の上は絶好の高速道路となり、広島—大野（大竹）—厳島—江田島、能美島—倉橋島—呉市—広—黒瀬—東広島市を包括する大広島圏環状都市が形成できるわけで、人口200万都市となりましょう。
湾内が淡水化すれば、周辺の急峻な山々を利用し揚水発電が可能になると思います。
また、湾内の水質保全には、さまざまな努力を十分にはらい、一例をいえば、筏式大噴水を数十本建設し、ジュネーブのレマン湖にある大噴水に匹敵するものとし、観光面でも活用します。
要は、既成市街地内の大工場、公害の原因となる工場を移転し、その跡地を都市開発に活用し、生活とビジネス、情報と流通の快適な都市づくりを目指すものなのです。瀬戸内海国立公園は、その多島海の美しさを湾の外周において保存し、また施設の整備を行うべきだと考えます。
この計画は、水資源の開発によって土地をふやすことにもなります。1日500万トンという水は使いきれないかもしれません。周辺の緑を育み、森林を見直すことによって、保水力を高め、水を本来の土へと返してやることも考えねばなりますまい……。
（故・河内義就氏の原稿「広島湾淡水化計画」よりの抜粋による。）

－追記－ 河内義就（故人）
（立案者は昨年10月におしくも亡くなられた。日本建築協会の中国支部長をしておられ、プロフィールは「建築と社会」1987年12月号に掲載ずみ）。
その他「広島駅再開発計画」、「新農村計画・田園都市構想」、「広島モノレール計画」などユニークな提案を建築界は無論、政界、財界に大きく波紋を投げかけられたことは有名な話で広島駅、新交通などその意志を受け継いだ形で今、実現されつつある。 （文責・中国支部編集委員会）

宮島の借景か、対岸の借景(眺望)か……。

安芸の宮島が、日本三景の一つに数えられていることは余りにも有名ですが、広島の人々、とりわけ宮島に住む人々以外は、それがどこからの眺めを指しているのか、少し忘れかけている向きがあるようです。

対岸から見れば、むしろ新しい住宅団地、レジャー施設、ホテル、旅館、マンションにいたるまで、宮島を含めて海への眺望が最大の魅力になっていますが、実は、宮島へ渡って、水面に浮かぶ朱の大鳥居を通して眺めた海と対岸の緑が、借景の妙味として絶景であり、日本三景と呼ばれる所以でもあったのですが、そのことはほとんど忘れられたように、宮島の対岸は、大規模に、大胆に開発され、高層建築などさまざまな目的と形をもった建物がならび、戦前は無論、昭和30年代頃までの面影は全く消えてしまったようです。あの江戸時代の古人(林春斉)の誉めたたえた「借景の極み」という言葉の存在は消えているのではないでしょうか。

これまでに、地元宮島に住む人々は、どんな建物にも屋根瓦を付け、窓枠を色付けし、生垣を作ったりして宮島の環境を守るために、また、国立公園であるがための(対岸は国立公園からはずれている)努力を長年続けているから、対岸の変貌には大きな矛盾を感じているのでしょう。この空しい努力と苛立ちは、これまでいくたびか問題提起もされ、今年の2月22日付けの朝日新聞(全国版)の社会面でも大きく取り上げられています。

年間何百万人と訪れる観光客にしても、大鳥居から眺める景観は奥ざめも甚だしく、宮島で買った絵葉書と、自分で写した写真との差に、(絵葉書は、対岸を目立たなくしたもの、昔のものが多い)旅行から帰って気付くのではないでしょうか。我々建築仲間でも時々遠くの友人から地元への問い合わせがあるやに聞いています。

このことは、800年もの昔、古人が勝手に考えた「借景の極み」であるかもしれません。



写真1　昭和42年1月撮影　緑豊かな対岸を借景にしている(提供宮島町役場)



写真2　最近の撮影　大規模開発が進む対岸がみえる

また、そのことが現代にそのまま通用するとは考えにくいことかもしれませんが、しかし、瀬戸内に三つの橋が完成する頃、更に大きく変貌を遂げようとする中国地方にとっては、この借景という一つの問題提起だけでなく、歴史の流れを残し、環境が大きく変らない範囲での開発を考え、人がより豊かに生きるための問題提起として、もっと大きい根本的な議論が生まれてもいいような気がします。

今、全国で言われている「リバーフロント」が空論にならないための努力は、街を造る一助を担っている建築家の肩にも重くのしかかっていますが、さて、読者の方々はどんなご意見をもたれるのでしょうか。

(中国支部編集委員会)

設備の頁

161 GHPの商品化

高田　幸雄

ＧＨＰ（２馬力、５馬力、7.5馬力）が昨年9月より全国一斉に発売された（15馬力は昭和61年４月、３馬力は昭和63年１月より発売）。以来、今年２月までに全国で設置されたＧＨＰは、ＬＰＧ仕様を含めると約3,000台に達している。これはテストラン等のモニター機を包含した台数であるが、中小型空調分野におけるＧＨＰ（ガスヒートポンプ）の評価が高まりつつあるといえる。こうしたなか、都市ガス事業者およびシステム・エンジンメーカー各社は、商品多様化のニーズに応えるべく、ＧＨＰのシリーズ化に取り組んでいる。

開発コンセプト

ＧＨＰの開発が本格化したのは、第二次石油危機の頃であった。石油危機であらゆるエネルギーの価格が高騰し、効率の良いエネルギー使用形態の確立が必要とされたこと、加えて電気のルームエアコンの普及により夏場の電力需要が急増しエネルギー供給のアンバランスが生じたことなどが、ＧＨＰ開発の重要なインセンティブとなった。

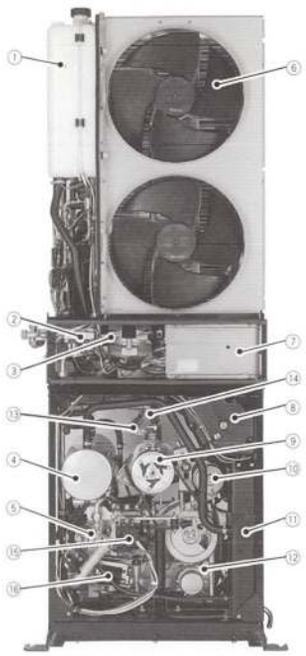
こうした状況のなか、通産省の指導をうけ、昭和56年にＧＨＰの実用化研究を推進していくための研究組合が発足した。この研究組合は、都市ガス３社（東京ガス、東邦ガス、大阪ガス）とシステム・エンジンメーカー12社で構成され、実用化へ向けての第一歩を踏み出した。その後、昭和59年からはさらに本格的な商品化へのアプローチのため、趣旨に賛同するメーカー７社と共同研究をすすめた。以上のような開発経緯をふまえ、昨年９月の全国一斉発売を実現するに至った。

商品化への課題

商品化を実現するために解決しなければならない課題は数多く存在したが、とくに以下の点を解決することが必要であった。

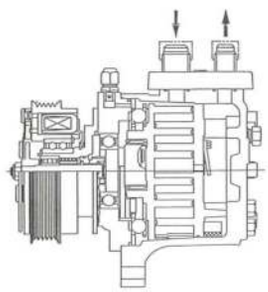
高効率ガスエンジンの開発と耐久性の確保　今回のＧＨＰに要求されるエンジン性能は、耐久性と高効率性であった。ガソリン、灯油、ＬＰＧといった石油系原料を燃料としたエンジンが普及していたなかで、こうした点をクリアーにするためには多大な努力を要した。しかもＧＨＰに要求される耐久性は２万時間以上（または10年以上）という長期にわたる運転時間であり、効率は25%以上という、小型のエンジンでは当時の想像を超えるものであった。そこで動弁系の耐摩耗性、エンジンオイルの物性等を重点テーマとして研究開発を続け、その目標を達成することに努力した。

開放型コンプレッサの開発　ＧＨＰの主要構成



エンジン分解図
（２馬力製品）

部品のひとつに冷媒コンプレッサがあるが、従来のヒートポンプエアコンでは密閉式（モーター内蔵型）が主流であった。しかしながらＧＨＰに採用が可能なコンプレッサは開放型のものであり、この小型開放型のコンプレッサは自動車用エアコンにのみ使用されていた。そのため、自動車用のコンプレッサを改造、転用し、ＧＨＰに採用できるようにした。ここではとくにメカニカルシール部の材質構造等に研究開発の力が注がれた。また、コンプレッサの型式はスクロールタイプ、マルチベーンタイプ等のロータリー式を採用するなど、効率の向上も重要な開発課題であった。



スクロール式コンプレッサ内部構造(7.5馬力製品)

防音、防振対策の徹底　ＧＨＰはガスエンジンを使用しているので、騒音、振動に対する対策にも力を注いだ。エンジンを受ける防振装置、マフラー等の開発をおこなう一方で、システムの外板に各種制振材を採用するなど、効果的な防音、防振対策を施した。

ＧＨＰの特長

今まで述べてきたような開発課題を克服することで、すぐれた特長を有するＧＨＰを世に送り出すことができた。現在発売している２馬力から15馬力までの５機種の特長を下表に示す。

このようにガスエンジンおよびコンプレッサに関する開発課題を克服することで、従来のヒートポンプエアコンの弱点であった暖房能力を向上させ、製品競争力を高める結果となった。

一方、夏場の電力消費量を抑えるという意味からも、消費電力は最小限度にとどめる配慮をした。

表　ＧＨＰ５機種の特長

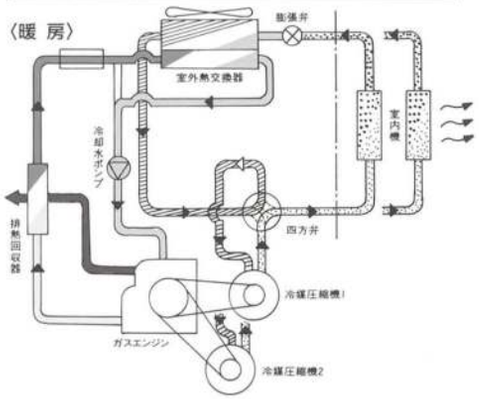
①２馬力製品（ヤマハ発動機製）
- 温水利用(排熱利用)による暖房能力の向上
- 除湿運転が可能
- 低騒音タイプ

②３馬力製品（ヤマハ発動機製）
- 除霜運転時の暖房効果維持
- 低騒音タイプ

③５馬力製品（ヤンマーディーゼル製）
- コンプレッサ２台タイプ（１台は排熱回収用）
- 排熱利用による暖房能力の向上

④7.5馬力製品（アイシン精機製）
- 排熱利用による暖房能力の向上
- 室内機２台タイプ（マルチタイプ）

⑤15馬力製品（三洋電機特機製）
- 除霜運転不要
- 排熱利用による暖房能力の向上
- 室内機３台、６台タイプ



- 冷媒圧縮機を出た高温冷媒蒸気は室内機へ送られ、室内を暖房することにより自身は凝縮する。
- 凝縮冷媒は膨張弁で減圧され温度低下するが、室外熱交換器で外気より熱をうばい蒸発。加えてエンジン本体の発熱および排ガスの排熱を吸収した冷却水も室外熱交換器へ送られるので、より蒸発を促進。
- 蒸発冷媒は冷媒圧縮機へ戻り、ヒートポンプサイクルを形成。

システムフロー図(7.5馬力製品)

とくに小型機種（２馬力、３馬力）では電源をＡＣ100ボルトとし、電気容量の低減に努めた。

さらに、住居地域内に設置される場合を考慮して、徹底した防音対策をおこない、その結果、従来のヒートポンプエアコンと比較しても遜色のない騒音レベルを維持することができた。

今後の課題

今後われわれが取り組まなければならない課題は、つぎの２点であると考える。すなわち、①多様なニーズに対応する商品バリエーションの整備、②メンテナンスの簡素化、の２点である。

バリエーションの整備に関しては、今後は、さらにユーザーのニーズに対し的確に応えるべく逐次ニューモデルを投入していく方針である。今年は５馬力製品（室内機２台タイプ）および7.5馬力製品（室内機４台タイプ）といった室内機バリエーションの整備充実を予定している。

またメンテナンス面では、部品交換数の低減、点検項目の減少、点検期間の延長といった点を中心に改善努力をおこなっており、今後の商品化に反映するよう検討を重ねている。

いずれにしても、ＧＨＰを単に従来型の後追いではなく、空調燃料としてのガスの良さ、安全性をアピールする製品として確立させていく努力を続けていかなければならない。

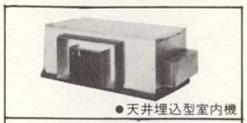
（たかた　ゆきお　大阪ガス株式会社特需営業部ＴＥＳ技術チーム課長）

階の数だけ快がある。

テナントビルにこそ、ガスマルチ。
各階で空調時間が違っても、
おトクな経費で個別に冷暖房します。

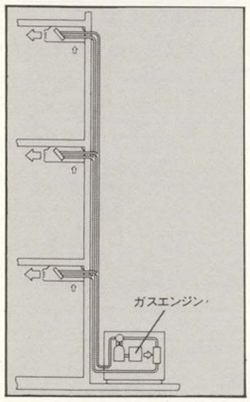
- のべ300~400㎡を1セットでカバー
- 省エネ・省コスト
- 受変電設備を軽減
- おトクな税制、低利融資の適用も
- 工事が手軽
- 優れた冬場の瞬発力

ニーズにあわせて選べる、
3タイプの室内機。


●天井埋込型室内機


●天井カセット型室内機


●天井吊型室内機





Day by Day—きっといい明日
大阪ガス

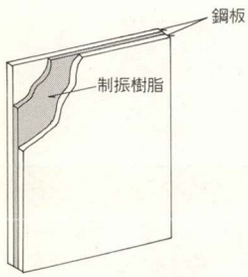
中小ビルの省エネ冷暖房システム
ガスマルチ
ガスヒートポンプエアコン

施工材料の頁

160 制振鋼板の特性と建築材料としての適用

田中　俊光

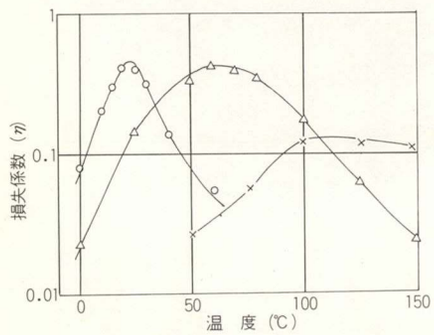
制振鋼板とは、鋼板のもつ強い強度と樹脂のもつ大きな振動減衰力とを複合化させた積層材料(図—1)であり、通常の鋼と比較すると、約100～1000倍以上もの高い振動減衰能力を有する。金属材料を叩いたときに発する甲高く持続的ないわゆる金属音の発生がほとんど無いので、これまでに鉄道橋や自動車あるいは各種の産業機械の低騒音化材料として注目され、用いられてきているが、以前にも増して、とくに建築材料としての適用へも関心が集まっている。



図—1　制振鋼板の構造

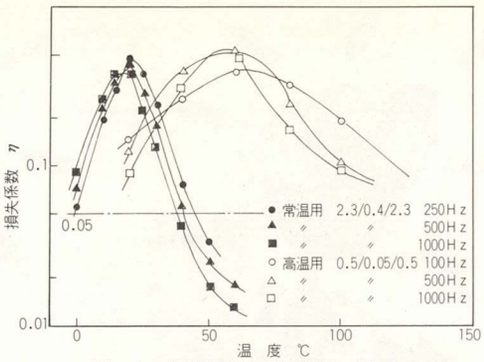
制振鋼板の振動減衰性能

振動減衰効果の度合いを示す量の一つである「損失係数」の値で見てみると、低周波数から高周波数までの広い周波数範囲にわたり、0.1以上と他の材料に較べてきわめて高い値を示す。2枚の鋼板の間にはさみ込まれる樹脂そのものが、ガラス状からその弾性率の値が低下するゴム状へと遷移する温度領域で、最大の振動減衰作用を発揮し、



制振鋼板の種類	板厚/樹脂厚/板厚(mm)
○　制振鋼板Ⅰ	1.0/0.1/1.0
△　制振鋼板Ⅱ	0.5/0.05/0.5
×　制振鋼板Ⅲ	0.8/0.05/0.8

図—2　異なった温度特性を有する樹脂をはさみ込んだ制振鋼板の損失係数と温度との関係



図—3　損失係数と周波数との関係

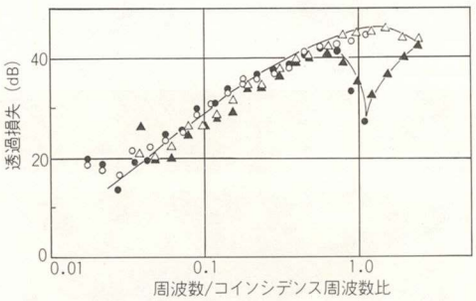
また、後述の周波数の影響も受けるので、制振鋼板の損失係数の特性も温度や周波数に依存することになる。図—2は、異なった温度・減衰特性を示す樹脂がそれぞれはさみ込まれた制振鋼板の、損失係数と温度との関係の実験結果例である。図—3は、振動数を変化させた場合の損失係数の実験値である。同図に見られるように、周波数を高めることは温度を低下させることに対応し、温度・周波数変換則として知られており、異なった温度や周波数での未知の損失係数の予測の際に、この関係が用いられる。

このように、使用する雰囲気温度下で大きな振動減衰力を発揮する制振鋼板を選択できるよう、常温用あるいは高温用といった使用温度範囲に対応した制振鋼板が用意されている。

制振鋼板の消音性能

制振鋼板は、その板上を振動伝播する曲げ波を効果的に減衰させることができるので、主として以下の3点において防音材料としての特長を発揮する。

①　コインシデンス現象の発生を抑制できる。コインシデンス現象（曲げ波と音波との波長が一致して音響放射効率が最大となる）が生じ難いので、普通鋼板で顕著な同周波数における遮音性能の低下（図—4）がほとんど見られない。

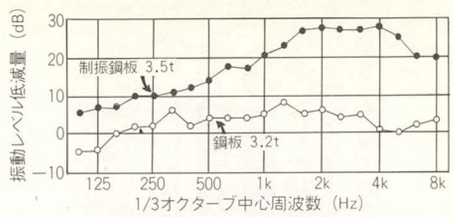


制振鋼板の種類	板厚/樹脂厚/板厚(mm)	コインシデンス周波数
○　制振鋼板	1.0/0.1/1.0	5,800Hz
●　普通鋼板	2.0	5,800Hz
△　制振鋼板	2.0/0.2/2.0	2,700Hz
▲　普通鋼板	4.3	2,700Hz

図—4　制振鋼板と普通鋼板との透過損失比較

②　固体伝播音を低減できる。

図—5に、1m平方の制振鋼板と鋼板とのそれぞれの中心位置を加振器で一点加振したときの、中心点から200mm離れた円周上における振動速度レベル値の低減量（加振点基準）の周波数特性の実験結果例を示す。鋼板の場合と比較すると、制振

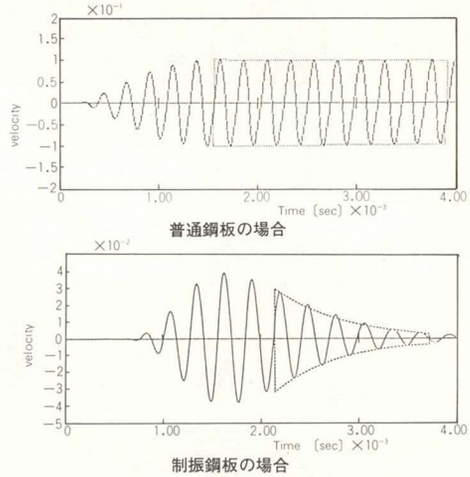


図—5　一点機械加振の場合の、加振点から半径200mm離れた周上の振動レベルの減衰量

鋼板の場合には10dB以上大きく減衰しており、有効な放射面積が減少するので、板放射音（固体音）の音響出力も小さくなる。

③　打撃音の持続時間が短く、高周波成分が小さい。

前述のように、鋼板を打撃したときに発する打撃音は、持続時間が長く、高周波成分が多いが、制振鋼板の場合には、急激な音の減衰となり（図—6）、耳障り感が非常に少ない。



図—6　制振鋼板と普通鋼板との振動減衰波形の比較（振動速度）

制振鋼板の強度、耐久性、加工性

引張り強度は単板の鋼板と同等であるが、曲げ剛性が低下し、単板の約1.6倍程度の厚さが必要である。耐熱温度は約200℃以上までのものが実用化され出している。樹脂の剪断強度の向上も著しく、その結果、プレス成形性は大幅に良くなった。加熱試験、冷熱繰返し試験、耐候性試験などを通して、耐久性についても所要の性能を有することが確認されている。

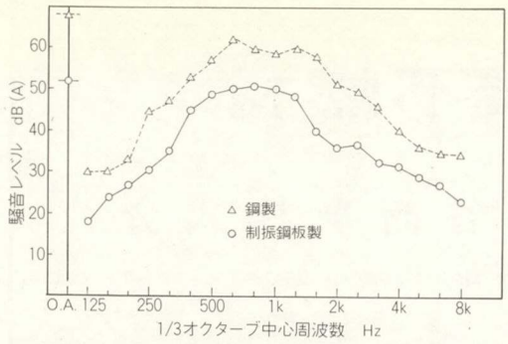
建築材料としての適用

自動車や産業用機械などの各分野で用いられ、良好な減音効果を発揮しているが、建築材料としての適用分野としては、階段、扉、床、屋根、シャッターなどに用いられている。以下に、いくつかの適用例を示す。

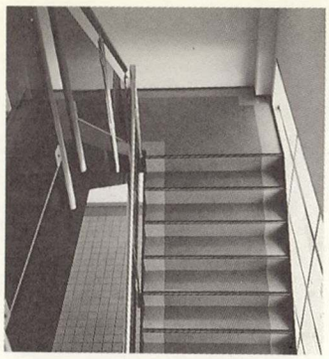
図—7は、鋼製と制振鋼板製との場合における階段昇降音の比較例である。鋼製に較べると約15dB(A)低減するとともに、耳障りな持続音がほとんどなくなるので、静かさ感の改善が著しかった。

図—8は、鋼製と制振鋼板製の扉を閉じる際の発生音の比較例である。音の大きさが低減するだけでなく、高周波音が消えて重厚感ある音へと音色変化した。

鉄筋コンクリートビル内の体操室階下への騒音

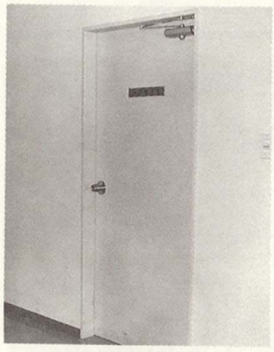


鋼製階段と制振鋼板製階段との昇降音比較

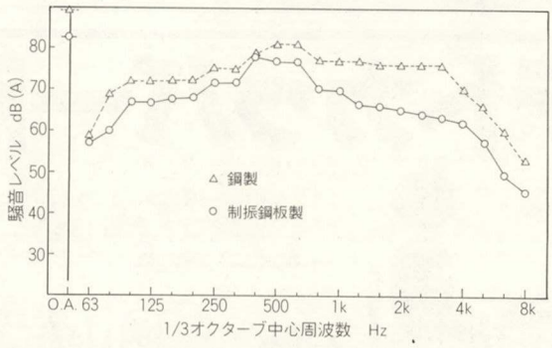


制振鋼板製階段

図－7　鋼製階段と制振鋼板製階段との昇降音比較



制振鋼板製扉



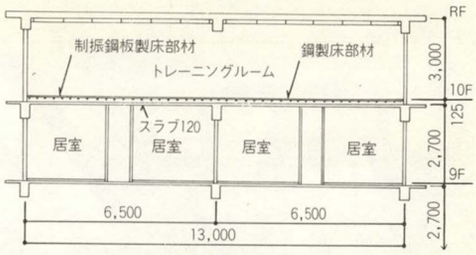
鋼製扉と制振鋼板製扉との開閉音比較

図－8　鋼製扉と制振鋼板製扉との開閉音比較

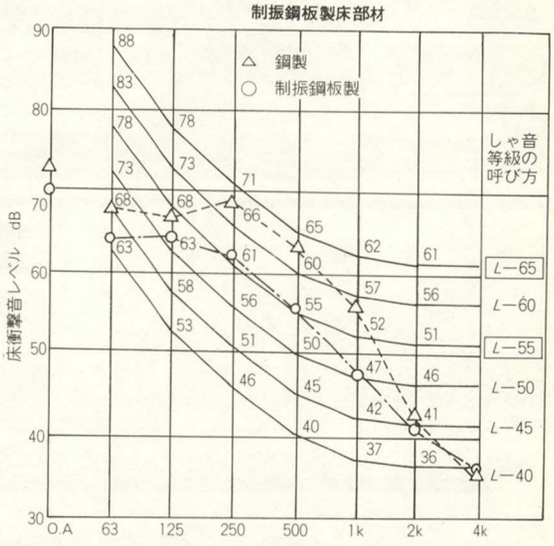
防止のために、床構造部材に鋼板の代わりに制振鋼板を用いた際の床衝撃音の低減量の測定結果を図－9に示す。重量床衝撃音遮断性能はL65からL55へとランクが向上した。

*

以上、制振鋼板の概略について述べた。居住性向上をはかるための建築材料として、今後ますます発展していくことが期待される。



制振鋼板製床部材



トレーニングルーム階下音の比較

図－9　制振鋼板製床と鋼製床との床衝撃音レベル比較

（たなか　としみつ　株式会社神戸製鋼所要素技術センター主任研究員・工学博士）

企画：日本建築協会

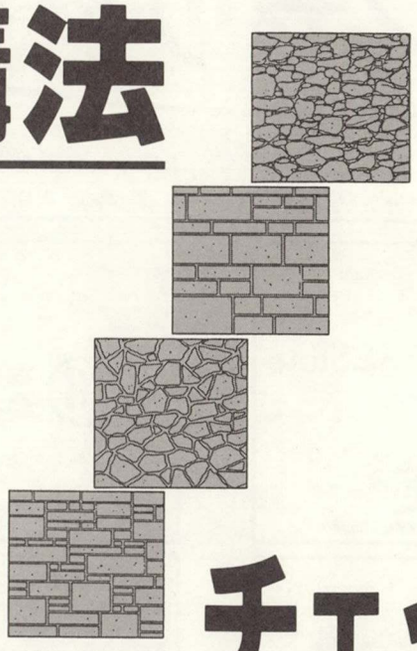
建築技術選書〈特装版〉

外壁構法

飯塚五郎蔵 著

B5判・192頁・定価3300円

あらゆる建物のデザインを決定づける外壁仕上げ．その成否によって，外観が良くも悪くもなり，耐久性も左右される．外壁仕上げの実情を整理し確かな情報と知識が得られるように，いろいろな材料や部品の専門書やカタログにある知りたい部分だけを収集した．最も適切な材料決定のための指針を示した，すぐに役立つ材料・構法の実用書．



◆内容紹介

1．**外壁の系譜**　柱の家と壁の家／外壁の造りかた／真壁と大壁／外壁仕上の昭和史
2．**積む壁**　煉瓦の壁／石造の壁／各種ブロック壁／校倉の壁
3．**塗る壁**　日本壁／西洋左官術／モルタル塗／外壁仕上げ塗工
4．**張る壁**　木造板張／窯業系防火サイディング／金属板外壁
5．**貼る壁**　タイル貼／煉瓦タイルと煉瓦貼／ガラスのタイル／石貼
6．**カーテンウォールとパネル**　金属カーテンウォール／ガラスのカーテンウォール／PCおよびALC張壁／プラスチックのカーテンウォール／サンドイッチパネル
7．**迷いと決断——賢者の選択**　塗り壁か乾式壁か／外壁仕上げの満足度とクレーム／外壁の耐用年限

最適な材料選択の決め手！

チェックリスト

〈目録進呈〉

学芸出版社

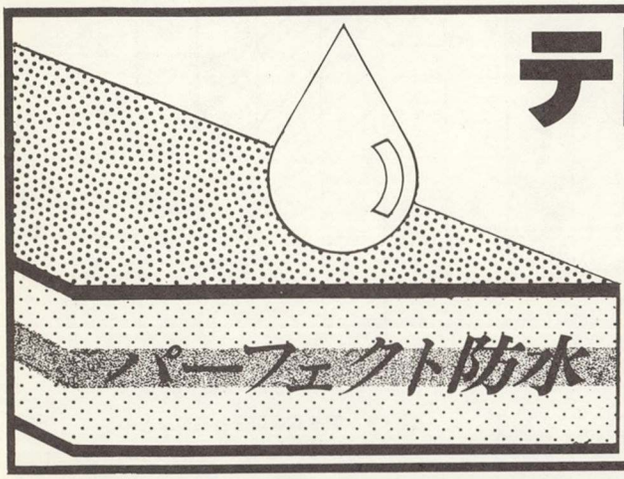
〒600 京都市下京区木津屋橋通西洞院東入
TEL 075(343)0811

室谷

内装不燃材

室谷商事株式会社

本社　神戸市中央区三宮町3−7−6(神戸フクトクビル5階)
電話　神戸(331) 0881〜3
支店　大阪市北区西天満2丁目6番8号(堂ビル5階)
電話　大阪(364) 2031〜4
倉庫　神戸市東灘区御影石町4丁目（電話811-3610)



テトカッパー防水層

防水専業の研究・経験から生れたすくない資源のパーフェクトな防水層です。
この防水層は（一層防水）施工するだけで、防水は完璧です。
温度変化に伸びがなく、柔軟性に富み、耐酸、耐薬品性に優れ、腐蝕しません。

カッパー防水帯　コーパータイト　新工法
オクロン防水帯　プレノテクト吹付工法

●お申込次第カタログ進呈

奥山化工業株式會社

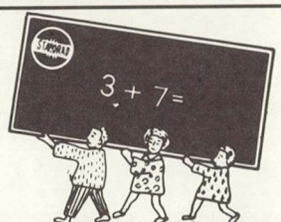
本　社　東京都中央区銀座8−4−9　電話03（571）2703
大阪事務所　大阪市淀川区東三国6−1−41　電話06（391）1081-2
埼玉営業所　埼玉県桶川市東1−3−30　電話0487(74)2845-6
厚木出張所　神奈川県厚木市金田259　電話0462（21）1761
名古屋出張所　名古屋市南区若草町33　電話052（811）3660
九州出張所　佐賀県佐賀郡諸富町大字諸富津450　電話0952（47）2945

防火・防煙から避難装置まで
建築防災の総合メーカー

豊かな経験
最新の技術

東洋シヤッター

東洋シヤッター株式会社
本社：大阪市東区両替町1−12 日生ビル　☎（943）6571代表
東京・横浜・盛岡・仙台・水戸・静岡・岡崎・名古屋・富山・大津・京都・神戸・広島・高松・福岡他全国主要都市



Standard Board&Slate

フタバ工業

〒547　大阪市平野区加美北3−4−5　TEL 大阪06(792)5858㈹

奉仕感謝の店
タイル工事施工

株式会社 川岸窯業商店

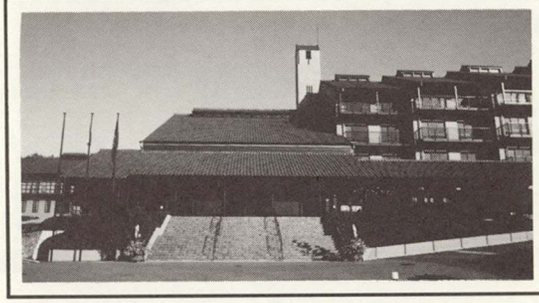
本　社　〒550 大阪市西区西本町1−13−33
電話　大阪 06(532)代0461　〒550
天理営業所　天理市丹波市新町50

活字のない印刷

日本写植印刷株式会社

代表取締役　神田都義

本　社　〒545 大阪市阿倍野区阪南町7-5-30　☎06 (606) 1111代
日本写植センター　〒892 鹿児島市名山町4-7 三宝ビル　☎0992 (26) 4371
津山写植センター　〒708 津山市大手町8番5号 模範店会館　☎08682 (4) 1771
沖縄写植センター　〒900 南風原村兼城　沖縄印刷団地　☎0988 (55) 6100



〒556 大阪市浪速区塩草二丁目二番三号
☎ 五六一〜七四一六
ファックス 五六一〜七四五四

ナニワ瓦株式会社

あらゆる屋根工事の相談は、

空気調和・給排水・衛生・防災設備　設計・施工

株式会社 朝日工業社

本　社　東京都港区浜松町1-25-7　電話（434）6171（大代）
大阪支社　大阪市淀川区加島1-58-59　電話（302）2271（代）
支　店　北海道・東北・名古屋・中国・九州
営業所　釧路・函館・盛岡・横浜・静岡・京都・神戸

空調衛生・冷凍冷蔵・地盤凍結
よりよき環境へ技術で挑む

株式会社 精研

本　社　大阪市南区瓦屋町2丁目11番16号（オートセンタービル1,2階）
郵便番号542　電話 大阪（06）768－5031代表
メンテナンス部　電話 大阪（06）768－1651代表
東京支店　東京都千代田区九段南2丁目2番5号（九段ビル2～4階）
郵便番号102　電話 東京（03）262－3241代表

空調・衛生
防災・汚水処理　設計施工

株式会社 大阪城口研究所

取締役社長　城口庸平

大阪市北区角田町2番15号　電話 大阪372局7151代
京都市東山区大和大路正面上ル　電話 京都561局4944代
神戸市中央区下山手通6－2－8　電話 神戸341局5892

商品は空気です。

熱と空気のエンジニア
株式会社

大気社

●営業種目
空気調和設備　給排水衛生設備　塗装設備　公害防止関連設備の設計・製作・施工

本社・東京本店　東京都新宿区西新宿2-6-1　☎03－344－1851（大代）　大阪本社 ☎06－448－3603（代）
大阪支社 ☎06－448－5851（代）　名古屋支店 ☎052－211－1535（代）　中国支店 ☎082－247－5541
九州支店 ☎092－431－2147（代）　営業所：北関東・横浜・神戸・京都・岡山・四国

電気・空調・衛生・防災・産業廃水設備
設計施工

ダイダン株式会社

本店・大阪本社　〒550 大阪市西区江戸堀1丁目9番25号　電話(06)441-8231
東京本社　〒104 東京都中央区銀座2丁目2番17号　電話(03)535-5251
支社　名古屋・福岡
支店　札幌・仙台・新潟・大宮・千葉・横浜・金沢・神戸・天理・岡山・広島・高松・熊本
営業所　帯広・函館・青森・秋田・盛岡・前橋・長野・静岡・豊田・津・富山・福井・京都・徳山・松山・高知・北九州・鹿児島・那覇
出張所　旭川・福島・松江・徳島・長崎・宮崎
海外支店　シンガポール・ホンコン・スリランカ
技術研究所　〒354 埼玉県入間郡三芳町大字北永井390番地　電話(0492)58-1511

空気調和
給排水衛生

搬送機設備
設計施工

第一工業株式会社
大阪支店

大阪支店　〒530 大阪市北区西天満3丁目6番14号
電話　06－364－6661（代表）
本　社　〒100 東京都千代田区丸の内3丁目3番1号
電話　03－211－8511（代表）

空気調和設備
給排水設備
電気設備

産業設備
水処理施設
環境施設

三機工業株式会社

取締役社長　白谷清二
取締役大阪支店長　堀　亀久治

大阪支店　大阪市東区北浜2－22　電話06(202)3071(代表)
本　店　東京都千代田区有楽町1-4-1　電話03(502)6111(大代)
支　店　名古屋・九州・北海道・中国・東北・北陸・四国

ガス設備の設計・施工のご相談は
大阪ガス指定工事会社・大阪ガス住設機器特約店

大晃設備株式会社

本　社
大阪営業所　大阪市北区西天満5-11-12　電 06－313－1846
枚方営業所　枚方市甲斐田東町9－3　電0720－49－2128

空気調和設備
衛生設備　設計施工

三建設備工業株式會社

大阪支店　大阪市北区紅梅町3番5号　電話（352）1131代
本　社　東京都中央区日本橋蠣殻町2－22　電話（667）3431（大代）
支　社　名古屋・仙台・札幌・広島・福岡・金沢・新潟・横浜

MODAIR

空気調和設備
換気・除塵設備　設計施工

東洋熱工業株式会社 大阪支店

大阪市西区靱本町3－1－27　TEL(443) 8071
本社　東京都中央区京橋2丁目9　TEL(562) 1351
支店　名古屋・福岡

空気調和・衛生設備　設計施工

株式会社 三晃空調

本　社　大阪市東区城見ツイン21MIDタワー　電話 06－949－1371
東京本店　東京都新宿区西新宿　新宿住友ビル　電話 03－344－1911
大阪本店　大阪市北区西天満3丁目13番20号　電話 06－363－1371
支　店　仙台市大町2丁目2番10号　電話0222－61－3002
名古屋市中村区名駅南2丁目14番19号　電話052－581－8571
広島市中区紙屋町1丁目2番22号　電話082－247－4535
福岡市中央区大名2丁目4番22号　電話092－761－3795
営業所　札幌・横浜・京都・神戸・松江
出張所　青森・秋田・盛岡・宇都宮・千葉・川崎・富山・福井・高松・下関・熊本・鹿児島・沖縄

給・排水・衛生・消火・暖冷房設備

株式会社 西原衛生工業所大阪店

大阪市大淀区中津6丁目8番4号　電話大阪（458）3628番
支店・営業所　福岡・京都・天理・川西

空調・衛生・防災設備　設計並施工

日本管工業株式会社

本社及京都支店　京都市南区西九条豊田町20番地の1
電話(681) 5101～5・夜間専用(691) 1045
大阪支店　大阪市北区天満1-5-20　電話(06)352—3501㈹
三重支店　津市栄町2—111　電話(0592)26—3610㈹
四日市営業所　四日市市西末広町　電話(0593)53—7431㈹
滋賀営業所　大津市中央2丁目4-28　電話(0775)22—9738㈹

Carrier

冷暖房はCARRIER キャリア

東洋キャリア工業㈱デストビューター関西地区

日本冷熱工産株式会社

本社及大阪営業所　吹田市豊津町40番38号
電話 大阪 (384) 1201～7

電気・計装工事 設計施工

栗原工業株式会社

取締役社長 栗原信英

大阪市北区角田町1-1 東阪急ビル TEL 06-313-1101
支店 東京・名古屋・舞鶴・京都・天理
大阪南・神戸・広島・四国・九州

——誠実と技術でお応えする——

住友電設

取締役社長　相馬一男

住友電設株式会社
本社／〒553 大阪市福島区福島7丁目22-8 ☎(06)452-1151(大代)
東京／〒105 東京都港区芝2丁目2-17 ☎(03)454-7311(大代)

営業種目 設計・施工・監理

●電力工事
発変電設備工事
架空送配電線工事
地中送配電線工事

●設備工事
ビル電気設備工事
工場電気設備工事
防爆電気設備工事
空調工事
給排水衛生工事
特殊配管工事
計装工事
消防施設設備工事

●プラント工事
●情報システム工事
光伝送システム工事
CATVシステム工事
各種アンテナ装置工事

電気工事設計施工

株式会社 三興社

代表取締役 土井敏裕

本社　大阪市北区西天満2丁目6－8(堂ビル7階)
電話(361) 3671(代)
支店　東京都中央区日本橋箱崎町20番5号
電話(671) 1478(代)
出張所　川崎・相模原・堺・滋賀

電気設備 ㊋ 設計施工

朝陽電気株式会社

代表取締役 山本貴士

本社　大阪市北区中之島3－2－4　朝日ビル　TEL 大阪06(385)1361(代)
大阪営業所　TEL 大阪06(385)1361(代)　京都営業所　TEL 京都075(311)1185(代)
東京営業所　TEL 東京03(574)0665　福岡出張所　TEL 福岡092(771)6168

限りなきクリーンに挑戦する!!
電気設備・クリーンルーム・冷暖房設備
給排水衛生設備・計装制御設備・立体自動倉庫
エネルギー集中監視システム・回転式自転車置場
設計施工

三宝電機株式会社

取締役社長 嘉納伝三

本社　〒530 大阪市北区西天満2－6－8(堂ビル)　TEL 06(364)1471 TELEX 523—3287
東京支店　〒105 東京都港区新橋2-16(ニュー新橋ビル)　TEL 03(504)0231 TELEX 222—6724
名古屋支店　〒462 名古屋市北区金城三丁目12－14　TEL 052(991)5131
神戸支店　〒657 神戸市灘区岩屋中町1-2-9(エビスビル)　TEL 078(881)5571

電気設備工事設計施工

東光電気工事株式会社

大阪支社

常務取締役支社長　横田幸一

大阪市東区高麗橋五丁目二八番地　電話大阪 (202)0325～9番
本社　東京都千代田区西神田1丁目4番5号
支社　札幌・仙台・丸ノ内・新宿・横浜・名古屋・九州
営業所・出張所　全国主要都市32ヶ所

特殊壁装材製造販売　和室に最適

●聚楽壁紙●ホクシノン(無機質壁紙)

(株)ホクシンクロス

〒583 大阪府羽曳野市島泉8－173－1
TEL(0729)39－3610
工場　〒580　大阪府松原市三宅中8丁目1番9号
第一　〒639-11奈良県大和郡山市小泉町2744
第二　〒597　大阪府貝塚市王子501

建設業界をアシストする

ポゾリス

■コンクリート用混和剤　■無収縮グラウト材
■鉄筋コンクリート用防せい剤　■工業用特殊床材

製造元　日曹マスターピルダーズ株式会社
販売元　ポゾリス物産株式会社
本社／東京都港区六本木3－16－26 ☎03-582-8811
大阪営業所／大阪市東区北浜3－7 ☎06-202-3294

営業種目

●防水工事　塗布防水・シート防水・モルタル防水
●樹脂注入接着工法　各種樹脂注入接着補修工事
●亀裂補修工事　各種樹脂注入・充填・コーキング
●シーリング工事　シリコン・チオコール・ウレタン・アクリル
●吹付工事　アクリル・リシン・弾性タイル・その他
◇建設業許可　大阪府知事許可（般－53)第51225号
◇日本シーリング工事業協会々員

大阪市北区末広町3－21
星和地所扇町ビル201S
TEL 06(315)0701

(株)特殊技研

省エネルギー時代の断熱用シート防水材

日立バイナリーシートP

日立バイナリーシートPは，日立防水シートに発泡ポリエチレンを独自の貼り合わせ技術で積層した，二重構造の断熱兼用二重防水シートです。

日立電線株式會社　本社 東京都千代田区丸の内2丁目1番2号(千代田ビル)

出江寛建築セミナーVol.Ⅲ

大東楽器㈱では、ヤマハ家具ショップDAITOの移転オープンを記念“出江寛建築セミナー”を3回シリーズで開催している。最終の第3回目は「神とエロスとデザイン」をテーマに出江寛氏の建築の原点に迫る。

と　き　1988年7月16日(土)（講演無料）
PM6：30～PM8：00

ところ　YWCA山西福祉記念会館3F
大阪市北区神山町11－12
TEL 06－315－1868

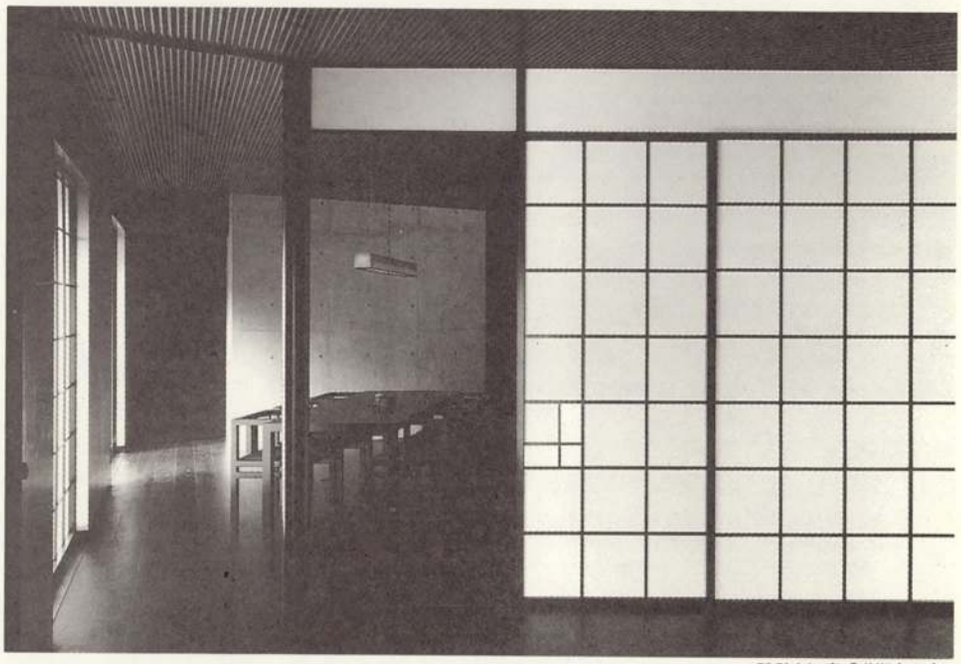
講演終了後、出江寛氏を囲んでパーティ開催の予定。

パーティ参加料　1,000円

参加希望の方は、TELまたは、ハガキで下記まで。

ヤマハ家具ショップDAITO　北口氏

〒573 枚方市岡東町18－21 枚方三和ビル6F
TEL 0720－41－6000



設計出江寛「逆瀬台の家」

UIA国際デザインコンペ

アメリカ・ウイスコンシン・ミルウォーキ大学の建築・都市計画学部主催の国際コンペが、催される。

今回のテーマは、これからの工業都市のあり方について、プロトタイプに、ミルウォーキを取り上げ、現実性のある提案を募集している。

対象地域は、つぎのとおり。

(1)産業の発展した地域に隣接しているダウンタウン。
(2)住居地域
(3)第2次世界大戦当時の都市の細長い地帯
(4)今日も農業が主体の田園地帯の4タイプ

応募案は、1990年5月にモントリオールで開かれるUIA世界会議で展示される。

賞金　総額 125,000USドル
（邦貨約 1,700万円）
1等　75,000USドル

応募　登録料75ドル(小切手、為替、銀行手形)を受取人SARUP/UWM Foundation/ICDCとし、10月31日(日)までに下記へ送付のこと。応募要項が送付される。

応募締切　1989年5月31日(水)

送り先　ICDC, School of Architecture and Urban Planning University of Wisconsin・Milwaukee.
P. O. Box413. MILWAUKEE WI 53201 USA.

宮本隆司写真展

建築写真家・宮本隆司氏の写真展「九龍城砦」がINAXギャラリーで開催される。宮本隆司氏は一貫して、建築の終焉ともいうべき破壊と崩壊の衝撃的シーンを撮り続けている。

■写真展

と　き　1988年6月8日(水)～6月30日(木)
AM10：00～PM6：00

ところ　INAXギャラリー大阪
大阪市西区新町1－7－1

学生のための膜構造デザインコンペ

課題　レクリエーション基地に建つ複合集合施設

応募資格　日本の大学の建築学科および建築系の学部および大学院に在学中の学生（個人またはグループのどちらでも可）。

審査員　委員長／菊竹清訓、委員／安藤忠雄、石井一夫、伊東豊雄、川口　衛、左高啓三、松井源吾。

賞金　最優秀賞1点100万円、優秀賞1点50万円、佳作賞5点各10万円、努力賞10点各5万円

応募申込　1988年8月8日(月)までに氏名、住所、年令、学校名、TELを記入の上、官製ハガキで下記宛送付、着き次第応募要項を送付する。
太陽工業㈱'88膜構造デザインコンペ係
〒532 大阪市淀川区木川東4－8－4

「高規格住宅PART2」発刊のお知らせ

このほど、(財)日本建築センターより「この街・この家・高規格住宅・提案します新しい住まいPART2」が発行された。

住宅水準のレベルアップをめざして、昭和60年度に創設された住宅金融公庫の高規格住宅融資制度をベースに民間、地方住宅供給公社から企画、技術を活かした提案をえて、つくった団地の実績は76団地2,114戸に上っている。

本年度からは、これまでの団地タイプの住宅だけでなく、一般個人住宅の建設にもこの制度が利用できるようになった。そうしたことを契機に広く一般にも高規格住宅の実例をPRすべく、昨年発行された第1集にひきつづき本書が出版された。

個人住宅の建築に携わさる建築関係者にも参考になる内容である。

大きさ　A4判(カラーグラビア入)　総頁157頁
定　価　1部3,000円
申込み　㈱工業調査会
〒113 東京都文京区本郷2－14－7
TEL 03－817－4731



「高規格住宅PART2」表紙

●会員の声

「おおさか女の住まい考」発足



会場風景

■住宅は今

量から質、質から味わいなどと住まいを取り巻く情況が今おおきく変わりつつある。キャッチフレーズだけでもアメニティー、アイデンティティー、個性、風合いなど、質を乗り越えたがためのさまざまな唱い文句が挙げられていてさわがしい。

とりわけ昨今、内需拡大を受けて、住宅産業は史上2番目の好売り上げを示し、意気勢んである。

こうした中で、この春、大阪で活躍中の女性インテリアコーディネーターを中心とした「おおさか女の住まい考」(代表北山喜与) なる会が発足した。"住まいを考える会" などといえば、戦後は長いこと庶民の貧しき住居を対象とした改善、改良の研究・活動が主流を占めてきた。特に関西では庶民派を標榜した系譜の活動が活発で、それはそれなりに大きな成果を上げてきたことは周知のとおりである。

庶民の生活の底に視点をおいて、時にするどく社会批判を加え、時に庶民の生活の根に割って入って、住まいの質の向上に光を当ててきた。

だが、今日、"庶民" という言葉が、発する先から宙を切るような感触を帯びてきたことは誰しも否めない。日本人皆が中流から上の意識、住まいをみつめる眼差しが次第にかわってきた。

土地高騰、重税に苦しめられて "未だ庶民は庶民、住宅はいっこうに庶民には高根の花" といった意見も一部ではあるも、しかし戦後40年、住まい方も意識も住まいも大きく変わった。

特に住宅は家電メーカー主導型の設備面が充実し、HA (ホームオートメーション) やらが組み込まれて日進月歩の感がある。さらにまた、内なるインテリア空間への関心も高まりをみせて、インテリアの時代とも言われている。

■内に向う視点

インテリアへの一般の関心の高ぶりに関連して、インテリアコーディネーターなる職業もいよいよ定着化してきた感がある。古い体質の建築、住宅分野にすれば "インテリアコーディネーターなど何するものぞ" と眉ひそめる向きも未だ一部には確かにあろう。

だが、如何せん時の流れはすっかりとインテリアコーディネーターにたなびいて、この横文字の職業を植えつけてしまった。通産省認定のコーディネーター試験への受験者は年を追って増すばかりである。街のコーディネーター学校も大流行。特にインテリアコーディネーターなる職業、女性の天職とまで言われ、コーディネーターの肩書きを持つ女性達が社会で活躍、躍進中である。

建設省も昨今よりインテリアプランナー制度を発足させて、世はまさにインテリアブームである。

住宅を見つめる視点が少しく変化し、内側に向き出していることは確かであろう。すまいの要求は性能やら材能といったハードな面を乗り越えてひたすら居心地の良さや快適性といった柔らかな部分にそそがれてきた。今、住宅は気持のいい家であることが、豊かで居心地のよい家であることが、そして住み手にとっていい気分に浸れる家であることが何よりも一番なのだ。頭で解かる家でない、住み手が体で感じる家づくりが大切なのであろう。

こうなるとこれからの住まいづくりは、今までとは異なった発想と視点が必要であろう。異なったアプローチと仕掛が求められよう。

そこにインテリアコーディネーターや女性達の知恵や感性の活かされる道が在る。

■おおさか・女・すまい

関西にはもともと良質の格調高い住まいを生み出す土壌があった。豊かな、おだやかな生活に裏づけされた家づくりの要求があった。住まいへの一般の求めも厳しく、細かく、贅沢なるものがあった。

今でもその伝統は生かされ流れ続いている。どこの国の真似にも頼らぬ、これからの新しい住まいづくりは関西がその発信基地になるやも知れぬ。その可能性がおおさかにはある。その大阪の地に活躍する住まいづくりの女性達の職能集団が、これからの日本の住まいのあり方を考えていくという。今後の大いなる展開と発展を期待したい。

"おおさか女のすまい考" の会はこれから毎回さまざまなゲストを紹いて、その時々の問題について論議なされる。第1回のテーマは「在住外国人からみた日本人の住まい方」。30年以上にも渡って日本に住まい続けている男女2人の外国人を紹いての住まい談議。さらに、外人向け住宅の企画設計・管理・運営の企業の経営者による外国人専用マンションのノウハウなどについて討議が行なわれた。

おおさか女の住まい考メンバー
代表者：北山喜与
井上まるみ、打越豊子、川端紀子、堺初美、二川綾子、松島美紀子、山本堯子

●この会への問い合せ
㈱スペースプランニング
〒530 大阪市北区中之島4丁目2番28号
TEL 06−445−7007

(加藤　力／京都工芸繊維大学助教授)

新しい革袋に新しい酒を！

いつも、1ケ月遅れの「建築と社会」を受けとると、複雑な気持になります。

1988年4月号は、5月の連休あけに届きました。「建物の外装リフレッシュ」という特集号でしたから、わたしは「建築と社会のリフレッシュ」とおきかえてみました。

「新しい酒は、やはり新しい革袋で飲みたい」という気持で、以下に三つの提案 (わたしは何でも三つにまとめるのが好きです。三つなら覚えやすい、ということです) を簡記しました。ご笑覧下さい。

① 月遅れを挽回する。

1年がかり (数年かかるかも知れません) で、何とか「月遅れ雑誌」を挽回して欲しいです。雑誌は、内容の善悪とは別に「月遅れ」というだけで見る気がしなくなります。例えば「法令コーナー」の解説も新鮮味がなく、折角の企画が生かされていません。筆者にも気の毒で、失礼に当りましょう。

「民間の雑誌」の厳しさを見習って下さい。月遅れ雑誌は、ホゴと同然になります。雑誌作りの大変さ・書くことのむずかしさ・時間厳守の大切さ、を身にしみて体験しているからこそ、あえて事務局に苦言を呈しました。

② 若い人を登用する。

編集委員に若い人を、どしどし登用して下さい。年をとれば活力がなくなってきますし、体力・気力がついていきません。これは、わたし自身が現在体験しつつあることです。

「有名な人だから……、会社の上役だから……」と名前だけを記するのは、古いやり方です。実際に働いている人の名前を記し、「若い雑誌人」を育てていただきたい、と思います。これも協会の「一つのつとめ」でしょう。

③ 責任体制をとり、協会誌の特色を出す。

編集委員として、たくさんの姓名が記してありますが、これは責任の分散になります。「みんなで仕事をしよう」ということは、聞こえはよいのですが「みんなで仕事をしない」ということに通じます。たくさんの名が記してあるから、多くの手をへているとは思いません。経験者は「名前だけ並べてあるから、形式的になっているなア」と判断します。

責任体制をはっきりとし、少数精鋭主義 (独裁とは異なる) に切りかえられては、いかがでしょうか。物の発想が変わるかも知れません。それと、雑誌の特色を出して下さい。何でも並べてあるのではなく「これだけは他誌に負けない」という特長が必要です。

いい意味でも悪い意味でも、いい子にはならない方が面白いのです。大阪ことばでいう「おもろい雑誌」に成長・発展して欲しい、と願っております。

以上のことは、今さら気がついたことではなく、前からあらゆる機会に、わたしはいってきました。ただ、事務局サイドに「やる気があるのかないのか」だけの問題だ、と思います。

(山田　修／大阪市立工芸高校建築科代表)

日本建築協会

月間の動き

昭和63年４月分

理　事　会

定例理事会
27日　４時～５時　於　本会会議室
出席者　佐野会長ほか20名
議事　(1)昭和63年度新、重、留任役員報告の件
(2)役員の会務分掌並びに常任理事選任の件
(3)定例理事会、常任理事会開催日時決定の件
(4)前年度よりの引継事項承認の件
(5)会員現況報告、会員増強の件
(6)第８回大阪都市景観建築賞協賛の件
(7)昭和63年度事業計画並びに収支予算報告の件
(8)第34回工高生デザインコンクール実施の件
(9)昭和63年度常設委員会委員委嘱の件
(10)入退会者承認の件
(11)報告事項

会勢理事会
27日　３時半～３時50分　於　本会会議室
出席者　佐野会長・市川副会長ほか７名
議事　(1)団体正会員の増強結果報告
(2)今後の会員増強について

編　集　委　員　会

総　会
14日　４時～７時　於　本会会議室
出席者　足立副会長、小島・高木・渡辺編集理事、長谷部編集委員長ほか35名
議事　(1)自己紹介
(2)足立副会長のあいさつ
(3)編集委員長のあいさつ
(4)各小委員会副委員長・各分科会幹事の互選とあいさつ
(5)編集委員会の構成と編集についての説明
(6)引き継ぎ事項
(7)本年度の編集のあり方および収支目標について
(8)立食パーティ

第１回作品作風小委員会
６日　５時～７時半　於　本会会議室
出席者　塘副委員長ほか７名
議事　(1)本年度編集副委員長の互選
(2)最近の作品掲載状況・予定の報告
(3)新建築調査表の依頼について
(4)「Gallery」内容報告と今後の検討

中国支部特集編集委員会
11日　１時半～３時半
出席者　平本支部長ほか７名
議事　(1)座談会の記事内容
(2)作品収集状況報告
(3)プロジェクト事例収集状況報告
(4)アンケート記事報告
(5)広島建築ガイドマップ
(6)中国地方の優秀建築賞受賞作品

第１回会員企画小委員会
12日　６時～８時　於　本会会議室
出席者　高田副委員長ほか５名
議事　(1)編集副委員長の互選
(2)小委員会の活動内容(報告と今後の企画)について
(3)その他

第１回建築計画分科会
20日　６時半～８時　於　本会会議室
出席者　加藤幹事ほか８名
議事　特集企画具体化

第１回施工材料分科会
22日　４時～６時半　於　本会会議室
出席者　山下幹事ほか５名
議事　10月号「共同住宅のリフレッシュ」特集企画

第１回広告企画小委員会
26日　４時～６時　於　本会会議室
出席者　長谷部委員長ほか６名
議事　(1)４月号「建物の外装リフレッシュ」特集広告収入報告
(2)５月号「都心居住」特集広告収入報告
(3)６月号「中国地方」特集広告収入報告
(4)63年度普通広告掲載予定報告
(5)作品・新建築掲載交渉状況報告
(6)収支状況報告

事　業　委　員　会

第１回広報小委員会
６日　６時～８時　於　本会会議室
出席者　原見副委員長ほか５名
議事　(1)研修分科会からの報告
(2)教室分科会からの報告

第１回見学会小委員会
７日　６時～８時　於　本会会議室
出席者　伊東副委員長ほか７名
議事　(1)３月の見学会の実施報告
(2)４月以降の見学会の予定

第１回若い会員の集い小委員会
８日　６時半～９時30分　於　富国ビルニュー・トーキョウ
出席者　宮野副委員長ほか16名
議事　(1)昭和63年度小委員会担当副委員長、幹事の選出
(2)本年度の年間企画について

第１回事業委員会
14日　12時半～２時　於　本会会議室
出席者　鶴田副委員長ほか６名
議事　(1)本年度の事業委員会委員編成について
(2)各小委員会の報告及び本年度の企画について

若い会員の集い小委員会「作野旦平氏」企画分科会(4)
18日　６時半～９時　於　本会会議室
出席者　小田主査ほか３名
議事　「作野旦平氏」の企画内容について

若い会員の集い小委員会「作野旦平氏」企画分科会(5)
25日　６時半～10時20分　於　本会会議室
出席者　ゲスト作野旦平氏、菅家克子氏、大川委員ほか４名
議事　講演会のやり方、内容について

教　育　委　員　会

22日　６時～７時半　於　本会会議室
出席者　片倉委員長ほか８名
議事　(1)昭和63年度正・副委員長及び幹事の選出
(2)講習会・工高生教育両小委員会の委員編成について
(3)本年度の事業企画

建　材　委　員　会

13日　３時半～５時半　於　本会会議室
出席者　金井委員長ほか17名
材料説明：ハイドロサーム／担当：阿部委員
議事　(1)今後の検討建材ならびに４月以降の掲載予定

出　版　委　員　会

６日　５時～６時　於　本会会議室
出席者　須賀委員長ほか４名
議事　(1)〈プロのノウハウ〉と特装本の経過報告
(2)今後のテーマと執筆者選定

建　築　ク　ラ　ブ

朝食会
12日　８時～９時半　於　大阪グランドホテル
演題　21世紀の大阪はこうなる
新空港他近畿の大規模プロジェクトを通して
講師　西村荘一氏(大阪府副知事)
出席者　81名

貝塚半田住宅再生委員会

５日　２時～５時　於　本会会議室
出席者　巽委員長ほか14名
議事　(1)半田地区の再生計画について

４月の入会者（敬称略）

〔団体会員３社〕
㈱東芝関西支社　　日新建設工業㈱大阪本社
日本生命保険相互会社
〔個人会員24名〕

青山茂弘（五洋建設）	井上弘美（アオケン）	池澤安夫（鴻池組）
今村義明（石橋清志建築設計(事)）	小川義雄（大阪府建築部）	玉崎良和（大阪府建築部）
阪口善就	中島裕介（日本総合メインテナンス）	村上幸三郎（東芝電材）
山野達夫（ネオマー）	麻田和宏（日本建設）	加藤輝彦（日本建設）
川村勝幸（日本建設）	北川勝司（日本建設）	杉浦孝次（日本建設）
田澤憲司（日本建設）	土岐孝司（日本建設）	古住憲司（日本建設）
前川真吾（日本建設）	本村辰巳（日本建設）	白州昭平（大成建設）
牧野由美子（大成建設）	宮本彰次（大成建設）	道本裕忠（大成建設）

〔准会員１名〕
大川愉加（大工大院）

▶会員の訃報

田井　舜二(47)自営　　３月８日死亡
渡辺　道輝(73)渡辺建築事務所所長　４月10日死亡
佐々木森一(78)佐々木建築事務所所長　５月10日死亡

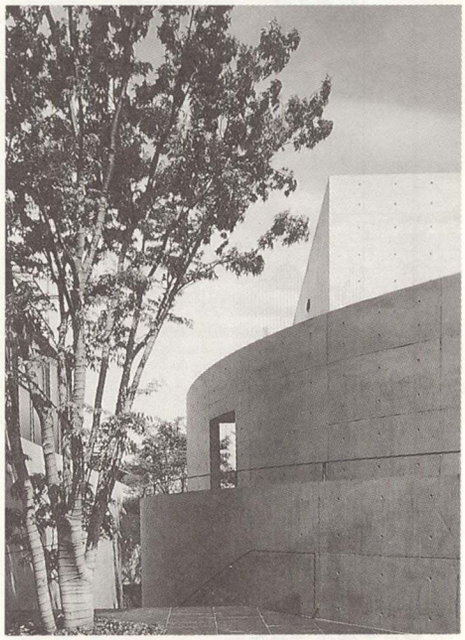
第13回吉田五十八賞決まる —建築の部は安藤忠雄氏に—

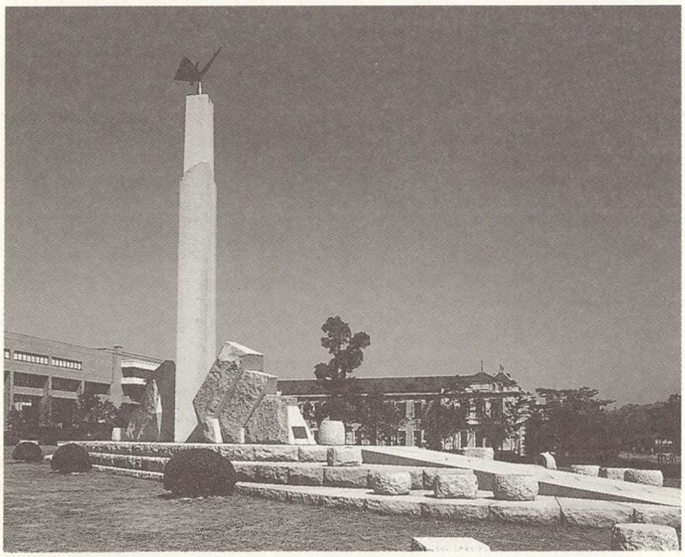
【建築の部】
作品/K邸
受賞者/安藤忠雄



昭和16年　大阪府に生まれる。独学で建築を学ぶ
昭和44年　安藤忠雄建築研究所を設立
昭和54年～62年　日本建築学会賞、日本文化デザイン賞、芸術選奨文部大臣新人賞、毎日デザイン賞、毎日芸術賞、等を受賞
現　在　イエール大学、コロンビア大学客員教授
主な作品　住吉の長屋、小篠邸、中山邸、番匠邸、石原邸、六甲の集合住宅、北野アレイ、ローズガーデン、北野アイビーコート、ステップ、六甲の教会、タイムズ、フェステバル、下町唐座、他
ハンガリー、スペイン、フランス、オランダ、スイス、アメリカ、オーストラリア、イギリス、等欧米諸国で招待建築個展を開催

K邸　K邸は東京山手の住宅地に建つ鉄筋コンクリート打放しの三世帯住宅である。ほぼ正方形の敷地に立方体を重ね、巻貝の口のように湾入するアプローチをもって巧みに世帯を分けている。そのコンクリートの素材感は、あたかも数寄屋の木のように端正で、内部空間の品位と密度を高めている。内外の空間配置の妙と相俟って当代無比の鉄筋コンクリート住宅となり、しかも建築の不易の本質に迫って、なんのケレン味もない。鉄筋コンクリートは、日本の建築的伝統と全く無縁な新しい構造法として、また素材として、今世紀の初めにわが国に導入されて約90年の歴史を持つ。その間、外観の寸法比例や形態的表現に日本化の成果を見ることができたが、数寄屋建築に比肩しうる感性の高さと空間の充実を鉄筋コンクリートで獲得できたのは、安藤忠雄氏の業績をもって最初と言えよう。その歴史的結実としてK邸がある。よって吉田五十八賞にふさわしい作品として認めた次第である。
—選考委員会—





【建築関連美術の部】作品/彫刻「鷺舞の譜」ほか受賞者/澄川喜一



昭和6年　島根県に生まれる。山口県立岩国工高機械科卒業
昭和31年　東京芸術大学彫刻科卒業、同33年専攻科修了
昭和33年～63年　新制作協会新作家賞、現代国際彫刻コンクール賞、平櫛田中賞、長野市野外彫刻展賞、中原悌二郎賞、倉吉市彫刻賞、神戸須磨離宮公園賞、毎日新聞社賞、小山市彫刻展大賞、東京野外現代彫刻展優秀賞、宇部市野外彫刻美術館賞、等を受賞
現　在　東京芸術大学教授、新制作協会会員
主な作品　清瀬市「平和の塔」、神奈川県庁「飛翔」、岩国市「石の翼」、スポーツ功労者賞トロフィー（文部省）、山口県立中央病院「鶴」、防府市「矢羽根石」、札幌芸術の森「そりのあるかたち」、広島市現代美術館「安芸の翼」ほか

彫刻「鷺舞の譜」ほか　この作品は、自然環境をフルに活かした雄大な作品であり、特に山口の「鷺舞い」の古事をイメージしたモニュメントは素晴らしい。まわりのベンチ、灰皿、ごみ箱等に至るまで、デザインを関連させて、こまやかに、やさしく配慮されている。照明や水の扱いも行き届いている反面、心を寛がせる気楽なところもあり、気持ちのいい作品である。将来、周辺が整備されたときの歴史的、文化的な修景が楽しみである。
—選考委員会—



【特別賞】額装の研究と製作による建築・美術界に対する功績
受賞者/岡村辰雄

額装の研究と製作　床の間に表装された掛軸を飾る古来の方式に対し、線の強い額装仕立ての絵画や書が、現代建築の壁面構成に調和することに着眼し、日本画や書等にも合う独創的な額縁を考案、普遍化させて、美術と建築の世界を結ぶ貴重な存在としての氏の功績は大きい。西洋の額縁に関する造詣も深く、絵画等の修正技術をも熟知し、工夫を凝らした額縁は、作品をさらに美しく昇華させて、美術家やその愛好家に親しまれている。
—選考委員会—

明治37年　長野県生まれ。大正6年表具師原千代吉方に入門
昭和5年　5月芝南佐久間町において多聞堂を創業、同14年、梅原龍三郎画伯北京での最初の作品「雲中天壇」「姑娘」を額装、以後終生用命に与る
昭和30年　全国額縁組合を創立、会長を10年間務め、日本画の近代化、業界の発展等に寄与し、同54年勲五等瑞宝章受賞
主な仕事　御所、新宮殿、吹上御所、等の造営に当たり、壁画をはじめ絵画の額装、屏風、襖などの製作に東宮事するほか法隆寺壁画の再現、国、公立、私立美術館所蔵の額装、絵画の修理などに当たる。
著書に、「表装備考」、「額装の話」、「如是多聞」

「大阪市ハウジングデザイン賞」の推薦募集

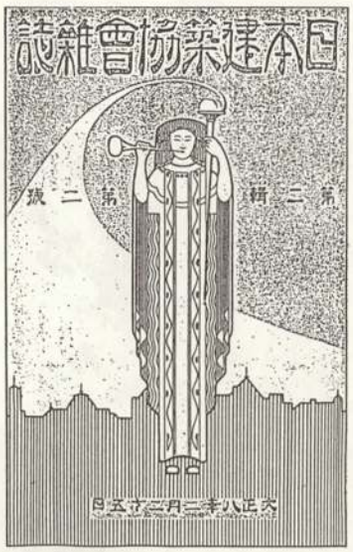
昭和58年4月1日～同63年3月31日に完成した大阪市内の民間集合住宅を対象に、総合的角度から優れたものを表彰する「大阪市ハウジングデザイン賞」の、自薦、他薦による推薦募集の受付が始まった。受付は7月15日までで、推薦受付並びに問い合わせは、大阪市都市整備局計画開発部指導助成課（電話06—208—9225）へ。

第8回大阪都市景観建築賞

恒例の標記表彰制度の推薦募集の受付が、7月1日～7月31日に行われる。推薦対象は昭和58年8月～62年7月末に完成した大阪府域内の建物とまちなみで、発表・表彰は本年11月下旬の予定。

詳細は大阪都市景観建築賞運営委員会（大阪府建築士会内、電話06—947—1961）へ。

「建築と社会」バックナンバー総目次(号別)Vol.2 No.2～Vol.2 No.8(大正8年2月～大正8年8月発行)



◆ 村野藤吾登場
◆ 国会議事堂設計コンペ入賞作品
◆ 大阪市都市計画決る

●日本建築協会雑誌(Vol.2 No.2) 大正8年2月25日発行

口絵……大阪築港の桟橋(三色版)、東京市街の現状(其一～其三)、大阪築港の現状(其一～其五)
労働問題と都市建築
東京大改造論(2)……会員　片岡　安
東京市街図
英国に於ける都市計画法(2)……大阪高等商業学校教授法学士　伊藤眞雄
大阪港の将来……大阪市港湾部長工学博士　直木倫太郎
大阪築港地図
活動写真劇場の改良(上)……会員　葛野壮一郎
都市と建築　建物建築税の不法を論ず……会員　都市研究生
都市の心理的基礎……神学士　賀川豊彦
都市の衛生に就いて……医学博士　天兒民惠
女流の住宅観　家の中で一番大切な処は……足立電気商会主足立弥太郎氏夫人　足立民子
御化粧室というものは……原きく子
現代社会観(2)……会員　茅海　生
葬式の沿革と途中行列廃止……在東京　青谷　生
戦後に於ける倫敦の住宅問題(下)……会員　M.I　生
京都古建学観(6)……特別賛助員　伊藤清造
台湾営林局の事業(1)……会員　谷　民蔵
回想録(下)……会員　野人　生
時報
市区改正委員任命、神戸市に於ける都市研究会
日高氏の近信
会報
終身賛助員故川島甚兵衛氏
附録　ブリュッセル市建築条例(下)

●日本建築協会雑誌(Vol.2 No.3) 大正8年3月25日発行

口絵……船津橋より見たる安治川(三色版)、東京市街の現状(其五～其十)、東京市の珍建築
都市住宅の改善と結核予防法
東京大改造論(3)……会員　片岡　安
活動写真劇場の改良(下)……会員　葛野壮一郎
倫敦に於ける住居問題委員会の報告(上)……会員　S.T.生
建築様式の意義を論ず(1)……会員　江波悌夫
都市と建築
都市と住居問題……神戸高等商業学校教授　阪西由蔵
都市の下水道に就いて……京都大学教授工学博士　大井清一
名士の住宅観
二重生活と建築……内務省警保局長法学士　川村竹治
味あり色ある建築……大阪府知事　林　市蔵
現代社会観(3)……茅海　生
頭髪というものは……帝劇女優　森　律子
時代風俗と美人連……？秀画家　石川丹麗
江戸時代の髪様……女流研究家　稲葉小千
東大寺建築史(7)……会員　須藤眞全
京都古建築観(7)……特別賛助員　伊藤清造
台湾営林局の事業(2)……会員　谷　民蔵
あたら墨縄一建築史ローマンスー……会員　須藤まがね
テームス河(上)……会員　T.N　生
時報　都市計画法案
市街地建物法案、二大法案と陳情書
会報
附録　哈爾賓市内建築規則摘譯

●日本建築協会雑誌(Vol.2 No.4) 大正8年4月25日発行

口絵……大阪城(三色版)、東京市街の現状(其十一～其十六)
都市両法案の通過
東京大改造論(4)……会員　片岡　安
消防瑣談……大阪府警察部消防課長警視　福原金吾
倫敦に於ける住居問題委員会の報告(下)……S.T　生
都市計画に就いて…大阪市区改正部長工学博士　直木倫太郎
建築様式の意義を論ず(2)……会員　波江悌夫
都市と建築
東京市営住宅と其一例……東京市技師工学士　福田重義
都市学理的完成の必要……法学博士男爵　阪谷芳郎
都市の細民住宅……都市協会幹事　藤原俊雄
女流の住宅観
家を建つ可き場合と建てなくてよい場合……棚橋絢子
理想的の家は住み心地のよい家……山脇房子
現代社会観(4)
我市の中央公会堂は如何に使用されつつありや……郊郵　生
京都古建築観(8)……特別賛助員　伊藤清造
台湾営林局の事業(3)……会員　谷　民蔵
建築材料委員会に望む……会員　渓月　生
テームス河(中)……会員　N.T　生
時報
貴衆両院を通過せる二大法案、結核予防法案
故名誉賛助員辰野金吾氏
会報
附録　現行伯林建築条例足場細則、同こう上機細則

●日本建築協会雑誌(Vol.2 No.5) 大正8年5月25日発行

口絵……堺大浜海水浴館(三色版)、大阪市の重要地点(1～6)
都市建築の改善と個人思想
東京大改造論(5)……会員　片岡　安
国家と個人……東京帝大法科大学助教授　大島正徳
◆様式の上にあれ(上)……会員　村野藤吾
公安より見たる都市計画及都市計画立法…商学士　岡田重次
街路舗装工事と市財政……在米工学士　武居高四郎
名士の住宅観
長所を利用して……文部省普通学務局長法学士　赤司鷹一郎
今日の生活状態に照して……貴族院議員法学博士　山脇　玄
和洋折衷とする方が……東京衛生試験所長　柿澤信義
都市と建築
細民住宅に就いて……本会理事長　片岡　安
家屋に対する衛生上の要求……医学博士　遠山椿吉
都市住宅政策……大阪市高級助役法学博士　関　一
北長柄の「ダークサイド」……郊郵　生
住宅問題の前途……会員　城南　生
我邦現代の住宅を如何にすべき乎(上)……会員　小笠原鉾
京都古建築観(9)……特別賛助員　伊藤清造
建築美と自然美の調和に就いて……特別賛助員農学士　大屋霊城
台湾営林局の事業に就いて(5)……会員　谷　民蔵
フロレンスの誇り一建築史ローマンスー…会員　須藤まがね
テームス河(下)……会員　N.T　生
時報　一内相の訓示一
会報
附録　現行伯林府建築条例(上)

●日本建築協会雑誌(Vol.2 No.6) 大正8年6月25日発行

口絵……神戸川崎銀行背景図(三色版)、大阪市営貸長屋及共同宿泊所(一～八)
頻々たる都市の大火
都市大火に対する防備……会員　片岡　安
軍備と文化(上)……法学博士　渡辺鉄蔵
◆様式の上にあれ(中)……会員　村野藤吾
市民劇場の設立を望む(上)……会員　葛野壮一郎
公安より見たる都市計画及都市計画立法(下)……商学士　岡田重次
渡米所感……会員　日高　胖
住宅問題解決に提供されたる珍案……会員　N.T　生
女流の生活観
旅館としての構造……会員　大西旅館　大西光代子
体裁や趣味よりも衛生的で便利な家……大阪医科大学々長佐多愛彦氏夫人　佐多静子
果して婦人の地位が進み思想が向上したでしょうか……X　夫人
市営長屋及共同宿泊所……江村郊郵
我邦現代の住宅を如何にすべき乎(中)……会員　小笠原鉾
学と術……会員　K.H　生
京都古建築観(10)……特別賛助員　伊藤清造
台湾営林局の事業に就て……会員　谷　民蔵
時報　一道路会議官制一
会報
附録　現行伯林府建築条例(下)

●日本建築協会雑誌(Vol.2 No.7) 大正8年7月25日発行

口絵……在大阪木村鏨之助氏邸宅(三色版)、公会堂の屋上より俯瞰大阪市全景(一～八)
我国の建築界漸く重大ならんとす
大連市の建築規則に就て一建築技師に対する圧迫一……会員　片岡　安
軍備と文化(中)……法学博士　渡辺鉄蔵
都市研究の必要(上)……都市研究会副会頭　内田嘉吉
都市計画に就て(1)……内務事務官　吉村哲三
住宅問題と田園都市(A)……都市事情研究会員　三宅勘一
市民劇場の設立を望む(下)……会員　葛野壮一郎
本邦現代住宅改良の施工法(1)……会員　小笠原鉾
女流の住宅観
住宅観念の缺乏した婦人……東京女子高等師範学校教授　大江寿美子
掃除の手数を省く新工夫……前外国語学校教授浅田栄次氏未亡人　浅田みか子
凡てを自由に興味の動く侭動作に便利な家……増田信一氏夫人　増田きく子
便利な家としての三つの要素……美顔術師　山本久栄子
街道樹論(1)……特別賛助員農学士　大屋霊城
◆様式の上にあれ!(下)……会員　村野藤吾
都市と住宅
都市住宅問題に就て……大阪税関長　松本　脩
京都古建築観(11)……特別賛助員　伊藤清造
本邦森林の伐材寸法概要……会員　谷　民蔵
調査　横浜市大火罹災家屋に関する調査(A)
大阪市接続町村下水道調査網要(1)……大阪府発表
時報一内務省の住宅改良案他一
会報
附録　巴里市衛生規則(上)

●日本建築協会雑誌(Vol.2 No.8) 大正8年8月25日発行

口絵……神戸市正金銀行支店(三色版)、大阪市営簡易食堂(一～六)、大阪市営児童相談所(一、二)
経済界の膨脹と建築の欠乏
都市住宅の建設に就て……会員　片岡　安
都市計画に関する法制(1)…内務省都市計画課長　池田　宏
都市研究の必要(中)……都市研究会副会頭　内田嘉吉
都市計画に就て(2)……内務事務官　吉村哲三
軍備と文化(下)……法学博士　渡辺鉄蔵
本邦現代住宅改良の施工法(2)……会員　小笠原鉾
住宅問題と田園都市(B)……都市事情研究会員　三宅勘一
◆様式の上にあれ!(結論)……会員　村野藤吾
女流の住宅観
何処かに温か味のある柔い感じのある家を好みます……島　成園
子供と主婦の部屋と台所の科学的な設備……竹原みどり
街道樹論(2)……特別賛助員農学士　大屋霊城
朝鮮営林廠所参の森林一班(1)……会員　谷　民蔵
都市と社会施設
北米合衆国に於ける住居社団法人……会員　M.T　生
大阪市営簡易食堂及市立児童相談所……江村郊郵
華城街樹私見……大阪天王寺公園主任　衣笠滋三
京都古建築観(12)……特別賛助員　伊藤清造
調査
横浜市大火罹災家屋に関する調査(B)
大阪市接続町村下水道調査網要(2)……大阪府発表

「建築と社会」バックナンバー総目次(号別)Vol.2 No.9～Vol.3 No.5(大正8年9月～大正9年5月発行)

時報ー公設市場法提案他ー
会報
附録　巴里市衛生規則(下)

●日本建築協会雑誌(Vol.2 No.9) 大正8年9月25日発行

口絵……大阪市庁舎配景図(三色版)、大阪市営職業紹介所(一～八)
建築の勃興と労働問題
都市住宅の建設に就て(下)……会員　片岡　安
社会的感情に就て(上)……京都帝国大学法科大学教授　佐々木惣一
都市研究の必要(下)……都市研究会副会頭　内田嘉吉
都市計画に関する法制(2)…内務省都市計画課長　池田　宏
都市計画に就て(3)……内務事務官　吉村哲三
住宅問題と田園都市(C)……都市事情研究会員　三宅勘一
本邦現代住宅改良の施工法(3)……会員　小笠原鈞
女流の住宅観　新しく住宅を建てる人に……医学博士男爵加藤照麿氏夫人　加藤常子
西洋かぶれの珍し物喰いは考えもの……前特許局長夫人　中松繁子
街道樹論(3)……特別賛助員農学士　大屋霊城
朝鮮営林廠所管の森林一班(2)……会員　谷　民蔵
都市と社会施設(其三)
北米合衆国に於ける住居社団法人(2)……会員　M．T　生
大阪市営職業紹介所及び労働取引所……江村郊邨
京都古建築観(13)……特別賛助員　伊藤清造
調査　横浜市大火罹災家屋に関する調査(C)
大阪市接続町村下水道調査網要(3)……大阪府発表
時報ー道路法施行細則他ー
会報
附録　ベルリン市建築条令(上)

●日本建築協会雑誌(Vol.2 No.10) 大正8年10月25日発行

口絵……福徳生命保険株式会社(三色版)、都市社会相(一～六)
住宅法制定の機運到来
「大連市建築規則」批判……会員　池田　実
社会的感情に就て(下)……京都帝国大学法科大学教授法学博士　佐々木惣一
都市計画に関する法制(3)…内務省都市計画課長　池田　宏
最も非衛生的な我邦の住宅……農商務省工場監督官医学士　古瀬安俊
住宅改造(上)……会員　葛野壮一郎
都市政策と防疫(上)……大阪市嘱托　向井　章
住宅問題と田園都市(D)……都市事情研究員　三宅勘一
本邦現代住宅改良の施工法(4)……会員　小笠原鈞
街道樹論(4)……特別賛助員農学士　大屋霊城
京都古建築観(14)……特別賛助員　伊藤清造
朝鮮営林廠所管の森林一班(3)……会員　谷　民蔵
女流の生活観　四季折々の環境に調和する生活……吉崎亀之助氏夫人　吉崎季枝子
わたくしは、はッと思ふて、今更のように周囲を見廻しました……足立製作所主足立弥太郎氏夫人　足立民子
都市と社会施設
北米合衆国に於ける住居社団法人……会員　M．T　生
趣味の生活　四宜草堂漫筆(1)……会員　佐藤四郎
番犬の飼育法……田丸亭之助
調査　大阪市接続町村下水道調査網要(4)……大阪府発表
時報ー大阪税関住宅施設他ー
会報
附録　ベルリン市建築条例(下)

●日本建築協会雑誌(Vol.2 No.11) 大正8年11月25日発行

◆口絵……株式会社大林組(三色版)、帝国議会議事堂設計一等二等当選図案(一～十二)
生活改善と協同一致の努力
「大連市建築規則」批判(下)……会員　池田　実
住宅改造(下)……会員　葛野壮一郎
都市計画に関する法制(畢)…内務省都市計画課長　池田　宏
都市政策と防疫(下)……大阪市嘱托　向井　章
社会思想の象徴と建築様式……江村郊邨
朝鮮営林廠所管の森林一班(畢)……会員　谷　民蔵
京都古建築観(15)……特別賛助員　伊藤清造
名流の住宅観　住居に就て私は斯麼理想を有てゐる……貴族院議員伯爵　大木遠吉
栄冠　感想……議院設計三等当選者　竹内新七
武者修業として応募しました……同二等当選者　吉木久吉
女流の生活観
今更新旧の思想の相違がしみじみ感じられます…石井八重子
住宅の改造より先づ生活の改造……武藤山治氏夫人　武藤千世子
調査　大阪市接続町村下水道調査網要(5)……大阪府発表
時報　道路関係法令決定他
会報
附録　ベルリン市外地建築条例

●日本建築協会雑誌(Vol.2 No.12) 休刊

●建築と社会(Vol.3 No.1) 大正9年1月1日発行

口絵……ノースリバーより看たるニューヨーク市下町(三色版)、議院設計第三等(第一、二席)、当選図案(一～六)
巻頭　新春来りぬ
生活改善と我国の住宅……会員　片岡　安
我邦に最も適合する建築……男爵　後藤新平
都市計画の財政観……法学博士　関　一
火災保険業者より観たる日本の建築……日本火災保険株式会社調査部長　小澤増太郎
居構百選(1)……会員　葛野壮一郎
子供本位の住宅(上)……向井　章
汎米会館……会員　安井武雄
大阪に於ける劇場の変遷(A)……会員　池田　実
米国建築視察談(1)……会員　光安梶之助
都市「有機体」観……江村郊邨
都市と社会施設　米国に於ける簡易食堂……会員　日高　胖
資料　世界鉄道沿線の森林概況……会員　谷　民蔵
女流の生活観
今一入目醒ねばなりません……平佐純氏夫人　平佐その子
漫録
四宜草堂漫筆(2)伎楽と劇と劇場と……会員　佐藤四郎
訪れの記　「家相見」君と僕……K　S
藻苑　和歌……たみこ
◆時報　大阪市都市計画(1)
会員故山本治兵衛君小伝
会報
附録　ブタペスト建築条例(上)

●建築と社会(Vol.3 No.2) 大正9年2月1日発行

口絵……イクイタブル・ビルディング(二色版)、同第一階廊下及ウルオース・ビルディング第一階廊下(写真版一、二)
巻頭　都市の大改造始まる
大阪市区改正事業の前途に就て……会員　片岡　安
最近避雷針の進歩(1)……京都帝国大学教授　青柳栄司
デモクラチックな住宅……早稲田大学教授　安部磯雄
居構百選(2)……会員　葛野壮一郎
大阪に於ける劇場の変遷(B)……会員　池田　実
米国建築視察談(2)……会員　光安梶之助
子供本位の住宅(下)……向井　章
京都古建築観(補遺の1)……特別賛助員　伊藤清造
邸居寸観
新聞記者として見た名士の邸……読売新聞記者　梅谷孫吾
都市と社会施設　米国に於ける住居経営…会員　M．T　生
女流の生活観
日本家屋の長所と美点……実践女学校長　下田歌子
各人の天分を充分に発揮するのが生活の意義と存じます……高安道成氏夫人　高安やす子
漫録　米国へ行くまで(1)……会員　波江悌夫
訪れの記
Mさんとの珍問答「家相見」君と僕の続き……え　む　ら
時報　大阪市都市計画(2)
会報
附録　新制定の都市法規

●建築と社会(Vol.3 No.3) 大正9年3月1日発行

口絵……フォレスト・ヒル(紐育郊外)住宅経営(二色版)、同其一部及鳥瞰図(一、二)(写真版)
巻頭　物価の騰貴と建設事業
都市計画事業と財源(甲)……内務省都市計画課長　池田　宏
吾が伝統の血潮と住宅観念……子爵　榎木春之助
都市計画と文化的計画…大阪高等商業学校長　武田千代三郎
大都市の建築物(A)……工学博士　佐野利器
弁護士として欲しい家……弁護士法学士　高島春雄
居構百選(3)……会員　葛野壮一郎
我邦に於ける建築木材の趨勢……林学博士　村田重治
京都古建築観(補遺の2)……特別賛助員　伊藤清造
広義の都市計画……江村郊邨
邸居寸観　新聞記者として見た名士の邸宅(2)……読売新聞記者　梅谷孫吾
都市と社会施設　英国に於ける住宅政策……大阪市発表
女流の住居観
私の研究した台所の構造……料理大家　亀井まき子
漫録　米国へ行くまで(2)……会員　波江悌夫
訪れの記　市井の隠者ヴォルドさん……え　む　ら
藻苑　俳句……芦田秋双選
資料　大阪市接続町村下水道調査網要(Vol.2 No.11より続)
時報　大阪市都市計画(3)
会報
附録　ブタペスト建築条例(中)(Vol.3 No.1より続)

●建築と社会(Vol.3 No.4) 大正9年4月1日発行

口絵……懸賞募集改良住宅設計図案(第一等当選～第二等第一席当選)
巻頭　都市計画と土地増価税
都市建築勃興の大勢(上)……会員　片岡　安
家賃膨貴、都市計画及土地増価税(上)……京都帝国大学教授　戸田海市
都市計画事業と財源(乙)……内務省都市計画課長　池田　宏
大阪市市区改造計画に対して……会員　安井武雄
改造ということ……会員　伊藤正文
大都市の建築物(B)……工学博士　佐野利器
居構百選(4)……会員　葛野壮一郎
日本庭園考(1)……特別賛助員農学士　大屋霊城
京都古建築観(補遺畢)……特別賛助員　伊藤清造
「生」の反映たる建築……江村郊邨
一事一想　都市計画の観方
税務行政の側から観た都市計画……大阪税務監督局長　楠木正隆
路面と公園と交通機関……大阪府知事　池松時和
都市と社会施設　英国に於ける住居政策(2)……大阪市発表
資料　大阪市都市計画参考資料(1)
女流の建築観　或る男の話……美代子
新式の斯ういう旅館を建てたらと思います……「婦女世界」記者　吉村美代子
漫録　四宜草堂漫筆(3)劇場と光と……会員　佐藤四郎
藻苑　俳句……芦田秋双選
懸賞募集改良住宅設計案審査報告…第三部委員長　小笠原鈞
当選せる改良住宅設計案に就ての概評……審査員　片岡安他
時報　社会的施設調査他
会報
附録　ブタペスト建築条例(下)

大正9年4月1日　大阪市西区京町堀上通1丁目5番地
不動貯金銀行ビル3階へ事務所移転

●建築と社会(Vol.3 No.5) 大正9年5月1日発行

口絵……内田信也氏須磨の別邸(三色版)、同内部(写真版)
懸賞改良住宅設計案(第二等第二席)(写真版)
巻頭　都会生活と其適応性
都市建築勃興の大勢(下)……会員　片岡　安
家賃膨貴、都市計画及土地増価税(下)……京都帝国大学教授　戸田海市
我慢と辛房と風流を象徴する日本の住居ー現代文明に逆行しそうな住居生活……東京市社会局長　窪田文三
都市計画事業と財源(丙一畢)……内務省都市計画課長　池田　宏
住家は家庭趣味の容器……貴族院議員　中小路廉
大都市の建築物(C)……工学博士　佐野利器
建築物に対する防火帯又は防火地区の設定……豊国火災保険株式会社専務取締役　大谷順作
居構百選(5)……会員　葛野壮一郎
日本庭園寺(2)……特別賛助員農学士　大屋霊城
新都市の建設……江村郊邨
土木建築業者の向上と保証金問題に就て……大阪土木建築組合常任評議員　山本辰五郎
邸居寸観　新聞記者として見た名士の邸宅(3)……読売新聞記者　梅谷孫吾
一時一想　保健関係から観た都市計画……市立大阪衛生試験所技師　岩尾次郎
消防方面から観た都市計画……大阪府消防課長　宮田警視
都市と社会施設　英国に於ける住居政策(3)……大阪市発表
資料　大阪市都市計画参考資料(2)
女流の建築観　気分から湧いた理想の住宅……美代子
藻苑　俳句……芦田秋双選
時報　大阪市営住宅増築他
会報
附録　白耳義国首府ブルュクセル市建築規則(上)

特　許・耐酸被覆鋼板
耐久建築屋根・外壁材料

オリエンタルメタル

半世紀の実績が誇る技術とアフターケアー！

長尺物・色彩豊富・責任施工

品　種
- オリエンタルカラースーパーメタル(CSPM)
- オリエンタルスチールライト(ＳＴＬ)
- オリエンタルメタル(ＯＰＭ)
- 鋼板製オリエンタルフネンシングル
- オリエンタルオリセラム


体育館屋根フネンシングル

波板規格　S小波・S大波・V波・ボックス波・Wジャンボ波・Vデッキ
SVジャンボ波・ボルトレスルーフBL・其の他

用　途　平板・波板・棟包・雨押類・谷樋・竪樋・軒樋
各種換気装置〔モニター・ベンチレーター・ムーバー・エキゾスター(強制)〕
ボーロイド(断熱材)D.G.K.　※カタログを御請求下さい

オリエンタルメタル製造株式会社

大阪本社　〒660　尼崎市昭和南通り３－26 松本ビル　電話大阪(06)412－5131(代)
大阪支店及工場　大阪・九州・名古屋・広島・東条・刈谷・姫路

東京本社及工場　〒335　蕨市塚越５丁目６番32号　電話 蕨(0484)42－3115(代)
支店及工場　東北・東京・関東・熊谷

6月20日全国書店にて一斉発売//

耐久性向上を目指す建築実務者のために

鉄筋コンクリート工事の基本と実務

B5判　224頁　3,800円　加賀秀治　監修

本書は、コンクリートの品質向上と構造物の耐久性改善にむけて新しく制定された規準の本質を正しく理解し実務に適用していただくために基礎的事項と実務を対応させながら解説した実用参考書です。

建築新配筋読本

B5判　168頁　3,600円　井上博・北小路宏　共著

新うっかり間違える構造力学

B6判　151頁　1,500円　井上允彦　著

建築構造問題快答集

A5判　1～10集　石黒徳衛　監修

1 3,800円　2 3,800円　3 3,800円　4 3,700円
5 3,800円　6 3,800円　7 2,900円　8 2,900円
9 3,000円　10 3,200円……分類別通巻総索引付録

建築構造計算資料集

B5判　全8巻　中川淳　編著

1 3,800円　2 3,800円　3 3,200円　4 3,500円
5 3,200円　6 3,800円　7 3,800円　8 4,000円

株式会社 建築技術
〒160 東京都新宿区北新宿　1－8－1　中島ビル
TEL.(03)363－4211　振替東京 0-72417

建築技術者必携の専門誌

建築技術7月号

6月18日　全国書店で一斉発売
定価1,200円

特集／たかが目地されど目地

建物のジョイントは、鉄骨の溶接、ダイヤフラムの設計、大断面集成材といった、いわば大きなテーマばかりではありません。目地や継目といった、もう一つのジョイントも目立たない存在ではありますが、それだけに重要な機能を果たしています。

コンクリートの打継ぎから、屋根、外壁、張床、内装ボード、そしてエキスパンションジョイントに至るまで、目地と継目の故障に関してありとあらゆる話題を集めたユニークな特集号となるよう構成されています。

- ●構造体　1. コンクリートの打継ぎ　2. PC版　3. ALC
- ●屋　根　1. 葺き屋根　2. 防水層の継目
- ●外　壁　1. カーテンウォール　2. サッシ及び窓まわり　3. タイル張り及び石張り
- ●内　装　1. 塗壁・塗床　2. 張床
- ●設　備　1. 給排水管
- ●エキスパンションジョイント

本文企画／
■建屋内での長尺基礎杭施工法
■狭い現場で大深度の基礎杭を施工
■東京ドームのすべて――計画編・施工編――
■狭い市街地での山止工事と計測管理

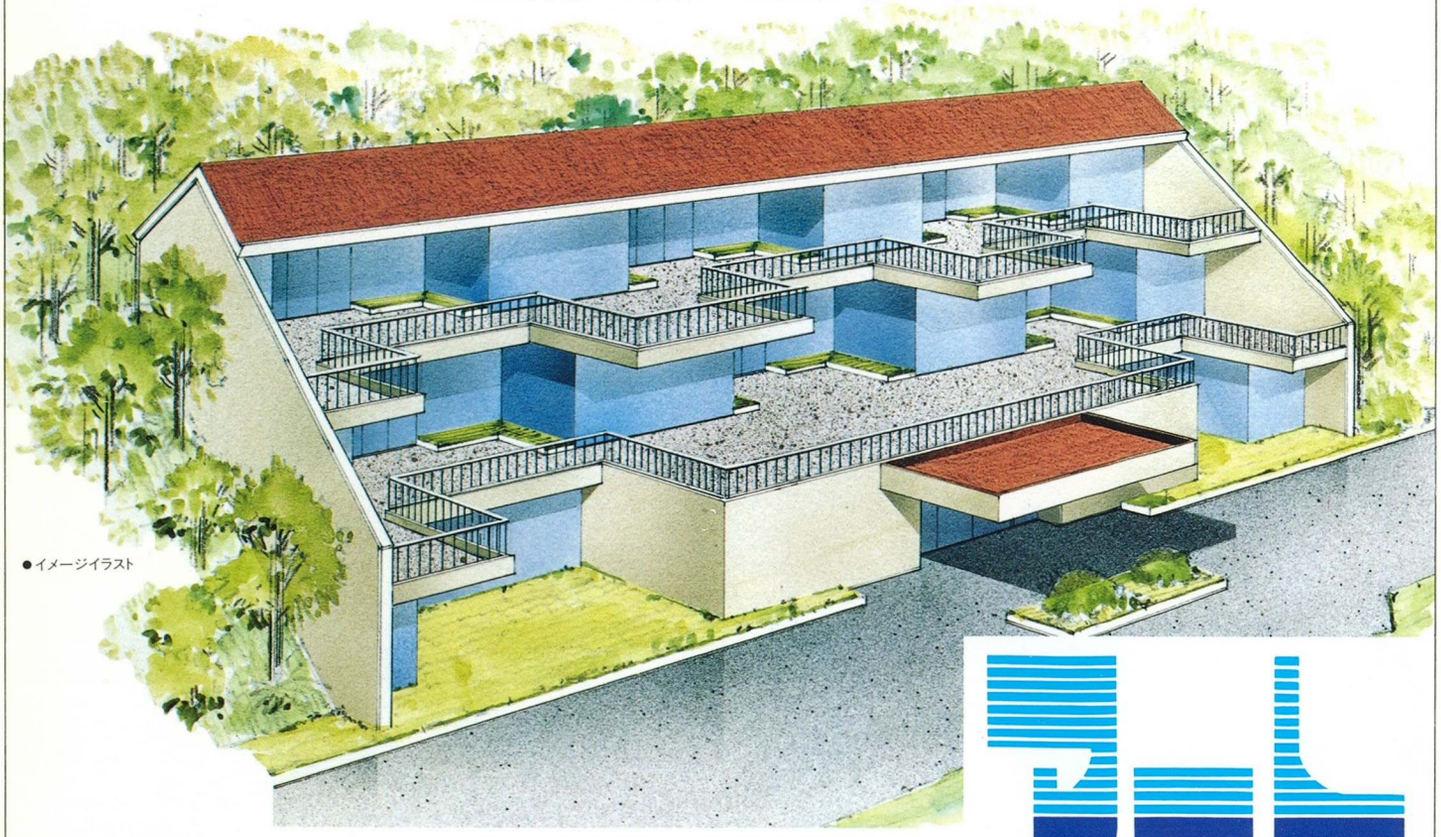
建築と社会　第69輯第6号
昭和63年6月25日発行（毎月1回25日発行）
昭和24年3月19日第3種郵便物認可

YAMADE

ARTする防水

ルックスも、仕上がりも、ワンランクアップの新登場です。

屋上コーディネーションに適した5種類のパターン＆カラー。
経済性はもちろん、水密性に富んだ高度な防水性能と、あらゆる環境条件に耐える抜群の耐候性能。
信頼の機能と共に意匠性を優先したくリベットルーフ・アート〉は、
屋上防水施工により洗練された環境空間を創出します。

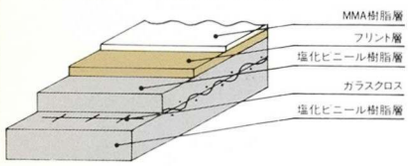


●イメージイラスト

塩化ビニール樹脂系ハイブリット防水シート
リベットルーフ®アート
〈軽歩行用〉

●優れた意匠性

シート防水材として始めて、美しいプリント柄層を積層しているため、使用部位も一段と拡がりました。又、紫外線を遮断するMMA樹脂層の効果で退色の心配もありません。



●優れた物性

MMA樹脂層の効果で、耐候性・耐汚染性が抜群です。又、塩化ビニール樹脂の特性と芯材にガラスクロスを積層している為、寸法安定性・耐圧縮性等機械的強度も優れています。

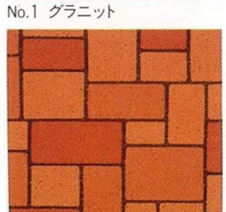
●優れた防水性

YK溶着剤による溶剤溶着と専用液シールにより、シート相互の接合強度と水密性も完璧です。


No.1 グラニット


No.2 カッパー


No.3 カレドニアストーン


No.4 サンタモニカ


No.5 リズムブロック

●当製品についてのお問い合わせは…

Science & Technology
山出興産株式会社
本社／〒564 大阪府吹田市江の木町24-10
●東京 03(432)8431 ●仙台 022(291)0877
●横浜 045(212)5631 ●名古屋 052(762)6160
●大阪 06(385)1261 ●広島 082(263)5103
●福岡092(472)9611 （■研究所 0748(63)0917）

社団法人 日本建築協会 〒5[illegible] 大阪市[illegible]
振替口座大阪一二九九七五番
正会員の購読料は会費に含めて徴収
定価九五〇円（送料共）